

令和3年

姫路市

消防年報



このページは空白です。

令和 3 年 版

姫 路 市 消 防 年 報

姫路市消防局

は じ め に

この年報は、姫路市消防局における消防行政の概要と令和2年中の火災・救急・救助の状況を取りまとめたものです。広く各方面の皆さまにご高覧いただき、活用いただければ幸いと存じます。

今後も「生きがいと魅力ある 住みよい都市 姫路」の実現に向け取り組んでまいりますので、皆さまのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年7月

姫路市消防局長
柏 原 浩 明

《 ご 利 用 の 前 に 》

- (1) 本書は、姫路市の消防防災の全般にわたる基礎的な統計資料を収録したもので、原則として令和元年度の資料を中心に収録しています。
- (2) 統計表の「年次」とあるのは、暦年（1月1日～12月31日）、「年度」とあるのは、会計年度（4月1日～翌年3月31日）を表すものです。
- (3) 統計表中の符号の用法は、次のとおりです。
「－」……該当なし
「▲」……負数

※ 合併等について

姫路市は、平成18年3月27日に近隣4町（家島町・夢前町・香寺町・安富町）と合併し、平成19年4月1日からは、神崎郡3町（市川町・福崎町・神河町）の消防事務（消防団・水利事務を除く）を受託しています。

本書には以下のとおりの統計数値を掲載しています。

- ① 平成18年中の表示は、夢前町・香寺町・安富町を除く数値
- ② 平成19年中の表示は、消防事務受託後の4月1日以降の数値
- ③ その他、例外的なものについては、頭注に表記

目次

第一部 施策編

第1章 総括

1	姫路市勢	1
2	一目統計	2
3	主な行事・出来事等	3
4	消防署所の配置	4
5	姫路消防の沿革	5
6	消防庁舎の現況	12
7	組織及び事務分掌	13
8	階級と職名	14
9	消防団の活動	15
10	令和3年度消防局重点目標	17
11	令和3年度消防局施策 及び年間推進事項	19

第2章 災害を未然に防ぐために

1	予防広報	23
	・火災予防行事等の年間実施状況	23
	・広報手段	23
	(1) 姫路シティFM21での放送	23
	(2) 姫路ケーブルテレビでの放送	23
	(3) 情報提供	23
	・音楽隊	24
2	防火指導	25
	・立入検査	25
	・消防同意等	25
	・防火対象物定期点検報告制度	25
	・表示制度	26
	・防火管理	26
	(1) 防火管理者の役割	26
	(2) 防火管理者講習	26
	・住宅防火対策	26
	(1) 住宅用火災警報器等の普及促進	26
	(2) 高齢者等への防火訪問の実施	26
	・民間防火組織の育成	27
	(1) 婦人防火クラブ	27
	(2) 幼年消防クラブ	27
3	危険物規制	28
	・危険物保安体制	28
	・石油コンビナート等特別防災区域	28
	・保安教育	28

第3章 市民の生命財産を守るために

1	消防指揮体制	31
2	火災活動体制	31
	・火災出動体制	31
3	救急活動体制	31
	・救急出場体制	31
	・救急業務の高度化	32
	・派遣型救急ワークステーション	32
	・救急搬送支援システム	32
	・応急手当の普及啓発	32
	・PA出動	33
	・「Thanksカード」の配布	33

4	救助活動体制	33
	・救助出動体制	33
	・救助出動状況	33
	・救助業務の高度化	34
	(1) 国際消防救助隊	34
	(2) 水難救助隊	34
	(3) 山岳救助隊	34
5	緊急通報受信体制	34
	・119番通報	35
	(1) IP電話からの119番通報	35
	(2) 携帯電話からの119番通報	35
	・119番以外による通報	35
	(1) FAX119	35
	(2) NET119	35
	・外国語同時通訳機能	35
	・119番による応急手当の指導	35
6	その他	35
7	相互応援体制	36

第4章 災害について楽しく学ぶために

1	ひめじ防災プラザ	39
	・施設の利用	39
	・施設の紹介	39
	・来館状況	41
2	施設見学	43
3	防火・防災ビデオ・フィルムの貸し出し	43
4	トライやる・ウィークの受け入れ	43
5	市政出前講座	44
6	消防防災運動会	44
7	自主防災組織結成状況	45

第二部 統計・資料編

人事・予算

1	職員の配置状況	50
2	年齢別職員数	51
3	年度別職員数	52
4	公務災害等の発生状況	52
5	職員の技能資格	52
6	職員表彰	53
7	市民表彰等	53
8	年度別一般会計及び消防費決算額	54
9	令和3年度消防費予算概要	54
10	年度別主要事業実施状況	55

警 防

1	消防車両等の配置状況	58
2	消防緊急車両等の一覧	59
3	部隊別主要資機材配備基準	60
4	消防水利の現況	61
5	消防水利の整備状況	61
6	開発行為による設置状況	61
7	泡消火薬剤の備蓄状況	62
8	出動基準表	63

消防指令

1	総受信状況の推移	66
2	119番受信状況	66
3	119番受信状況の推移	67
4	119番通報形態(通報手段)の推移	67
5	FAX119受信状況の推移	68
6	NET119受信状況の推移	68
7	外国語同時通訳機能利用状況の推移	68
8	テレホンガイド受信状況の推移	68
9	医療機関問合せ状況の推移	68
10	姫路市救急受診ガイド利用状況の推移	68
11	119番による応急手当の口頭指導状況	69
12	消防通信系統図	70

予防・防災

1	火災予防に関する届出及び申請状況	72
2	防火対象物定期点検報告制度等 に係る届出状況	73
3	液化石油ガス施設等の推移	74
4	指定査察対象物の推移	74
5	消防法等違反の実態と措置状況	74
6	指定査察対象物の立入検査実施状況	75
7	指定査察対象物の状況	76
8	中高層建築物 ・地下を有する建築物の状況	77
9	防火対象物使用開始検査の状況	78
10	防火管理者・消防計画を必要 とする防火対象物の届出状況	79
11	消防同意等の推移	80
12	民間防火組織等の指導育成状況	80
13	自主防災組織の結成状況	81

危険物

1	危険物事務の処理状況	86
2	完成検査前検査の状況	86
3	仮貯蔵・仮取扱承認件数の状況	86
4	危険物施設の状況	86
5	危険物施設の推移	87
6	危険物施設立入検査実施状況	87
7	特定・準特定屋外タンク の容量別・品名別状況	88
8	特定事業所の危険物等 貯蔵取扱量の状況	88
9	特定事業所の危険物施設の状況	88
10	姫路臨海地区特別防災区域の現況	89
11	危険物防災体制の推進状況	90

消防団

1	消防団の沿革	92
2	消防団の組織	94
3	階級別の定員	95
4	年齢別団員数	96
5	在職年数別団員数	96
6	報酬及び費用弁償	97
7	公務災害補償等の発生状況の推移	97
8	退職報償金の支給状況の推移	97
9	団員表彰の推移	97
10	教養訓練の実施状況の推移	98
11	消防ポンプ車庫及び 消防ポンプ自動車の整備状況	98
12	団員の職業状況	99
13	分団別出火状況	100
14	消防団の装備・資機材	101

各種災害の状況

火 災

1	火災状況	105
2	火災状況の推移	106
3	降水量と出火率の推移	107
4	署別火災件数	107
5	月別火災状況	108
6	四季別火災状況	109
7	建物用途別火災状況	109
8	建物火災に占める住宅火災の割合	110
9	火災の覚知方法	110
10	初期消火実施状況	110
11	初期消火失敗の理由	111
12	主な火災一覧	111
13	小学校区別火災状況	112
14	事務受託町の火災状況	112
15	出火原因の推移	113
16	建物用途別出火原因	114
17	主な出火原因の状況	115
	(1) たき火・焼却火	116
	(2) 放火（疑いを含む）	116
	(3) 電気関係	117
	(4) たばこ	118
	(5) こんろ	119
18	火災による死者の推移	120
19	火災による死者の発生状況	120
20	火災による負傷者の推移	120
	(1) 火災種別による負傷者	121
	(2) 負傷者の区分	121
	(3) 負傷原因	121
	(4) 負傷経過	121
21	出動区分別活動状況	122
22	出火場所と最寄り消防機関の距離	124
23	車両別火災出動状況	125
24	先着隊の平均所要時間	126
25	火災・救助以外の消防隊の緊急出動状況	127
26	自動火災報知設備の 誤作動による出動状況	127
27	兵庫県消防防災航空隊災害出動状況	128
28	自治体消防発足以後の火災概要	129

救 急

1	救急出場件数	131
2	救急出場件数の推移	132
3	事故種別出場件数構成比の推移	132
4	月別出場件数	133
5	曜日別出場件数	133
6	時間別出場件数	133
7	小学校区別出場状況	134
8	隊別活動状況	135
9	当市が行った応援出場状況	136
10	当市が受けた応援の状況	136
11	隊別救急出場の推移	137
12	事故別・傷病程度別搬送人員	138

13	年齢別・事故別搬送人員	139
14	年齢別・傷病程度別搬送人員	139
15	医療機関の選定状況	140
16	管轄外への救急搬送	141
17	傷病程度構成比の推移	141
18	急病件数の推移	142
19	科目別傷病程度と傷病名（急病）	142
20	受傷部位・傷病程度と傷病名（外傷）	142
21	発生場所別傷病程度（交通事故）	143
22	発生場所別傷病程度（一般負傷）	143
23	転院搬送人員の推移	143
24	転院搬送の理由	143
25	転院医療機関	144
26	隊員の行った応急処置の状況	144
27	応急処置実施状況	145
28	救急救命士の特定行為実施状況の推移	145
29	救命率	146
30	不搬送状況	146
31	不搬送理由	146
32	市民処置状況	147

救 助

1	救助出動・活動状況	148
2	救助出動件数及び出動種別の推移	149
3	署別救助事故発生状況及び活動状況	149
4	署所別救助事故発生状況	150
5	発生場所別救助事故状況	150
6	水難救助事故の状況	151
7	山岳救助事故の状況	151
8	救助出動隊員数及び活動隊員数	152
9	救助出動車両台数及び活動車両台数	152
10	救助事故別傷病程度	152
11	救助資機材使用状況	153
12	救助訓練実施状況	153

資 料

令和2年度救急車適正利用啓発ポスター 入賞作品	156
令和2年度防火ポスター 最優秀賞・金賞	157
火災予防啓発用ポスター	158
住宅用火災警報器設置促進カーラッピング	158

このページは空白です。

第一部 施 策 編

このページは空白です。

第1章 総括



このページは空白です。

1 姫路市勢

姫路市は、兵庫県の南西部に位置し、人口はおよそ 53 万人、市域面積 534 k m²で、北は中国山地の雪彦山、南は瀬戸内海に浮かぶ家島諸島を擁しています。年平均気温は15℃前後、年間降水量は1,200 mm程度で、温和な気候である瀬戸内気候区に属しています。

当市の歴史は古く、およそ 1 万年昔の縄文時代から人が住んでいたといわれ、太古の昔から受け継がれた壮大なロマンが宿っています。

この地が播磨の中心となったのは、大化の改新の後（7 世紀）に播磨国の国府が置かれ、さらに 8 世紀中ごろに聖武天皇の勅令で国分寺が建てられてからのことで、今に伝わる広峯神社や書写山円教寺などの古刹が創建されたのも同じ時代です。そして、室町時代に入ると、播磨の豪族によって姫山にとりでが築かれ、その後に秀吉が天守閣を持つ姫路城を築城。次いで姫路に入った池田輝政が現在の名城・姫路城を築き上げました。



姫路城の白漆喰で天守や櫓を塗り込めた優美な姿は、「飛び立つ白鷺」にたとえられ、「白鷺城」の別名でも親しまれています。昭和 6 年に国宝の指定を受け、平成 5 年には日本で初めて世界文化遺産に登録されました。そして、平成 30 年の世界遺産登録 25 周年事業では、世界遺産サミットや姫路城を舞台としたナイトイベントを開催し、多くの来場者で賑わいを見せました。

長らく取り組んできた姫路駅周辺の整備は、ついに最後の整備エリア「イベントゾーン」における文化コンベンションセンターの工事に着手しました。

駅からお城に繋がるシンボルロード「大手前通り」や駅南の工事も完成の形が見えてきました。教育分野では、力を注いできた小中 9 年間の一貫教育をさらに推進する市内初の義務教育学校「白鷺小中学校」を開校しました。経済分野でも、姫路・播磨の成長を飛躍的に高める播磨臨海地域道路の整備促進大会を開催し、地域の悲願を力強く国に届けることができました。英国の北ウェールズにあるコンウィとの友好の窓を開いたことで、国際交流都市として、また一歩前進することができました。



今後の市政運営に当たっては、都市ビジョンとして「ともに生き ともに輝く にぎわい交流拠点都市 姫路」を掲げ、L I F Eという英語にこめられた3つの意味、「命」、「一生」、「くらし」の3つのL I F Eを守り、支えていく重点方針を立て、事業を推進していきます。



●市章
姫路の「姫」
がモチーフ



●市旗
ヒメジの「ヒ」と
白鷺がモチーフ



●市木
(カシ)



●市花
(サギソウ)

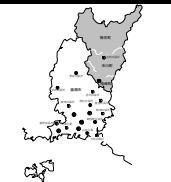
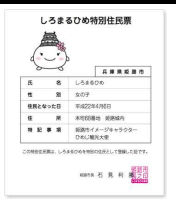


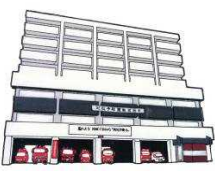
●市鳥
(シラサギ)



●市蝶
(ジャコウアゲハ)

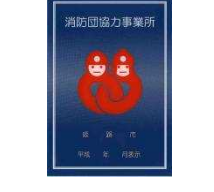
2 一目統計

管轄面積 管轄人口 消防予算 (R3. 3. 31現在)					
	面積	人口 (住民基本台帳)	人口密度	世帯数 (住民基本台帳)	令3年度消防局予算
姫路市	534.35km ²	532,637人	996人/km ²	242,774世帯	7,027,690千円
受託町	330.69km ²	41,501人	125人/km ²	16,941世帯	
合計	865.04km ²	574,138人	663人/km ²	259,715世帯	

【常備消防】 組織 機械 施設 (R3. 4. 1現在)				
	署所	消防職員	消防局保有車両等 (非常用を含む)	消防水利
	消防本部 1 消防署 5 分署 2 出張所 13	定員 604人 実員 576人 平均年齢37.7歳	指揮隊車 3台 S T車 16台 タンク車 9台 はしご車 5台 化学車 3台 救助工作車 3台 救急車 22台 消防艇 1隻 救急艇 1隻 その他 58台	消火栓 21,886基 防火水槽 708基 防火井戸 208基 プール等 249基

火救 救災 害事 故緊 急通 報 (R2年中)					
	火災	救急	救助	災害事故	緊急通報
	火災件数 197件	救急出場件数 26,476件	救助出動件数 512件	発生件数1,655件 警戒・誤報 ・風水害等	総受信件数 44,177件 (うち119番 39,600件)

予防 民間防火組織 (R3. 4. 1現在)					
	防火対象物	表示マーク制度	危険物施設	特定事業所	民間防火組織
	17条 21,669対象 8条 5,174対象	交付宿泊施設数 金 10対象 銀 6対象	製造所 48対象 貯蔵所 1,410対象 取扱所 676対象	1種事業所 6対象 2種事業所 9対象	婦人防火クラブ43対象 幼年消防クラブ65対象

【非常備消防】 組織 機械 施設 (R3. 4. 1現在)				防 災 (R3. 3. 31現在)	
	団・分団	消防団員	消防団協力事業所		自主防災組織
	消防団 8 消防分団 72	定員 3,226人 実員 3,025人 平均年齢 41.8歳	表示証交付事業所 71事業所		結成数 784 * (結成率99.9%)

*全自治会 (組織数929) のうち928で結成。

3 主な行事・出来事等（令和2年4月から令和3年3月）

4 月	7日(火)～5/21(木)	緊急事態宣言発出（新型コロナウイルス感染症に伴うもの。～5/21まで）	
5 月	21日(木)	緊急事態宣言解除	
6 月	7日(日)～13日(土)	危険物安全週間	危険物安全週間
7 月		消防Ⅰ 消防吏員採用試験	
8 月	1日(日) 30日(金)～9月5日(火)	高規格救急車受納式 防災の日 企画展示（ひめじ防災プラザ）	高規格救急車受納式 
9 月	8日(火) 12日(土) 27日(日) 29日(火)	「救急の日」救急車適正利用ポスター表彰式 NET119登録会 消防Ⅱ 消防吏員採用試験 雪彦山遭難対策協議会救助訓練 姫路市消防慰霊祭	ポスター表彰式
10 月	1日(木) 15日(火)～18日(金) 29日(金)	救急搬送支援システム試験運用開始 違反是正推進に係る実務研修 令和3年度 防火ポスター表彰式	
11 月	2日(火)～15日(月) 9日(火)～15日(月) 17日(火) 19日(木)	防火ポスター展（ひめじ防災プラザ） 秋季全国火災予防運動 兵庫県石油コンビナート等総合防災訓練（図上） 消防技術競技会（消防局訓練場）	
12 月	3日(月)～7日(金) 18日(金) 26日(木)～31日(木)	「違反是正の推進に係る実務研修」開催 年末火災特別警戒発隊式 消防団年末火災特別警戒	年末警戒発隊式 
1 月	10日(日) 12日(水)～21日(日) 26日(火)	令和3年新春消防表彰授与式 1.17「ひょうご安全の日」企画展（ひめじ防災プラザ） 文化財防火デーに伴う総合訓練（姫路城）	文化財防火デー
2 月			
3 月	1日(火)～7日(月) 7日(日) 18日(木) 28日(木)	春季全国火災予防運動 姫路市防災訓練 新型コロナウイルス感染症対策用高規格救急車（アイソレーター含む）の購入 はしご自動車安全操作研修	感染症対策用高規格救急車

4 消防本部・消防署所の配置



区分	総計	姫路市	受託町		
			市川町	福崎町	神河町
面積 (km ²)	865.04 〔 100% 〕	534.35 〔 61.77% 〕	82.67 〔 9.56% 〕	45.79 〔 5.29% 〕	202.23 〔 23.38% 〕
人口 (人)	574,138 〔 100% 〕	532,637 〔 92.77% 〕	11,559 〔 2.01% 〕	18,945 〔 3.30% 〕	10,997 〔 1.92% 〕
世帯数 (世帯)	259,715 〔 100% 〕	242,774 〔 93.48% 〕	4,937 〔 1.90% 〕	7,795 〔 3.00% 〕	4,209 〔 1.62% 〕

※端数処理の関係上、表中の計算が合わないことがある。R3年3月31日現在の住民基本台帳人口)

【管轄署別面積・人口・世帯数】

区分	総計	姫路東 消防署	姫路西 消防署	飾 磨 消防署	網 干 消防署	中 播 消防署
面積 (km ²)	865.04 〔 100% 〕	105.11 〔 12.15% 〕	150.47 〔 17.39% 〕	75.65 〔 8.75% 〕	25.42 〔 2.94% 〕	508.39 〔 58.77% 〕
人口 (人)	574,138 〔 100% 〕	132,257 〔 23.00% 〕	148,873 〔 25.93% 〕	146,088 〔 25.44% 〕	69,970 〔 12.19% 〕	76,950 〔 13.40% 〕
世帯数 (世帯)	259,715 〔 100% 〕	61,672 〔 23.75% 〕	69,917 〔 26.92% 〕	65,413 〔 25.19% 〕	30,532 〔 11.76% 〕	32,181 〔 12.39% 〕

※端数処理の関係上、表中の計算が合わないことがある。R3年3月31日現在の住民基本台帳人口)

5 姫路消防の沿革

姫路市消防本部は、昭和23年3月7日に自治体消防として1本部、1消防署、消防職員90人、車両11台で発足しました。

半世紀以上経過した平成19年4月1日に神崎郡3町（市川町・福崎町・神河町）の消防事務を受託し、姫路の消防は、令和3年4月1日現在、1本部・5消防署・2分署・13出張所・消防車両等119台・消防艇等2隻・消防職員576人、消防団は8団・72分団、ポンプ車等112台・消防団員3,025人で安全・安心を担っています。

- | | |
|----------|--|
| 明治28年 | ・公設姫路消防組として発足した。 |
| 昭和 8年 1月 | ・姫路消防組常設消防部が発足した。 |
| 20年 3月 | ・常設消防部の消防員を兵庫県消防手として採用、姫路消防独立中隊として発足、消防署に昇格した。
(署長以下56名、車両10台) |
| 20年 7月 | ・兵庫県須磨消防署から派遣された人員・車両、姫路消防独立中隊及び飾磨消防独立中隊を併せて西播消防大隊として発足した。
(署長以下263名、車両31台)
・姫路青年学校の校舎内に臨時消防大隊仮本部を設置した。
部隊編成は、姫路(第1)中隊、飾磨(第2)中隊とした。 |
| 20年10月 | ・消防本部を姫路進駐軍接收の本町庁舎に移転した。 |
| 21年 2月 | ・兵庫県告示第161号をもって、消防署の名称、位置及び管轄区域が定められ、西播消防大隊は「兵庫県姫路消防署」に名称変更した。
(署長以下210名、車両19台)
(管轄区域) 姫路市、飾磨市、白浜町、広畑町、網干町、勝原村、余部村 |
| 21年 3月 | ・隣接する1市(飾磨市)、3町(白浜・広畑・網干町)、3村(大津・勝原・余部村)と合併した。 |
| 23年 3月 | ・消防組織法の施行による自治体消防への改革と同時に「姫路市消防本部」を設置し、また、署の名称も「姫路市消防署」に改めた。
消防本部 → 姫路市消防本部
消 防 署 → 姫路市消防署
出 張 所 → 飾磨出張所 網干出張所 白浜出張所 |
| 24年12月 | ・姫路市消防本部に関する規則の制定に伴い、「姫路市消防局」に名称変更し、総務、予防、消防、機械の各課を置いた。 |
| 25年 1月 | ・飾磨、網干出張所を署に昇格し、3署体制とした。
消防本部 → 姫路市消防局
消 防 署 → 姫路消防署 飾磨消防署 網干消防署
出 張 所 → 白浜出張所 延末出張所 |
| 25年 7月 | ・消防音楽隊を発足させた。 |
| 25年10月 | ・救急業務を開始した。(県下で2番目) |
| 27年 4月 | ・鳥取市大火に当市から応援出動した。 |
| 29年 7月 | ・隣接する5村(曾左・余部・糸引・八木・太市村)と合併した。 |
| 30年 1月 | ・文化財防火デー(1月26日)が制定された。 |
| 30年12月 | ・予防課を消防課に、機械課を総務課に統合し、従来の4課を2課に改めた。 |
| 31年 1月 | ・消防波無線機を導入した。
・特別救助隊を発足させた。 |

- 31年 4月 ・市西北部に姫路消防署夢前出張所(現・飾西出張所)を新設した。
- 32年10月 ・隣接する4村(四郷・花田・御国野・別所村)と合併した。
- 33年 1月 ・隣接する1町(神南町)、2村(飾東・的形村)と合併した。
- 33年 9月 ・救急車に無線機を搭載した。
- 34年 2月 ・飾磨消防署広畑出張所を新設した。
- 34年 3月 ・昭和32年10月、隣接5ヶ村との合併により、市東部に姫路消防署御国野出張所を新設した。
- 34年 5月 ・隣接する大塩町と合併した。
- 34年 9月 ・危険物の規制に関する政令が制定された。
- 35年 6月 ・防災の日(9月1日)が制定された。
- 36年 4月 ・姫路消防署豊富出張所を新設した。
- 36年 5月 ・姫路消防署延末出張所を新築移転し、名称を姫路消防署手柄出張所に改めた。
- 37年 7月 ・姫路消防署姫路駅前出張所を新設した。
・災害対策基本法が施行された。
- 38年 4月 ・消防法の一部改正により救急業務が法制化された。
- 40年 5月 ・消防設備士資格制度が創設された。
- 42年 1月 ・飾磨消防署大的出張所を新設した。
- 42年 3月 ・隣接する林田町と合併した。
- 42年12月 ・姫路消防署夢前出張所を姫路消防署飾西出張所に名称を改めた。
・姫路消防署林田出張所を新設した。
- 43年 4月 ・姫路消防署飾西出張所を新築移転した。
・化学消火薬剤共同備蓄事業会を設立した。
- 44年 4月 ・予防課を新設し、3課体制とした。(総務課 消防課 予防課)
・消防指令センターを新設し、消防課に救助隊を設置した。
- 44年12月 ・網干消防署に監視テレビ装置を設置した。
- 45年 3月 ・指令無線基地網干前進基地局の運用を開始した。
- 45年 6月 ・救急車用サイレンの音色が変更された。
- 47年 9月 ・水難救助活動中隊員2名が殉職した。
- 48年 9月 ・姫路消防署城東救急分遣隊を新設した。
- 49年 3月 ・飾磨消防署を新築移転した。
・飾磨消防署に高所監視テレビ装置を導入した。
- 50年 3月 ・姫路市消防局及び姫路消防署を改築した。
・姫路消防署に高所監視テレビ装置を導入した。
- 50年 4月 ・夜間救急対策費運営要綱を制定、夜間救急患者の受け入れに協力した医療機関に対する謝礼金制度を確立した。
- 50年 6月 ・姫路海上保安署と船舶火災等に関する業務協定を締結した。
- 50年 7月 ・姫路市水難救助隊に関する規定を制定、水難災害事故を民間に委託した。
- 50年10月 ・市と臨海地区事業所間で災害防止協定を締結した。
- 51年 4月 ・姫路市消防審議会を設置した。
・災害緊急通報電話(ホットライン)を導入した。
・救急業務に協力した医師に対する報償金支給要綱を制定、救急現場への医師確保のための謝金制度を確立した。
- 51年 7月 ・姫路臨海地区が「石油コンビナート等災害防止法」の施行に伴い、特別防災区域の指定を受けた。

- 昭和51年 9月 ・救急隊員の健康管理の特別検診を開始した。
- 52年 3月 ・姫路消防署飾東出張所を新設した。
- 53年 4月 ・「石油コンビナート等災害防止法」の施行に伴い、激増する危険物行政に対応するため、危険物保安課を新設した。(総務課 消防課 予防課 危険物保安課)
- ・危険物関係事務電算処理システムを導入した。
- 53年 6月 ・網干消防署を新築移転した。
- ・網干消防署に高所監視テレビ装置を導入した。
- 53年 7月 ・救急隊員の行う応急処置等の基準が告示され、救急隊員の応急処置等が義務化された。
- 54年 2月 ・姫路市夜間急病センターが開設された。
- 54年 3月 ・姫路消防署増位出張所を新設した。
- 55年 3月 ・姫路消防署豊富出張所を新築移転した。
- ・飾磨消防署白浜出張所を分署に昇格し、新築移転した。
- 55年 4月 ・警防部を新設した。
- ・(総務課 警防部消防課 警防部予防課 警防部危険物保安課)
- ・姫路市役所の新築移転に伴い、消防局も市役所新庁舎に移転した。
- 55年 9月 ・救急隊員確保のため法的特例措置に基づき補充講習を実施、有資格隊員65名を確保した。
- 56年 1月 ・消防・救急指令装置を一新し、指令センターを新庁舎に移設した。
- ・救急関係事務電算処理システムを導入した。
- ・防火基準適合表示制度の運用を開始した。
- 56年 4月 ・姫路消防署城東救急分遣隊を廃止した。
- 56年 6月 ・姫路西消防署を新設した。
- ・姫路西消防署の新設に伴い、姫路消防署を姫路東消防署と改名した。
- 57年 3月 ・姫路東消防署御国野出張所を改築した。
- ・網干消防署勝原出張所を新設した。
- 57年 9月 ・救急の日・救急医療週間が制定された。
- 58年 4月 ・管理部、警防部の二部制に改革し、管理部に管理課、警防部予防課に査察専従隊を新設した。
- ・県救急医療情報システムによる救急管制業務が開始された。
- 58年 7月 ・管理部、警防部を廃止し、総務・警防担当の次長制を導入した。
- 59年 2月 ・指令無線基地大的前進基地局の運用を開始した。
- 59年 4月 ・飾磨消防署広畑出張所を改築した。
- 60年 4月 ・播磨灘流出油災害対策協議会が設立された。
- 61年 4月 ・消防法の一部改正により、救助隊の配置が義務化された。
- 61年11月 ・飾磨消防署広畑出張所を増築し、分署に昇格させた。
- 62年 9月 ・119の日が制定された。
- 63年 4月 ・各消防署に救急救助係を新設した。
- 63年 8月 ・兵庫県広域消防相互応援協定を締結した。
- 平成元年 9月 ・国際緊急援助隊の派遣に関する法律が交付・施行された。
- 2年 1月 ・危険物安全週間が制定された。
- 2年 7月 ・姫路東消防署、飾磨消防署に特別救助隊を設置した。
- 2年10月 ・姫路東消防署豊富出張所を増築した。
- 平成2年12月 ・緊急通報装置(安心コール)の受信を開始した。

- 3年 5月 ・ファックスによる緊急通報(ファックスコール)の受信を開始した。
- 3年 7月 ・消防次長を1人制とした。
・総務課と管理課を統合して総務課とし、消防課指令係を指令室に昇格させた。
- 3年 8月 ・救急救命士法が施行された。
- 4年 4月 ・姫路市における初の女性消防官を2人採用した。
- 4年 6月 ・初の救急救命士が誕生した。
- 5年 4月 ・姫路市救急指導医の嘱託制を開始した。
・高速自動車道消防協議会が発足した。
- 6年 1月 ・高規格救急車の運用を開始した。
- 6年 2月 ・救急救命士による特定行為を開始した。
- 7年 1月 ・阪神・淡路大震災による災害援助に応援出動した。
- 7年 3月 ・姫路市応急手当の普及啓発活動に関する要綱制定に伴い、応急手当指導員資格者35人を養成した。
- 7年 6月 ・消防緊急情報システムの運用を開始した。
- 7年 9月 ・緊急消防援助隊に登録した。
- 8年 4月 ・姫路市が中核市に移行した。
・PHS電話からの119番受信を開始した。
・消防活動用資機材及び支援物資相互応援協定(堺市高石市・和歌山市・徳島市)を締結した。
・西播磨地域災害時等相互応援に関する協定を締結した。
- 8年 5月 ・災害時における生鮮食料品等の供給協力等相互応援に関する協定を締結した。
・榊原公ゆかり都市災害時等相互応援に関する協定を締結した。
- 8年10月 ・中核市災害時等相互応援に関する協定を締結した。
・兵庫県消防防災航空隊が発足した。
- 8年11月 ・姉妹都市災害時相互応援協定を締結した。
・大規模災害用人員搬送車を姫路東消防署に配備した。
・全消防署(4署)に非常電源装置(自家発電設備)を設置した。
- 9年 3月 ・山陽自動車道消防相互応援協定(全線)を締結した。
- 9年11月 ・災害時における姫路郵便局との相互協力に関する協定を締結した。
- 10年 1月 ・隣接都市(高砂・加古川・加西市)災害時相互応援協定を締結した。
- 10年 4月 ・携帯電話からの119番受信を開始した。
・消防職員OBの活用として防災指導員制度を導入した。
- 10年12月 ・高規格救急車を全隊(9隊)に配備完了した。
- 11年 3月 ・兵庫県水道災害相互応援に関する協定を締結した。
- 11年 4月 ・姫路市震度ネットワークシステムの運用を開始した。
・災害対策本部を整備し、運用を開始した。
- 11年 6月 ・災害時における食料、生活必需品等の供給に関する協定を締結した。
・災害時における物資の輸送に関する協定を締結した。
- 11年 7月 ・指令室を情報指令課に名称変更した。
・防災行政全般が消防局に移管され、防災課を新設し、防災監を置いた。
- 12年 3月 ・災害時における建設業界との応急対策に関する協定を締結した。
- 12年 4月 ・予防課と危険物保安課を統合し、5課体制とした。
(総務課 消防課 予防課 情報指令課 防災課)
・姫路東消防署に女性救急隊員を配置した。

- 12年10月 ・ 国際消防救助隊編成協力市町村に登録した。
- 13年 1月 ・ 災害時における災害トイレ等の供給協定を締結した。
- 4月 ・ 国際消防救助隊員として登録した。
- 13年 7月 ・ 災害情報放送(姫路ケーブルテレビ(株))に関する協定を締結した。
- ・ 災害等緊急放送(株姫路シティFM21)の実施に関する協定を締結した。
- 13年 9月 ・ 「姫路市における消防力の整備に関する懇話会」を設置した。
- 13年11月 ・ P A出動の試行を開始した。
- 14年 1月 ・ 災害時における遺体の安置・搬送等の協力に関する協定を締結した。
- 14年 3月 ・ 「姫路市における消防力の整備に関する懇話会」から提言を受けた。
- ・ 生物・化学(B C)テロ対応資機材を国から貸与された。
- 14年11月 ・ P A出動の本格運用を開始した。
- 15年 3月 ・ 新消防艇「ひめじ」が竣工した。
- ・ 第1回 中・西播磨地域メディカルコントロール協議会を開催した。
- ・ B C災害対応部隊を姫路東消防署特別救助隊に配置した。
- 15年 4月 ・ 姫路市水難救助隊が発足した。
- 15年 5月 ・ 消防組織法の改正により、緊急消防援助隊が義務付けられた。
- ・ 第1回中・西播磨地域検証委員会を開催した。
- 15年 6月 ・ 避難所(県立高等学校)に関する覚書を締結した。
- 15年11月 ・ 女性救急救命士が誕生した。
- 16年 4月 ・ 避難所(兵庫県立大学)に関する覚書を締結した。
- 16年 6月 ・ 国民保護法が公布された。
- 16年 7月 ・ 救急救命士による気管挿管を開始した。
- ・ 福井豪雨に緊急消防援助隊として応援出動した。
- 16年 8月 ・ 救急隊員によるA E Dの使用を開始した。
- 16年 9月 ・ I P電話からの119番受信を開始した。
- 16年10月 ・ 豊岡市水害へ応援出動した。
- 17年 4月 ・ J R福知山線列車事故(尼崎市)に応援出動した。
- 17年11月 ・ 携帯電話119番通報が直接受信方式へ移行した。
- 17年12月 ・ 水難救助車を飾磨消防署に配備した。
- 18年 1月 ・ 災害時要援護者用一時避難所に関する協定を締結した。
- 18年 3月 ・ 隣接する4町(家島・夢前・香寺・安富町)と合併した。
- ・ 合併町の消防体制を整備する間、夢前・香寺町域の消防事務を中播消防事務組合に、安富町域の消防事務を宍粟市に委託した。(19年3月末まで)
- 18年 4月 ・ 国民保護業務が消防局に移管され、防災課に国民保護担当を置いた。
- ・ 救急救命士(認定)による薬剤(アドレナリン)の投与を開始した。
- ・ 高度救助隊が法制化された。
- ・ 消防組織法の一部改正に基づき、「市町村の消防の広域化に関する基本指針」が示された。
- 18年12月 ・ 救急隊員の心肺蘇生法要領の改正に基づく、新プロトコールによる救急活動を開始した。
- 19年 1月 ・ 災害時における船舶による輸送等に関する協定を締結した。
- 19年 3月 ・ 姫路市国民保護計画を作成した。
- 19年 4月 ・ 姫路市防災センターを新設した。
- 姫路市防災センター内に消防本部を移転し、消防防災総合情報システム(高機能

- 消防指令システム・防災情報システム)の運用を開始するとともに本部直轄隊を配備した。
- ・姫路市の組織改正により、危機管理監が新設されるとともに、消防局長が危機管理担当理事を兼任、消防局内の災害への実効機能を高めるため、防災課を危機管理室に改名し、危機管理室長を置いた。
 - ・中播消防事務組合の解散に伴い、神崎郡3町(市川・福崎・神河町)の消防事務を受託し、中播消防事務組合の庁舎を姫路市中播消防署とした。
 - ・中播消防署香寺出張所を新設した。
 - ・姫路西消防署林田出張所を新築移転した。
 - ・姫路東消防署姫路駅前出張所及び姫路西消防署手柄出張所を廃止した。
〔1本部(4課・1室)、5署、2分署、11出張所体制となった。〕
 - ・指令無線基地林田・夢前前進基地局の運用を開始した。
 - ・中播消防無線基地局及び日光寺前進基地局の無線免許を承継し、前進基地局として運用を開始した。
 - ・消防課に本部直轄隊(指揮支援車・救助工作車・救急車・ポンプ車・災害対応車)を配置し、本部高度救助隊を発足した。
- 19年 5月 ・姫路市地域防災貢献事業所登録制度の運用を開始した。
- 19年 9月 ・姫路市で初めての国民保護訓練を実施した。
- 19年11月 ・姫路市危機管理基本指針を策定した。
- 20年 6月 ・姫路市職員定数条例を一部改正し、消防職員539人から561人とした。
- 20年10月 ・姫路市山岳救助隊を発足した。
- 21年 4月 ・姫路市の組織改正により、防災全般や国民保護など庁内の連携や調整を担当する防災審議監が新設され、消防局長は危機管理担当理事を兼任解除となった。
- 21年 8月 ・兵庫県北・西部豪雨に伴う応援出動をした。(佐用町・宍粟市)
- 22年 3月 ・消防局訓練施設を竣工した。
- 22年 4月 ・姫路市の組織改正により、消防局危機管理室が危機管理室に昇格し、防災や国民保護に関する業務が消防局から危機管理室に移管された。
〔1本部(4課)、5署、2分署、11出張所体制となった。〕
- 23年 3月 ・東日本大震災に緊急消防援助隊(兵庫県隊)を派遣した。
- 4月 ・飾磨消防署白浜分署を新築移転した。
- ・飾磨消防署家島出張所・坊勢出張所を開設し、救急業務を主体とした家島町域の常備消防体制を開始した。
〔1本部(4課)、5署、2分署、13出張所体制となった。〕
 - ・家島前進基地局の運用を開始した。
- 24年6月 ・横田石油㈱と消防業務に係る燃料調達に関する覚書を締結した。
- 9月 ・石油コンビナート火災活動中隊員1人が殉職した。
- 25年1月 ・飾磨消防署家島出張所を新築移転した。(家島事務所内に併設)
- 25年3月 ・飾磨消防署大的出張所を新築した。
- ・VSAT搭載型消防無線中継車・資機材搬送車を国から貸与された。
- 26年2月 ・ひめじ防災プラザをリニューアルオープンさせた。
- 4月 ・消防課を消防・救急課に名称変更した。
- 5月 ・姫路沖タンカー爆発火災に応援出動した。(消防艇)
- ・赤穂市の林野火災に応援出動した。
- 6月 ・相生市の林野火災に応援出動した。

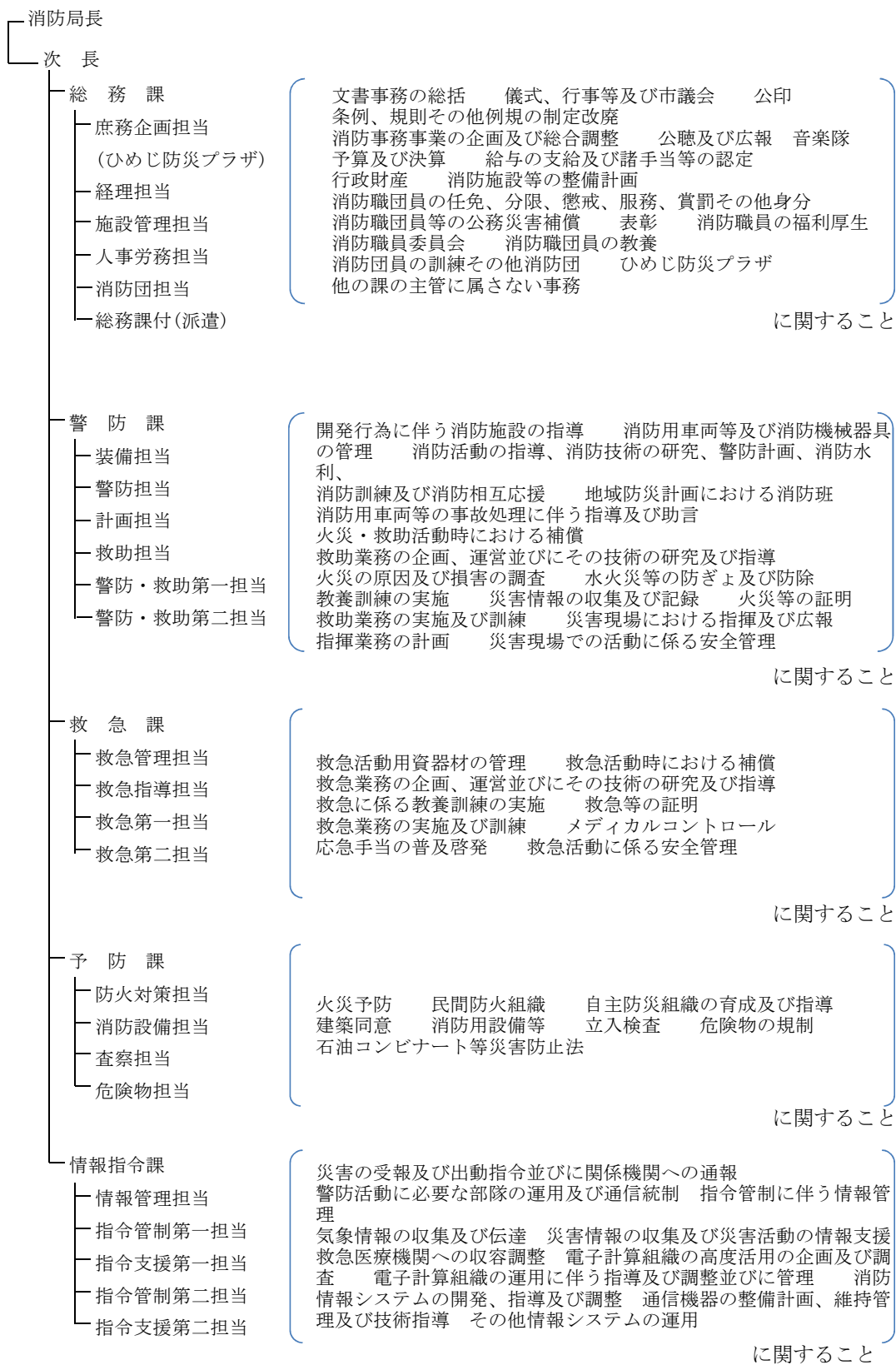
- 27年3月 ・ 朝来市の工場火災に応援出動した。
- 27年11月 ・ 救急ワークステーション事業を開始した。
- 28年1月 ・ 救急救命士（認定）による心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与を開始した。
- 28年4月 ・ 姫路市職員定数条例を一部改正し、消防職員561人から565人とした。
- ・ 消防指揮隊が2隊、発足した。（本部、姫路東）
- ・ 高機能消防指令システムの更新及び消防救急デジタル無線システムの運用を開始した。
- ・ 熊本地震に緊急消防援助隊（兵庫県隊）を派遣した。
- 29年3月 ・ 新型防火衣を導入した。
- ・ 姫路西消防署を増築した。
- 29年4月 ・ 消防指揮隊の3隊運用を開始した。（本部、姫路東、姫路西）
- 〃 ・ 違反対象物公表制度を開始した。
- 29年7月 ・ 飾磨消防署を増築した。
- 30年3月 ・ 姫路西消防署飾西出張所を新築移転した。
- 30年7月 ・ 広島県（平成30年7月豪雨）へ緊急消防援助隊（兵庫県隊）を派遣した。
- 31年4月 ・ 水難救助車を本部へ配置替えした。
- 〃 ・ 消防・救急課を警防課と救急課、それぞれ単独の課とし、5課体制とした。
- 〃 ・ 水難救助車を本部へ配置替えした。
- 〃 ・ 新救急艇「いえしま」が就航した。
- 令和2年4月 ・ 姫路市職員定数条例を一部改正し、消防職員565人から604人とした。

6 消防庁舎の現況

区 分	所 在 地	構 造	敷地面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)	建築年月日
消 防 局 (防災センター)	姫路市三左衛門堀 西の町3番地	鉄筋コンクリート造6階建	1,932.99	6,614.87	平成19年 2月 15日
姫路東消防署	本 署 付 属 棟 自 転 車 置 場 倉 庫	姫路市本町 68番地68	鉄筋コンクリート造3階建 コンクリートブロック造平屋建 軽量鉄骨造平屋建 鉄骨プレハブ造2階建	3,985.02 1,580.53 284.31 21.60 113.40	昭和50年 3月 31日 〃 〃 昭和61年 3月 31日
	御国野出張所	姫路市御国野町 国分寺65番地1	鉄筋コンクリート造2階建	392.00 195.45	昭和57年 3月 27日
	豊富出張所 救急消毒室	姫路市豊富町 御蔭1112番地	鉄筋コンクリート造平屋建 鉄筋コンクリート造平屋建	677.06 256.53 16.00	昭和55年 3月 19日 (平成2年11月 増築) 平成16年12月 28日
	飾東出張所	姫路市飾東町 山崎608番地4	鉄筋コンクリート造平屋建	456.87 175.56	昭和52年 3月 31日
	増位出張所	姫路市増位新町 一丁目18番地	鉄筋コンクリート造平屋建	570.00 182.94	昭和54年 3月 29日
	本 署 倉 庫 カ ー ポ ー ト 自 転 車 置 場	姫路市西今宿 三丁目7番20号	鉄筋コンクリート造2階建 鉄筋コンクリート造平屋建 鉄骨造平屋建 鉄骨造平屋建	2,644.59 1,292.09 100.75 26.40 4.20	昭和56年 6月 12日 (平成29年3月 増築) 昭和56年 6月 12日 昭和57年 3月 31日 〃
姫路西消防署	飾西出張所	姫路市飾西341番地	鉄筋コンクリート造平屋建	816.70 394.75	平成30年 3月 22日
	林田出張所	姫路市林田町 六九谷136番地2	鉄筋コンクリート造平屋建	815.20 351.47	平成19年 3月 15日
飾磨消防署	本 署 自 転 車 置 場	姫路市飾磨区 中島1130番地8	鉄筋コンクリート造2階建 軽量鉄骨造平屋建	3,346.57 1,551.19 20.00	昭和49年 3月 7日 (平成29年7月 増築) 昭和49年 3月 7日
	白 浜 分 署 倉 庫 発 電 機 棟 カ ー ポ ー ト 自 転 車 置 場	姫路市白浜町 甲840番地5	鉄筋コンクリート造平屋建 鉄骨造平屋建 鉄筋コンクリート造平屋建 アルミ造平屋建 鉄筋コンクリート造平屋建	2,709.21 696.93 127.41 32.96 18.85 6.34	平成23年 2月 28日 〃 〃 〃 〃
	広 畑 分 署 倉 庫	姫路市広畑区東新町 二丁目30番地	鉄筋コンクリート造2階建 鉄筋コンクリート造平屋建	1,015.53 584.25 36.00	昭和59年 3月 29日 (昭和61年10月 増築) 昭和59年 3月 29日
	大 的 出 張 所	姫路市の形町 的形1804番地4	鉄筋コンクリート造2階建	561.02 399.43	平成25年 3月 15日
	家 島 出 張 所	姫路市家島町 真浦2137番地1	鉄筋コンクリート造4階建	1,967.93 190.69	平成24年12月 25日
	坊 勢 出 張 所	姫路市家島町 坊勢186番地	鉄筋コンクリート造3階建	1,167.02 247.36	昭和56年6月 1日
	本 署 倉 庫 自 転 車 置 場	姫路市網干区大江島 古川町74番地	鉄筋コンクリート造2階建 コンクリートブロック造平屋建 軽量鉄骨造平屋建	3,348.77 990.38 112.11 21.00	昭和53年 6月 12日 〃 〃
	勝 原 出 張 所	姫路市勝原区 宮田494番地1	鉄筋コンクリート造平屋建	588.54 189.45	昭和57年 3月 31日
中播消防署	本 署	神崎郡福崎町 福崎新404番地2	鉄筋コンクリート造3階建	775.00 1,092.91	昭和52年 4月 1日
	夢 前 出 張 所	姫路市夢前町 前之庄3719番地6	鉄筋コンクリート造2階建	1,061.24 382.73	昭和53年 2月 1日
	香 寺 出 張 所	姫路市香寺町 香呂204番地1	鉄筋コンクリート造平屋建	801.21 349.97	平成19年 3月 16日
	北 部 出 張 所	神崎郡市川町 澤98番地	鉄筋コンクリート造2階建	761.33 379.69	昭和53年 2月 1日
消防局訓練施設	姫路市西今宿 三丁目643番地8	鉄骨造2階建	2,677.60	A塔: 83.0㎡ B塔: 166.5㎡ C塔: 130.2㎡	平成22年 3月 15日

7 組織及び事務分掌

消防本部 5課・23担当



消防署所 5署・2分署・13出張所

姫路東消防署
 庶務担当
 予防担当
 警防第一担当
 指揮第一担当
 救急第一担当
 警防第二担当
 指揮第二担当
 救急第二担当
 御国野出張所
 豊富出張所
 飾東出張所
 増位出張所

庶務担当

署の庶務 公印 人事、教養、服務 福利厚生
 事務事業の計画及び総合調整 消防情報及び統計
 庁舎及び附属施設の管理 消防団事務
 消防職員の安全衛生管理 消防職団員等の公務災害補償事務
 他の担当の主管に属さない事務

に關すること

予防担当

防火思想の普及啓発 火災予防対策の樹立及び推進
 防火対象物、危険物施設の立入検査及び指導 民間防火組織等の育成指導 消防用設備等の設置検査及び点検の指導
 防火対象物定期点検報告制度 自主点検報告制度
 防火対象物の使用開始検査 防火対象物、危険物施設の実態調査及び違反処理 風俗営業関係建築物の防火安全確保における関係機関の連携 旅館、ホテル等の営業許可等に係る消防法令適合通知等 直接通報等事務処理 防火管理の指導 特定事業所の災害予防 危険物製造所等の許可及び検査 危険物及び指定可燃物の規制 危険物取扱者免状の返納命令に係る調査事務
 消防法、姫路市火災予防条例に基づく各種届出 液化石油ガス設備工事届の受理及び液化石油ガス販売事業者等への立入検査等 火薬類貯蔵者に対する立入検査等 高圧ガス消費者に対する立入検査等

に關すること

警防第一担当

警防第二担当

水火災等の災害防ぎょ及び防除 消防警備 消防地水利
 消防通信の運用 消防機械器具の管理及び改善 気象情報等の広報 通信等諸勤務の実施 火災及び救助の統計 救助業務の実施及び訓練 災害証明 姫路市火災予防条例第54条に基づく届出の受理

に關すること

指揮第一担当

指揮第二担当

災害現場における指揮及び広報 指揮業務の計画 災害現場での活動に係る安全管理及び評価

に關すること

救急第一担当

救急第二担当

救急業務の実施及び訓練 救急技術の研究及び指導 民間患者等搬送従事者の再講習 救急統計及び救急報告 応急手当の普及啓発 救急広報

に關すること

姫路西消防署
 庶務担当
 予防担当
 警防第一担当
 指揮第一担当
 救急第一担当
 警防第二担当
 指揮第二担当
 救急第二担当
 飾西出張所
 林田出張所

飾磨消防署
 庶務担当
 予防担当
 警防第一担当
 指揮第一担当
 救急第一担当
 警防第二担当
 指揮第二担当
 救急第二担当
 白浜分署
 広畑分署
 大的出張所
 家島出張所
 坊勢出張所

網干消防署
 庶務担当
 予防担当
 警防第一担当
 救急第一担当
 警防第二担当
 救急第二担当
 勝原出張所

中播消防署
 庶務担当
 予防担当
 警防第一担当
 救急第一担当
 警防第二担当
 救急第二担当
 夢前出張所
 香寺出張所
 北部出張所

8 階級と職名

階 級	職 名	計
消 防 正 監	消防局長	1人
消 防 監	消防局次長、消防署長	6人
消防司令長	消防局の課長 消防署の副署長、指揮隊長	16人
消 防 司 令	消防局の課長補佐、係長 消防署の課長補佐、警防司令、指揮司令、分署長、出張所長、係長	108人
消防司令補	消防局及び消防署の主任	198人
消 防 士 長	消防局及び消防署の係員	140人
消防副士長	消防局及び消防署の係員	49人
消 防 士	消防局及び消防署の係員	51人
事 務 吏 員	消防局次長	1人
計		570人

9 消防団の活動

・消防団の組織

姫路市の消防団は、明治17年3月発足の船場本徳寺の私設消防組が、消防団規則（明治27年2月勅令第15号）公布により私設寺消防をそのまま移管、公設消防組として発足しました。

その後、周辺町村との合併等による市勢の変遷に伴い組織体制を改編し、現在、8団72分団、定員3,226人の体制となっています。

〔消防団の組織〕

区分 団	分団数	定 員	実 員
姫路東消防団	20	720	683
姫路西消防団	16	557	532
飾 磨 消 防 団	14	560	543
網 干 消 防 団	6	259	258
家島町消防団	4	170	160
夢前町消防団	7	560	517
香寺町消防団	3	240	236
安富町消防団	2	160	96
計	72 分団	3,226 人	3,025 人

・消防団の施設・装備

消防団には、地域の防災活動拠点となる分団車庫と災害時に機動力を発揮する消防ポンプ自動車を配備しています。

現在、施設整備事業として、市費による車庫建設、消防ポンプ自動車（C D - I 型）の更新を推進し、消防団活動の更なる充実強化を図っています。

〔消防ポンプ自動車等の配備状況〕

区分 団	消 防 ポンプ 自動車	普 通 積載車	軽 積載車	小 型 動 力 ポンプ
姫路東消防団	20	10	—	—
姫路西消防団	16	3	—	2
飾 磨 消 防 団	14	2	—	—
網 干 消 防 団	6	1	—	—
家島町消防団	3	—	17	—
夢前町消防団	7	—	1	—
香寺町消防団	3	—	1	—
安富町消防団	2	—	3	—
計	71台	16台	22台	2台

・消防団の業務・活動

非常勤の消防団員は、地域を愛するボランティア精神に基づき各自が職業に就きながら、消火活動のほか、地震や風水害などの大規模災害時等には、救出救助、避難誘導、災害防ぎょ活動を行っています。

平常時は、地域防災のリーダーとして、地域住民への防火・防災意識の啓発や訓練指導、火災予防や警備警戒活動にあたるなど地域の安全確保に努めています。

また、多様な災害に対応するため、訓練・研修を実施し、専門的技術や知識等の習得を図っています。

〔年間の主な活動・行事予定〕

予定月	活動・行事内容
1月	各団・各分団出初式 姫路市消防出初式 文化財防火デー総合訓練
3月	春季火災予防運動
4月	新入団員教養訓練
5月～6月	水防訓練
5月～翌3月	応急手当指導員養成講習(隔年)
5月～翌3月	消防団幹部視察研修
7月	中播磨地区消防操法大会(隔年)
9月～11月	姫路市総合防災訓練
10月	新入団員教養訓練
11月～3月	県消防学校幹部教育入校
11月	秋季火災予防運動 消防団幹部教育訓練
12月	消防団年末火災特別警戒

〔火災等活動(人員)状況〕 (令和2年中)

区分 団	火災	水防	訓練	年末警戒・ 予防運動等
姫路東消防団	598	0	76	3,096
姫路西消防団	618	0	576	3,186
飾 磨 消 防 団	490	0	418	2,314
網 干 消 防 団	175	0	246	1,287
家島町消防団	172	236	191	351
夢前町消防団	109	0	114	1,158
香寺町消防団	220	0	498	736
安富町消防団	60	0	17	377
計	2,442	236	2,136	12,505

・消防団協力事業所表示制度

姫路市消防団協力事業所表示制度は、複数の消防団員を従業員として雇用している事業所や消防団の訓練場所や災害発生時に資機材等を提供するなど、姫路市の消防団へ積極的に協力している事業所に対して、消防団協力事業所表示証を交付し、地域における当該事業所等の社会貢献を広報するとともに、地域防災力の充実強化を図るために実施する制度です。

《協力事業所の認定基準》

事業所等に消防関係法令上の違反がなく、以下のいずれかに適合しているときに申請若しくは推薦することができます。

- ① 10名以上又は従業員の10%以上の従業員が消防団に入団していること。
- ② 従業員等の消防団活動について、積極的に配慮していること。
 - ア 勤務時間中の消防団員としての出勤や訓練等に関する配慮をしている事業所等
 - イ 消防団活動を行う際に、賃金・手当等をカットしない等の配慮をしている事業所等
 - ウ 消防団活動を行うことに対して、昇進や昇給等で不利に扱わないように内部規定などで定めている事業所等
 - エ 消防団員から推薦があり、団員の任務遂行に特に積極的に協力していると消防団長が認める事業所等
- ③ 災害の発生時等に資機材等を消防団に提供するなど消防団活動に協力をしていること。

※ 「災害時等に事業所の資機材等を消防団に提供するなど協力をしている事業所等」とは、災害時における協定や覚書等を市と締結し、資機材を提供することが可能であり、消防団活動に係る協力体制を整備している事業所等
- ④ その他消防団活動に協力することにより、地域の消防防災体制の充実強化に寄与していること。

(令和3年4月現在)

表 示 証 交 付 事 業 所	71事業所
-----------------	-------



・実体験型講座「スマート消防団にズームイン！」

消防団は、地域防災力の中核として欠かすことのできない組織であり、消防団員は地域の防火防災のために昼夜を分かたず活動し、住民の安全安心を守っています。

しかし、消防団員数は微減傾向にあり、消防団員の確保は最重要課題となっています。消防団に入り活動していただくためには、まず消防団の理解促進が必要であることから、市民の方が放水や普通救命講習など消防団活動を体験できる取組として平成27年から始めました。

老若男女を問わず多くの方に参加していただいております。本イベントに参加し消防団へ入団された方もいらっしゃいます。



10 令和3年度消防局重点目標

本年4月、新たに策定された姫路市総合計画において、人口減少や少子高齢化の進行など、本市が直面する課題に的確に対応するため、新たな時代の潮流や行政需要を捉え、目指す都市の姿と基本的なまちづくりの方向性が示された。

消防局においても、大規模自然災害への備え、さらに新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すとともに、防災・安全安心分野における「災害に強く、安全で安心な都市」の実現に向け、令和3年度の重点施策として次の5つの施策を掲げ、各事業を推進する。

I 日常に潜む災害に対する市民意識等の向上

住宅火災による死者数と放火火災の低減を図るため、住宅用火災警報器の未設置住宅の解消及び適正な維持管理を促進し、防火意識の普及啓発の取組みを継続するとともに、近年、連続して出火原因の第1位となっている焼却火を原因とする火災の低減を図るため、効果的な予防広報を実施する。

市民の防火防災意識の高揚と地域防災力の向上を図るため、「ひめじ防災プラザ」の有効活用と、地域に密着した消防防災運動会「まもりんピック姫路」を消防署単位で開催し、幼少年から高齢者まで幅広い市民を対象に災害時に役立つ知識や技術の普及啓発に努めるとともに、災害時に的確な対応が出来る防災リーダーを育成し、地域ぐるみによる自主防災の輪を広げる。

①防火対策の推進

②防災啓発の推進

③応急手当の普及啓発

II 地域防災体制の強化

地域防災力の中核を担う消防団員の活動を支えるため、車両等装備品の充実を進める。また、若者を中心に、消防団活動を体験する「スマート消防団にズームイン！」を継続開催し、消防団への関心及び加入促進を図る。さらに、消防団幹部に対し、セーフティ・ファーストエイド研修を実施するなど、人材の育成にも取り組む。

①消防団体制の充実

②消防団活動の活性化

III 迅速かつ的確な救急搬送の実現

救急搬送時における受入先医療機関の選定が困難な症例等の解消や病院到着時間の短縮に向け、ICT（情報通信技術）を活用した救急搬送支援システムの本格運用を開始するとともに、新病院

での救急ワークステーション事業を見据えた調整を行い、医療機関との連携強化を図る。
指令業務 A I 支援システムを導入し、指令業務の迅速性及び正確性の向上を図る。

- ①救急需要対策の推進
- ②医療機関との連携強化
- ③指令業務 A I 支援システムの導入

IV 消防救急救助体制の充実

飾磨消防署家島出張所の部分改修を行い、消防防災拠点機能の強化と災害対応力の向上を図る。
全国各地で発生している大規模火災等を教訓に本市における密集市街地の防火対策を進めるとともに、安全で効率的な消防活動や大規模災害時における広域応援等に伴う統括指揮体制を強化する。

また、消防職員で救急艇を操船できるよう育成し、安定した海上の救急搬送体制を確立する。
年間 4 万件近い 119 番通報をはじめとする様々な緊急通報に、迅速かつ的確に対応するため消防情報通信指令システムの機能を最大限に活用し、適正な維持管理に取り組むとともに次期消防情報通信指令システムの更新に向けて検討し、基本構想を固める。

- ①消防・救急・救助拠点施設の充実
- ②消防・救急・救助車両・資機材等の充実
- ③救急体制の充実強化
- ④救助隊の充実強化
- ⑤消防指揮体制の充実強化
- ⑥消防指令体制の充実強化
- ⑦次期消防情報通信指令システムの更新に向けた検討

V 安全・保安体制の強化

「消防法」及び「石油コンビナート等災害防止法」に基づき、特定事業所への立入検査を実施するとともに、異常現象発生時における対応策の策定等について必要に応じて見直し、指導を行う。
また、自衛防災組織や防災協議会等の育成に取り組み、石油コンビナート等特別防災区域における総合的な防災体制の充実・強化を図る。

電化製品や自動車等の製品火災、住宅や防火対象物及び特定事業所等で発生した火災の原因を究明し、効果的な広報を実施することにより、再発防止対策を図る。

- ①危険物施設等の安全・保安体制の充実
- ②火災原因調査体制の充実

11 令和3年度消防局施策及び年間推進事項

ア 日常に潜む災害に対する市民意識等の向上

① 防火対策の推進

- ・ 防火意識の普及啓発
- ・ 防火対策の推進
- ・ 放火火災予防対策の推進
- ・ 防火管理体制の充実

② 防災啓発の推進

- ・ 「まもりんピック姫路」の開催
- ・ 防災プラザの活用
- ・ 自主防災訓練の促進

③ 応急手当の普及啓発

- ・ 救命・救急講習の実施
- ・ 応急手当普及員・指導員の育成

イ 地域防災体制の強化

① 消防団体制の充実

- ・ 施設の改修・車両の更新
- ・ 消防団装備の充実

② 消防団活動の活性化

- ・ 若手、女性消防団員等の加入促進
- ・ 消防団員の活動しやすい環境づくり

ウ 迅速かつ的確な救急搬送の実現

① 需要対策の推進

- ・ 救急搬送システムの導入
- ・ 救急車適正利用に向けた市民への啓発
- ・ 救急需要増に向けた体制強化
- ・ 指令業務A I 支援システムの導入

② 医療機関との連携強化

- ・ 救急ワークステーションの拡充
- ・ 地域メディカルコントロール体制下での事後検証体制の充実

エ 消防救急救助活動体制の充実

① 消防・救急・救助施設の充実

- 消防・救急・救助施設の改修

② 消防救急救助車両・資機材等の充実

- 車両・資機材の充実
- 耐震防火水槽の整備（密集市街地）

③ 救急体制の充実強化

- ・ 救急救命士の病院実習等の実施
- ・ 救急隊員への指示指導體制の整備
- ・ 離島における救急搬送体制の確保
- ・ 救急活動時の新型コロナウイルス感染症対策の強化

④ 救助隊の充実強化

- ・ 特別、高度、水難、山岳救助隊の充実

⑤ 消防指揮体制の充実強化

- ・ 指揮隊の拡充
- ・ 指揮者研修の開催

⑥ 消防指令体制の充実強化

- ・ 消防救急デジタル無線システムの効果的な運用、充実
- ・ 高機能消防指令システムの効果的な運用
- ・ 消防指揮隊及び関係機関との連携強化、情報連絡体制の確立

⑦ 次期消防情報通信指令システムの更新に向けた検討

- ・ 次期消防情報通信指令システムの更新に向けた検討

オ 安全・保安体制の強化

① 施設等の安全・保安体制の充実

- ・ 危険物施設、取扱者への検査、指導
- ・ 危険物事故への啓発
- ・ 火災・漏洩事故防止対策の充実強化

② 災原因調査体制の充実

- ・ 火災調査結果を活用した予防施策への反映・検証

このページは空白です。

第2章 災害を未然に防ぐために

住宅火災から大切な生命を守りましょう

～住宅用火災警報器の設置が義務付けられています～

つけて安心♪

大切な家族を守る

住宅用火災警報器

目覚めからの点検・維持管理を忘れずに

消防法の改正により、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています

姫路市消防局予防課 ☎079-223-9532 姫路市姫路東消防署 ☎079-238-0119 姫路市姫路西消防署 ☎079-294-0119
姫路市飾磨消防署 ☎079-233-0119 姫路市網干消防署 ☎079-273-0119 姫路市中瀬消防署 ☎0798-23-0119

このページは空白です。

1 予防広報

火災をはじめとする各種災害の発生を防止するとともに、その災害を最小限に止めるためには、市民一人ひとりが防災を自らの課題として考え、行動することが必要です。

そのため、新聞・テレビ・インターネット等の民間資力の活用をはじめとして、広報誌、パンフレット、ポスター等の製作・配布、ひめじ防災プラザでの学習・体験、広報車による巡回広報、消防教室等による広報活動を展開し、市民の防火防災意識の高揚を図っています。

・火災予防行事等の年間実施状況

春・秋季火災予防運動をはじめ、危険物安全週間、防災の日等のあらゆる機会を捉え、各種防火防災行

事を幅広く展開し、市民、各種団体、事業所等に対し、火災予防思想の普及を図っています。

行 事 名	実 施 日
防災とボランティアの日 (週間)	1月17日 (1月15日～1月21日)
文化財防火デー	1月26日
春季全国火災予防運動	3月1日～3月7日
危険物安全週間	6月第2週(日曜日から 土曜日までの1週間)
国民安全の日	7月1日
防 災 の 日 (週間)	9月1日(8月30日～9月5日)
119番 の 日	11月9日
秋季全国火災予防運動	11月9日～11月15日
年末火災特別警戒	12月20日～12月31日



文化財防火デー総合訓練「姫路城」

・広報手段

(1) 姫路シティFM21 (FM GENKI) での放送

消防局は、姫路シティFM21を防災メディアとして活用し、災害時や災害発生の恐れのある時など緊急時には、適切な情報を迅速かつ一斉に伝達したり、災害の発生状況や被害の状況など、きめ細やかな情報をリアルタイムに提供しています。

また、平常時は、地震、風水害、火災等の災害に関する豆知識、日常生活でのケガ、病気等の応急手当の方法、消防団の活動紹介や消防防災関係の訓練やイベントのお知らせを消防・防災啓発番組「わが町・元気」の中で放送しています。

「わが町・元気」の放送時間			
	月～金曜日	土曜日	日曜日
1回目	8:45～8:50	9:35～9:40	9:05～9:10
2回目	11:15～11:20	11:15～11:20	10:20～10:25
3回目	13:05～13:10	13:05～13:10	13:30～13:35
4回目	17:30～17:35	17:30～17:35	15:30～15:35

周 波 数 ; 79.3MHz

放送時間 ; 24時間

スタジオ所在地 ; 姫路市本町68

イーグレひめじ地下2階

(2) 姫路ケーブルテレビ(ウイנק)での放送

「消防局からのお知らせ」で、各種資格試験、行事予定など、市民の皆様知ってほしい消防に関する情報を、放送しています。

〔放送日時〕

日曜日 : 12時30分～12時35分

(市議会・秋祭り等の時期には、放送時間が変わります。)

(姫路ケーブルテレビの都合により、再放送がある場合があります。)



(3) 情報提供

市政記者クラブへの情報提供や、「広報ひめじ」、「姫路市ホームページ」への消防防災情報の掲載など、市民の防火・防災意識の高揚に努めています。

・音楽隊

姫路市消防音楽隊は、昭和25年7月に火災予防広報及び消防職員の士気の高揚並びに情操の育成を目的として、「姫路市消防局音楽愛好者の集い」として発足し、その後、昭和31年5月に音楽隊に関する規程が制定され、「姫路市消防局音楽隊」として新たに誕生しました。

当時は、現在と比べて一般的に音楽に対する理解も少なく、音楽隊の命である楽器は、そのほとんどが個人の物という状況でしたが、先人や各関係者のたゆまぬ努力により、楽器や出演、練習体制などの活動環境が良くなり、それに比例するように、演奏技術も格段に進歩しています。

現在も、全隊員が消防業務などに従事しながら兼務体制で取り組んでいますが、今では、市民に親しまれる『赤い制服の音楽隊』として、市内を中心に、市主催のセレモニーや消防局の行事など、年間20回程度のイベントに出演しています。

〔音楽隊の組織〕

等	階級	合	総務課長	消防司令	消防司令	消防士長	消防副士	消防士
		計						
総数		28	1	1	11	10	5	-
隊長		1	1	-	-	-	-	-
副隊長		2	-	1	1	-	-	-
演奏担当		25	-	-	10	9	5	1
演奏担当	楽長	1	-	-	1	-	-	-
	副楽長	3	-	-	3	-	-	-
	隊員	21	-	-	6	9	5	1

〔音楽隊の編成〕

総 数				25
ク	ラ	リ	ネ ッ ト	4
サ		ッ	ク ス	4
フ		ル	ー ト	1
ト	ラ	ン	ペ ッ ト	4
ホ			ル ン	2
ト	ロ	ン	ボ ー ン	3
ユ	ー	フ	オ ニ ア ム	1
チ	ュ	ー	バ	1
パ	ー	カ ッ シ ョ ン		4
指		揮	者	1



〔過去10年間の出演回数〕

年度（平成）	24	25	26	27	28	29	30	31	R2
出演回数	22	27	27	25	21	22	19	15	2

2 防火指導

・立入検査

立入検査は、消防対象物の自主防火管理状況を消防職員による定期的な立入検査によって確認し、火災発生危険やこれに伴う人命危険を予防させることを目的とし、消防対象物を規模や用途により区分しています。

(令和2年度)

区 分	立入検査実施数			内 容
	総計	姫路市	受託町	
特 種 査察対象物	227	213	14	①カラオケボックス、旅館・ホテル等、病院（避難困難施設）、有料老人ホーム関係、宿泊入居の伴う児童・社会福祉施設等 ②特定用途防火対象物で3階以上に特定用途部分が存し、かつ屋内階段が1系統しかないもの
第 1 種 査察対象物	325	294	31	①延面積700㎡以上のホテル・病院・百貨店等(特定用途防火対象物)で、自動火災報知設備・屋内消火栓設備等(固定消防用設備)の設置を必要とするもの ②重要な文化財として指定・認定された建造物
第 2 種 査察対象物	143	121	22	○延面積1,000㎡以上の工場・倉庫・学校等(非特定用途防火対象物)で固定消防用設備の設置を必要とするもの
第 3 種 査察対象物	516	417	99	○特・第1・2種以外の防火対象物で、固定消防用設備の設置を必要とするもの
第 4 種 査察対象物	760	672	88	①特・第1・2・3種以外で、消防用設備の設置を必要とするもの ②防火管理者の選任を要する対象物で、消防用設備の設置を必要としない防火対象物 ③火災予防条例に定める少量危険物又は指定可燃物の貯蔵・取扱いの届出を必要とするもの

・消防同意等

消防同意とは、消防機関が防火の専門家としての立場から、建築行政等に対して、建築物の新築等の段階で防火上のチェックを行い、予防行政の目的を達成しようとするものです。

公共施設の新築等の計画については、消防同意の対象とならないものもありますが、その場合についても、消防局がその計画（計画通知）に対して消防同意と同様のチェックを行います。

(令和2年度)

区 分	件 数		
	総 数	姫 路 市	受 託 町
消 防 同 意	719	675	44
計 画 通 知	36	35	1

・防火対象物定期点検報告制度

一定の防火対象物の管理について権原を有する者は、防火対象物点検資格者に防火管理上必要な業務等について点検させ、その結果を消防機関に報告することが義務づけられています。点検を行った防火対象物が基準に適合している場合は、点検済の表示を付することができます。

また、消防機関に申請してその検査を受け、一定期間継続して消防法令を遵守していると認められた場合、3年間点検・報告が免除されるとともに、防火優良認定証を表示することができます。

(令和2年度)

防火対象物定期点検制度対象物	総 数	姫路市	受託町
	627	577	50

・表示制度

ホテル・旅館等の宿泊施設からの申請に基づいて、消防機関が審査した結果、消防法令のほか、重要な建築構造等に関する基準に適合していると認められた建物に表示マーク（「適マーク」）を交付する制度です。

宿泊施設は、表示マーク（「適マーク」）を掲出して安全安心情報を利用者に提供することができません。外国人宿泊客の増加をふまえ、表示マーク（「適マーク」）には英語・中国語・韓国語を併記しています。

（令和3年4月1日現在）

姫路市消防局管内 表示マーク交付数	6（銀）
	10（金）



※「表示マーク（適マーク）」には金色と銀色の2種類があります。

3年間継続して「表示マーク（適マーク）（銀）」が交付され、表示基準に適合していると認められた場合は、「表示マーク（適マーク）（金）」が交付されます。

・防火管理

（1）防火管理者の役割

消防法では、一定規模以上の建物に「防火管理者」を定め、防火管理上必要な業務を行うことが義務づけられています。

防火管理者制度とは、人の手による自主的な火災予防を目的としたものであり、日常における火気管理はもとより火災等の発生時の初期活動（人命の安全確保・火災の拡大防止・被害の軽減）を効果的に行うために重要な役割を果たしています。

（令和2年度末）

区 分	義務対象物数	選任対象物数	選 任 率
合 計	5,174	4,447	86%
姫 路 市	4,823	4,122	85%
受 託 町	351	325	93%

参照 ⇒ P69「10 防火管理者・消防計画を必要とする防火対象物の届出状況」

（2）防火管理講習

消防法に規定する防火管理者の資格を取得するための講習を、年間7回（甲種7回・乙種1回）行っています。また、再講習の受講義務のある建物の防火管理者に選任されている方を対象として、再講習を年間2回行っています。

〔受講状況〕 （令和2年度）

区 分	受講人員
甲 種	433人
乙 種	2人
再 講 習	75人

・住宅防火対策

（1）住宅用火災警報器等の普及促進

平成16年6月の消防法改正により、住宅の用途に供される防火対象物に住宅用火災警報器等の設置が義務づけられました。

これは、当時、住宅火災による死者数が増加傾向であり、特に逃げ遅れによる死者を減少させるためのものです。

住宅用火災警報器は、煙を自動的に感知し、ブザーや音声で住宅内の火災発生を知らせる機器で、寝室として使用する部屋と寝室が2階以上にある場合は階段にも取り付けることが義務付けられています。この機器の設置及び維持に関する事項等については、姫路市 火災予防条例で定めています。（H17.10改正）

令和2年7月現在、設置率71%、条例適合率48%で推移しています。



（2）高齢者対策

住宅火災における犠牲者で高齢者の比率が高いことから、この種の犠牲者を一人でも少なくするため、住宅用火災警報器・住宅用消火器の設置や防災製品などの使用を勧めたり、火気使用時の注意事項を、各種講演会・住宅訪問などの機会を通じて、市民指導を実施しています。

また、高齢者に見やすいチラシ・ポスターを作成したり、ケーブルテレビ、新聞、各種機関誌などを活用して啓発しています。

・民間防火組織の育成

(1) 民間防火クラブ交流委員会

今後の人口減少社会を踏まえ、各消防署（5署）単位で、婦人防火クラブや幼年消防クラブの活性化を図り、消防団とも連携した組織を結成し、地域ぐるみで災害に強いまちづくりを目指しています。

(2) 婦人防火クラブ

地域の安全や安心等の基盤づくりに女性の参画を促し、女性の視点や観点を活かした防災体制を確立するため結成された組織です。

女性が主体となった消防訓練や家庭防火に関する消防教室等を実施し、地域防災の要として活動しています。



〔結成状況〕 (令和3年4月1日現在)

43クラブ	4,015人
-------	--------

(姫路市のみ)

(3) 幼年消防クラブ

幼年期から、防火の重要性や災害に対する知識を習得することで、成人してからも、火災予防や防災に対する意識を持ち続け、災害時に適切に対応できる人材を育成するため活動を行っています。



〔結成状況〕 (令和3年4月1日現在)

区 分	クラブ数	クラブ員数
幼年消防クラブ	65クラブ	2,911人

・違反対象物公表制度

重大な消防法令違反のある建物について、その建物を利用する方自らが火災危険性に関する情報を入手し利用について判断ができるよう、消防法令違反を消防局ホームページに公表する制度です。

○公表の対象となる建物

- ・飲食店、百貨店、宿泊施設などの不特定多数の方が利用する建物
- ・病院、社会福祉施設などの1人で避難することが困難な方が利用する建物

○公表の対象となる違反

建物に設置が義務付けられている「屋内消火栓設備」、「スプリンクラー設備」又は「自動火災報知設備」のいずれかが消防法令に違反して設置されていないもの

○公表の内容

「建物の名称」「建物の所在地」「違反事項・場所」「公表日」「管轄消防署」

○公表HPアドレス…<https://www.city.himeji.lg.jp/bousai/0000004868.html>



3 危険物規制

・危険物保安体制

近年の科学技術、産業経済の発展により、危険物の態様とそれを取り巻く環境には著しい変化がみられ、それに伴い危険物に起因する災害も多様化しています。

消防局においては、危険物災害の絶滅を期するため、立入検査や講習会等の機会を通じ、危険物の貯蔵・取り扱いの実態に即した保安体制の確立を図り、併せて地震時等における危険物保有事業所の自主防災体制のより一層の充実・強化を図っています。

また、危険物の取り扱いがますます多様化する傾向の中、危険物災害の未然防止を図り、市民生活の安全を更に高めていくため、厳正な法令等の執行とともに、危険物取扱者に対する適正な指導及び査察体制の充実強化に努めています。

・石油コンビナート等特別防災区域

石油コンビナート等災害防止法に基づき、姫路市の南部約18.99km²が姫路臨海地区特別防災区域に指定（昭和51年7月14日）されています。

同地区は、15事業所が特定事業所に指定され、各事業所では、防災資機材等を設置し、防災体制を確立しています。

更に、特別防災区域の防災対策を総合的・計画的に推進するため、「兵庫県石油コンビナート等防災計画」が定められています。

〔特定事業所数〕		令和2年度末	
区分	総数	第一種事業所	第二種事業所
		6	9

・保安教育

危険物施設事故の原因は、管理や確認が不十分であったなど人的要因によるものが大半を占めており、なかでも作業・設備点検マニュアルの不徹底等が見受けられます。

この種の事故を未然に防止するため、危険物取扱者等に対し防災意識の高揚及び通報体制の整備充実を指導し、自主保安体制の確立を図っています。

また、毎年6月の第2週の「危険物安全週間」には、危険物安全大会を開催し、防災講演会を実施するほか、危険物安全週間ポスターの作成配布、広報媒体を通じた危険物の安全管理意識の啓発を図るとともに、各種消防訓練の実施、危険物施設の立入検査、予防規程・防災規程、各種計画等の見直し指導を行っています。

〔保安教育等実施状況〕			(令和2年度末)
区 分	回 数	受講人員	
合 計	13	1,390	
保 安 講 習	9	931	
危険物取扱者教育	4	459	



第3章 市民の生命財産を守るために



119番通報をするときは、
次の点に注意してください！

- ・ 場所がわからない場合は、近くの目標物を教えてください。
- ・ 聴き取り中でも、消防車や救急車は出動させています。
あわてずに係員が尋ねる内容に答えてください。
- ・ 通報の後でも携帯電話の電源は切らないでください。
再度、係員が確認のためにかけ直す場合があります。
- ・ 火事など災害のお問い合わせは、
テレホンガイド(災害案内)0180-997-007へ
問い合わせ等、緊急性のない場合は、代表電話(079) 223-0003へ
かけてください。
- ・ 自分で病院へ行くか、救急車を呼んだほうがよいか迷ったら、
「姫路市救急受診ガイド」を活用してください。

このページは空白です。

1 消防指揮体制

南海トラフ地震、大規模火災等に対し、隊員の安全を確保しつつ、迅速かつ効果的に活動するため、現場指揮を専門とする消防指揮隊を平成28年度から編成しています。

現在、姫路東指揮隊・姫路西指揮隊・飾磨指揮隊の3隊で受託町を含む全域の災害に対応しています。

消防指揮隊は、ドローンやタブレット端末等を活用した情報収集により、消防指令センターへ映像情報を送信し、緊密な連携を図りながら、消防活動を行っています。

2 火災活動体制

・火災出動体制

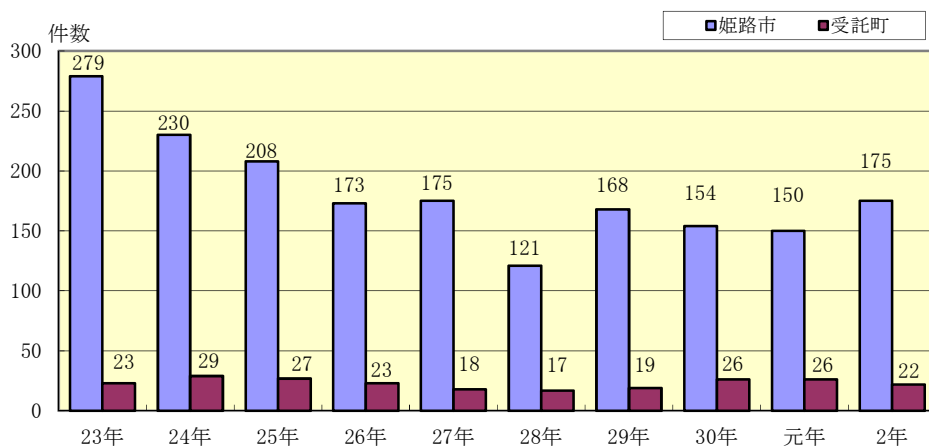
消防指令センターのコンピュータ（高機能消防指令システム）が火災種別に応じて出動車両を自動編成し、これにより出動指令を受けた各消防隊等は、保有する消防力を有効に活用して、人命救助、火災の鎮圧などの活動を行います。

常備消防としては、1本部・5消防署・2分署及び13出張所に指揮隊車3台、小型水槽付消防ポンプ自動車（ST車）16台、水槽付消防ポンプ自動車（タンク車）9台、はしご車・救助工作車・救急車等の緊急車両54台、消防艇及び救急艇各1隻を配置し、出動体制を確保しています。（消防団関係については別掲）

あらかじめ定められた出動基準に基づき、火災分類及び出動区分に応じて出動するほか、火災の状況によっては更に特命による出動で対応しています。



〔過去10年間の火災発生状況〕



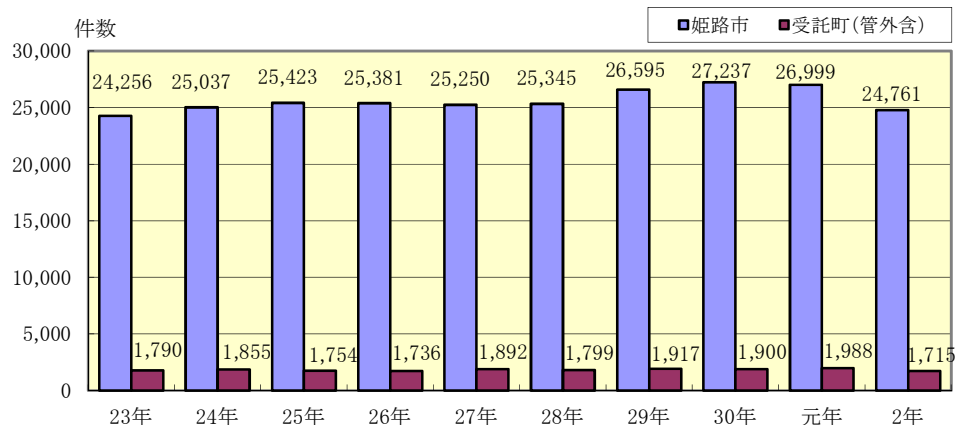
3 救急活動体制

・救急出場体制

消防指令センターは119番通報を受信し、原則、救急現場に最も早く駆けつけられる救急隊を出場させます。出場指令を受けた各救急隊は、救急資器材を迅速・的確に活用し、傷病者に応急救置を施しながら医療機関まで搬送します。

救急隊は、18隊で活動しており、救急要請に24時間体制で対応しています。

〔過去10年間の救急出場の推移〕



・救急業務の高度化

平成3年の救急救命士法等の制定による救急高度化に対応して、平成4年に初の救急救命士が誕生し、令和3年4月1日現在、139人となっています。

平成5年に高規格救急車と高度救急資器材を配備し、運用を開始しました。

・派遣型救急ワークステーション

平成28年4月から「派遣型救急ワークステーション」事業の運用を開始し、医療機関と救急隊との連携を充実・強化し、質の高い救急サービスの提供を目指しています。

・救急搬送支援システム

救急隊と病院が患者の受け入れ可能状況などをリアルタイムで共有し、救急搬送時間の短縮に努めます。令和2年度には試験運用を実施し、令和3年10月の本格稼働を目指しています。

・応急手当の普及啓発

救急患者の身近にいる市民等が素早い応急手当を行い、救急隊員そして医師へと救命リレーすることが、救命率をより向上させることに繋がります。

市民に対して応急手当普及員の養成、普及啓発用資器材の配備などを図り、自動体外式除細動器（AED）の使用方法を含めた「普通救命講習」等の講習会を行っています。



(令和2年中)

〔講習会実施状況〕

区 分	回数	人数
普通救命講習	61	710
その他の救急講習	74	2,097

・PA出動

直近の消防車を出動させ、救急隊が到着するまでの間、応急処置と情報収集を実施し、救命効果の向上と初動対応の迅速化を図るものです。

現在、救急隊が現場到着までに時間を要する地域の3小学校区（大塩・的形・谷内）で、屋外で発生した救急事故及び屋内における重症以上の事故により、PA出動が必要と判断した事案を対象に運用しています。

〔PA出動状況〕 (令和2年中)

事故種別	交通 事故	一般 負傷	労働 災害	急病	その他	合計 (件)
出動校区						
大 塩	5	6	-	18	2	31
的 形	7	9	-	11	-	27
谷 内	4	9	-	3	-	16
合計(件)	16	24	0	32	2	74

・「👤 Thanksカード」の配布

平成28年9月9日から応急手当をして頂いた市民の方に「👤 Thanksカード」を配布しています。
感謝の気持を表すことはもちろん、応急手当に対する不安等にも対応するため、相談窓口も記載しています。

4 救助活動体制

・救助出動体制

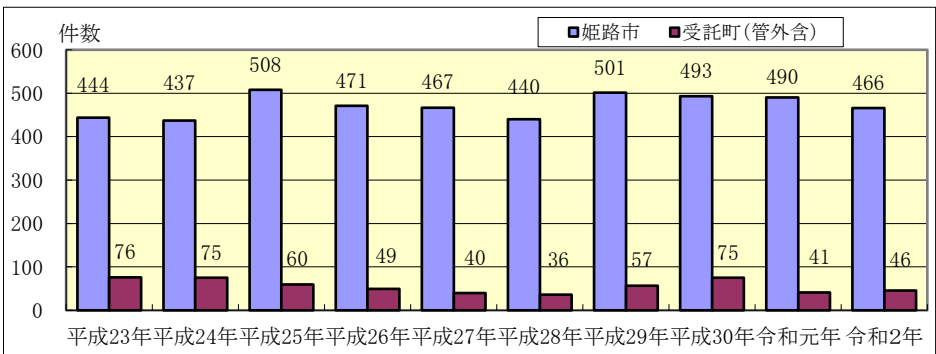
複雑多様化している社会情勢を反映するように災害も複雑大規模化の傾向があり、テロ災害等の人為的災害も含まれるようになりました。

これらの災害から、自力避難の困難な要救助者を確実に、迅速に安全な場所へ救出するとともに、救急隊に引き継ぐことを任務とする救助隊は、必要不可欠です。

昭和61年に救助隊を編成することが法制化され、平成18年の改正により本市においても、救助工作車を3台配備するとともに、高度救助隊1隊、特別救助隊2隊、署救助隊3隊を編成して救助事案に対応しています。

また、平成18年9月から日本DMAT研修（災害医療派遣チーム）に参加し、大規模災害時における現場でのレスキューと医療の連携要領を研修しています。

〔過去10年間の救助出動の推移〕



〔救助出動状況〕 (令和2年中)

区 分	救助 出動件数	救助 活動件数	救助人員
総 数	512 (466)	292 (270)	229 (208)
火 災	91 (76)	18 (15)	11 (7)
交 通 事 故	89 (79)	54 (49)	63 (56)
水 難 事 故	18 (17)	17 (16)	19 (18)
風水害 自然災害	0 (0)	0 (0)	0 (0)
機 械 事 故	7 (7)	6 (6)	8 (8)
建物等による 事故	169 (162)	160 (153)	94 (91)
ガス及び酸欠事 故	2 (2)	1 (1)	1 (1)
そ の 他	136 (123)	36 (30)	33 (27)

() 内は姫路市の数値



・救助業務の高度化

(1) 国際消防救助隊 (I R T)

姫路市は、平成13年4月1日に国際消防救助隊員を登録し、これまで県下4消防本部の合同訓練、国が行う連携訓練、J I C A (国際協力機構) が実施する資機材習熟訓練、セミナー等に参加し、国際緊急援助隊 (J D R) の救助チームの一員として、海外の災害に隊員を派遣する体制を整えています。



※兵庫県下の登録市 神戸市・尼崎市・西宮市・姫路市

※全国の登録消防本部と隊員数 77消防本部 599人

【愛ある手】

(2) 水難救助隊

昭和47年9月に潜水救助活動中の救助隊員2人が濁流にのまれ殉職しました。以来、水難救助業務を民間ダイバークラブに委嘱していましたが、平成15年4月1日から潜水士の資格を持ち、過酷な訓練を重ねた消防職員で編成された「姫路市消防局水難救助隊」を発足させました。

管内で発生する水難事故に対していち早く現場に出動するため、平成17年度には水難救助車を導入し、陸上部隊と連携をとりながら、水難救助活動を展開しています。



(3) 山岳救助隊

平成18年3月、市町合併等広域化により、雪彦山等の急峻な山岳地帯を管轄することとなりました。

山岳救助に係る専門的な知識や技能及び技術を研修や訓練により修得し、平成20年10月に「姫路市消防局山岳救助隊」を発足、危険な山岳部での救助活動に対応しています。



5 緊急通報受信体制

消防活動の中核的役割を果たす消防指令センターでは、119番通報をはじめ、あらゆる手段による緊急通報の受付を行っています。

平成28年4月には、消防情報通信指令システムを更新し、大規模災害に備え、災害即応力の充実強化を図りました。

係員はこのシステムを活用し、緊急通報の受付から消防署所への出動指令、活動支援、情報収集や関係機関への連絡などの業務を行っています。

また、聴覚や言語などに障害のある方からの音声によらない119番通報を可能とするため、携帯電話などのインターネット機能を用いたNET119や、外国人からの通報に確実に対応できる同時通訳のサービスも行っています。



・ 119番通報

令和2年中の119番通報の受信件数は、39,600件でした。

その内「災害問い合わせ」、「医療機関問い合わせ」、「まちがい」及び「いたずら」等の緊急性のない通報が9,983件もあり、全体の25.2%を占めています。緊急性のない通報は、救いを求めている方からの一刻も早い通報の妨げとなるため、適切な119番通報を心がけて頂くようパンフレットやマスメディアを活用した啓発を行っています。

(1) I P 電話からの119番通報

平成16年9月から一部 I P 電話事業者からの119番通報の受信を開始し、現在では、5事業者からの119番通報を受信しています。

(2) 携帯電話からの119番通報

平成10年4月から、全ての携帯電話からの119番通報が可能となり、現在では、4事業者からの119番通報を受信しています。

平成19年4月からは、携帯電話発信位置表示システムを導入し、通報者の位置等を迅速に把握することが可能となりました。平成28年4月からは、統合型位置情報通知システムを導入し、携帯電話・ I P 電話と固定電話からの通報位置を通知するシステムを統合しました。

令和2年中の受信件数は22,007件で、119番通報全体の55.6%を占めています。

・ 119番以外による通報

(1) F A X 119

聴覚や言語機能に障害のある方のために、ファックスで消防指令センターへ通報するシステムです。

平成19年4月からは、局番なしの119番でファックス送信ができるようになりました。

(2) N E T 119

聴覚や言語機能に障害のある方のために、携帯電話やスマートフォンのインターネット機能を利用して、消防指令センターに通報するシステムです。

平成19年4月から運用を開始したW e b 119から機能強化を図ったもので、利用するためには、事前に消防指令センターへの申込が必要です。

・ 外国語同時通訳機能

平成28年4月から外国人観光客など、日本語によるコミュニケーションが困難な方からの119番通報に対応するため、5カ国語（英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語）の同時通訳サービスを開始しました。平成30年6月には、フランス語等も追加し、16カ国語による119番通報に対応しています。

119番通報時には通報者と係員、コールセンターの三者が、災害現場では通報者と救急隊、コールセンターの三者が、それぞれ三者通話により円滑なコミュニケーションを実現しています。

・ 119番による応急手当の指導

119番通報を受け、救急車が現場に到着するまでの間に、消防指令センターの係員が通報者に対して、心肺蘇生法等の応急手当の方法を口頭で指導しています。

そのため、傷病者の状態を係員に分かりやすく説明してください。聴き取りに基づき適切な応急手当の方法を電話で指導します。指導された内容を実行することは大変なことと思いますが大切な命を救うため、日頃から消防局が行っている応急手当の講習会に進んで参加し、いつでもどこでもできるようにしておいてください。

6 その他

平成13年9月1日に発生した東京都新宿区歌舞伎町の雑居ビル火災により、多くの尊い人命が奪われたことから、「魚町・塩町地区における消防自動車等の活動障害等に関する連絡会議」を設置しました。

この連絡会議は、西播磨最大の歓楽街である魚町・塩町地区周辺において、人命救助や消火活動障害となる違法駐車や電線類等について、行政、住民及び関係機関が共通の危機感を持つとともに、一体となった運動を実施し、現状を改善していくことを目的としています。

7 相互応援体制

市町村は、当該市町村の区域における消防を十分に果たす責任を有しますが、本市では、大規模災害等発生時の消防力の確保のため、消防組織法第39条の規定に基づき、県下・隣接地域等における消防に関する相互応援を締結しています。

他の消防本部との協定等

緊急消防援助隊への登録	国内で発生した大規模災害時における消防庁長官の応援措置による人命救助活動等を、より効果的かつ充実したものとするため、緊急消防援助隊要綱が法制化され、当市からも指揮隊1隊、消火小隊9隊、救助小隊1隊、特殊災害小隊2隊、救急小隊4隊、後方支援小隊3隊、通信支援小隊1隊、特殊装備小隊2隊を登録しています。
大規模特殊災害時における広域航空消防応援	国内で発生した大規模特殊災害等において、全国の消防組織が保有する防災ヘリコプター等による広域航空消防応援が円滑かつ迅速に行われるよう、広域航空消防応援実施要綱が制定されています。 これにより、本市においても全国規模の航空消防応援を受けることが可能となっています。
兵庫県広域消防相互応援協定	全県的な広域相互応援及び航空応援体制の確立を目的としています。
消防業務の相互応援に関する協定	隣接の市（加古川市・高砂市）及び行政事務組合（南但広域行政事務組合、北はりま消防組合、西はりま消防組合）との協定で、境界付近の火災又は救急救助事故等に対処することを目的としています。
山陽自動車道消防相互応援協定	山陽自動車道上において災害が発生した場合、協定市等（姫路市・西宮市・三田市・神戸市・三木市・小野市・加古川市・西はりま消防組合・赤穂市・東備消防組合（岡山県））が相互に応援し、その応急対策活動に万全を期することを目的としています。
播但連絡有料道路における消防業務の相互応援に関する協定	播但連絡有料道路上において災害が発生した場合、兵庫県道路公社と姫路市、南但広域行政事務組合が相互に応援し、応急対策活動に万全を期することを目的としています。
中国自動車道のうち兵庫県の区域における消防相互応援協定	中国自動車道上において災害が発生した場合、協定市等（姫路市・川西市・伊丹市・宝塚市・西宮市・三田市・神戸市・三木市・北はりま消防組合・西はりま消防組合）が相互に応援し、その応急対策活動に万全を期することを目的としています。
消防活動資機材及び支援物資等相互応援協定	姫路市、和歌山市、堺市及び徳島市との協定で、大規模災害発生時に単独市等の消防活動資機材で対処できない場合に、これらの調達に関して相互に応援し、災害活動体制の補完を図ることを目的としています。

その他の協定等

船舶火災の消火等に関する業務協定	姫路市と姫路海上保安部が業務協定を締結、相互の協力体制を確立し、有事に備えています。
鉄道事故時の安全対策に関する覚書	消防機関（全国消防長会近畿支部の消防機関）と鉄道機関（西日本旅客鉄道㈱・近畿日本鉄道㈱・阪急電鉄㈱・京阪電気鉄道㈱・南海電気鉄道㈱・阪神電気鉄道㈱・山陽電気鉄道㈱・神戸電鉄㈱・大阪市高速電気軌道㈱）との覚書で、鉄道事故災害が発生した場合の相互連絡・協力体制を定めることにより、安全で迅速な災害防除活動及び公共交通機関の早期運転再開を実施することを目的としています。
消防業務に係る燃料調達に関する覚書	横田石油株式会社との覚書で、大規模災害時等の燃料を確保することを目的としています。

第4章 災害について楽しく学ぶために

防火防災について
見て・知って・体験しましょう



このページは空白です。

1 ひめじ防災プラザ

地震・風水害・火災・・・災害はいつどこで発生するか予測できません。

ひめじ防災プラザは、総合的な体験を通して市民一人ひとりが防災の重要性を理解し、日頃から万一来臨することができるよう、防火防災に関する知識と技術を学習することを目的とした施設です。

日常に潜む災害の恐ろしさを忘れないために、そして、災害が起こったときの被害を最小限に抑えるために、防火防災について「見る」・「知る」・「体験する」ことで楽しみながら、大切な人や街を守る手段を学ぶ施設として平成26年2月に一部リニューアルし、より充実したものとなりました。

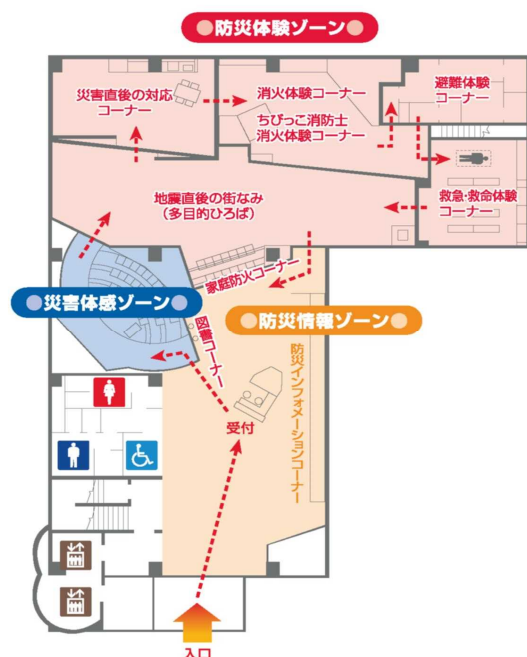
・施設の利用

開館時間	午前9時30分～午後5時00分まで
休館日	月曜日（祝・休日の場合を除く。） 祝・休日の翌日（土・日曜日の場合は除く。） 毎月第3火曜日 年末年始（12月28日～1月4日）
入館料	無料
場所	兵庫県姫路市三左衛門堀西の町3番地 姫路市防災センター1階
交通(アクセス)	・JR山陽新幹線・山陽本線「姫路駅」下車、南口から南へ徒歩約20分 ・姫路駅南口発の神姫バス16・91・97・98・99番系統「姫路市役所前」下車すぐ ・山陽電鉄「手柄駅」下車、東南へ徒歩約8分
申し込み	10名以上の団体でのご利用の場合は事前予約が必要です。 （電話で予約された後、所定の用紙でFAXもしくは郵送にて申し込む。） 電話 (079) 223-9977 Fax (079) 223-9978

・施設の紹介

ひめじ防災プラザは、「防災情報ゾーン」・「災害体感ゾーン」・「防災体験ゾーン」の3つのゾーンで構成されています。

とくに「災害体感ゾーン」は、日常では体感できない数々の災害現象を再現し、「災害のメカニズムと怖さ」が体験できます。



(1) 防災情報ゾーン



開放的なエントランススペースで、気軽に役立つ防災情報や関連グッズを紹介しています。

(2) 災害体感ゾーン



地震、風水害、火災などを科学的にとらえ、災害のメカニズムを知るとともに、地震や気象など災害の要因となるさまざまな現象を迫力ある3D映像、音響、ボディソニックなど特殊演出装置により体感できます。

(3) 防災体験ゾーン（災害直後の対応コーナー）



地震により、崩壊した部屋（居間や台所）で地震直後に何をしなければならないのか？を学ぶコーナーです。

(4) 防災体験ゾーン（消火体験コーナー）



火災発生時の初期消火の対応方法を学びます。
大声で知らせる、模擬消火器による消火活動などの体験を行います。

(5) ちびっこ消防士消火体験コーナー



こどもたちが防火衣を着て「ミニ消防車」を操作し、大型スクリーンに映し出された炎上する建物に放水・消火するという臨場感のある消火体験ができるコーナーです。

(6) 防災体験ゾーン（避難体験コーナー）



視界をさえぎる煙の中を避難する方法を学びます。
暗視カメラ装置で姿勢のチェックができます。

(7) 防災体験ゾーン（地震直後の街なみ） 〔多目的ひろば〕



災害時の街並みを再現した臨場感ある空間の中で、復習映像を見たり、危険箇所を発見したり、ワークショップに参加したりと「何かが隠れている、発見と学習の空間」です。

(8) 防災体験ゾーン（救急・救命体験）



心臓や呼吸が止まった人の命を救う心肺蘇生法や自動体外式除細動器（AED）の講習を行います。

・イメージキャラクター「Bee」

ひめじ防災プラザのイメージキャラクター「Bee」は、勇敢なハチの消防隊員をイメージしたものです。

平成27年12月、ひめじ防災プラザでのイベントや市内の消防行事に向き、防火・防災の大切さを伝えるために、着ぐるみを制作しました。イベントなどに登場した際は、子供たちに囲まれ、抱きつかれたり、一緒に記念撮影を行ったりして大変親しまれています。



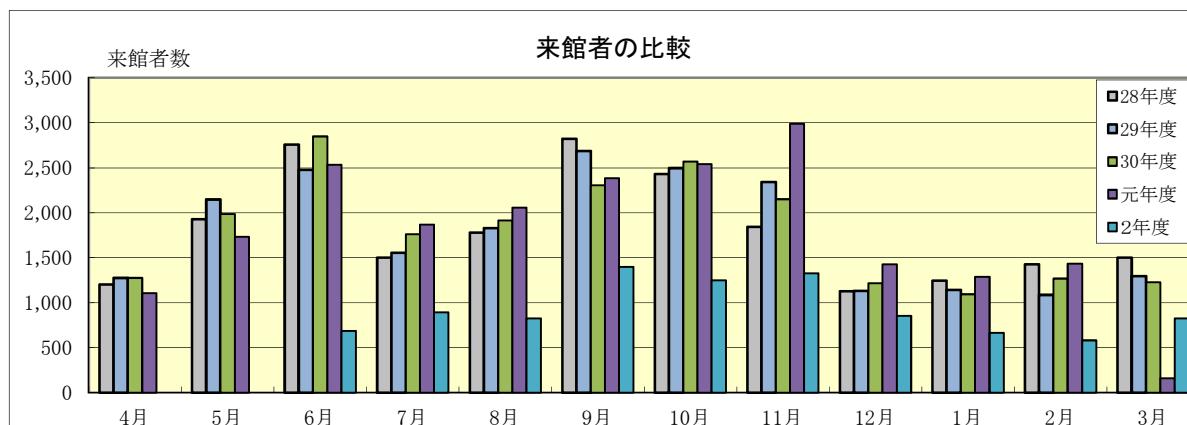
・来館状況

(1) 過去5年間の年度別来館者数

合 計	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	21,553	21,455	21,604	21,505	9,291

(2) 過去5年間の月別来館者数

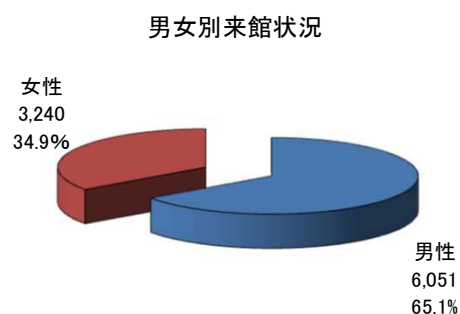
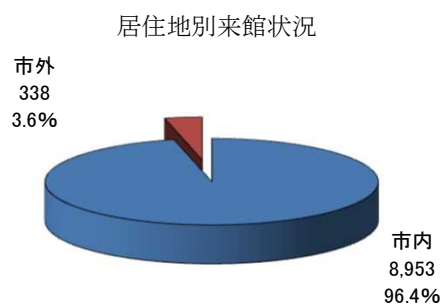
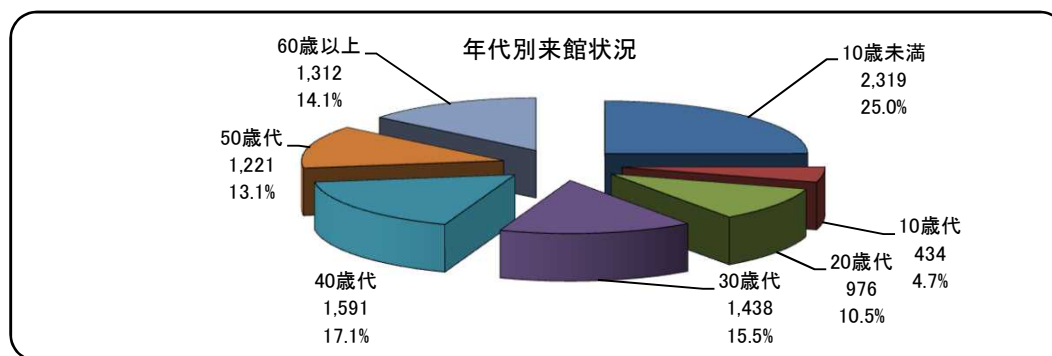
合 計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成28年度	1,200	1,928	2,756	1,502	1,777	2,819	2,429	1,843	1,128	1,243	1,426	1,502
平成29年度	1,273	2,146	2,473	1,554	1,830	2,686	2,494	2,343	1,133	1,141	1,085	1,297
平成30年度	1,274	1,987	2,848	1,758	1,913	2,304	2,568	2,149	1,216	1,092	1,269	1,226
令和元年度	1,108	1,730	2,535	1,867	2,056	2,382	2,540	2,985	1,425	1,289	1,430	158
令和2年度	0	0	686	891	825	1,396	1,245	1,327	853	665	579	824



(3) 年代別・居住地別来館者数

(令和2年度中)

年代 区分	合 計	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
合 計	9,291	2,319	434	976	1,438	1,591	1,221	1,312
市 内	8,953	2,203	409	959	1,388	1,554	1,189	1,251
市 外	338	116	25	17	50	37	32	61
小 計	3,512	1,694	316	505	283	239	219	256
団 体	3,304	1,639	296	493	262	228	189	197
市 内	3,304	1,639	296	493	262	228	189	197
市 外	208	55	20	12	21	11	30	59
小 計	5,779	625	118	471	1,155	1,352	1,002	1,056
個 人	5,649	564	113	466	1,126	1,326	1,000	1,054
市 内	5,649	564	113	466	1,126	1,326	1,000	1,054
市 外	130	61	5	5	29	26	2	2



・各種イベント等（令和3年度）

行 事 名	実 施 日
ゴールデンウィーク企画「こども防災フェア」	5月3日～5月5日（中止）
トライやるウィーク受け入れ	未定
親子で体験！「チャレンジ消防教室」	8月1日
消防音楽隊ふれあいコンサートと消防・防災体験	中止
「防災の日」企画展示	8月30日～9月5日
令和3年度防火ポスター展	11月2日～11月15日
「津波防災の日」企画展示	11月2日～11月7日
1.17「ひょうご安全の日」企画展示	1月15日～1月21日
3.11「東日本大震災」企画展示	3月9日～3月14日

2 施設見学

姫路市防災センターや各消防署では、消防・防災業務を深く理解していただくために各種団体からの申し込みを受け付けています。庁舎や資機材、車両等を見学していただき、併せて消防・防災業務への協力等も呼びかけています。



3 防火・防災ビデオ・DVDの貸し出し

各消防署では、市民の方に広く防火防災のことを知っていただくために、DVDを貸し出しています。

- ・消防のしごと
- ・ズッコケ三人組のぼうさい教室(アニメ)
- ・のぶながくんのみんなで約束火の用心(アニメ)
- ・増加している高齢者住宅火災 など

貸し出しのお問い合わせ

姫路東消防署予防担当	288-0119
姫路西消防署予防担当	294-0119
飾磨消防署 予防担当	233-0119
網干消防署 予防担当	273-0119
中播消防署 予防担当	(0790)23-0119



4 トライやる・ウィークの受け入れ

兵庫県では、中学2年生が地域や自然の中で「生きる力」の育成を図るため「トライやる・ウィーク」を実施しています。

姫路市消防局も中学生の受け入れに協力し、生徒の豊かな感性や創造性を高めたり、自分なりの生き方を見つけることができるように支援しています。

将来、この体験が、火災予防や人命救助に役立つことを期待しています。



〔受入状況〕

(令和2年度)

0 校	0 人
-----	-----

5 市政出前講座

市政のことや市民生活の身近な問題などをテーマとした講座で、講座メニューの中からご希望に応じて市の職員が講師として、皆さんの地域に出向いてお話しするものです。

・対 象 者

市内に在住、通勤、通学している人で構成され、10人以上の参加が見込まれる団体、グループ

・講座開催の時間帯及び費用

原則として平日の午前9時から午後5時までの間
講師料＝無料



・令和3年度の講座名（消防局分）

講 座 名	内 容	対 象
「普通救命講習」	AEDを使った心肺蘇生法など、応急手当の方法を実技中心に3時間で実施。修了者には修了証を授与	中学生～一般
「消防ゲスト・ティーチャー」	社会科で学ぶ「消防のしごと」の体験版。火事を防ぎ、火事を消すしくみについて体験を通して学ぶ	小 学 3年生
「消防教室」	消防車の説明・見学から家庭や地域における火災予防まで、対象者に応じて火事や防火等について説明	幼児～一般
「ダイジョウブ？あなたの家の住宅防火対策」	高齢者をはじめとした大切な家族を火災から守るために住宅用火災警報器の設置・維持管理の方法や防災品の安全性などを学ぶ	一 般

《「消防ゲスト・ティーチャー」の実施状況》

平成14年度から管内の小学3・4年生に対して、従来の避難訓練などの防火防災指導に加え、ゲスト・ティーチャーとして消防職員が社会科「消防のしごと」を担当しています。

〔開催状況〕（令和2年度）

実施校数	受講者数
8校	617人

6 消防防災運動会『まもりんピック姫路』

各種災害を想定した消防防災ゲームや競技等を通じて、市民と消防が一体となり、楽しみながら「防災の知識・技術」と「共助の力」を育成しています。全市的に一堂に会して隔年で開催していた「イベント型」から、消防署単位で毎年開催している幼年消防クラブのつどいの内容を充実させた「育成型」に変更し、より地域に密着した、いざという時に役に立つ内容として開催します。



7 自主防災組織結成状況

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、地域の連帯感に基づき、自主的に結成する組織であり、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行う住民組織のことです。

昭和56年から自治会単位で実効性の高い自主防災組織づくりを推進し、令和3年3月末現在 929の自治会で結成されています。

《自主防災組織結成状況》

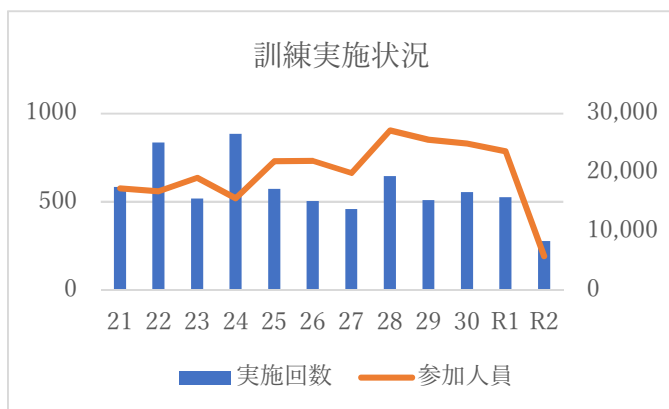
令和3年3月末

地区数	自治会の結成状況				自主防災会 結成数
	自治会総数	左のうち自主 防災会結成数	世 帯 数	結成率	
72	929	928	199,701	99.89%	784

自主防災訓練の実施状況

地域で行う防災訓練は、自主防災組織における活用を中心のひとつです。自主防災組織が適正に活動できるよう消火、避難通報、器具取扱、応急手当訓練指導をはじめ、講習会、映画会、施設見学等の研修を積極的に進めています。

また、円滑な避難所運営と、自主防災組織を中心とした住民の連携強化、それぞれの役割分担を明らかにすることを目的に、避難所運営訓練を実施しています。



このページは空白です。

第二部 統計・資料編

このページは空白です。

人 事 ・ 予 算

1 職員の配置状況

(各年度4月1日現在)(単位:人)

年度 所 属			区 分	合 計	勤 務 区 分	消 防 吏 員										消防吏員以外 の消防職員	再任用 職 員	
						小 計	局長 消防正 監	次長 等 (注1) 消防 監	課長 等 (注2) 消防司 令長	課長 補佐等 (注3) 消防司 令	係長 等 (注4) 消防司 令	主任 消防司 令補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士		フル タイ ム	短 時 間
平成27年度		551		550	1	6	11	39	62	194	135	50	52	1		46		
平成28年度		554		553	1	6	14	37	67	194	121	56	57	1		51		
平成29年度		561		561	1	6	16	35	72	192	120	60	59			58		
平成30年度		563		563	1	6	16	39	71	188	121	63	58			58		
令和元年度		561		560	1	6	16	38	70	189	128	66	46	1		54		
令和2年度		569		563	1	7	15	38	70	190	125	70	47	1	5	62		
令和3年4月1日現在			576		569	1	6	16	40	68	198	140	49	51	1	6	54	
				日勤	119	1	6	10	18	16	33	13	5	17	1	6	27	
				隔勤	450			6	22	52	165	127	44	34			27	
本 部	消防局長 次長 総務課 警防課 救急課 予防課 情報指令課	125	日勤	1	1													
			日勤	1		1								1				
			日勤	31			1	2	4	6	2		16		3	6		
			日勤	9			1	2	2	3	1					1		
			隔勤	22					2	8	10	2						
			日勤	6			1	1	2	2						3		
			隔勤	12					2	4	6							
			日勤	11			1	1	5	2	1	1			1	2		
			日勤	4			1	1		1	1							
			隔勤	23				2	4	11	6					4		
消 防 署	姫路東 本署 御国野出張所 豊富出張所 飾東出張所 増位出張所	104	日勤	13		1	1	1	2	5	2		1		1	1		
			隔勤	44			2	4	2	14	12	6	4			1		
			隔勤	16					2	6	2	3	3					
			隔勤	14					2	6	4	1	1			4		
			隔勤	8					2	2	3		1					
			隔勤	8					2	3	2		1					
	姫路西 本署 飾西出張所 林田出張所	94	日勤	10		1	1	2		3	1	2				8		
			隔勤	52			2	4	4	16	14	7	5					
			隔勤	16					2	7	4		3			2		
			隔勤	16					2	6	5	1	2			2		
			日勤	11		1	1	2	1	4	2				1	2		
			隔勤	43			2	4	4	11	12	6	4					
	飾 本署 白浜分署 広畑分署 大的出張所 家島出張所	119	隔勤	18				2		8	5	2	1					
			隔勤	16				2		7	3	2	2			4		
			隔勤	8					2	3	1	1	1					
			日勤	1				1										
			隔勤	12					2	6	3	1						
			日勤	1				1										
	磨 坊勢出張所		日勤	8					2	2	2	1	1					
			隔勤															
			日勤	10		1	1	2		4	1	1				3		
			隔勤	28				2	4	10	7	1	4			4		
			隔勤	8					2	3	1	1	1					
			日勤	10		1	1	2		3	2	1				1		
	中播 本署 夢前出張所 香寺出張所 北部出張所	88	隔勤	36				2	4	13	12	5				6		
			隔勤	16					2	8	4	2						
			隔勤	16					2	7	6	1						
			隔勤	10					2	4	3	1						
隔勤																		
隔勤																		

(注1) 次長等⇒次長、署長 (注2) 課長等⇒課長、副署長、指揮隊長

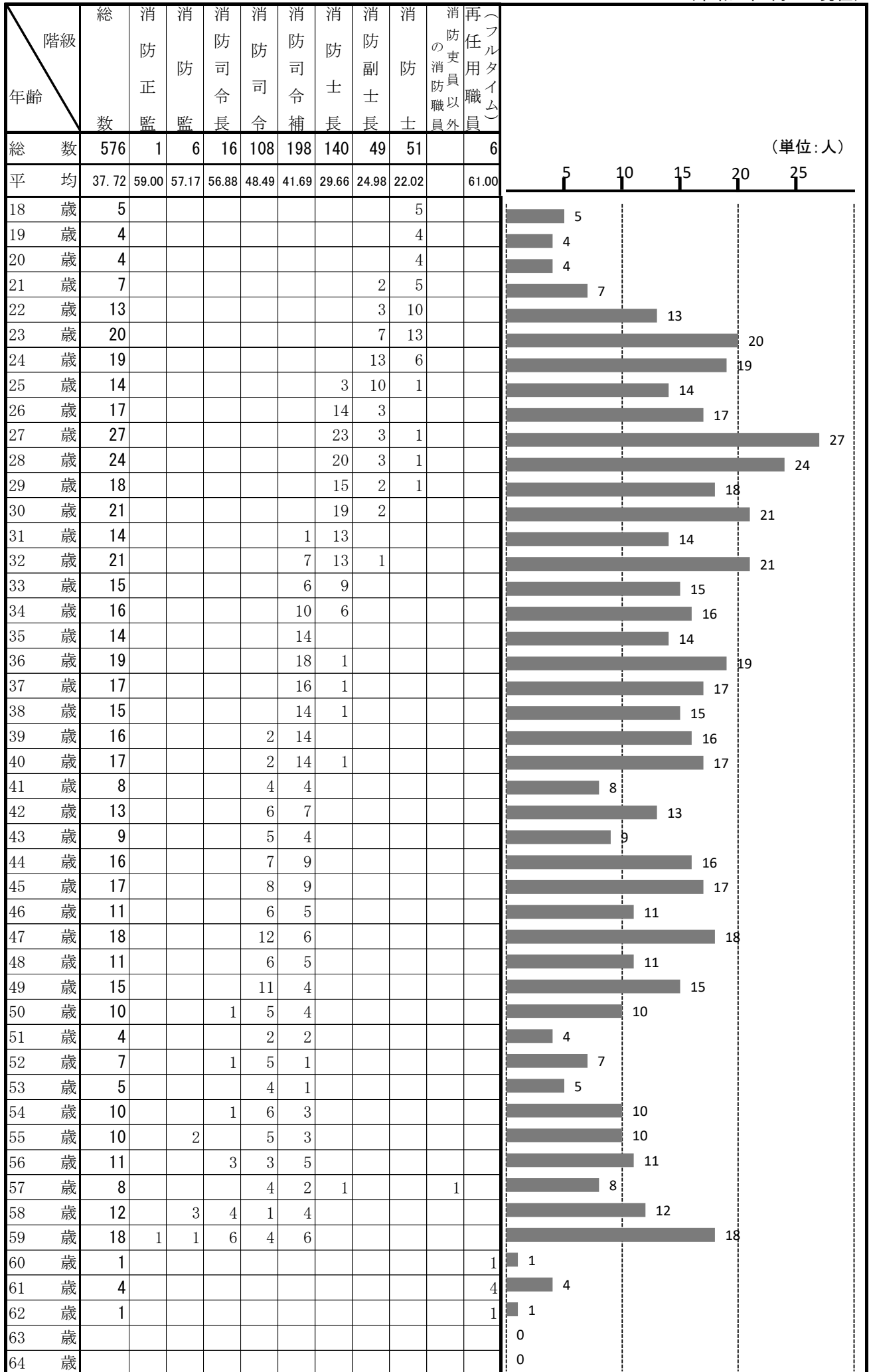
(注3) 課長補佐等⇒課長補佐、警防司令、指揮司令、分署長、家島出張所長、坊勢出張所長

(注4) 係長等⇒係長、家島出張所長・坊勢出張所長以外の出張所長

(注5) 合計は、再任用フルタイムを含む。

2 年 齢 別 職 員 数

(令和3年4月1日現在)



3 年度別職員数

(各年度4月1日現在)(単位:人)

年度	区分	人口※ (住民基本台帳)	定数	実員	職員1人当たりの人口	人口1万人当りの消防職員数
H24年度		579,470	561	545	1,063	9.41
H25年度		589,133	561	553	1,065	9.39
H26年度		587,496	561	559	1,051	9.51
H27年度		586,010	561	553	1,060	9.44
H28年度		584,572	561	551	1,061	9.43
H29年度		582,830	565	554	1,052	9.51
H30年度		580,686	565	561	1,035	9.66
R元年度		578,994	565	563	1,028	9.72
R2年度		576,815	604	569	1,013	9.86
R3年度		568,255	604	576	986	10.14

※ 人口は各年3月末現在

4 公務災害等の発生状況

区分		年次		H23		H24		H25		H26		H27		H28		H29		H30		R元		R2	
				件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
総数		2	2	6	32	3	4	6	6	7	9	3	3	7	7	5	5	4	4	6	6		
公務災害	消火活動中	1	1	2	28	—	—	1	1	1	1	—	—	—	—	3	3	3	3	1	1		
	救急救助活動中	1	1	1	1	1	1	3	3	1	1	—	—	3	3	—	—	—	—	1	1		
	訓練中	—	—	3	3	—	—	1	1	3	5	—	—	4	4	1	1	1	1	4	4		
	交通事故	—	—	—	—	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	作業中	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	2	2	—	—	1	1	—	—	—	—		
	レクリエーション参加その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
通勤災害	出勤途上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	—	—	—	—	4	4		
	退勤途上	—	—	1	1	—	—	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

5 職員の技能資格 (令和3年4月1日現在) (単位:人)

区分	総数
大型自動車免許	276
玉掛け作業者	117
小型移動式クレーン資格	105
1級小型船舶操縦士	23
2級小型船舶操縦士	21
5級海技士(機関)	12
6級海技士(航海)	12
潜水水士	84
予防技術資格者	47
甲種危険物取扱者	14
乙種危険物取扱者	247
甲種消防設備士	19
乙種消防設備士	112
救急救命士	139
挿管認定救急救命士	58
薬剤認定救急救命士	108
拡大二行為認定救命士	105
指導救命士	11

6 職員表彰

(単位:人)

階 級 区 分		総数	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	消 防 吏 員 以 外 の 消 防 職 員	元 消 防 職 員
総 数		110	2	2	2	21	45	25	5	1	—	7
叙 勲	瑞宝双光章	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
	瑞宝单光章	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	叙位・死亡叙勲章	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	端宝小綬章	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
消 防 庁 長 官 表 彰												
功 労	功 労	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	永年勤続功労	4	1	2	1	—	—	—	—	—	—	—
	救急功労	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	消防防災科学技術賞	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
知 事 表 彰												
兵 庫 県 功 労	兵 庫 県 功 労	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	功 労	6	—	—	—	6	—	—	—	—	—	—
	永年勤続功労	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	救急業務功労	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
市 長 表 彰	感 謝 状	11	—	—	—	4	7	—	—	—	—	—
	功 績	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	救急業務	3	—	—	—	1	2	—	—	—	—	—
	永年勤続(25年)	12	—	—	—	3	9	—	—	—	—	—
消 防 局 長 表 彰												
優 秀 功 労	優 秀 功 労	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	勤 功	5	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—
	優 良 功 績	8	—	—	—	—	—	8	—	—	—	—
	救急業務	4	—	—	—	1	3	—	—	—	—	—
全 国 消 防 長 会 表 彰												
消 防 特 別 功 労	消 防 特 別 功 労	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	永年勤続功労	9	—	—	1	5	3	—	—	—	—	—
署 長 表 彰		33	—	—	—	—	11	17	5	—	—	—
全 国 消 防 協 会 表 彰		1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
消防機器開発等会長賞		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
兵 庫 県 医 師 会 長 表 彰		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
姫路市救急医療協会会長表彰		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
姫路東ロータリークラブ表彰		3	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—
近畿地方非常通信協議会長表彰		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非 常 通 信 功 績 者 表 彰		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

7 市民表彰等

年 度 区 分		平成 22	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	令和 元	令和 2
表 彰	市長表彰(しらさぎ賞)	32	18	44	12	25	12	13	13	11	13
	消防局長表彰(優良事業所)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
感 謝 状	市長感謝状	—	—	—	—	—	1	—	1	1	1
	消防局長感謝状(寄贈)	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	署長感謝状(初期消火等)	2	1	3	1	22	10	6	6	6	4

8 年度別一般会計及び消防費決算額（令和2年・令和3年度は当初予算額）

（単位：円）

区分 年度	一般会計決算額	消防費決算額	一般会計に 対する割合	一 世 帯 当たり消防費	住 民 一 人 当たり消防費
平成23	209,616,502,348	5,722,366,936 (6,226,100,089)	2.73 (2.97)	26,471 (－)	10,712 (－)
平成24	202,069,868,215	6,105,025,785 (6,605,250,574)	3.02 (3.27)	27,894 (－)	11,436 (－)
平成25	207,313,931,435	6,573,584,753 (7,195,714,001)	3.17 (3.47)	30,103 (－)	12,303 (－)
平成26	202,837,717,990	6,680,334,245 (7,323,409,726)	3.29 (3.61)	29,038 (－)	12,312 (－)
平成27	208,985,118,012	6,602,843,198 (7,145,932,112)	3.16 (3.42)	28,464 (－)	12,196 (－)
平成28	207,833,865,000	6,265,457,650 (6,797,236,177)	2.98 (3.01)	27,000 (－)	11,595 (－)
平成29	207,481,706,000	6,657,540,210 (7,174,026,668)	3.21 (3.46)	30,960 (－)	12,470 (－)
平成30	198,592,950,000	6,426,487,249 (6,946,057,121)	3.20 (3.45)	27,300 (－)	11,939 (－)
令和元	211,392,022,000	6,726,144,119 (7,363,088,407)	3.18 (3.48)	28,293 (－)	12,524 (－)
令和2	233,500,000,000	8,350,335,000 (9,005,158,000)	3.58 (3.86)	34,795 (－)	15,580 (－)
令和3	218,200,000,000	6,503,856,000 (7,131,006,000)	2.98 (3.27)	26,837 (－)	12,177 (－)

※（ ）内は、受託町の常備消防に係る経費（水利事務を除く）を含んだ経費です。

9 令和3年度消防局予算概要

※ 消防費から危機管理室所管（災害対策費）予算を除いたものです。

（単位：千円）

款・項・目・事業名	予算額	款・項・目・事業名	予算額
50 消 防 費	7,027,690	15 消 防 施 設 費	451,500
10 消 防 費	7,027,690	庁 舎 整 備 事 業 費	21,100
10 常 備 消 防 費	6,154,990	車 両 等 整 備 事 業 費	233,800
報 酬 給 与 費	5,437,054	消 防 資 器 材 整 備 事 業 費	37,500
職 員 研 修 費	17,974	消 防 水 利 整 備 事 業 費	139,100
管 理 事 務 費	34,493	情 報 通 信 施 設 整 備 事 業 費	20,000
庁 舎 維 持 管 理 経 費	150,277	25 災 害 対 策 費	13,690
車 両 等 管 理 経 費	69,244	防 災 プ ラ ザ 管 理 運 営 費	13,690
消 防 活 動 経 費	16,808	防 災 プ ラ ザ 整 備 事 業 費	0
情 報 通 信 施 設 管 理 経 費	336,135	30 非 常 備 消 防 費	407,510
救 急 活 動 経 費	69,401	団 員 報 酬	69,480
予 防 活 動 経 費	4,238	団 員 等 公 務 災 害 補 償 費	6,420
危 険 物 保 安 経 費	4,585	団 員 退 職 報 償 金	50,059
出 初 式 経 費	1,894	団 本 部 運 営 費	19,069
音 楽 隊 経 費	1,531	分 団 運 営 費	102,091
民 間 防 火 組 織 育 成 経 費	1,888	分 団 施 設 等 整 備 事 業 費	89,000
負 担 金	9,468	負 担 金	71,391

10 年度別主要事業実施状況

(単位:千円)

平成30年度	令和元年度	令和2年度
庁舎整備事業 62, 637 飾磨消防署困障改修工事 姫路西消防署飾西出張所駐車場舗装工事 飾磨消防署広畑分署大規模改修工事他設計委託 防災センター出入管理機器更新工事 中播消防署夢前出張所外壁塗装等改修工事 中播消防署空調機器取替工事等	庁舎整備事業 218, 088 飾磨消防署広畑分署大規模改修工事 飾磨消防署広畑分署大規模改修工事監理委託 飾磨消防署広畑分署仮設庁舎借上げ 網干消防署勝原出張所大規模改修工事設計委託 姫路東消防署御国野出張所電話設備更新工事 姫路西消防署高圧受電柱上気中開閉器等更新工事	庁舎整備事業 116, 149 網干消防署勝原出張所大規模改修工事 網干消防署勝原出張所大規模改修工事引越業務等委託 網干消防署勝原出張所仮設庁舎借上げ 防災センター消防設備改修工事等 オゾン発生装置 31台
車両等整備事業 367, 054 救急艇 (19トン) 1 隻 小型水槽付消防ポンプ自動車 2 台 高規格救急車 2 台 指揮車 1 台 連絡車 1 台 救急艇積載高度救命資器材一式	車両等整備事業 378, 339 梯子車 1 台 水槽付消防ポンプ自動車 1 台 小型水槽付消防ポンプ自動車 1 台 高規格救急車 2 台 広報連絡車 4 台 高度救命資器材一式	車両等整備事業 528, 298 梯子車 1 台 救助工作車 1 台 指揮車 2 台 高規格救急車 3 台 連絡車 1 台 査察車 1 台 搬送用アイソレーター 1 台 高度救命資器材一式
消防資器材整備事業 17, 324 消防ホース 67本 消防活動用資器材 一式 山岳救助資器材 一式 水難救助資器材 一式 呼吸器用高圧空気圧縮機 1基 空気呼吸器等	消防資器材整備事業 19, 517 消防ホース 65本 消防活動資器材 一式 山岳救助資器材 一式 水難救助資器材 一式 呼吸器用高圧空気圧縮機 1 基 ビデオ硬性喉頭鏡 5 基 空気呼吸器等	消防資器材整備事業 28, 061 消防ホース 59本 消防活動資器材 一式 山岳救助資器材 一式 水難救助資器材 一式 呼吸器用高圧空気圧縮機 1 基 ビデオ硬性喉頭鏡 7 基 陽圧式化学防護服 5 着 空気呼吸器等
消防水利整備事業 129, 675 防火水槽 2 基 消火栓新設 120ヵ所	消防水利整備事業 147, 597 防火水槽 2 基 消火栓新設 106ヶ所	消防水利整備事業 133, 764 防火水槽 1 基 消火栓新設 107ヶ所
情報通信施設整備事業 0	情報通信施設整備事業 8, 396 飾磨消防署広畑分署通信指令機器移設	情報通信施設整備事業 7, 964 網干消防署勝原出張所通信指令機器移設
分団施設整備事業 114, 357 小型動力ポンプ付軽積載車 1 台 消防ポンプ自動車 3 台 車庫等改修工事 1 箇所 (三坂) 分団詰所耐力度調査 4 箇所 (谷外・安室東・的形・旭陽) 消防団冬用活動服 3, 094着 飾磨消防団八木分団詰所新築工事 飾磨消防団八木・大塩分団詰所新築工事設計委託	分団施設整備事業 123, 512 新基準夏用活動服 3, 086着 飾磨消防団大塩分団詰所移転新築工事 分団詰所解体撤去工事実施設計 1 箇所 分団詰所解体撤去工事 2 箇所 (大塩・八木) 消防ポンプ自動車 3 台	分団施設整備事業 54, 250 姫路西消防団荒川分団詰所新築工事 姫路西消防団荒川分団旧詰所解体撤去工事設計委託 姫路西消防団荒川分団詰所解体撤去工事 消防ポンプ自動車 2 台

このページは空白です。

警

防

1 消防車両等の配置状況

(令和3年4月1日現在)

配置 署所 車種	総 計 *1	消防局						姫路東 消防署						姫路西 消防署				飾 磨 消防署						網干 消防署			中 播 消防署					
		小 計	総 務	警 防	救 急	情 報 指 令	予 防	小 計	本 署	御 国 野	豊 富	飾 東	増 位	小 計	本 署	飾 西	林 田	小 計	本 署	白 浜	広 畑	大 的	家 島	坊 勢	小 計	本 署	勝 原	小 計	本 署	香 寺	夢 前	北 部
合 計	121 (10)	22 (5)	7	8 (1)	5 (4)	1	1	20 (1)	13 (1)	2	2	1	2	17 (1)	12 (1)	2	3	30 (1)	12 (1)	4	4	1	5	4	12 (1)	11 (1)	1	20 (1)	12 (1)	2	3	3
指 揮 隊 車	3	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
指 揮 車	4	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-
タンク車 *2	9 (1)	1 (1)	-	1 (1)	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	3	1	1	1	-	-	-	2	1	1	1	1	-	-	-
S T 車 *3	16 (5)	1	-	1	-	-	-	5 (1)	1 (1)	1	1	1	1	3 (1)	1 (1)	1	1	2 (1)	1 (1)	-	-	1	-	-	1 (1)	1 (1)	-	4 (1)	1 (1)	1	1	1
梯 子 車	4	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-
屈折梯子車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大 型 化 学 高 所 放 水 車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
水 槽 車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
化 学 車	3	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
救 急 車	20 (4)	5 (4)	-	-	5 (4)	-	-	4	1	1	1	-	1	3	1	1	1	3	1	1	1	-	-	-	1	1	-	4	1	1	1	1
軽 救 急 車	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
多 目 的 車	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
泡 原 液 搬 送 車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
救助工作車	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
水難救助車	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
消 防 艇	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
救 急 艇	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
資材搬送車	6	1	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-
B C 災 害 対 応 車	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無線中継車	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
人員搬送車	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
連 絡 車 (緊 急)	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	-	
マイクロバス	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
連 絡 車	12	4	3	1	-	-	-	2	2	-	-	-	-	1	1	-	-	2	2	-	-	-	-	-	1	1	-	2	1	-	-	1
査 察 車	13	3	3	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	2	2	-	-	2	2	-	-	-	-	-	2	2	-	2	2	-	-	-
広報連絡車	7	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	2	1	-	1	3	1	1	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
原付自転車	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-

*1 ()内の数字は、非常用消防車・非常用救急車を示します。(内数)

*2 タンク車は水槽容量1,500リットル又は2,000リットルの水槽付消防ポンプ自動車です。

*3 S T 車は水槽容量800リットル～1,300リットルの小型水槽 (スモールタンク) 付消防ポンプ自動車です。

2 消防緊急車両等の一覧

(令和3年4月1日現在)

配置署所		車 種		呼称名	車両表示	年式	主 要 装 備			区分		車 種	呼称名	車両表示	年式	ポンプ	水槽	主 要 装 備
警 防	課	指 揮	タ ンク	直轄指揮	直轄タンク	直C	H.31	ポンプ	水槽	主 要 装 備	配置署所	本	署	指揮	タ ンク	A2	2,000ℓ	4WD (非常用) 小型動力ポンプC-1積載 (非常用) 4WD・救助用資機材・クレーン・ウインチ 4WD・3トン積載・アルミバン・パワーゲート 4WD・2トン積載・アルミバン 水難用資機材・シャワー設備
消防局	救 急	救 救	救 救	救 救	救 救	直A	H.31			飾磨消防署	白 浜	タ ンク	白浜タンク	白T	H.25	A2	2,000ℓ	4WD 泡原液 5,000ℓ 4WD 4WD・小型動力ポンプB-2積載 4WD 19トン・定員16人 4WD 4WD 4WD 4WD 4WD
							H.28											
							H.27											
							H.25											
							H.25											
							H.25											
							H.25											
予 防	課	指 揮	予 防	予 防	予 防	予C	H.25			飾磨消防署	大 的	S	大 的	大S	H.31	A2	900ℓ	
							H.25											
情 報	指 令 課	無 線	中 継	無 線	中 継	無 線	H.25			飾磨消防署	大 的	S	大 的	大S	H.31	A2	900ℓ	
							H.25											
姫路東消防署	本 署	指 揮	タ ンク	東指揮	東タンク	東C	H.28		2,000ℓ	4WD・ヘリテレ画像装置等情報収集装置 4WD 小型動力ポンプC-1積載(非常用) 梯子高 40m・伸縮水路付 泡原液 500ℓ 4WD・3トントラック・クレーン 4WD・マイクローバス・定員29人 4WD	家 島	出 張 所	救 多 目 的	救 多 目 的	H.23	A2	850	4WD
							H.21											
							H.23											
							H.17											
							H.18											
							R.2											
							H.28											
							H.28											
							H.25											
							H.30											
姫路西消防署	本 署	指 揮	タ ンク	西指揮	西タンク	西C	H.28		2,000ℓ	4WD・ヘリテレ画像装置等情報収集装置 小型動力ポンプC-1積載(非常用) 梯子高 50m 泡原液 1,200ℓ 4WD・救助用資機材・クレーン・ウインチ 4WD・3トントラック・クレーン 4WD	中 播	出 張 所	救 多 目 的	救 多 目 的	H.23	A2	1,300ℓ	4WD
							H.26											
							H.26											
							H.13											
							H.23											
							H.19											
							H.18											
							H.27											
							H.31											
							H.31											

*1 資材搬送車と無線中継車は、消防組織法第50条に規定の無償使用制度について許可を受けた国（総務省消防庁）有車両です。

3 部隊別主要資機材配備基準

※ 救急隊、救助隊等一部の部隊を除く。

(令和3年4月1日現在)

所 属	署 所	部 隊	G ノズル（注 1）	D ノズル（注 2）	泡 ノズル	ホー スカー	分 岐金具	動 力ポンプ	か ぎ付 き	三連（二連）はしご	エンジンカッター	レシ プロソー	チェ ンソー	スプレッ ダー	カッタ ー	コンピ ンール	油圧ジャ ッキ	可 搬ウ インチ	マル チス リン グ	鉄 線カ ッタ ー	万 能 斧	ハンマ ー	複合ガ ス検 知器	防 塵マ スク	発 動発 電機	投 光 器	強 力ラ イト	携 帯用 ライト	拡 声 器	担 架	吹 き流 し	要 救 助 者 用 安 全 帯	簡 易縛 帯	救 命胴 衣	浮 環	ハー ネス	応 急 処 置 セ ット	高 圧耐 電衣	低 圧耐 電手 袋	耐 熱 服	夜 行ベ スト	伸 縮 コー ン		
姫路東	本署	東T	4	2	1	0	2	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	5	1	2	3	2	1	1	1	1	5	1	2	1	0	2	0	5	2		
		東ST	4	2	1	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	5	1	2	3	2	0	0	1	0	5	1	0	2	0	5	2				
		東梯	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	2	3	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	4					
		東化	0	2	2	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	3	1	0	0	1	0	0	0	2	0	2	0	2				
	御国野	2	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	1	2	1	1	0	1	0	1	0	3	1	0	2	0	3	2				
	豊富	2	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	1	2	1	1	0	1	0	1	0	3	1	0	2	0	3	2				
	師東	2	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	1	2	1	1	0	1	0	1	0	3	1	0	2	0	3	2				
	増位	2	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	1	2	1	1	0	1	0	1	0	3	1	0	2	0	3	2				
	姫路東小計	17	15	8	5	16	1	2	7	5	1	1	1	1	1	0	5	1	1	6	7	6	5	22	8	8	16	16	10	2	5	9	1	22	6	2	6	2	12	2	23	18		
	西	4	2	1	1	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	5	1	2	3	2	1	1	1	0	5	1	0	2	0	5	2				
姫路西	本署	西ST	4	2	1	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	5	1	2	3	2	0	0	1	0	5	1	0	2	0	5	2				
		西梯	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	2	3	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	4				
		西化	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2
		師西ST	2	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2
	林田	2	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	1	2	1	1	0	1	0	1	0	1	0	2	0	3	2					
	林西ST	2	2	1	1	2	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	0	2	0	3	2			
	姫路西小計	13	11	6	4	12	2	2	4	3	1	0	0	0	0	0	1	3	1	4	5	4	3	16	6	6	12	14	8	3	7	1	16	4	2	2	8	2	16	14				
	飾	本署	飾T	4	2	1	0	2	0	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	5	1	2	3	2	1	1	1	1	1	5	1	2	1	0	2	0	5	2	
	飾ST		4	2	1	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	5	1	1	2	3	2	0	0	1	0	5	1	0	2	0	5	2				
	飾梯		1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	2	3	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4			
白浜	4		2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	5	1	2	1	1	1	1	1	1	0	5	1	0	1	0	2	0	3	2		
磨	白原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	広T	4	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	1	2	1	1	1	1	1	1	0	5	1	0	1	0	2	0	3	2		
	広槽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	大ST	2	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	1	2	1	1	1	0	1	0	1	0	3	1	0	2	0	3	2			
	家島	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	4	1	1	2	1	0	1	0	1	0	4	1	0	2	0	0	2			
	坊勢	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	1	1	2	1	0	1	0	1	0	4	1	0	0	0	0	2	0	2	
網干	網干小計	飾磨小計	19	13	5	4	12	2	4	5	4	1	1	2	2	0	6	1	1	5	6	5	6	31	9	10	18	18	12	4	6	11	1	31	7	2	5	6	10	0	19	22		
		網T	4	2	1	0	2	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	5	1	2	3	2	1	1	1	1	1	5	1	2	1	0	2	0	5	2		
		網ST	4	2	1	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	5	1	1	2	3	2	0	0	1	0	5	1	0	2	0	5	2				
		網梯	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	2	3	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
	網干高	網化高	0	2	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	2
		勝T	2	2	0	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	2	1	1	0	1	0	1	0	3	1	0	2	0	3	2			
		網干小計	11	9	4	3	10	1	2	3	2	1	1	1	1	1	0	2	1	1	3	4	3	2	13	5	5	10	11	7	2	2	6	1	13	3	2	3	2	6	4	13	12	
	中播	本署	中T	4	2	1	1	2	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5	1	2	3	2	0	0	1	1	0	5	1	0	2	0	5	2		
			中ST	4	2	1	1	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	5	1	1	2	3	2	0	0	1	0	5	1	0	2	0	5	2		
			中梯	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	3	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
中化			0	2	2	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	0	2		
香寺		2	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	2	1	1	0	1	0	1	0	3	1	0	2	0	3	2			
夢前		2	2	1	1	2	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0</																												

4 消防水利の現況

消防水利は、人員及び機械とともに消防力の三要素の一つであり、その基幹をなすものです。姫路市消防局管内における消防水利の状況は、総数23,051（内受託町3,412）で、その内容は、消火栓94.9%、防火水槽及び防火井戸4.0%、その他の水利が1.1%の割合になっています。

（令和3年3月末現在）

(令和5年3月末現在)

区分 署別		合計	消 火 栓			防火水槽及び防火井戸						その他	
			小計	公設	私設	小 計		公 設		私 設		プール	その他
						水槽	井戸	水槽	井戸	水槽	井戸		
姫 路 東		4,771	4,493	4,368	125	193	47	159	47	34	—	37	1
姫 路 西		4,991	4,807	4,689	118	124	32	102	32	22	—	25	3
飾 磨		5,253	4,988	4,418	570	158	83	142	83	16	—	21	3
網 干		2,730	2,586	2,111	475	85	46	72	46	13	—	12	1
中 播	小 計	5,306	5,012	4,994	18	148	—	131	—	17	—	36	110
	姫路市	1,894	1,862	1,854	8	14	—	6	—	8	—	16	2
	受託町	3,412	3,150	3,140	10	134	—	125	—	9	—	20	108
総 数		23,051	21,886	20,580	1,306	708	208	606	208	102	—	131	118
姫 路 市		19,639	18,736	17,440	1,296	574	208	481	208	93	—	111	10
受 託 町		3,412	3,150	3,140	10	134	—	125	—	9	—	20	108

5 消防水利の整備状況

消防水利の整備は、主に消火栓を国から示された「消防水利の基準」（昭和39年12月10日消防庁告示第7号）に基づき整備しています。（消防水利から建物までの距離は、市街地、準市街地については100m又は120m以内、その他の地域は140m以内）消火栓は、水道法により水道事業管理者が設置し、年々充実されています。

しかし、消火栓は容易に使用できる反面、地震等には使用不可能となる場合もありますので、本市の公園を中心に40㎡の耐震性防火水槽も計画的に整備しています。

年度 区分	消 火 栓		防 火 水 槽	
	水利整備事業	その他の事業	水利整備事業	その他の事業
平成23年度	87	94	—	—
平成24年度	90	107	2	—
平成25年度	90	132	1	—
平成26年度	90	41	1	—
平成27年度	90	135	1	—
平成28年度	120	117	1	—
平成29年度	105	85	2	—
平成30年度	120	95	2	—
令和元年度	106	119	2	—
令和2年度	107	101	1	—

6 開発行為による設置状況

都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、「姫路市開発指導要綱」及び「消防水利の基準」に基づき消防水利の指導を行っています。

年度 区分	消 火 栓		防 火 水 槽	
	帰 属	私 設	帰 属	私 設
平成23年度	13	—	1	—
平成24年度	19	—	1	—
平成25年度	34	—	2	4
平成26年度	21	—	4	5
平成27年度	32	—	1	1
平成28年度	23	—	4	1
平成29年度	18	—	3	2
平成30年度	18	—	3	—
令和元年度	24	—	1	1
令和2年度	15	—	1	3

7 泡消火薬剤の備蓄状況

(令和3年3月末現在)

区分 保管場所 (消防署)	泡消火薬剤 合計 (kℓ)	石 油 類 用 (kℓ)			水 溶 性 液 体 用 (kℓ)	
		蛋白質加水 分解系	界 面 活 性 剤 系		界 面 活 性 剤 系	
		フッ素 蛋白泡系	フッ素界面 活性剤泡系	炭化水素系界 面活性剤泡系	フッ素界面 活性剤泡系	炭化水素系界 面活性剤泡系
		水成膜を形成 しないもの	水成膜を形成 するもの		高分子ゲルを 形成するもの	
		フッ素蛋白泡 F P	フッ素界面活 性剤水成膜泡 A F F F	炭化水素系界 面活性剤泡 S	高分子ゲル生成 フッ素界面活性剤 耐アルコール泡 AGFF 〔石油類にも使用可〕	フッ素界面活 性剤を添加し たもの
合 計	106.80	2.60	0.49	11.13	81.94	10.64
姫 路 市	53.54	—	0.49	7.33	43.24	2.48
兵 庫 県	20.96	2.60	—	—	11.80	6.56
共同備蓄	32.30	—	—	3.80	26.90	1.60
警 防 課	0.10	—	—	—	0.10	—
姫 路 市	—	—	—	—	—	—
兵 庫 県	—	—	—	—	—	—
共同備蓄	—	—	—	—	—	—
姫 路 市	5.24	—	—	3.40	1.38	0.46
兵 庫 県	4.00	—	—	—	2.80	1.20
共同備蓄	2.60	—	—	1.60	1.00	—
姫 路 市	5.18	—	—	1.00	4.18	—
兵 庫 県	2.46	—	—	—	—	2.46
共同備蓄	3.00	—	—	2.20	0.80	—
飾 磨	33.43	—	0.49	—	32.94	—
姫 路 市	6.80	0.60	—	—	5.00	1.20
兵 庫 県	21.10	—	—	—	20.10	1.00
共同備蓄	—	—	—	—	—	—
網 干	7.40	—	—	1.46	4.14	1.80
姫 路 市	7.70	2.00	—	—	4.00	1.70
兵 庫 県	5.60	—	—	—	5.00	0.60
共同備蓄	—	—	—	—	—	—
中 播	2.19	—	—	1.47	0.50	0.22
姫 路 市	—	—	—	—	—	—
兵 庫 県	—	—	—	—	—	—
共同備蓄	—	—	—	—	—	—

※ 共同備蓄は、危険物を保有する市内25の関係事業所が共同して泡消火薬剤を備蓄しています。

8 出動基準表

災害種別	災害分類	支援情報	該当対象物基準			選別車両																				
						第1出動								第2出動					第3出動							
			用途	階層	面積	C	T・S T	梯子	化学	R	WR	A	消防艇	搬送	C	T・S T	梯子	化学	R	A	C	T・S T	梯子	化学	R	A
火災	一般建物火災		下記のいずれにも該当しない建物			1	4			1		1			1	2						2				
	中高層建物火災	○	非特定用途	4階以上		1	5	1		1		1			1	2						2				
	特定大規模中高層建物火災	○	特定用途	4階以上	1000㎡以上	2	5	1		2		2			1	2						2				
	特定中高層建物火災	○		4階以上	1000㎡以下	1	5	1		1		2			1	2						2				
	特定大規模建物火災	○		3階以下	1000㎡以上	1	5			1		2			1	2						2				
	病院・福祉施設火災	○	6項イロハ	4階以上		2	5	1		2		2			1	2						2				
		○		3階以下		1	5			1		2			1	2						2				
	危険物施設火災	○	特定事業所を除く			1	5		1	1		1			1	2						2				
	一般道車両火災						2					1				2						2				
	高速道車両火災		高速道路・自動車専用道路(側道、パーキングエリア、サービスエリアを除く)			1	3		1	1		1			1	2						2				
	林野火災					1	5								1	4						2				
	船舶火災					1	3			1		1	1		1	2						2				
	その他火災						2									2						2				
	警防計画火災	○				警防計画出動(部署別、車両・車種別指定)																				
救急	救急											1														
	高速道救急						1					1														
	救急支援・PA						1					1														
	集団災害救急					1	2					5														
救助	限定救助						1			1		1														
	一般救助					1	1			1		1														
	交通救助					1	1			1		1														
	高所救助		4階以上			1	1	1		1		1														
	山岳救助					1	2			1		1														
	水難救助					1	2			1	1	1														
	鉄道災害救助					1	3			1		1														
	特殊災害救助					1	3			2		1		1												
石油コンビナート災害		○	特定事業所			石油コンビナート警防計画出動(車種別指定)																				
警戒							1																			
水防							1																			

- (注1) 消防艇が接岸不可の場合、待機車両がない場合等、状況によって情報指令課長の判断により出動を調整する。
(注2) 特定事業所とは、石油コンビナート等災害防止法に定めるものをいう。
(注3) 車両火災のうち、発生場所が「トンネル内」の場合はR1台を、「鉄道」の場合はC1台・R1台を、即時、追加出動させるものとする。
(注4) 限定救助とは、建物内の閉込事案をいう。
(注5) 網掛けのT・STの欄のうち1台は、災害地点を管轄する本署の車両から優先的に選別する。

【Rの車両選別運用】

救助工作車又は本署タンク車(準救助工作車)から直近車両を選別する場合は、次のとおりとする。

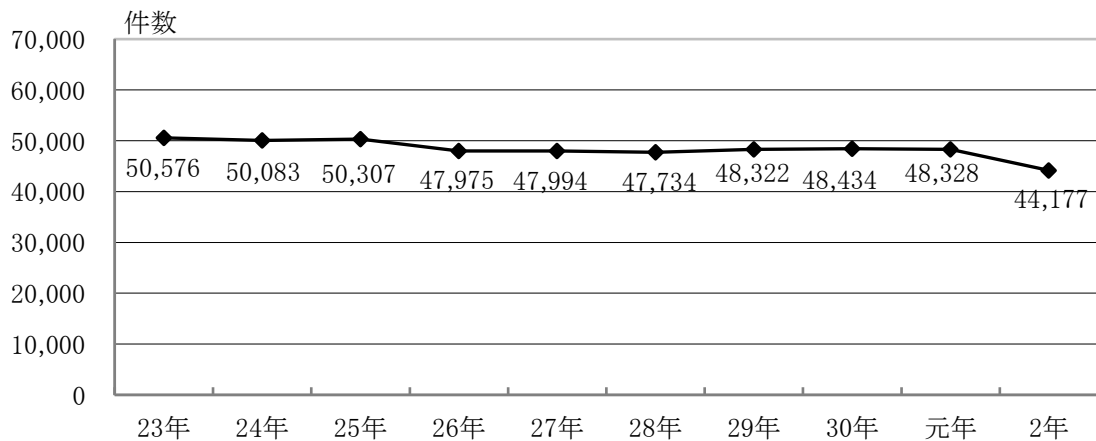
- ① 「限定救助」の事案
- ② 救助工作車2台出動中に発生した事案で、情報指令課長が必要と認める場合
- ③ 救助工作車3台出動中に発生した事案

このページは空白です。

消 防 指 令

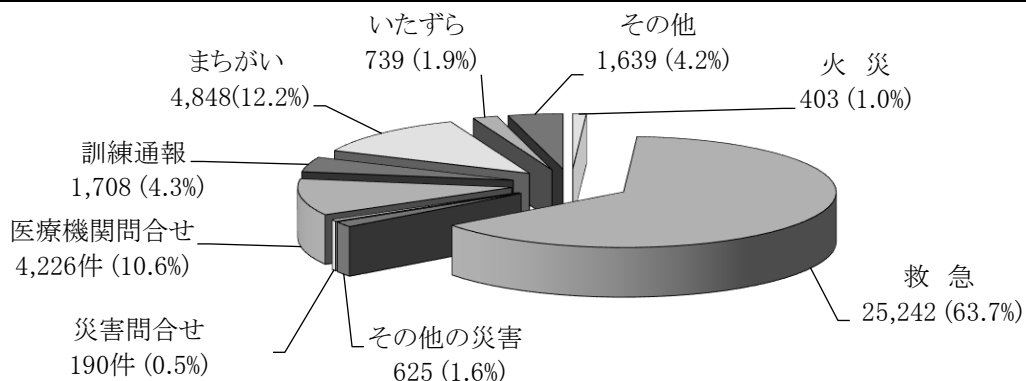
1 総受信状況の推移

年次 区分	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年
119番	43,650	43,055	43,609	41,658	41,801	41,807	42,679	42,737	43,274	39,600
警察電話	626	670	775	640	487	395	410	423	312	269
加入電話	833	709	626	660	637	502	536	555	571	595
駆け付け	225	264	248	224	217	222	231	209	239	186
自己覚知	121	109	93	81	172	149	163	152	147	65
ホットライン	3,635	3,691	3,652	3,375	3,307	3,302	3,246	3,179	3,181	3,198
安心コール	1,419	1,536	1,243	1,280	1,247	1,207	934	1,064	518	192
FAX119	36	30	38	35	94	115	80	70	57	63
NET119	31	19	23	22	32	35	43	45	26	9
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
合計	50,576	50,083	50,307	47,975	47,994	47,734	48,322	48,434	48,328	44,177
1日あたりの受付件数	138.6	136.8	137.8	131.4	131.5	130.4	132.4	132.7	132.4	120.7
1時間あたりの受付件数	5.8	5.7	5.7	5.5	5.5	5.4	5.5	5.5	5.5	5.0



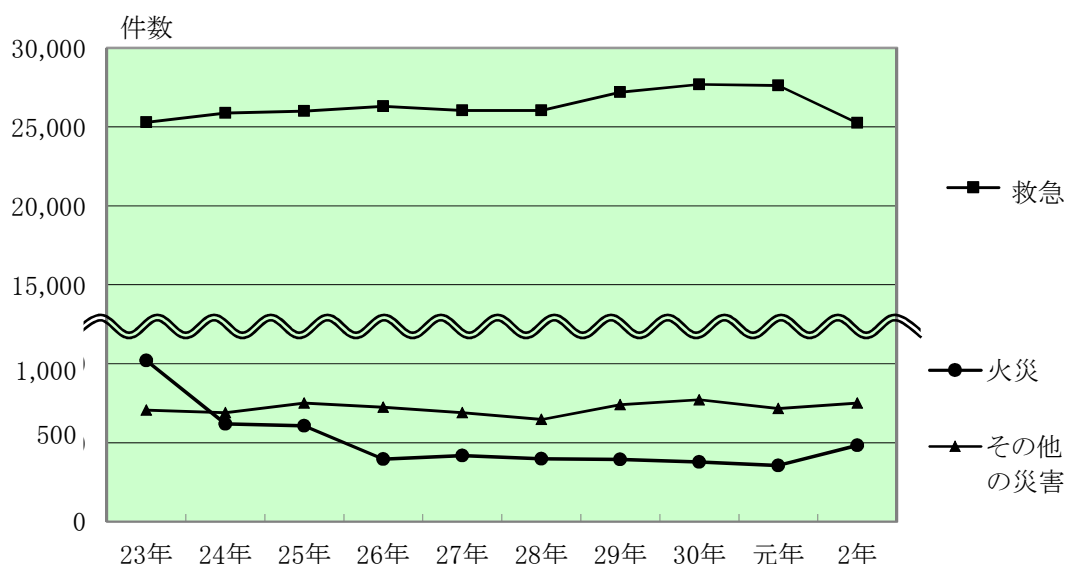
2 119番受信状況

年次 区分	令和2年 (件)	構成比 (%)	令和元年 (件)	構成比 (%)	対前年比	
					増減数(件)	増減率(%)
火災	403	1.0	296	0.7	107	36.1
救急	25,242	63.7	27,623	63.8	▲ 2381	▲ 8.6
その他の災害	625	1.6	596	1.4	29	4.9
災害問合せ	190	0.5	192	0.4	▲ 2	▲ 1.0
医療機関問合せ	4,206	10.6	5,435	12.6	▲ 1229	▲ 22.6
訓練通報	1,708	4.3	1,977	4.6	▲ 269	▲ 13.6
まちがい	4,848	12.2	4,768	11.0	80	1.7
いたずら	739	1.9	691	1.6	48	6.9
その他(回線点検等)	1,639	4.2	1,696	3.9	▲ 57	▲ 3.4
合計	39,600	100.0	43,274	100.0	▲ 3674	▲ 8.5



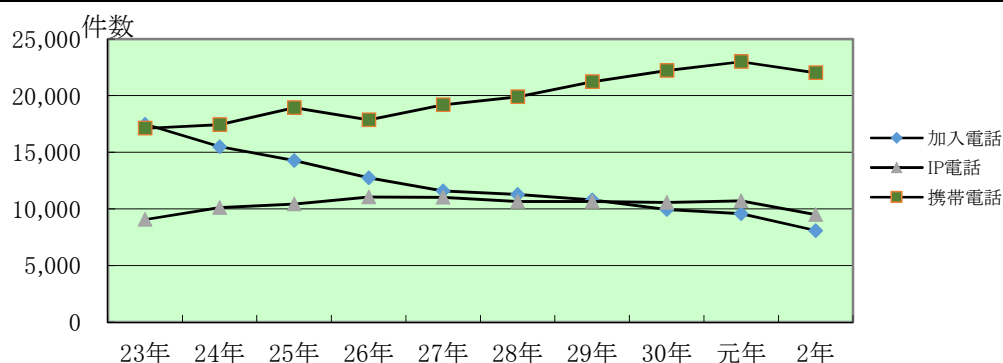
3 119番受信状況の推移

年次 区分	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年
火災	850	515	505	329	348	331	328	314	296	403
救急	25,278	25,863	25,987	26,292	26,026	26,029	27,191	27,681	27,623	25,242
その他の災害	588	575	626	603	574	539	617	643	596	625
災害問合せ	743	397	318	332	370	477	675	387	192	190
医療機関問合せ	6,987	7,158	6,826	6,451	6,459	5,992	5,731	5,486	5,435	4,206
訓練通報	1,430	1,434	1,539	1,579	1,580	1,712	1,769	1,699	1,977	1,708
まちがい	4,046	3,900	4,437	3,946	4,033	4,120	4,018	3,958	4,768	4,848
いたずら	836	952	1,274	621	736	572	578	740	691	739
その他(回線点検等)	2,892	2,261	2,097	1,505	1,675	2,035	1,772	1,829	1,696	1,639
合計	43,650	43,055	43,609	41,658	41,801	41,807	42,679	42,737	43,274	39,600
1日あたりの受付件数	119.6	117.6	119.5	114.1	114.5	114.2	116.9	117.1	118.6	108.2
1時間あたりの受付件数	5.0	4.9	5.0	4.8	4.8	4.8	4.9	4.9	4.9	4.5



4 119番通報形態(通報手段)の推移

年次 区分	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 元年	令和 2年
加入電話	17,473	15,488	14,258	12,736	11,593	11,281	10,782	9,936	9,573	8,085
I P 電話	9,060	10,119	10,422	11,048	11,014	10,640	10,667	10,576	10,705	9,508
携帯電話	17,117	17,448	18,929	17,874	19,194	19,886	21,230	22,225	22,996	22,007
合計	43,650	43,055	43,609	41,658	41,801	41,807	42,679	42,737	43,274	39,600



5 FAX119受信状況の推移

年次 区分	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年
緊急受信	1	-	-	1	-	-	-	1	1	-
テスト等	35	30	38	34	94	115	80	69	56	63
合計	36	30	38	35	94	115	80	70	57	63

6 NET119受信状況の推移

年次 区分	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年
緊急受信	-	-	-	-	-	-	3	1	1	9
テスト等	31	19	23	22	32	35	40	44	25	45
合計	31	19	23	22	32	35	43	45	26	54

※平成28年4月からWeb119に代わり、NET119の受信を開始しました。

7 外国語同時通訳機能利用状況の推移

年次 区分	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年
緊急受信	2	3	3	5
テスト等	4	3	3	-
合計	8	6	6	5

※平成28年4月から外国語同時通訳サービスを開始しました。

8 テレホンガイド(災害案内)受信状況の推移

年次 区分	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年
受信件数	155,370	138,019	144,982	129,960	115,663	95,104	99,627	92,302	85,161	99,051

※平成28年4月から電話番号が0180-997-007に変わりました。

9 医療機関問合せ状況の推移

年次 区分	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年
119番	7,006	7,160	6,826	6,451	6,459	5,992	5,731	5,486	5,435	4,206
119番以外	7,747	7,132	8,898	7,047	6,190	4,307	3,650	2,496	2,970	2,103
合計	14,374	14,753	14,292	15,724	13,498	12,649	10,299	9,381	7,982	6,309

10 姫路市救急受診ガイド利用状況の推移

アクセス数	平成 28年	平成 29年	令和 30年	令和 元年	令和 2年
	7,021	11,949	16,189	18,670	9,795(457)

※平成28年5月から姫路市救急受診ガイドを開設しました。

※カッコ内は、令和2年6月から開始したAIチャットボットサービスの利用件数

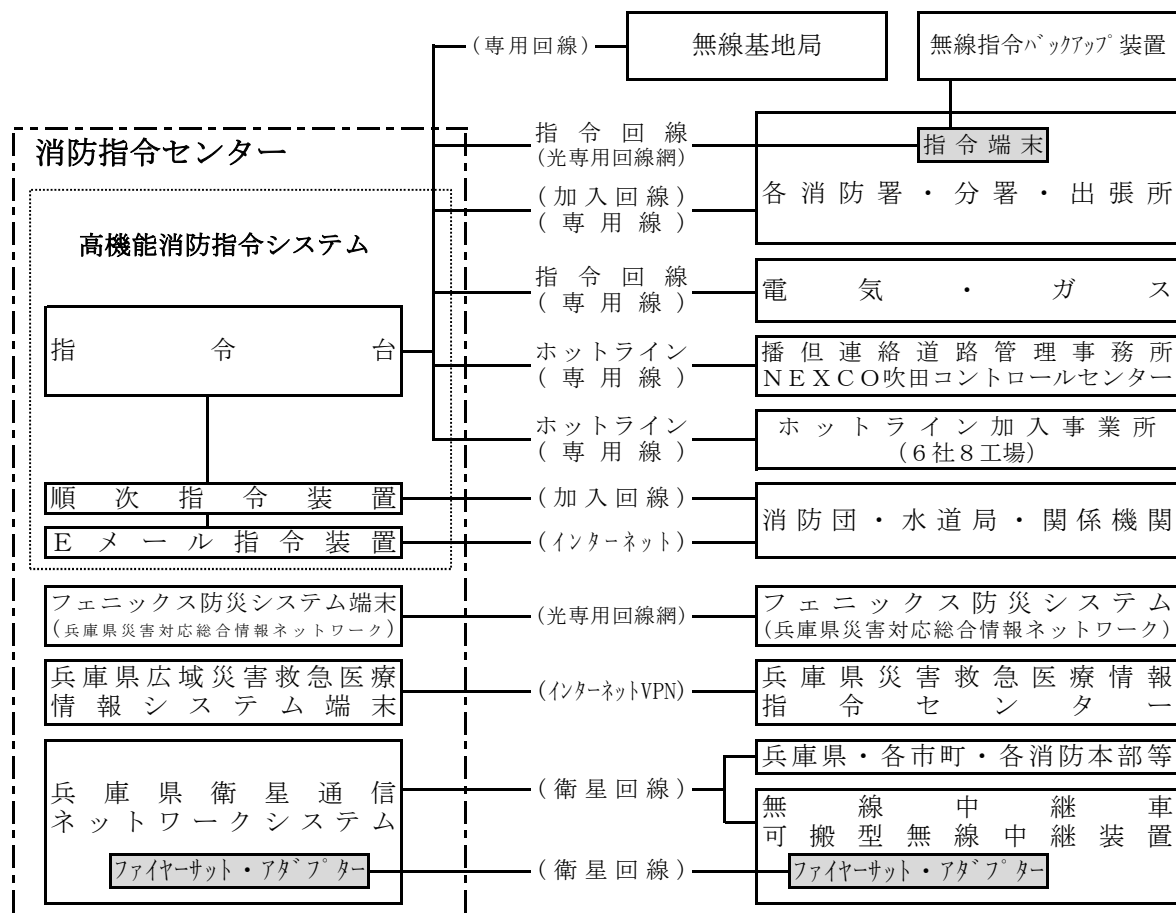
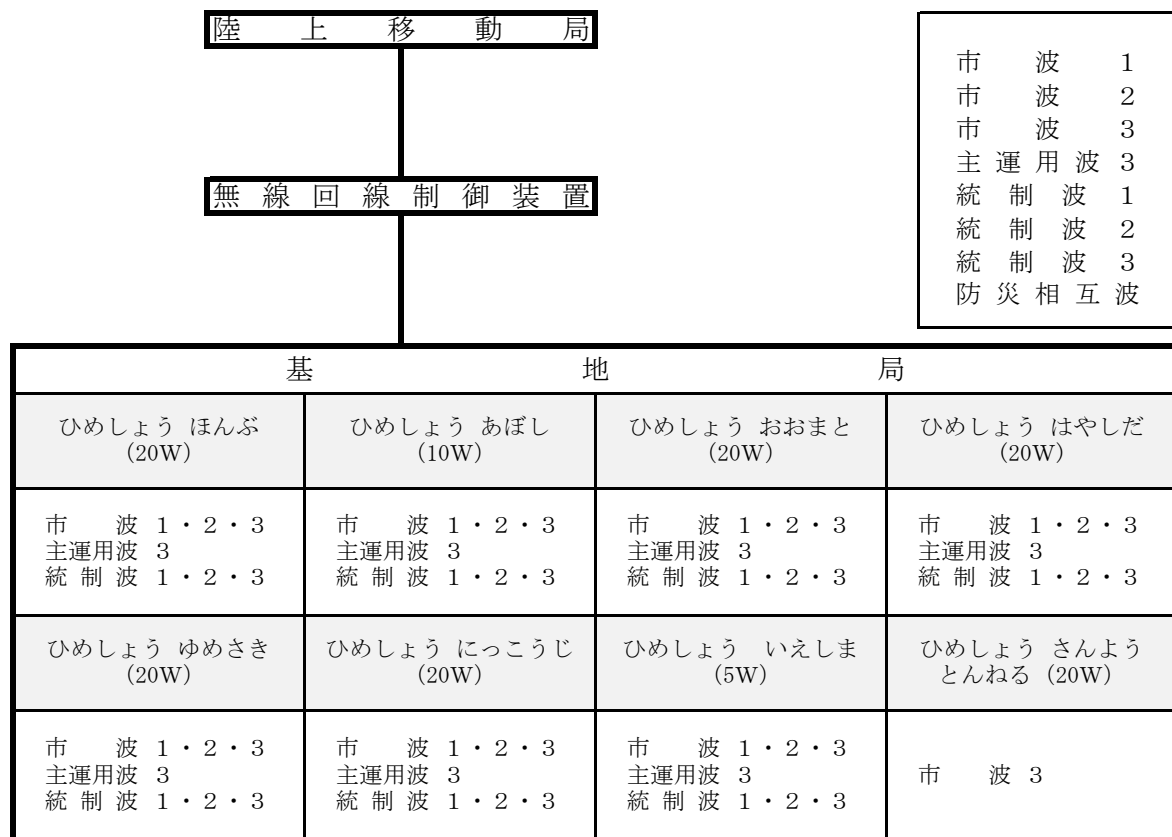
11 119番による応急手当の口頭指導状況

(令和2年中)

市民処置内容	口頭指導件数	口頭指導件数のうち 市民実施件数	実施率 (%)
気 道 確 保	89	9	10.1
人 工 呼 吸	11	9	81.8
胸 骨 圧 迫	613	244	39.8
心 肺 蘇 生 法	127	19	15.0
除 細 動 (AED)	21	4	19.0
止 血	223	75	33.6
被 覆	16	7	43.8
固 定	1	-	-
移 動	34	11	32.4
体 位	204	40	19.6
創 傷 処 置	7	2	28.6
保 温	3	3	100.0
そ の 他	78	34	43.6
合 計	1,427	457	32.0

12 消防通信系統図

消 防 通 信 系 統 図



予 防 ・ 防 災

1 火災予防に関する届出及び申請状況

消防法や火災予防条例では、火災予防に関する管理、設備、少量危険物等の届出を義務づけています。これによって消防機関は、事前にこれらの状況を把握し、効果的な指導を行って適正な予防行政の執行を図っています。

(令和2年度)

区 分		署 別	合 計 (うち受託町)	姫路東 消防署	姫路西 消防署	飾 磨 消防署	網 干 消防署	中播消防署 (うち受託町)
消 防 法 に よ る 届 出	防火管理者	選 任	855 (69)	228	270	187	66	104 (69)
		解 任	635 (56)	126	226	145	54	84 (56)
	消防計画	作 成	819 (70)	203	264	182	64	106 (70)
		変 更	215 (7)	61	62	50	23	19 (7)
	工事整備対象設備等着工届		516 (53)	127	129	122	73	65 (53)
	消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届		1,228 (108)	288	361	285	140	154 (108)
	消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果報告		8,132 (922)	1,754	2,239	1,611	1,250	1,278 (922)
	防火対象物点検結果報告		556 (41)	217	128	104	39	68 (41)
	圧縮アセチレンガス等の貯蔵(廃止)届		126 (12)	26	32	25	21	22 (12)
火 災 予 防 条 例 に よ る 届 出	消防用設備等工事計画書		530 (50)	126	161	111	71	61 (50)
	防火対象物使用開始届		568 (48)	111	150	140	92	75 (48)
	火を使用する設備等の設置届		100 (6)	21	35	17	15	12 (6)
	変電設備、発電設備、蓄電池設備設置届		266 (24)	42	50	77	63	34 (24)
	ネオン管灯設備設置届		- (一)	-	-	-	-	- (一)
	水素ガスを充てんする気球の設置届		- (一)	-	-	-	-	- (一)
	火災と紛らわしい煙等を発するおそれのある行為の届出		1,960 (264)	397	788	229	124	422 (264)
	煙火打上げ等の届出		22 (1)	10	5	3	3	1 (1)
	演劇等の催物開催届		5 (一)	5	-	-	-	- (一)
	水道断減水届		84 (2)	11	19	18	26	10 (2)
	火気等使用する露店等開設届、道路占用届		96 (13)	61	13	8	0	14 (13)
	道路工事届		705 (129)	165	173	147	40	180 (129)
	文化財等催物開催届		6 (一)	5	1	-	-	- (一)
	指定洞道等届出		- (一)	-	-	-	-	- (一)
	少量危険物貯蔵(変更・廃止)届		98 (7)	18	16	20	32	12 (7)
	指定可燃物(変更・廃止)届		36 (7)	7	-	12	10	7 (7)
	放射性同位元素等貯蔵(変更・廃止)届		21 (一)	-	1	13	7	- (一)

2 防火対象物定期点検報告制度等に係る届出状況

(令和2年度)

区 分		点検を要する 防火対象物数				点検報告済 防火対象物数			
		収容人員 300人以上のもの		特定 1 階段 のもの		収容人員 300人以上のもの		特定 1階段 のもの	
1	イ	14	(－)	－	(－)	13	(－)	－	(－)
	ロ	188	(30)	1	(－)	146	(19)	－	(－)
2	イ	－	(－)	－	(－)	－	(－)	－	(－)
	ロ	21	(2)	－	(－)	15	(1)	－	(－)
	ハ	－	(－)	－	(－)	－	(－)	－	(－)
	ニ	－	(－)	1	(－)	－	(－)	1	(－)
3	イ	－	(－)	1	(－)	－	(－)	－	(－)
	ロ	8	(－)	25	(－)	6	(－)	6	(－)
4		99	(10)	27	(－)	78	(6)	8	(－)
5	イ	10	(1)	22	(1)	7	(1)	10	(－)
6	イ	20	(2)	11	(－)	14	(1)	8	(－)
	ロ	2	(－)	9	(－)	1	(－)	6	(－)
	ハ	3	(－)	5	(－)	3	(－)	3	(－)
	ニ	2	(－)	－	(－)	2	(－)	－	(－)
9	イ	－	(－)	1	(－)	－	(－)	1	(－)
16	イ	112	(4)	44	(－)	75	(4)	19	(－)
16の2		1	(－)	－	(－)	－	(－)	－	(－)
合 計		480	(49)	147	(1)	360	(32)	62	(0)
		627		(50)		422		(32)	

※ ()内は受託町 (内数)

3 液化石油ガス施設等の推移

消防活動が著しく困難な液化石油ガス等を貯蔵し又は取り扱うものには、消防法及び火災予防条例等に基づき消防署長に届出を義務づけています。

(各年度末現在)

区分 \ 年度	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2
液化石油ガス	1,637 (124)	1,700 (128)	1,747 (131)	1,791 (133)	1,860 (132)	1,931 (139)	1,975 (141)	2,044 (139)	2,101 (149)	2,171 (178)
高圧ガス	79 (－)	86 (－)	87 (－)	92 (－)	97 (－)	97 (－)	98 (－)	98 (－)	98 (－)	98 (－)
毒物・劇物等	226 (14)	279 (14)	298 (18)	311 (19)	320 (19)	325 (19)	331 (19)	337 (19)	340 (22)	341 (22)
合 計	1,942 (138)	2,065 (142)	2,132 (149)	2,194 (152)	2,277 (151)	2,353 (158)	2,404 (160)	2,479 (158)	2,539 (171)	2,610 (200)

※ ()内は受託町(内数)

(注) 液化石油ガス(供給設備)の一部については、県からの事務移譲分を含む。

4 指定査察対象物の推移

(各年度末現在)

署別 \ 年度	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2
姫路東消防署	5,211	5,179	5,210	5,249	5,270	5,173	5,223	5,244	5,419	5,739
姫路西消防署	4,855	4,893	4,919	4,902	4,845	4,821	4,822	4,868	4,940	5,412
飾磨消防署	4,965	5,029	5,073	5,093	5,093	5,165	5,129	5,129	5,254	5,888
網干消防署	2,261	2,219	2,255	2,266	2,233	2,146	2,258	2,261	2,279	2,475
中播消防署	1,772 (1,149)	1,786 (1,144)	1,752 (1,120)	1,787 (1,139)	1,822 (1,165)	1,802 (1,164)	1,833 (1,169)	1,908 (1,209)	1,956 (1,247)	2,155 (1,388)
合 計	19,064 (1,149)	19,106 (1,144)	19,209 (1,120)	19,297 (1,139)	19,263 (1,165)	19,107 (1,164)	19,265 (1,169)	19,473 (1,209)	19,848 (1,247)	21,669 (1,388)

※ ()内は受託町(内数)

5 消防法等違反の実態と措置状況

(令和2年度)

区分	違反対象物数	指示件数
警告件数	9	24
命令件数	1	1

6 指定査察対象物の立入検査等実施状況

消防法第4条の規定により、あらゆる仕事場、工場若しくは公衆の出入りする場所その他関係のある場所に立ち入って、防火対象物の位置、構造、設備及び管理の状況を検査し、火災予防上の法令違反及びその他の不備欠陥事項について、関係者に対して是正指導等を行っています。

用 途 別			査 察 区 分										(令和2年度中)															
			合 計			特種査察対象物			第1種査察対象物			第2種査察対象物			第3種査察対象物			第4種査察対象物			第5種査察対象物							
対象数	立入検査等数	違反対象数	指示件数	対象数	立入検査数	違反対象数	指示件数	対象数	立入検査数	違反対象数	指示件数	対象数	立入検査数	違反対象数	指示件数	対象数	立入検査数	違反対象数	指示件数	対象数	立入検査数	違反対象数	指示件数	対象数	立入検査数	違反対象数	指示件数	巡回調査実施数
21,669	1,998	1,059	2,004	798	227	140	333	1,129	325	153	369	2,595	143	73	165	4,959	516	247	449	8,428	760	446	688	3,760	27			
5	-	-	-					4								1												
17	3	2	8					12	3	2	8					1				4								
335	44	18	33	3				68	14	7	15					159	25	10	17	99	5	1	1	6				
7	-	-	-													2				5								
59	10	8	14					29	6	4	10					12	2	2	2	18	2	2	2					
-	-	-	-																									
12	3	4	4	12	3	4	4									2	2	1	1	9								
16	3	2	5	2	1	1	4	3								146	21	16	29	706	172	125	203	7				
918	218	162	271	28	17	15	25	31	8	6	14					1	1	1		2								
14	9	4	8	27	9	7	27	313	98	55	127					185	50	27	48	532	107	80	127	4				
1,061	264	169	329	211	71	30	54																					
211	71	30	54													118	10	5	5	12	1							
233	11	5	5													1,547	30	20	49	212	1	4		102				
4,691	40	20	56					3																				
53	6	5	11	40	4	3	8	9	2	2	3					1				3								
337	54	40	72	30	7	6	14	35	5	5	16					77	11	6	9	195	31	23	33					
224	56	37	96	223	56	37	96	1																				
582	109	48	103	73	17	12	41	102	14	8	20					171	42	10	15	235	36	18	27	1				
85	10	1	1					14	2							49	7	1	1	21	1			1				
13	2	2	1					10	1	1						2	1	1	1	1								
277	14	6	12													170	9	5	11	50	3	1	1	46	2			
183	24	12	15													90	12	8	11	49	6	1	3	7	2			
126	4	1	1													75	4	1	1	23				1				
80	20	4	7					2	2	2	2					43	7	2	5	21	2							
78	-	-	-					49												17								
20	6	3	5					12	4	3	5									2				2				
1	-	-	1	1			1																					
17	1	1	1					2								1				12	1	1	1	2				
13	-	-	-					2								3				5				3				
22	5	1	2					1	1	1	2					2	1			14	3			5				
177	18	7	8					21	1	1	1					27	6	3	3	123	10	3	4	6	1			
3,132	179	85	144					2								999	39	19	55	646	79	36	30	45	1			
2	1	-	-																									
479	38	11	18					2								2	1			228	13	3	4	54				
-	-	-	-													180	24	7	13									
2,467	161	69	122													489	63	27	44	1,386	63	23	28	144	4			
1,202	57	17	41					1								131	13	5	9	758	31	7	24	103	2			
146	10	3	4													48	7	2	3	62	2	1	1	3				
61	3	-	-													20				22				16	2			
137	9	2	2													11				64	3	1	1	5	2			
1,618	86	22	32													224	11	4	9	179	21	6	16	275	4			
1,682	294	205	438	148	42	25	59	329	52	33	106					451	74	54	125	746	126	93	148	4				
716	35	19	33					2								136	6	3	5	130	12	11	18	22				
1	-	-	-					1																				
-	-	-	-																									
147	110	25	37					147	110	25	37									11	10	9	10					
12	10	9	10													1												

7 指定査察対象物の状況

(令和2年度末現在)

[illegible]

(注) 中播消防署管内の数値は受託町を含む。

(注) 総計数値は受託町を含む。

8 中高層建築物・地下を有する建築物の状況

(令和2年度末現在)

階 別 用 途 別			地 上 階															
			合計	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	16階		
総 計			3,054	1,226	754	352	178	167	105	126	63	20	21	19	23	-		
1	イ	劇場・映画館・演芸場	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	イ	観 覧 場	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	13	8	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
3	イ	待 合 ・ 料 理 店	5	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ	飲 食 店	48	23	12	10	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
4	イ	百貨店・マーケット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ	店 舗 ・ 展 示 場	53	30	15	5	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-		
	ハ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	50	15	9	6	4	3	4	1	3	2	-	2	1	-		
5	イ	寄 宿 舎 ・ 下 宿	54	28	21	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ	共 同 住 宅	1,313	321	349	162	92	96	71	104	52	11	20	14	21	-		
	ハ	病 院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
6	イ	診 療 所	64	29	16	15	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ	特別養護老人ホーム等	37	22	7	6	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
	ハ	老人デイサービスセンター等	6	2	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
7	イ	幼 稚 園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ	特 別 支 援 学 校	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ハ	小 学 校	63	61	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
8	イ	中 学 校	23	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ	高 等 学 校	28	22	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ハ	大 学	19	10	3	2	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-		
9	イ	各 種 学 校	33	18	5	4	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ	国 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ハ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
10	イ	イ 以 外 の 浴 場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ	車 両 の 停 車 場 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ハ	神 社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
11	イ	寺 院 ・ 教 会 の 類	6	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ	工 場 ・ 作 業 場	124	80	21	11	7	3	2	-	-	-	-	-	-	-		
	ハ	映画スタジオ・テレビスタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
12	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	15	9	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ハ	倉 庫	51	42	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
13	イ	事 務 所	223	120	47	22	11	15	6	2	-	-	-	-	-	-		
	ロ	銀 行 ・ 信 用 金 庫 等	21	7	3	2	-	4	2	-	1	2	-	-	-	-		
	ハ	発 電 所 ・ 変 電 所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
14	イ	官 公 署	21	11	5	2	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
	ロ	そ の 他	65	36	17	8	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-		
	ハ	特 定 複 合 用 途 防 火 対 象 物	483	191	137	64	32	31	10	8	5	1	1	2	1	-		
15	イ	イ以外の複合用途防火対象物	222	102	56	26	12	8	6	6	2	3	-	1	-	-		
	ロ	地 下 街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ハ	準 地 下 街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
16	イ	文 化 財	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ	延 長 5 0 m 以 上 の ア ー ケード	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ハ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

地階を有する建築物			
合計	地下1階	地下2階	地下3階
303	290	11	2
1	1	-	-
2	1	1	-
1	1	-	-
-	-	-	-
2	2	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
2	2	-	-
8	8	-	-
-	-	-	-
13	12	-	1
16	16	-	-
-	-	-	-
42	42	-	-
-	-	-	-
14	13	1	-
2	2	-	-
1	1	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
2	2	-	-
9	9	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
3	3	-	-
7	7	-	-
-	-	-	-
1	1	-	-
-	-	-	-
2	2	-	-
26	26	-	-
9	8	1	-
-	-	-	-
3	3	-	-
7	6	1	-
112	104	7	1
16	16	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
1	1	-	-
-	-	-	-

9 防火対象物使用開始検査の状況

、姫路市火災予防条例第52条の規定により、新たに防火対象物を使用しようとする者から届出があった場合には、使用開始検査を實施し、火災予防上の法令違反及びその他の不備な陳述事項について、関係者に対して是正指導等を行っているま

(令和2年度)

用途別	警 別		区 分										姫 路 東 消 防 署										姫 路 西 消 防 署										飾 磨 消 防 署										網 干 消 防 署										中 掃 消 防 署										受 託 町 (中掃消防署)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	合計	区分	1種	2種	3種	4種	5種	6種	7種	8種	9種	10種	11種	12種	13種	14種	15種	16種	17種	18種	19種	20種	21種	22種	23種	24種	25種	26種	27種	28種	29種	30種	31種	32種	33種	34種	35種	36種	37種	38種	39種	40種	41種	42種	43種	44種	45種	46種	47種	48種	49種	50種	51種	52種	53種	54種	55種	56種	57種	58種	59種	60種	61種	62種	63種	64種	65種	66種	67種	68種	69種	70種	71種	72種	73種	74種	75種	76種	77種	78種	79種	80種	81種	82種	83種	84種	85種	86種	87種	88種	89種	90種	91種	92種	93種	94種	95種	96種	97種	98種	99種	100種	101種	102種	103種	104種	105種	106種	107種	108種	109種	110種	111種	112種	113種	114種	115種	116種	117種	118種	119種	120種	121種	122種	123種	124種	125種	126種	127種	128種	129種	130種	131種	132種	133種	134種	135種	136種	137種	138種	139種	140種	141種	142種	143種	144種	145種	146種	147種	148種	149種	150種	151種	152種	153種	154種	155種	156種	157種	158種	159種	160種	161種	162種	163種	164種	165種	166種	167種	168種	169種	170種	171種	172種	173種	174種	175種	176種	177種	178種	179種	180種	181種	182種	183種	184種	185種	186種	187種	188種	189種	190種	191種	192種	193種	194種	195種	196種	197種	198種	199種	200種	201種	202種	203種	204種	205種	206種	207種	208種	209種	210種	211種	212種	213種	214種	215種	216種	217種	218種	219種	220種	221種	222種	223種	224種	225種	226種	227種	228種	229種	230種	231種	232種	233種	234種	235種	236種	237種	238種	239種	240種	241種	242種	243種	244種	245種	246種	247種	248種	249種	250種	251種	252種	253種	254種	255種	256種	257種	258種	259種	260種	261種	262種	263種	264種	265種	266種	267種	268種	269種	270種	271種	272種	273種	274種	275種	276種	277種	278種	279種	280種	281種	282種	283種	284種	285種	286種	287種	288種	289種	290種	291種	292種	293種	294種	295種	296種	297種	298種	299種	300種	301種	302種	303種	304種	305種	306種	307種	308種	309種	310種	311種	312種	313種	314種	315種	316種	317種	318種	319種	320種	321種	322種	323種	324種	325種	326種	327種	328種	329種	330種	331種	332種	333種	334種	335種	336種	337種	338種	339種	340種	341種	342種	343種	344種	345種	346種	347種	348種	349種	350種	351種	352種	353種	354種	355種	356種	357種	358種	359種	360種	361種	362種	363種	364種	365種	366種	367種	368種	369種	370種	371種	372種	373種	374種	375種	376種	377種	378種	379種	380種	381種	382種	383種	384種	385種	386種	387種	388種	389種	390種	391種	392種	393種	394種	395種	396種	397種	398種	399種	400種	401種	402種	403種	404種	405種	406種	407種	408種	409種	410種	411種	412種	413種	414種	415種	416種	417種	418種	419種	420種	421種	422種	423種	424種	425種	426種	427種	428種	429種	430種	431種	432種	433種	434種	435種	436種	437種	438種	439種	440種	441種	442種	443種	444種	445種	446種	447種	448種	449種	450種	451種	452種	453種	454種	455種	456種	457種	458種	459種	460種	461種	462種	463種	464種	465種	466種	467種	468種	469種	470種	471種	472種	473種	474種	475種	476種	477種	478種	479種	480種	481種	482種	483種	484種	485種	486種	487種	488種	489種	490種	491種	492種	493種	494種	495種	496種	497種	498種	499種	500種	501種	502種	503種	504種	505種	506種	507種	508種	509種	510種	511種	512種	513種	514種	515種	516種	517種	518種	519種	520種	521種	522種	523種	524種	525種	526種	527種	528種	529種	530種	531種	532種	533種	534種	535種	536種	537種	538種	539種	540種	541種	542種	543種	544種	545種	546種	547種	548種	549種	550種	551種	552種	553種	554種	555種	556種	557種	558種	559種	560種	561種	562種	563種	564種	565種	566種	567種	568種	569種	570種	571種	572種	573種	574種	575種	576種	577種	578種	579種	580種	581種	582種	583種	584種	585種	586種	587種	588種	589種	590種	591種	592種	593種	594種	595種	596種	597種	598種	599種	600種	601種	602種	603種	604種	605種	606種	607種	608種	609種	610種	611種	612種	613種	614種	615種	616種	617種	618種	619種	620種	621種	622種	623種	624種	625種	626種	627種	628種	629種	630種	631種	632種	633種	634種	635種	636種	637種	638種	639種	640種	641種	642種	643種	644種	645種	646種	647種	648種	649種	650種	651種	652種	653種	654種	655種	656種	657種	658種	659種	660種	661種	662種	663種	664種	665種	666種	667種	668種	669種	670種	671種	672種	673種	674種	675種	676種	677種	678種	679種	680種	681種	682種	683種	684種	685種	686種	687種	688種	689種	690種	691種	692種	693種	694種	695種	696種	697種	698種	699種	700種	701種	702種	703種	704種	705種	706種	707種	708種	709種	710種	711種	712種	713種	714種	715種	716種	717種	718種	719種	720種	721種	722種	723種	724種	725種	726種	727種	728種	729種	730種	731種	732種	733種	734種	735種	736種	737種	738種	739種	740種	741種	742種	743種	744種	745種	746種	747種	748種	749種	750種	751種	752種	753種	754種	755種	756種	757種	758種	759種	760種	761種	762種	763種	764種	765種	766種	767種	768種	769種	770種	771種	772種	773種	774種	775種	776種	777種	778種	779種	780種	781種	782種	783種	784種	785種	786種	787種	788種	789種	790種	791種	792種	793種	794種	795種	796種	797種	798種	799種	800種	801種	802種	803種	804種	805種	806種	807種	808種	809種	810種	811種	812種	813種	814種	815種	816種	817種	818種	819種	820種	821種	822種	823種	824種	825種	826種	827種	828種	829種	830種	831種	832種	833種	834種	835種	836種	837種	838種	839種	840種	841種	842種	843種	844種	845種	846種	847種	848種	849種	850種	851種	852種	853種	854種	855種	856種	857種	858種	859種	860種	861種	862種	863種	864種	865種	866種	867種	868種	869種	870種	871種	872種	873種	874種	875種	876種	877種	878種	879種	880種	881種	882種	883種	884種	885種	886種	887種	888種	889種	890種	891種	892種	893種	894種	895種	896種	897種	898種	899種	900種	901種	902種	903種	904種	905種	906種	907種	908種	909種	910種	911種	912種	913種	914種	915種	916種	917種	918種	919種	920種	921種	922種	923種	924種	925種	926種	927種	928種	929種	930種	931種	932種	933種	934種	935種	936種	937種	938種	939種	940種	941種	942種	943種	944種	945種	946種	947種	948種	949種	950種	951種	952種	953種	954種	955種	956種	957種	958種	959種	960種	961種	962種	963種	964種	965種	966種	967種	968種	969種	970種	971種	972種	973種	974種	975種	976種	977種	978種	979種	980種	981種	982種	983種	984種	985種	986種	987種	988種	989種	990種	991種	992種	993種	994種	995種	996種	997種	998種	999種	1000種	1001種	1002種	1003種	1004種	1005種	1006種	1007種	1008種	1009種	1010種	1011種	1012種	1013種	1014種	1015種	1016種	1017種	1018種	1019種	1020種	1021種	1022種	1023種	1024種	1025種	1026種	1027種	1028種	1029種	1030種	1031種	1032種	1033種	1034種	1035種	1036種	1037種	1038種	1039種	1040種	1041種	1042種	1043種	1044種	1045種	1046種	1047種	1048種	1049種	1050種	1051種	1052種	1053種	1054種	1055種	1056種	1057種	1058種	1059種	1060種	1061種	1062種	1063種	1064種	1065種	1066種	1067種	1068種	1069種	1070種	1071種	1072種	1073種	1074種	1075種	1076種	1077種	1078種	1079種	1080種	1081種	1082種	1083種	1084種	1085種	1086種	1087種	1088種	1089種	1090種	1091種	1092種	1093種	1094種	1095種	1096種	1097種	1098種	1099種	1100種	1101種	1102種	1103種	1104種	1105種	1106種	1107種	1108種	1109種	1110種	1111種	1112種	1113種	1114種	1115種	1116種	1117種	1118種	1119種	1120種	1121種	1122種	1123種	1124種	1125種	1126種	1127種	1128種	1129種	1130種	1131種	1132種	1133種	1134種	1135種	1136種	1137種	1138種	1139種	1140種	1141種	1142種	1143種	1144種	1145種	1146種	1147種	1148種	1149種	1150種	1151種	1152種	1153種	1154種	1155種	1156種	1157種	1158種	1159種	1160種	1161種	1162種	1163種	1164種	1165種	1166種	1167種	1168種	1169種	1170種	1171種	1172種	1173種	1174種	1175種	1176種	1177種	1178種	1179種	1180種	1181種	1182種	1183種	1184種	1185種	1186種	1187種	1188種	1189種	1190種	1191種	1192種	1193種	1194種	1195種	1196種	1197種	1198種	1199種	1200種

10 防火管理者・消防計画を必要とする防火対象物の届出状況

(令和2年度末現在)

用 途 別			防火管理義務 対象物数	防火管理者選任対象物数		消防計画届出対象物数	
				選任率		届出率	
総 計			5,174	4,447	86%	4,390	85%
1	イ	劇場・映画館・演芸場	3	3	100%	3	100%
	イ	観 覧 場	12	12	100%	12	100%
	ロ	公会堂・集会場	282	267	95%	266	94%
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ	6	4	67%	4	67%
	ロ	遊技場・ダンスホール	37	34	92%	35	95%
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗	-	-	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等	11	11	100%	11	100%
3	イ	待 合 ・ 料 理 店	7	5	71%	5	71%
	ロ	飲 食 店	495	394	80%	380	77%
4	百貨店・マーケット		12	11	92%	11	92%
	店 舗 ・ 展 示 場		677	591	87%	582	86%
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	100	97	97%	97	97%
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿	15	13	87%	15	100%
	ロ	共 同 住 宅	823	625	76%	623	76%
6	イ	病 院	33	33	100%	33	100%
	イ	診 療 所	94	87	93%	87	93%
	ロ	特別養護老人ホーム等	169	163	96%	163	96%
	ハ	老人デイサービスセンター等	228	222	97%	222	97%
	ニ	幼 稚 園	39	39	100%	39	100%
	ニ	特 別 支 援 学 校	4	4	100%	4	100%
7	小 学 校		79	79	100%	79	100%
	中 学 校		39	39	100%	39	100%
	高 等 学 校		22	21	95%	21	95%
	大 学		6	6	100%	6	100%
	各 種 学 校		41	37	90%	36	88%
8	図書館・博物館・美術館		11	11	100%	11	100%
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	1	1	100%	1	100%
	ロ	イ 以 外 の 浴 場	6	4	67%	4	67%
10	車 両 の 停 車 場 等		-	-	-	-	-
11	神 社		7	6	86%	6	86%
	寺 院 ・ 教 会 の 類		86	64	74%	63	73%
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	206	194	94%	194	94%
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	-	-	-	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場	5	4	80%	4	80%
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	-	-	-	-	-
14	倉 庫		34	31	91%	31	91%
15	事 務 所		164	139	85%	136	83%
	銀 行 ・ 信 用 金 庫 等		68	67	99%	67	99%
	発 電 所 ・ 変 電 所		3	3	100%	3	100%
	官 公 署		42	42	100%	42	100%
	そ の 他		213	184	86%	182	85%
16	イ	特定複合用途防火対象物	960	800	83%	776	81%
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	119	85	71%	82	69%
16の2	地 下 街		1	1	100%	1	100%
16の3	準 地 下 街		-	-	-	-	-
17	文 化 財		14	14	100%	14	100%
18	延長50m以上のアーケード		-	-	-	-	-

11 消防同意等の推移

区分	年度	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2
消 防 同 意		835 (56)	817 (49)	901 (58)	900 (47)	903 (48)	896 (41)	895 (54)	871 (45)	770 (50)	719 (44)
計 画 通 知		38 (2)	41 (-)	34 (-)	36 (-)	39 (1)	37 (-)	24 (-)	33 (-)	32 (-)	36 (1)

※ ()内は受託町 (内数)

12 民間防火組織等の指導育成状況

(令和2年度)

訓練内容 業態別	実 施 対象数	実施 人員	区分	訓 練				研 修			その他
				消火	避難 通報	器具 取扱	救急	講習会	映画	施設 見学	
婦人防火クラブ	0	0	対象数	0	0	0	0	0	0	0	0
			人 員	0	0	0	0	0	0	0	0
保育園・幼稚園 (幼年消防クラブを含む)	85	6,995	対象数	43	44	0	0	5	0	45	10
			人 員	4,701	4,785	0	0	412	0	2,444	1,401
学 校 (PTA・市政出前講座を含む)	61	4,102	対象数	5	4	0	2	4	0	51	3
			人 員	812	756	0	325	326	0	2,727	223
事 業 所	124	3,263	対象数	61	60	0	17	1	0	28	6
			人 員	1,916	1,934	0	323	330	0	343	177
そ の 他	36	943	対象数	4	4	0	1	0	0	30	1
			人 員	42	63	0	50	0	0	829	22
合 計	306	15,303	対象数	113	112	0	20	10	0	154	20
			人 員	7,471	7,538	0	698	1,068	0	6,343	1,823

13 自主防災組織の結成状況

自主防災組織は、水害、地震等の災害から地域を守るため、自治会が主体となり自主的に結成された組織です。平常時は防火防災知識の習得や訓練を実施し、災害時には地域が一体となって、人命や財産等の被害の軽減にあたります。

令和3年3月31日現在、784組織が結成されています。

なお、全自治会数は929で、複数の自治会が合同で結成している地域もあり、結成率は99.9%です。

				(令和3年3月31日現在)			
署別	地区	結成組織数	結成自治会数	署別	地区	結成組織数	結成自治会数
合計	72	784	928	小計	16	134	243
小計	20	276	292				
姫路東消防署	城 東	23	23	飾磨消防署	高 浜	15	15
	城 東	26	26		飾磨橋東	10	10
	城 巽	23	31		飾磨橋西	10	10
	城 南	18	18		津 田	4	4
	野 里	26	29		英賀保	20	20
	城 北	17	17		広 畑	11	11
	城 乾	8	8		広畑第二	13	13
	広 峰	12	12		八 幡	25	25
	水 上	12	12		妻 鹿	1	17
	増 位	12	12		白 浜	3	39
	花 田	9	9	網干消防署	八 木	1	10
	別 所	9	9		糸 引	1	6
	御国野	7	7		的 形	12	12
	四 郷	11	11		大 塩	4	4
	谷 内	9	9		家 島	3	31
	谷 外	11	11		坊 勢	1	16
	砥 堀	5	5	小計	8	55	72
	豊 富	22	27	網	大 津	6	6
	山 田	7	7	干	南大津	5	5
	船 津	9	9	消	大津茂	11	13
小計	18	236	238	消	網 干	5	17
姫路西消防署	船 場	38	38	防	網干西	4	7
	城 西	32	32	署	旭 陽	10	10
	安 室	5	5		勝 原	10	10
	安室東	7	7	小計	余 部	4	4
	高 岡	17	17	中	置 塩	10	10
	高岡西	14	14	播	古 知	6	6
	荒 川	15	15	消	前之庄	9	9
	手 柄	9	9	消	山之内	8	8
	城 陽	15	15	防	菅 生	15	15
	曾 左	18	18	署	上 菅	6	6
	白 鳥	10	10		筋 野	4	4
	青 山	10	10		中 寺	11	11
	峰 相	6	6		香 呂	10	10
	太 市	8	8		香呂南	4	4
	林 田	14	14	全自治会数 929 (結成率 99.9%)			
	伊 勢	1	3				
	安富南	13	13				
	安富北	4	4				

《自主防災組織の訓練実施状況》

(令和3年3月末)

年度	対象数	参加人員	訓 練										研 修		その他
			消火 訓練	消火栓 取扱 訓練	避難 訓練	救出 訓練	応急 処置 訓練	情報 連絡 訓練	心肺 蘇生法	炊出し 訓練	避難所 運営 訓練	災害 図上 訓練	防災 ビデオ 映画会	防災 講習	
23	518	19,118	245	93	197	45	50		162	129	13	2	64	151	53
			10,547	7,482	8,830	1,836	2,318		5,584	7,574	514	32	2,105	4,321	3,589
24	885	15,603	210	110	127	54	136		107	165	56	14	114	174	218
			8,988	6,487	5,716	1,674	2,850		4,846	6,383	530	1,012	1,806	3,202	3,589
25	572	21,922	370	118	284	113	226		242	206	70	24	94	143	133
			14,952	9,288	8,964	3,684	5,947		6,938	8,138	1,257	457	2,379	6,397	4,197
26	503	21,953	292	134	263	24	115		195	183	70	1	36	159	112
			14,256	9,039	12,088	2,387	4,682		6,910	7,366	1,255	70	1,167	6,093	4,138
27	458	19,926	244	125	181	59	128		215	213	1	3	32	126	71
			12,826	9,046	10,233	1,916	4,452		6,575	9,841	98	222	1,147	4,349	2,993
28	645	27,143	338	145	315	106	104		233	331	15	1	51	176	138
			17,041	9,522	13,992	5,009	7,198		9,564	13,584	1,003	20	1,611	5,698	5,770
29	510	25,564	352	138	259	96	127		200	200	28	2	54	119	119
			18,412	10,195	13,225	4,645	6,510		9,439	8,843	799	92	2,088	6,533	7,611
30	554	24,904	273	173	303	101	150		271	219	92	0	35	130	179
			16,111	10,399	13,329	4,797	6,903		10,669	9,534	3,583	0	2,465	7,120	7,208
R1	525	23,636	354	175	268	119	139	228	27	198	31	0	38	115	151
			16,080	9,099	11,737	4,347	5,782	9,076	1,127	7,769	987	0	1,651	4,909	6,998
R2	277	5,740	83	41	108	1	44	1	32	102	114	6	14	92	62
			2,737	2,224	2,049	18	628	100	588	1,695	1,248	123	158	859	1,211

《避難所運営訓練実施状況》

令和3年3月末

年度	訓 練 日	地 区	参 加 者	
23	1月15日(日)	置塩	500人	1,000人
	3月11日(日)	飾磨橋東、橋西	500人	
24	5月20日(日)	津田	200人	737人
	9月9日(日)	香呂	87人	
	3月11日(日)	置塩	450人	
25	5月12日(日)	津田	160人	1,127人
	11月10日(日)	野里	350人	
	2月16日(日)	四郷	250人	
	3月2日(日)	置塩	367人	
26	9月7日(日)	城西	600人	1,600人
	11月9日(日)	野里	350人	
	11月24日(日)	御国野	200人	
	3月1日(日)	置塩	450人	
28	11月27日(日)	城乾	200人	200人
29	11月3日(金)	御国野	300人	2,406人
	11月5日(日)	野里、高浜、的形	1,100人	
	11月23日(木)	広畑	500人	
	3月4日(日)	置塩	506人	
30	5月20日(日)	津田	196人	3,583人
	9月2日(日)	妻鹿	200人	
	11月11日(日)	御国野、野里	640人	
	11月23日(金)	広畑	500人	
	3月3日(日)	置塩	480人	
	各地区実施	単位自主防災会	1,567人	
R1	9月1日(日)	妻鹿	220人	987人
	11月10日(日)	網干、網干西、安富南、安富北	204人	
	各地区実施	単位自主防災会	563人	
R2	9月20日(日)	安室	15人	1,248人
	11月1日(日)	高浜	200人	
	11月8日(日)	御国野	50人	
	11月23日(月)	広畑	140人	
	11月28日(土)	城巽	10人	
	12月13日(日)	上余部	100人	
	3月7日(日)	高岡	250人	
	3月21日(日)	城東	100人	
	各地区実施	単位自主防災会	383人	

このページは空白です。

危 險 物

1 危険物事務の処理状況

(令和2年度)

区 分			製 造 所 等			
			合 計	製 造 所	貯 蔵 所	取 扱 所
合 計			2,326	438	802	1,086
許 可	設 置		52	0	42	10
	変 更		439	118	122	199
検 査	設 置 完 成		55	1	45	9
	変 更 完 成		420	110	113	197
	保 安		—	—	—	—
届 出	保 安 監 督 者		63	1	53	9
	品 名 数 量		69	4	42	23
	廃 止		44	2	30	12
	そ の 他		756	81	271	404
認 可	予 防 程 制 定		2	—	2	—
	規 程 変 更		38	5	4	29
仮 使 用 承 認			388	116	78	194

2 完成検査前検査の状況

(令和2年度)

水 圧 検 査	11	基 礎 ・ 地 盤	—
水 張 検 査	64	溶 接 部	—

3 仮貯蔵・仮取扱承認件数の状況

(令和2年度)

仮 貯 蔵	251	仮 取 扱	55
-------	-----	-------	----

4 危険物施設の状況

(令和2年度末現在)

署 別 施設区分	合 計	姫路東 消防署	姫路西 消防署	飾 磨 消防署	網 干 消防署	中 播 消防署
合 計	2,134	280	248	757	504	345(296)
製 造 所	48	1	3	5	31	8(8)
屋 内 貯 蔵 所	339	69	54	99	57	60(53)
屋外タンク貯蔵所	459	12	23	171	192	61(57)
屋内タンク貯蔵所	25	5	4	9	6	1(1)
地下タンク貯蔵所	230	48	41	52	19	70(57)
移動タンク貯蔵所	290	38	28	140	59	25(23)
簡易タンク貯蔵所	3	—	—	1	—	2(—)
屋 外 貯 蔵 所	64	5	15	15	13	16(16)
給 油 取 扱 所	292	65	40	102	32	53(38)
販 売 取 扱 所	18	6	11	1	—	—(—)
移 送 取 扱 所	9	—	—	5	4	—(—)
一 般 取 扱 所	357	31	29	157	91	49(43)

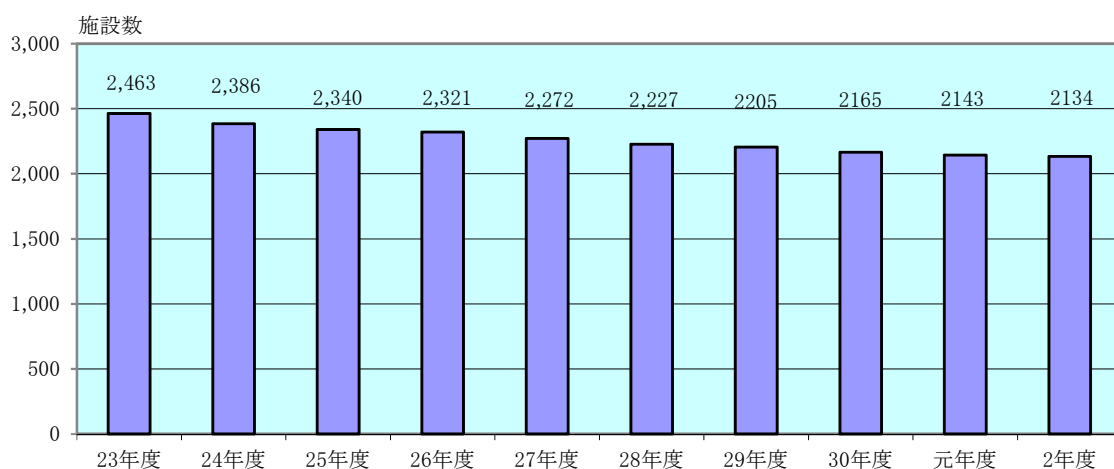
※ ()内は受託町(内数)

5 危険物施設の推移

(令和2年度末現在)

年度 署別	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2
姫路東消防署	340	328	305	296	280	292	289	289	281	280
姫路西消防署	312	296	276	277	271	262	250	243	243	248
飾磨消防署	871	850	854	843	831	797	793	779	765	757
網干消防署	519	514	518	513	508	508	510	498	504	504
中播消防署	421 (350)	398 (320)	387 (315)	392 (325)	382 (325)	368 (314)	363 (307)	356 (305)	350 (299)	345 (296)
合 計	2,463 (350)	2,386 (320)	2,340 (315)	2,321 (325)	2,272 (325)	2,227 (314)	2,205 (307)	2,165 (305)	2,143 (299)	2,134 (296)

※ ()内は受託町(内数)



6 危険物施設立入検査実施状況

(令和2年度)

区 分	立入検査計画数	立入検査施設数
合 計	1,046	1,325
製 造 所	46	41
屋 内 貯 蔵 所	118	177
屋外タンク貯蔵所	188	390
屋内タンク貯蔵所	12	8
地下タンク貯蔵所	90	98
移動タンク貯蔵所	87	114
簡易タンク貯蔵所	1	1
屋 外 貯 蔵 所	30	55
給 油 取 扱 所	138	168
販 売 取 扱 所	7	4
移 送 取 扱 所	9	7
一 般 取 扱 所	320	262

実施率

126.7%

7 特定・準特定屋外タンクの容量別・品名別状況

(令和2年度末現在)

容 量 \ 品 名	合計	原油	ナフサ	ガソリン	灯油	軽油	重油	アルコール類	その他
合 計	96	－	－	3	2	4	6	9	72
準特定屋外タンク 計	50	－	－	1	1	－	4	3	41
500kL以上 1,000kL未満	50	－	－	1	1	－	4	3	41
特定屋外タンク 計	46	－	－	2	1	4	2	6	31
1,000kL以上 5,000kL未満	38	－	－	2	1	4	2	3	26
5,000kL以上 10,000kL未満	6	－	－	－	－	－	－	1	5
10,000kL以上 50,000kL未満	2	－	－	－	－	－	－	2	－
50,000kL以上 70,000kL未満	－	－	－	－	－	－	－	－	－

8 特定事業所の危険物等貯蔵取扱量の状況

(令和2年度末現在)

区 分	石 油 の 貯蔵取扱量 (kℓ)	高圧ガスの 処 理 量 (Nm ³)	第4類危険物 (石油以外) 貯蔵取扱量 (kℓ)	第4類以外 危 険 物 貯蔵取扱量 (t・kℓ)
合 計	264,860	8,520,169	118,391	5,219
第1種事業所	233,320	7,859,701	28,246	5,207
第2種事業所	31,540	660,468	90,145	12

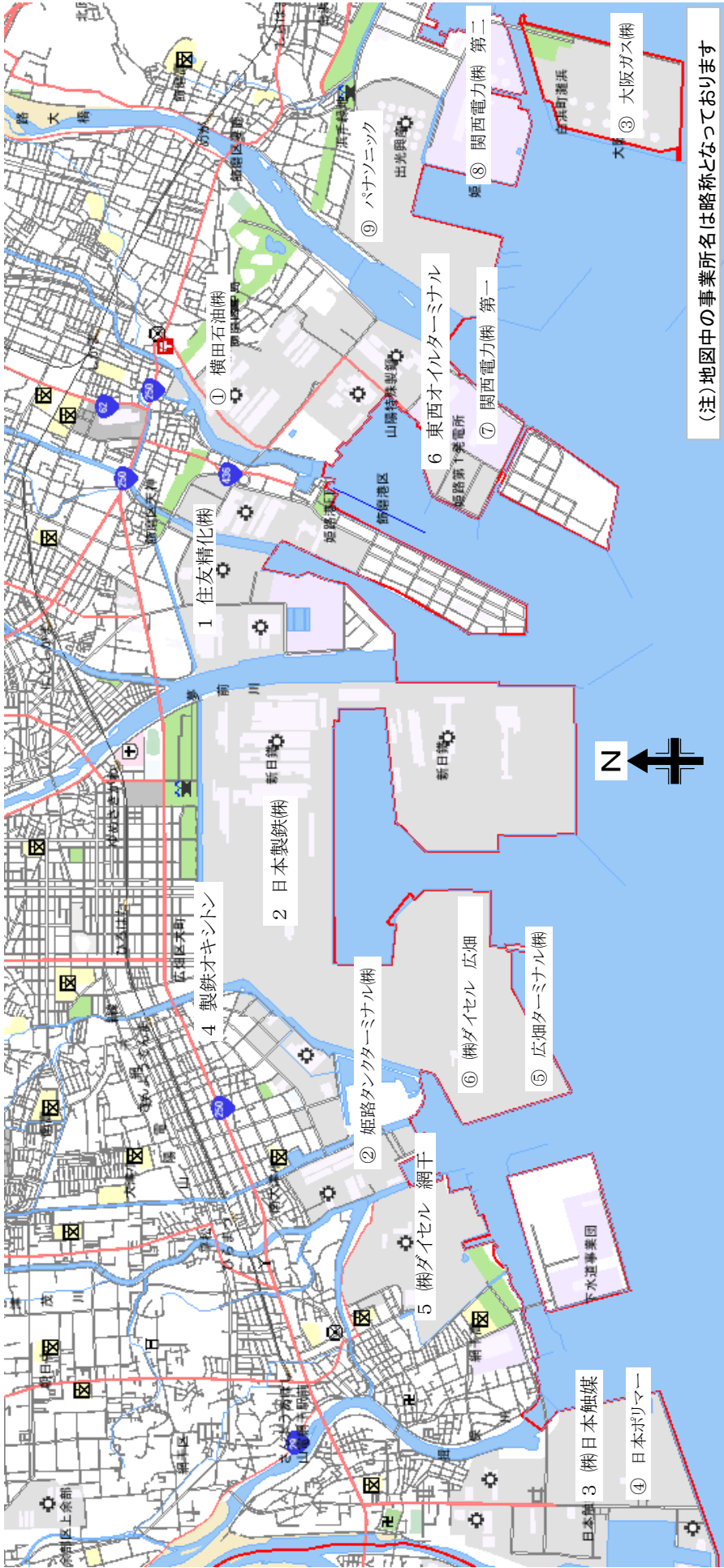
区 分	可燃性固体等		高圧ガス以外 の可燃性ガス (Nm ³)	毒 物		劇 物	
	固 体 (t)	液 体 (m ³)		石災法 (t)	毒劇法 (t)	石災法 (t)	毒劇法 (t)
合 計	52,113	810	68,592,377	30	287	406	32,239
第1種事業所	23,591	710	2,309,137	30	286	53	31,429
第2種事業所	28,522	100	66,283,240	－	1	353	810

9 特定事業所の危険物施設の状況

(令和2年度末現在)

区 分	合 計	第1種事業所	第2種事業所
合 計	524	413	111
製 造 所	35	32	3
屋 内 貯 蔵 所	57	42	15
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	259	208	51
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	4	－	4
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	5	2	3
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	－	－	－
屋 外 貯 蔵 所	8	5	3
自 家 用 給 油 所	4	3	1
移 送 取 扱 所	9	6	3
一 般 取 扱 所	143	115	28

10 姫路臨海地区特別防災区域の現況（令和3年4月1日現在）



特定事業所名

第 1 種 事 業 所	
レイアウト 規制 事業所	1 住友精化(株) 姫路工場 2 日本製鉄(株) 瀬戸内製鉄所 広畑地区 3 (株) 日本触媒(株) 姫路製造所 4 製鉄オキシトン(株) 広畑工場 5 (株) ダイセルケミカルプロダクツカンパニー 姫路製造所 網干工場 6 東西オイルターミナル(株) 姫路油槽
その他	

第 2 種 事 業 所	
① 横田石タ路大	所 槽
② 姫路ガ路大	所 所
③ 大日本	所 所
④ 日本	所 所
⑤ 広畑	所 所
⑥ (株) ダイセルケミカルプロダクツカンパニー 姫路製造所 広畑工場	所 所
⑦ 関西電力(株) 第一	所 所
⑧ 関西電力(株) 第二	所 所
⑨ ハ。ナソニク液晶ディスプレイ	所 所

11 危険物防災体制の推進状況

名 称	設置年月日	推 進 事 項 等
姫路化学消火薬剤 共同備蓄事業会	昭和43年 4月 9日	油火災等特殊災害に備え、多量の消火薬剤が迅速に集中できるよう、関係25事業所が共同して薬剤を備蓄し、有事に対処できる体制を確保しています。
災 害 防 止 協 定	昭和50年10月 6日	事業所の防災体制の整備促進、大規模災害の予防及び拡大防止、地域住民の安全確保を目的として、姫路市と関係事業所とが個別に協定を締結、防災体制の確立を期しています。 ・関西電力(株)〔姫路第一・姫路第二〕 ・住友精化(株)姫路工場 ・日本製鉄(株)瀬戸内製鉄所 広畑地区 ・(株)タ イセルチェーン プ ロダ クションカンパ ニー 姫路製造所網干工場 ・(株)タ イセルマルチ プ ロダ クションカンパ ニー 姫路製造所広畑工場 ・(株)日本触媒姫路製造所
L N G 基地建設に 伴う災害防止協定	昭和51年10月 4日 昭和55年12月17日	姫路液化天然ガス基地の建設及び操業するにあたり、災害の発生及び拡大を防止するため、姫路市と基地事業所が災害防止協定を締結しています。 ・関西電力(株) ・大阪ガス(株)
姫 路 臨 海 地 区 会 防 災 協 議 会	昭和52年 4月 1日	姫路臨海地区特別防災区域に係る保安、防災に関し協議、連絡、研究等を行い、災害の発生及び拡大の防止を図るため、15特定事業所が加入、有事に対処しています。
特 定 事 業 所 間 の 相 互 応 援 協 定	昭和52年 4月 1日	特定防災区域内に所在する15事業所で、消防業務等相互応援に関し協定を締結、消防連絡会議等によって協力体制を確立しています。
大 阪 湾 ・ 播 磨 灘 排出油等防除協議会	平成16年 4月 1日	大阪湾・播磨灘において大量の油が排出した場合の防除活動に必要な事項を協議し、かつ、その実施を推進することを目的として設立され加入しています。

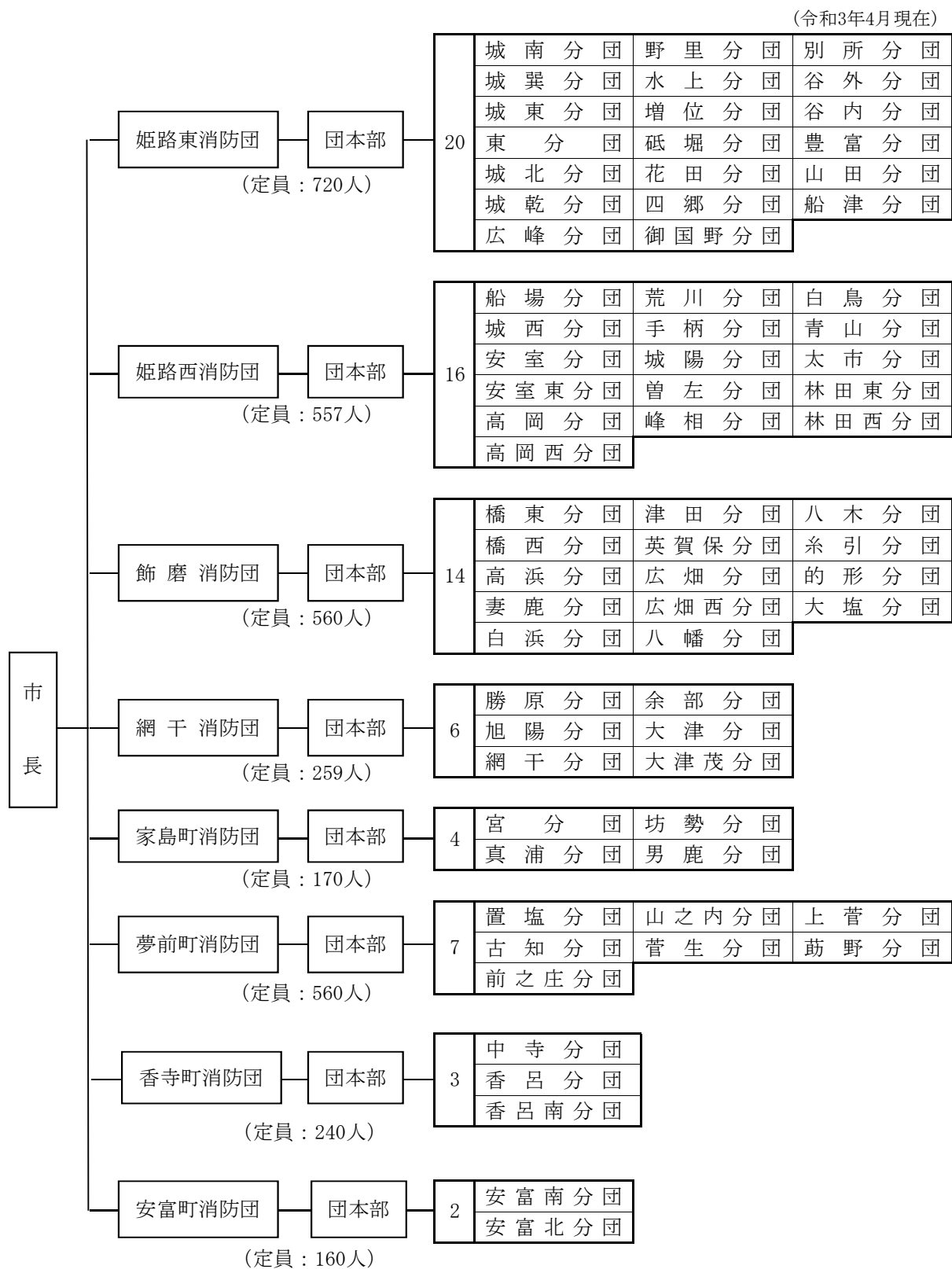
消 防 団

1 消防団の沿革

- 明治17年3月 ・ 船場本徳寺に私設寺消防組が発足した。人員80人
- 28年1月 ・ 消防組規則【明治27年2月勅令第15号】公布により、私設寺消防をそのまま移管、公設姫路消防組として発足した。
- 45年4月 ・ 飾磨郡国衛村（京口付近）及び市殿村（京口付近）の各一部が編入、5部制とした。
- 大正14年4月 ・ 飾磨郡城北村の合併により、7部制とした。
- 昭和8年1月 ・ 姫路消防組常備部を設置した。
- 8年4月 ・ 飾磨郡水上村、神崎郡砥堀村の合併により、それぞれ組制とした。
- 10年10月 ・ 飾磨郡城南村、同高岡村の合併により、それぞれ組制とした。
- 11年4月 ・ 飾磨郡安室村、同荒川村、同手柄村の合併により、それぞれ消防組を設け9組とした。
- 14年4月 ・ 警防団令【昭和14年1月勅令第20号】公布に伴い、消防組と自治防護団が合併、警防団と改称、組制を廃止して分団制とし、13分団を設け、姫路市本町85番地、姫路警察署内に警防団本部を設置した。
- 21年3月 ・ 飾磨市、飾磨郡白浜町、同広畑町、揖保郡網干町、同大津町、同勝原町、同余部村が合併、警防団を7団制とした。
- 22年10月 ・ 消防団令【昭和22年5月勅令第185号】公布に伴い、旧市内警防団と上記1市5町1村の合併地域の消防団を改編改組した。1市1団制とし、姫路市消防団と改め、旧市に15分団、旧飾磨市に7分団、旧網干町に3分団、旧白浜町、旧勝原町、旧余部村に各1分団を設け、計29分団、団員3,345人の県下最大の消防団とした。
- 23年3月 ・ 消防団令により警察署長の管轄から、消防長又は消防署長の所轄の下に行動することとなり、団本部を消防本部内に移転した。
- 23年7月 ・ 消防組織法の一部改正（昭和23年法令第187号）により、消防団は同法に根拠をおき、消防団令は廃止された。
- 25年7月 ・ 消防委員会で審議の結果、3,345人の団員を2,000人に減員した。
- 25年9月 ・ 水防法の公布により、洪水、高潮等の水害から住民を守るため、消防団をもって当たることとし、第1回水防訓練を実施、以後毎年水防訓練を実施することにした。
- 26年4月 ・ 広畑分団から八幡分団が分離、30分団、団員数2,000人とした。
- 29年7月 ・ 飾磨郡八木村、同糸引村、同余部村、同曾左村、揖保郡太市村の合併に伴い、5分団480人を加え、35分団、団員数2,480人とした。
- 32年10月 ・ 飾磨郡四郷村、同花田村、同御国野村、印南郡別所村の合併に伴い、4分団355人を加え、39分団、団員数2,835人とした。
- 33年1月 ・ 飾磨郡飾東村、印南郡的形村、神崎郡神南村の合併に伴い、飾東、豊富、山田、船津、的形の5分団435人を加え、44分団、団員数3,270人とした。
- 34年4月 ・ 印南郡大塩村の合併に伴い、1分団100人を加え、45分団、団員数3,370人とした。
- 40年4月 ・ 消防団事務を消防局に移管し、姫路東、姫路西、飾磨、網干の支部制を設けた。
- 42年3月 ・ 揖保郡林田町の合併に伴い、林田東120人、林田西120人の2分団を加え、47分団、団員数3,610人とした。
- 44年4月 ・ 従来の1市1団制を1市4団【姫路東消防団、姫路西消防団、飾磨消防団、網干消防団】制とし、広畑分団から広畑西分団を分離して、48分団、団員数3,610人とした。
- 45年6月 ・ 飾東分団を谷内分団、谷外分団に分割、49分団、団員数3,610人とした。
- ・ 団本部の定員【団長1・副団長2・分団長1・部長2】を定めた。
- 48年9月 ・ 城北分団から広峰分団を分離して、50分団、団員数3,610人とした。
- 49年4月 ・ 港分団を橋西分団に吸収して、49分団、団員数3,610人とした。
- 50年4月 ・ 飾西分団を名称変更、白鳥分団に改めた。

昭和51年4月	・姫路市消防審議会条例を制定し、消防審議会を設置した。
51年5月	・「姫路市非常備消防の適正規模、適正配置は如何にあるべきか」について諮問した。
52年2月	・「姫路市非常備消防の適正規模、適正配置」に関して、姫路市消防審議会から答申された。
53年4月	・姫路市消防審議会から答申に基づく姫路市消防団適正化実施計画により、消防団条例及び同規則を改正し、組織、団員報酬等及び施設整備を整備することにした。
54年4月	・上記に基づき消防団定員3,610人を3,251人とした。
55年4月	・安室分団から安室東分団を分離して、50分団、団員数3,251人とした。
56年6月	・姫路西消防署の新設に伴い、姫路西消防団本部を同署内に移転した。
56年12月	・兵庫県消防学校教育特別指導員科へ4名が入校、以後毎年入校することにした。
57年7月	・姫路市消防団消防操法大会（参加11隊）を実施、以後毎年実施することにした。
57年11月	・姫路市消防団員教養訓練（新任班長120人）を対象に実施、以後毎年実施することにした。
60年6月	・姫路市消防審議会から答申に基づき姫路市消防団条例及び同規則を改正し、消防団定員3,251人から2,096人を目標に3年間で減員することにした。
60年9月	・消防団員教育の指針を示すため、姫路市消防団員教育訓練実施要綱を定めた。
60年10月	・姫路市消防団条例及び同規則を改正し、消防団定員3,251人から2,870人とした。
61年10月	・姫路市消防団条例及び同規則を改正し、消防団定員2,870人から2,486人とした。
62年10月	・姫路市消防団条例及び同規則を改正し、消防団定員2,486人から2,096人とした。
63年11月	・兵庫県消防学校教育警防科へ4名が入校、以後毎年入校することにした。
平成5年4月	・姫路市消防団適正化実施計画を一部改正し、定数、施設、装備等の見直しをすることにした。
7年4月	・網干消防団に大津茂分団を新設して、51分団、団員数2,096人とした。
8年4月	・姫路西消防団に高岡西分団を新設して、52分団、団員数2,096人とした。
9年7月	・消防団員福祉共済制度に加入した。（消防団員全員）
10年4月	・姫路西消防団に峰相分団、青山分団を新設して、54分団、団員数2,096人とした。
11年6月	・姫路市消防団活性化研究会要綱を制定し、消防団活性化研究会を設置した。
12年12月	・姫路市消防団活性化推進研究会要綱を制定し、消防団活性化推進研究会を設置した。
13年4月	・姫路東消防団に増位分団を新設して、55分団、団員数2,096人とした。
14年4月	・姫路市消防団条例を改正し、消防団員の定年を定めた。
16年4月	・姫路東消防団に城乾分団を新設して、56分団、団員数2,096人とした。
18年3月	・家島町、夢前町、香寺町、安富町の合併に伴い、4団80分団1,742人を加え、8団136分団3,838人とした。
19年9月	・姫路市消防団協力事業所表示制度交付要綱を制定した。
20年4月	・夢前町消防団の分団再編に伴い、姫路市消防団条例及び同規則を改正し8団104分団、団員数3,598人とした。
22年4月	・安富町消防団の分団再編に伴い、姫路市消防団条例及び同規則を改正し8団91分団、団員数3,506人とした。
23年4月	・香寺町消防団の分団再編に伴い、姫路市消防団条例及び同規則を改正し8団72分団、団員3,226人とした。
24年2月	・姫路市消防団規則を改正し、姫路東消防団、姫路西消防団、飾磨消防団の団本部及び分団の一部の階級別定員を改めた。
24年3月	・姫路市の消防団制度の中で、初めて女性消防団員を採用した。（姫路東消防団5人、姫路西消防団5人、飾磨消防団5人）
28年3月	・姫路市消防団条例を改正し、消防団員の入団年齢と定年年齢を引き上げた。
29年3月	・姫路市消防団条例を改正し、市内在勤者の入団制度、休団制度等を設けた。

2 消防団の組織



3 階級別の定員（8団72分団）

階級 分団名		合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
合 計		3,226	8	16	88	72	146	697	2,199
姫路東消防団	小 計	720	1	2	22	20	40	172	463
	団 本 部	10	1	2	2	—	—	—	5
	城 南	12	—	—	1	1	2	3	5
	城 巽	13	—	—	1	1	2	3	6
	城 東	26	—	—	1	1	2	7	15
	東	30	—	—	1	1	2	7	19
	城 北	18	—	—	1	1	2	4	10
	城 乾	19	—	—	1	1	2	4	11
	広 峰	20	—	—	1	1	2	5	11
	野 里	23	—	—	1	1	2	7	12
	水 上	26	—	—	1	1	2	6	16
	増 位	17	—	—	1	1	2	4	9
	砥 堀	42	—	—	1	1	2	10	28
	花 田	64	—	—	1	1	2	15	45
	四 郷	76	—	—	1	1	2	18	54
	御 国 野	40	—	—	1	1	2	10	26
	別 所	46	—	—	1	1	2	11	31
	谷 内	31	—	—	1	1	2	8	19
	谷 外	37	—	—	1	1	2	9	24
	豊 富	66	—	—	1	1	2	16	46
	山 田	46	—	—	1	1	2	11	31
	船 津	58	—	—	1	1	2	14	40
姫路西消防団	小 計	557	1	2	18	16	32	139	349
	団 本 部	10	1	2	2	—	—	—	5
	船 場	26	—	—	1	1	2	6	16
	城 西	27	—	—	1	1	2	7	16
	安 室	27	—	—	1	1	2	7	16
	安 室 東	27	—	—	1	1	2	7	16
	高 岡	27	—	—	1	1	2	7	16
	高 岡 西	26	—	—	1	1	2	7	15
	荒 川	38	—	—	1	1	2	10	24
	手 柄	39	—	—	1	1	2	10	25
	城 陽	39	—	—	1	1	2	10	25
	曾 左	44	—	—	1	1	2	11	29
	峰 相	32	—	—	1	1	2	8	20
	白 鳥	27	—	—	1	1	2	7	16
	青 山	27	—	—	1	1	2	7	16
	太 市	45	—	—	1	1	2	11	30
	林 田 東	49	—	—	1	1	2	12	33
	林 田 西	47	—	—	1	1	2	12	31

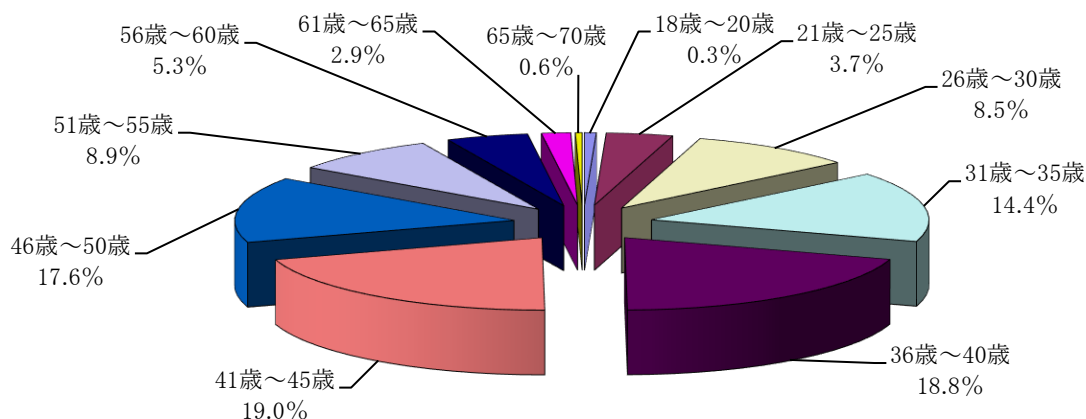
（令和3年4月現在）

(令和5年4月現在)									
階級		合	団	副	分	副	部	班	団
分団名		計	長	長	長	分 団 長	長	長	員
飾磨消防団	小計	560	1	2	16	14	28	135	364
	団本部	10	1	2	2	—	—	—	5
	橋東	40	—	—	1	1	2	10	26
	橋西	38	—	—	1	1	2	10	25
	高浜	39	—	—	1	1	2	9	26
	妻鹿	39	—	—	1	1	2	9	25
	白浜	40	—	—	1	1	2	10	26
	津田	40	—	—	1	1	2	10	26
	英賀保	40	—	—	1	1	2	10	26
	広畑	39	—	—	1	1	2	9	26
	広畑西	37	—	—	1	1	2	9	24
	八幡	40	—	—	1	1	2	10	26
	八木	39	—	—	1	1	2	9	26
	糸引	40	—	—	1	1	2	10	26
	的形	39	—	—	1	1	2	10	25
	大塩	40	—	—	1	1	2	10	26
網干消防団	小計	259	1	2	8	6	14	64	164
	団本部	5	1	2	2	—	—	—	—
	勝原	45	—	—	1	1	2	12	29
	旭陽	51	—	—	1	1	2	13	34
	網干	43	—	—	1	1	3	11	27
	余部	38	—	—	1	1	2	10	24
	大津	49	—	—	1	1	3	12	32
	大津茂	28	—	—	1	1	2	6	18
家島町消防団	小計	170	1	2	6	4	8	38	111
	団本部	5	1	2	2	—	—	—	—
	宮	40	—	—	1	1	2	9	27
	真浦	55	—	—	1	1	2	13	38
	坊勢	55	—	—	1	1	2	13	38
夢前町消防団	男鹿	15	—	—	1	1	2	3	8
	小計	560	1	2	9	7	14	74	453
	団本部	5	1	2	2	—	—	—	—
	置塩	74	—	—	1	1	2	11	59
	古知	73	—	—	1	1	2	6	63
	前之庄	117	—	—	1	1	2	8	105
	山之内	45	—	—	1	1	2	8	33
	菅生	100	—	—	1	1	2	19	77
香寺町消防団	上菅	73	—	—	1	1	2	14	55
	筋野	73	—	—	1	1	2	8	61
	小計	240	1	2	5	3	6	55	168
	団本部	5	1	2	2	—	—	—	—
安富町消防団	中寺	95	—	—	1	1	2	22	69
	香呂	100	—	—	1	1	2	25	71
	香呂南	40	—	—	1	1	2	8	28
	小計	160	1	2	4	2	4	20	127
安富町消防団	団本部	5	1	2	2	—	—	—	—
	安富南	115	—	—	1	1	2	15	96
	安富北	40	—	—	1	1	2	5	31

4 年齢別団員数

(令和3年4月現在)

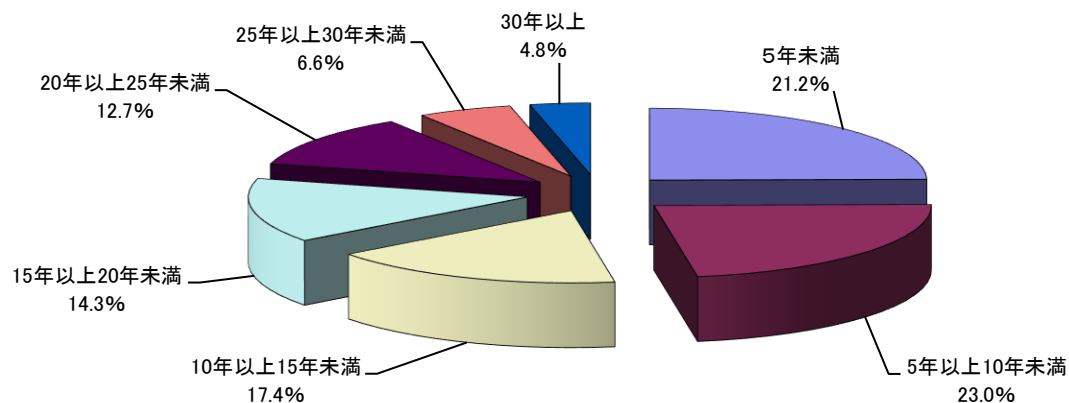
年齢 団名	合 計	18歳 ～ 20歳	21歳 ～ 25歳	26歳 ～ 30歳	31歳 ～ 35歳	36歳 ～ 40歳	41歳 ～ 45歳	46歳 ～ 50歳	51歳 ～ 55歳	56歳 ～ 60歳	61歳 ～ 65歳	66歳 ～ 70歳
合 計	3,025	8	112	256	436	568	575	534	270	159	88	19
姫路東消防団	683	0	18	47	107	96	126	129	75	46	33	6
姫路西消防団	532	3	12	24	39	81	106	107	72	51	33	4
飾 磨消防団	543	1	15	39	72	89	84	121	72	34	12	4
網 干消防団	258	0	16	29	38	59	41	27	24	13	6	5
家島町消防団	160	0	12	21	24	25	38	20	9	9	2	0
夢前町消防団	517	2	14	53	83	132	122	91	15	4	1	0
香寺町消防団	236	0	20	36	62	56	32	25	2	2	1	0
安富町消防団	96	2	5	7	11	30	26	14	1	0	0	0



5 在職年数別団員数

(令和3年4月現在)

年数 団名	合 計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
合 計	3,025	643	695	527	432	383	200	145
姫路東消防団	683	180	158	115	86	71	40	33
姫路西消防団	532	105	126	86	78	64	48	25
飾 磨消防団	543	116	118	79	86	70	39	35
網 干消防団	258	85	67	39	23	25	7	12
家島町消防団	160	21	17	36	18	31	18	19
夢前町消防団	517	63	108	100	96	97	38	15
香寺町消防団	236	61	75	58	25	11	2	4
安富町消防団	96	12	26	14	20	14	8	2



6 報酬及び費用弁償

消防団員の報酬及び費用弁償は、「姫路市消防団条例」に基づき支給しています。

報 酬（年額）	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
	88,400円	66,200円	44,200円	35,400円	19,800円	19,800円	17,600円
費 用 弁 償	水 火 災 出 動 1 人 1 回 3,500円を支給 巡 回 広 報 1 人 1 回 1,000円を支給 年 末 警 戒 業 務 1 人 1 回 2,000円を支給 訓 練 1 人 1 回 1,000円を支給（出初式・水防訓練等）						

7 公務災害補償等の発生状況の推移

消防団員等が公務により死亡し、又は負傷した場合、「姫路市消防団員等公務災害補償条例」により損害補償費を支給しています。

年 度 区 分	平成 23年		平成 24年		平成 25年		平成 26年		平成 27年		平成 28年		平成 29年		平成 30年		令和 元年		令和 2年		区 分	受給者(人)
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員		
合 計	3	3	3	3	3	3	3	3	—	—	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	合 計	2
消 火 活 動 中	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	遺族補償 年 金	1
出 動 途 中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	障害補償 年 金	1
訓 練 中	1	1	2	2	2	2	3	3	—	—	2	2	1	1	—	—	1	1	—	—		
そ の 他	1	1	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—		

8 退職報償金の支給状況の推移

一定年数以上勤務した消防団員に対して、「姫路市消防団員退職報償金支給条例」に基づき退職報償金を支給しています。

年 度 区 分	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年
支給対象人員	173	144	178	154	185	133	123	98	156	121
（総退職者数）	(213)	(188)	(214)	(180)	(213)	(153)	(142)	(109)	(198)	(129)
支給金額(千円)	54,168	46,741	59,287	52,045	72,032	49,207	45,042	35,084	58,443	42,935

9 団員表彰の推移

消防団及び消防団員に対する表彰は、叙位、叙勲、褒章をはじめ、消防庁長官、県知事、市長及び団長の行う各種表彰のほか、日本消防協会長及び兵庫県消防協会長の行う各種の表彰制度が確立されています。（カッコ内数字は団体表彰数）

年 度 区 分	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年
叙位・叙勲・褒章等	6	5	7	6	5	7	4	2	4	6
消 防 庁 長 官 表 彰	6	(1)5	4	5	5	(1)4	4	5	5	4
兵 庫 知 事 表 彰	19	19	(3)19	(1)19	21	(1)21	(1)21	24	21	26
日 本 消 防 協 会 長 表 彰	29	30	42	(1)28	24	20	(1)19	(1)32	(1)32	36
兵 庫 県 消 防 協 会 長 表 彰	92	88	92	109	(1)94	105	(1)96	103	117	(1)112
市 長 表 彰	(4)51	(4)55	(4)55	(4)72	(4)72	(4)71	(4)71	(4)85	(4)76	(4)92
団 長 表 彰	(5)207	(12)207	(2)207	(15)207	(14)207	(13)207	(13)207	(20)207	(13)207	(10)207

10 教養訓練の実施状況の推移

区分 \ 年度	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年
新 入 団 員 教 養	190	225	161	175	193	177	162	147	138	146
幹 部 教 養	136	144	72	131	71	72	72	72	72	0
県消防学校（指揮幹部科）	8	7	8	8	16	16	16	14	16	8
局（署）合同訓練	2,169	3,629	3,652	2,364	3,320	2,467	2,693	3,164	2,465	145

11 消防ポンプ車庫及び消防ポンプ自動車の整備状況

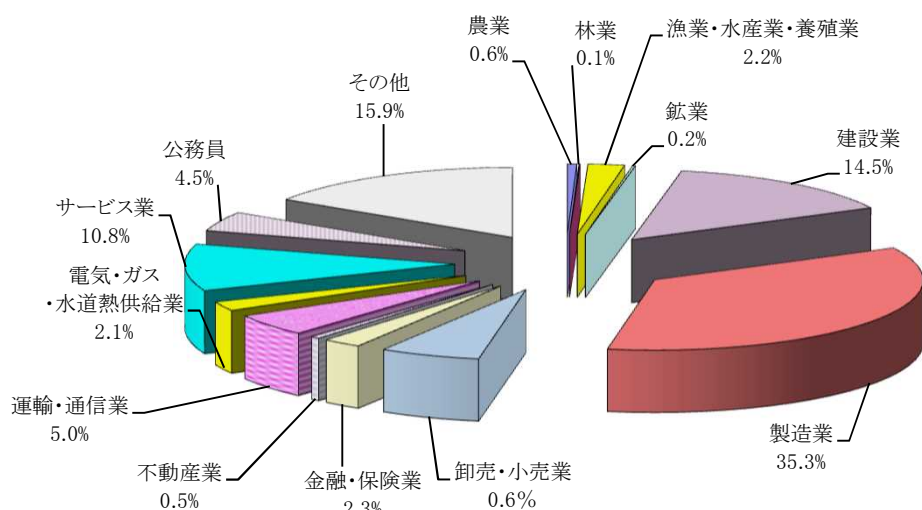
分団車庫（詰所）については、老朽化等を考慮し、計画的に改修や更新を進めています。
ポンプ自動車等については、耐用年数等を定め、計画的に更新しています。

区分 \ 年度	消防ポンプ車庫	消 防 ポ ン プ 自 動 車
昭和55年	4箇所（谷外・安室東・的形・旭陽）	5台（谷外・谷内・安室東・糸引・旭陽）
昭和56年	3箇所（谷内・城陽・八幡）	3台（高岡・荒川・曾左）
昭和57年	1箇所（広畑西）	3台（白浜・津田・網干）
昭和58年	—	3台（豊富・太市・八幡）
昭和59年	1箇所（野里）	2台（船津・橋東）
昭和60年	3箇所（東・山田・船津）	2台（妻鹿・的形）
昭和61年	3箇所（城南・四郷・大塩）	3台（砥堀・山田・大塩）
昭和62年	2箇所（勝原・大津）	2台（橋西・広畑）
昭和63年	5箇所（城東・野里・水上・別所・白浜） 野里については更新	3台（水上・四郷・手柄）
平成元年	1箇所（御国野）	4台（御国野・別所・高浜・八木）
平成2年	1箇所（林田東）更新	3台（東・城北・広畑西）
平成3年	3箇所（高浜・城北・大津） 大津については更新	3台（花田・船場・英賀保）
平成4年	2箇所（城巽・高岡）	2台（野里・余部）
平成5年	—	6台（城巽・城南・城東・城西・林田東・勝原）
平成6年	2箇所（安室・大津茂）	7台（広峰・安室・城陽・白鳥・林田西・大津・大津茂）
平成7年	3箇所（花田・砥堀・高岡西）	6台（谷内・谷外・安室東・高岡西・糸引・旭陽）
平成8年	2箇所（城西・橋東）	3台（高岡・荒川・曾左）
平成9年	2箇所（青山・峰相）	5台（網干・白浜・津田・青山・峰相）
平成10年	2箇所（荒川・妻鹿）	3台（豊富・太市・八幡）
平成11年	2箇所（英賀保・広畑）	2台（船津・橋東）
平成12年	2箇所（増位・余部）	3台（増位・妻鹿・的形）
平成13年	2箇所（手柄・津田）	3台（砥堀・山田・大塩）
平成14年	2箇所（橋西・網干）	2台（橋西・広畑）
平成15年	2箇所（城乾・曾左）	4台（城乾・水上・四郷・手柄）
平成16年	1箇所（船場）	4台（御国野・別所・高浜・八木）
平成17年	1箇所（白鳥）	3台（東・城北・広畑西）
平成18年	—	6台（花田・船場・英賀保・野里・余部・宮）
平成19年	3箇所（前之庄・山之内・蒔野）	8台（城南・城巽・城東・城西・林田東・前之庄・山之内・蒔野）
平成20年	3箇所（置塩・古知・上菅）	7台（広峰・勝原・大津・大津茂・置塩・古知・上菅）
平成21年	3箇所（菅生・安富北・安富南）	8台（安室・白鳥・城陽・林田西・旭陽・菅生・安富南・安富北）
平成22年	3箇所（中寺・香呂・香呂南）	8台（谷内・谷外・安室東・高岡西・糸引・中寺・香呂・香呂南）
平成23年	—	3台（高岡・荒川・曾左）
平成24年	—	5台（峰相・青山・白浜・津田・網干）
平成25年	3箇所（糸引・勝原・坊勢カズラ車庫） 勝原は小学校用地拡張のため新築移転	3台（豊富・太市・八幡）、軽2台（宮・真浦）
平成26年	—	軽3台（宮・真浦・坊勢）
平成27年	—	軽3台（宮・真浦・坊勢）
平成28年	—	軽3台（宮・真浦・坊勢）
平成29年	—	2台（船津・橋東）、軽2台（宮・坊勢）
平成30年	1箇所（八木）	3台（増位・妻鹿・的形）、軽1台（真浦）
令和元年	1箇所（大塩）	3台（砥堀・山田・大塩）
令和2年	1箇所（荒川）	2台（橋西・広畑）

12 団員の職業状況

(令和3年4月現在)

区 分	合 計	勤 務 地			
		市 内		市 外	県 外
		分 団 内	分 団 外		
合 計	3,025	736	1,597	640	52
農 業	17	12	3	2	0
林 業	2	1	1	0	0
漁 業・水産業・養殖業	66	64	2	0	0
鉱 業	5	0	5	0	0
建 設 業	438	166	193	75	4
製 造 業	1,069	140	608	298	23
卸 売・小 売 業	182	60	87	30	5
金 融・保 険 業	70	10	43	15	2
不 動 産 業	16	5	9	2	0
運 輸・通 信 業	152	23	93	34	2
電 気・ガ ス・水 道 熱 供 給 業	65	16	32	13	4
サ ー ビ ス 業	327	79	182	60	6
公 務 員	136	10	99	24	3
そ の 他	480	150	240	87	3



13 分団別火災状況

区分 分団		火災 件数	火災種別					焼損面積	
			建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	建物 (㎡)	林野 (a)
姫路東消防団	城南	4	3	-	-	-	1	-	-
	城巽	4	2	-	-	-	2	-	-
	城東	-	-	-	-	-	-	-	-
	東	3	2	-	-	-	1	-	-
	城北	3	2	-	-	-	1	4.0	-
	城乾	-	-	-	-	-	-	-	-
	広峰	2	1	-	-	-	1	0.3	-
	野里	2	2	-	-	-	-	-	-
	水上	4	3	-	1	-	-	49.0	-
	増位	1	-	-	-	-	1	-	-
	砥堀	2	-	-	-	-	2	-	-
	花田	5	2	-	2	-	1	0.9	-
	四郷	-	-	-	-	-	-	-	-
	御国野	1	1	-	-	-	-	2,394.0	-
	別所	6	-	2	1	-	3	-	1.5
	谷外	3	-	-	1	-	2	-	-
	谷内	4	2	1	-	-	1	-	3,420.0
	豊富	4	2	-	1	-	1	45.1	-
	山田	1	-	-	-	-	1	-	-
	船津	6	1	-	-	-	5	-	-
	小計	55	23	3	6	-	23	2,493.3	3,421.5
姫路西消防団	船場	1	-	-	1	-	-	-	-
	城西	2	2	-	-	-	-	207.1	-
	安室	1	1	-	-	-	-	137.0	-
	安室東	3	3	-	-	-	-	4.0	-
	高岡	1	1	-	-	-	-	0.5	-
	高岡西	1	-	-	-	-	1	-	-
	荒川	2	2	-	-	-	-	209.0	-
	手柄	3	2	-	1	-	-	138.0	-
	城陽	3	-	-	2	-	1	-	-
	曾左	1	1	-	-	-	-	197.0	-
	峰相	3	1	-	1	-	1	-	-
	白鳥	5	3	-	-	-	2	18.0	-
	青山	3	2	-	1	-	-	2.0	-
	太市	2	2	-	-	-	-	391.2	-
	林田東	5	3	-	-	-	2	203.0	-
	林田西	2	2	-	-	-	-	227.0	-
	小計	38	25	-	6	-	7	1,733.8	-

区分 分団		火災 件数	火災種別					焼損面積	
			建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	建物 (㎡)	林野 (a)
飾磨消防団	橋東	3	1	-	-	-	2	-	-
	橋西	4	2	-	1	-	1	-	-
	高浜	2	1	-	-	-	1	-	-
	妻鹿	2	1	-	-	-	1	137.0	-
	白浜	7	4	2	-	-	1	16.0	5.1
	津田	2	1	-	-	-	1	10.0	-
	英賀保	7	5	-	-	-	2	62.5	-
	広畑	3	2	-	-	-	1	-	-
	広畑西	2	1	-	-	-	1	-	-
	八幡	2	1	-	-	-	1	1.0	-
	八木	-	-	-	-	-	-	-	-
	糸引	4	2	1	-	-	1	0.1	6.0
	的形	3	-	1	-	-	2	-	2.0
	大塩	3	-	1	1	-	1	-	2.0
	小計	44	21	5	2	-	16	226.6	15.1
網干消防団	勝原	2	1	-	-	-	1	-	-
	旭陽	2	1	-	1	-	-	240.0	-
	網干	5	4	-	-	-	1	70.0	-
	余部	-	-	-	-	-	-	-	-
	大津	3	3	-	-	-	-	27.0	-
	大津茂	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	12	9	-	1	-	2	337.0	-
消防団	宮	-	-	-	-	-	-	-	-
	真浦	1	-	-	-	-	1	-	-
	坊勢	2	-	-	-	1	1	-	-
	男鹿	1	-	-	-	-	1	-	-
	小計	4	-	-	-	1	3	-	-
夢前町消防団	置塩	1	-	1	-	-	-	-	0.2
	古知	1	-	-	-	-	1	-	-
	前之庄	7	3	2	1	-	1	1.0	1.6
	山之内	-	-	-	-	-	-	-	-
	菅生	2	1	-	-	-	1	41.0	-
	上菅	-	-	-	-	-	-	-	-
	筋野	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	11	4	3	1	-	3	42.0	1.8
消防団	中寺	3	2	1	-	-	-	-	0.1
	香呂	3	1	-	-	-	2	338.0	-
	香呂南	1	1	-	-	-	-	4.0	-
	小計	7	4	1	-	-	2	342.0	0.1
安富町消防団	安富南	4	2	-	1	-	1	58.0	-
	安富北	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	4	2	-	1	-	1	58.0	-

合計	175	88	12	17	1	57	5,232.7	3,438.5
----	-----	----	----	----	---	----	---------	---------

14 消防団の装備・資機材

消防団員が災害現場で安全確実に活動を行えるよう、消防団に様々な装備や資機材が配備されています。

新入団時に個人貸与されるもの

- ・ 活動服（冬用、夏用）
- ・ 救助用半長靴
- ・ ヘルメット
- ・ アポロキャップ
- ・ 革手袋
- ・ 耐切創性手袋
- ・ 荒天用活動衣

各分団に配備している資機材

- ・ 水防活動用のライフジャケット（救命胴衣）及びフローティングロープ
- ・ 夜間用活動用の投光器（メタルハライドライト）及び強力ライト
- ・ 応急手当用の救急セット（包帯・ガーゼ等）
- ・ 現場指揮及び広報用の拡声器（トランジスタメガホン）
- ・ 車載無線機、署活系無線機
- ・ A E D
- ・ 防塵メガネ・防塵マスク
- ・ 防火服

消防団員がより安全な活動を行えるよう装備の充実強化を図り、地域の安全安心を守る活動を推進しています。



投光器



強力ライト



ライフジャケット



拡声器



救急セット



救助用半長靴



防火服

このページは空白です。

各 種 災 害 の 状 況

令和2年中の災害の状況

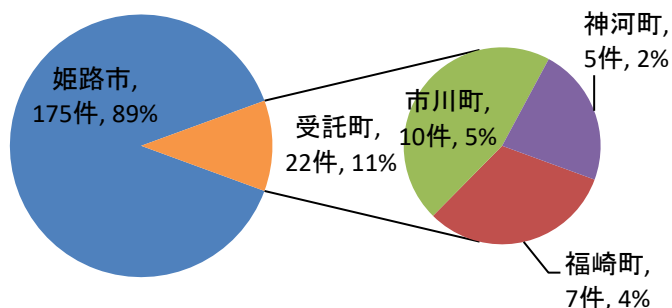
・火災の状況

令和2年中の火災件数は197件で、その内受託町域の火災件数は22件（11.2％）でした。

火災による損害額は4億9,350万円、死者は8人、負傷者は38人、建物焼損面積は6,779.9㎡、林野焼損面積は3,443.2a、り災世帯は111世帯、り災人員は195人でした。

火災種別では、建物火災が101件

（51.3％）、林野火災13件（6.6％）、車両火災20件（10.2％）、船舶火災1件（0.1％）、その他の火災（空地や河川敷の枯草等）62件（31.5％）となっています。



・救急の状況

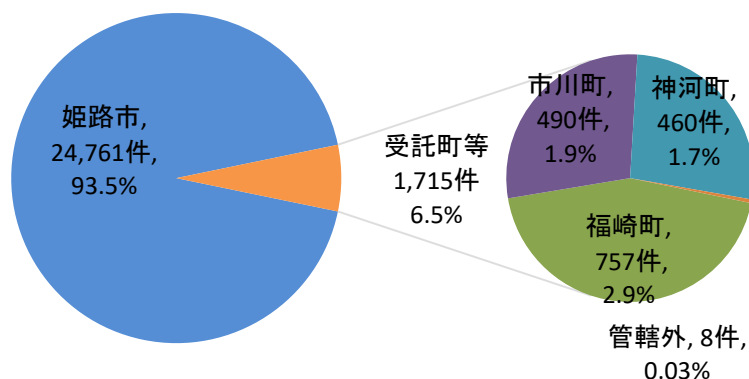
令和2年中の救急出場件数は26,476件で、その内受託域の救急出場件数は1,715件（6.5％）でした。

一日平均約72件、20分に1件の割合で出場し、管轄内住民約25人に1人を搬送したことになります。

救急出場件数が最も多いのは、急

病で16,531件（62.4％）次いで一般負傷4,177件（15.8％）、転院搬送2,620件（9.9％）の順となっており、これら3種別だけで全体の88.1％を占めています。

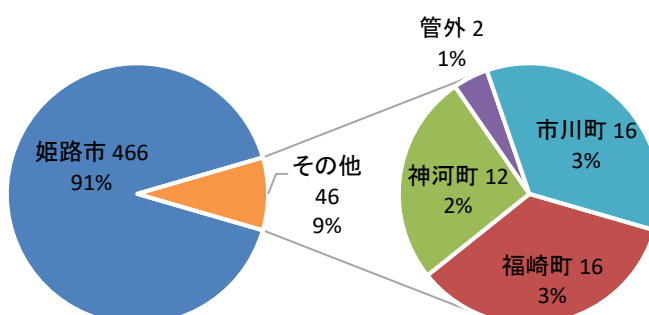
1件あたりの平均所要時間は、指令から現場到着まで7分9秒、現場到着から病院まで31分14秒となっています。



・救助の状況

令和2年中の救助出動件数は5,122件で、その内受託町域の救助件数は444件（8％）でした。

救助出動した内、人命検索を含む救助活動を実施した件数は2,922件、救助した人員は229人でした。



【火 災】

1 火災状況

火災件数は前年と比較すると21件増加しています。火災種別では建物火災は5件、林野火災は4件、車両火災は8件、船舶火災は1件、その他の火災は3件増加しています。

区	分	単位	姫路市消防局			姫 路 市			市 川 町			福 崎 町			神 河 町		
			令和2年	令和元年	増減数	令和2年	令和元年	増減数	令和2年	令和元年	増減数	令和2年	令和元年	増減数	令和2年	令和元年	増減数
火 災 件 数	建 物		101	96	5	88	85	3	4	2	2	5	5	-	4	4	-
	林 野		13	9	4	12	5	7	-	1	▲1	1	2	▲1	-	1	▲1
	車 両	件	20	12	8	17	11	6	2	1	1	1	-	1	-	-	-
	船 舶		1	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	そ の 他		62	59	3	57	49	8	4	5	▲1	-	3	▲3	1	2	▲1
合 計			197	176	21	175	150	25	10	9	1	7	10	▲3	5	7	▲2
損 害 額	建 物		477,826	95,899	381,927	436,802	68,573	368,229	11,485	9,692	1,793	10,486	649	9,837	19,053	16,985	2,068
	林 野		1	121	▲120	1	68	▲67	-	-	-	-	8	▲8	-	45	▲45
	車 両	千円	8,221	25,539	▲17,318	6,624	25,527	▲18,903	85	12	73	1,512	-	1,512	-	-	-
	船 舶		3,685	-	3,685	3,685	-	3,685	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	そ の 他		3,774	20,591	▲16,817	3,643	20,564	▲16,921	131	-	131	-	27	▲27	-	-	-
合 計			493,507	142,150	351,357	450,755	114,732	336,023	11,701	9,704	1,997	11,998	684	11,314	19,053	17,030	2,023
焼 損 面 積	建 物	㎡	6,779.9	2,547.6	4,232.3	5,232.7	2,058.6	3,174.1	250.0	66.0	184.0	254.4	10.0	244.4	1,042.8	413.0	629.8
	林 野	a	3,443.2	43.4	3,399.8	3,438.5	37.2	3,401.3	4.0	2.0	2.0	0.7	3.2	▲2.5	-	1.0	▲1.0
焼 損 棟 数	全 焼		35	18	17	22	15	7	6	1	5	2	1	1	5	1	4
	半 焼		7	9	▲2	4	8	▲4	-	-	-	2	-	2	1	1	-
	部 分 焼	棟	37	25	12	32	22	10	1	1	-	4	1	3	-	1	▲1
	ぼ や		75	65	10	71	61	10	2	-	2	1	3	▲2	1	1	-
	合 計		154	117	37	129	106	23	9	2	7	9	5	4	7	4	3
り 災 世 帯	全 損		31	7	24	20	6	14	2	-	2	3	-	3	6	1	5
	半 損	世帯	6	4	2	4	4	-	-	-	-	1	-	1	1	-	1
	小 損		74	46	28	68	44	24	3	-	3	3	1	2	-	1	▲1
	合 計		111	57	54	92	54	38	5	-	5	7	1	6	7	2	5
り 災 人 員	全 損		46	13	33	33	8	25	2	-	2	5	-	5	6	5	1
	半 損	人	11	6	5	6	6	-	-	-	-	2	-	2	3	-	3
	小 損		138	119	19	122	116	6	4	-	4	12	1	11	-	2	▲2
	合 計		195	138	57	161	130	31	6	-	6	19	1	18	9	7	2
死 傷 者	死 者		8	5	3	5	4	1	2	-	2	1	-	1	-	1	▲1
	負 重 症		7	7	-	6	7	▲1	-	-	-	1	-	1	-	-	-
	中 等 症	人	16	8	8	15	6	9	-	1	▲1	1	-	1	-	1	▲1
	軽 症		15	14	1	13	13	-	1	1	-	1	-	1	-	-	-
	者 (うち30日死者)		(-)	(1)	(▲1)	(-)	(1)	(▲1)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
合 計			46	34	12	39	30	9	3	2	1	4	-	4	-	2	▲2
管 轄 人 口	人	人	576,815	578,994	▲2,179	534,648	536,192	▲1,544	11,875	12,120	▲245	19,101	19,261	▲160	11,191	11,421	▲230
出 火 率	率	件/万人	3.4	3.0	0.4	3.3	2.8	0.5	8.4	7.4	1.0	3.7	5.2	▲1.5	4.5	6.1	▲1.6
火災1件当たりの損害額	千円	千円	2,505	808	1,697	2,576	765	1,811	1,170	1,078	92	1,714	68	1,646	3,811	2,433	1,378
建物火災損害額	千円	千円	4,731	999	3,732	4,964	807	4,157	2,871	4,846	▲1,975	2,097	130	1,967	4,763	4,246	517
1件当たりの焼損面積	㎡	㎡	67.1	26.5	40.6	59.5	24.2	35.3	62.5	33.0	29.5	50.9	2.0	48.9	260.7	103.3	157.4
林野火災損害額	千円	千円		13	▲13		14	▲14	-	-	-	-	4	▲4	-	45	▲45
1件当たりの焼損面積	a	a	264.9	4.8	260.1	286.5	7.4	279.1	-	2.0	▲2.0	0.7	1.6	▲0.9	-	1.0	▲1.0
住民1人当たりの損害額	円	円	856	246	610	843	214	629	985	801	184	628	36	592	1,703	1,491	212
1日当たりの火災件数	件	件	0.54	0.48	0.06	0.48	0.41	0.07	0.03	0.02	0.01	0.02	0.03	▲0.01	0.01	0.02	▲0.01

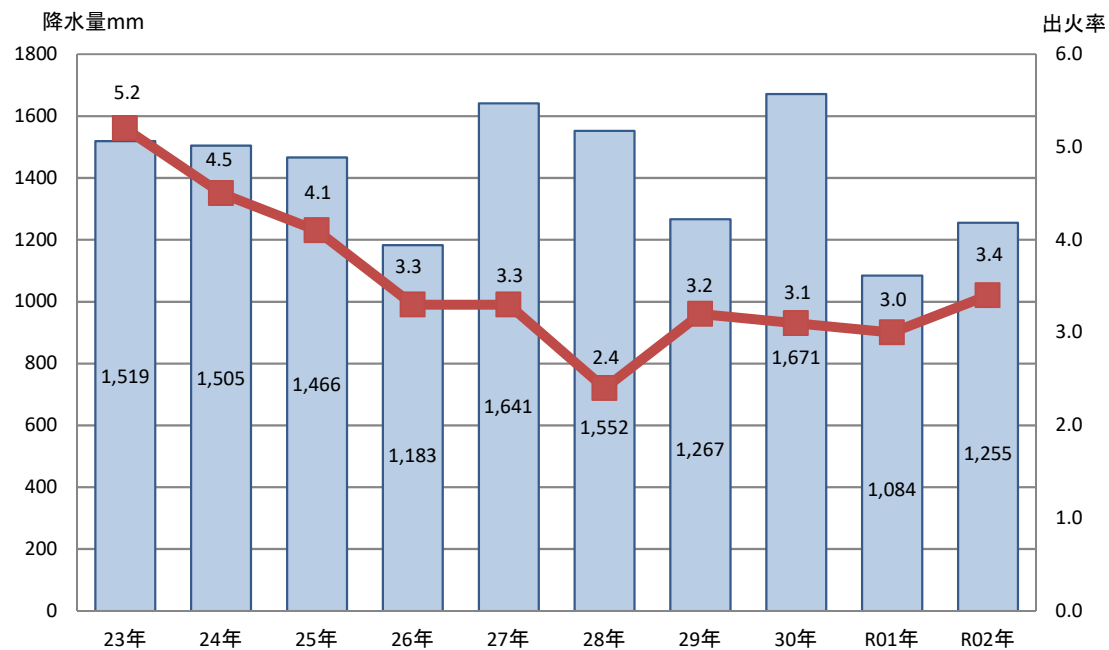
(注)火災種別が複数にわたった場合の火災件数は、火災報告取扱要領に基づき計上しています。

(注)管轄人口は、統計年の3月31日現在の住民基本台帳人口を記載しています。

2 火災状況の推移

年別 区分		単位	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年
火 件	建 物	災 数 件	150	143	103	94	95	83	83	86	96	101
	林 野		29	7	17	4	6	5	9	12	9	13
	車 両		26	26	28	28	19	9	19	16	12	20
	船 舶		-	1	2	4	3	1	-	-	-	1
	その他		97	82	85	66	70	40	76	66	59	62
	合 計		302	259	235	196	193	138	187	180	176	197
損 害 額	建 物	千円	303,540	557,080	335,274	524,337	307,199	299,880	283,187	303,100	95,899	477,826
	林 野		256	-	-	-	20	-	182	-	121	1
	車 両		6,308	77,591	6,396	10,059	5,179	4,575	9,939	5,037	25,539	8,221
	船 舶		-	1	279	29,148	1,322	39	-	-	-	3,685
	その他		3,380	306,558	1,438	43,764	1,383	180	460	181	20,591	3,774
	合 計		313,484	941,230	343,387	607,308	315,103	304,674	293,768	308,318	142,150	493,507
焼 面	建 物	㎡	4,662.0	9,108.3	5,996.1	6,065.8	4,697.1	4,115.9	2,329.6	2,810.4	2,547.6	6,779.9
	林 野	a	6,361.1	13.9	873.4	15.4	381.8	16.4	249.4	46.3	43.4	3,443.2
焼 棟	全 焼	棟	26	37	31	20	23	19	12	23	18	35
	半 焼		20	16	6	8	9	6	8	7	9	7
	部分焼		50	58	50	33	36	34	36	30	25	37
	ぼ や		93	87	48	52	57	43	45	63	65	75
	合 計	189	198	135	113	125	102	101	123	117	154	
り 世	全 損	世帯	16	14	19	14	18	15	13	13	7	31
	半 損		9	10	10	4	6	4	2	6	4	6
	小 損		102	73	95	45	54	51	62	43	46	74
	合 計	127	97	124	63	78	70	77	62	57	111	
り 人	全 損	人	29	47	41	20	35	26	15	26	13	46
	半 損		30	24	7	15	16	3	7	12	6	11
	小 損		174	224	113	165	135	126	101	81	119	138
	合 計	233	295	161	200	186	155	123	119	138	195	
死 傷 者	死 者	人	2	16	10	8	7	3	3	10	5	8
	重 症		4	11	3	13	7	-	5	7	7	7
	中等症		7	17	9	14	11	10	7	8	8	16
	軽 症		14	44	9	11	7	8	12	16	14	15
	合 計	27	88	31	46	32	21	27	41	34	46	
出 火 率		件/万人	5.2	4.5	4.1	3.3	3.3	2.4	3.2	3.1	3.0	3.4
年 間 降 水 量		mm	1,519	1,505	1,466	1,183	1,641	1,552	1,267	1,671	1,084	1,255

3 降水量と出火率の推移



4 署別火災件数

区 分		消防局管内			姫路東 消防署	姫路西 消防署	飾 磨 消防署	網 干 消防署	中播消防署		
		姫路市	受託町	合 計					姫路市	受託町	小 計
火 災 件 数		175	22	197	55	42	48	12	18	22	40
出 火 率		3.3	5.2	3.4	4.1	2.8	3.3	1.7	5.0	5.2	5.1
火 種	建 物	88	13	101	23	27	21	9	8	13	21
	林 野	12	1	13	3	—	5	—	4	1	5
	車 両	17	3	20	6	7	2	1	1	3	4
	船 舶	1	—	1	—	—	1	—	—	—	—
	その他	57	5	62	23	8	19	2	5	5	10

5 月別火災状況

月別の火災件数は、2月が最も多く25件で、最も少ない月は、7月と9月の7件となっています。

区分 月別	合計	火 災 種 別						死 傷 者		主 な 出 火 原 因				
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	死 者	負 傷 者	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
1 月	18 (15)	9 (7)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	8 (8)	- (-)	1 (1)	たばこ 4 (4)	電気関係 2 (1)	放火(疑含む) 1 (1)	たき火・焼却火 1 (1)	こんろ 1 (1)
2 月	25 (21)	14 (12)	1 (-)	2 (2)	- (-)	- (-)	8 (7)	3 (2)	7 (5)	たき火・焼却火 7 (5)	たばこ 3 (2)	放火(疑含む) 2 (2)	電気関係 2 (2)	ストーブ 2 (2)
3 月	20 (18)	9 (8)	- (-)	2 (2)	- (-)	- (-)	9 (8)	- (-)	2 (2)	放火(疑含む) 2 (2)	たき火・焼却火 2 (1)	電気関係 1 (-)	たばこ 1 (1)	こんろ 1 (1)
4 月	21 (19)	7 (6)	7 (7)	1 (1)	- (-)	- (-)	6 (5)	- (-)	4 (4)	放火(疑含む) 8 (8)	たき火・焼却火 3 (2)	たばこ 2 (2)	こんろ 2 (2)	電気関係 1 (1)
5 月	21 (18)	9 (8)	3 (3)	- (-)	- (-)	- (-)	9 (7)	- (-)	6 (5)	たき火・焼却火 5 (3)	放火(疑含む) 3 (3)	電気関係 2 (2)	たばこ 2 (2)	こんろ 2 (2)
6 月	16 (14)	7 (6)	- (-)	3 (2)	- (-)	- (-)	6 (6)	1 (-)	1 (1)	放火(疑含む) 3 (2)	たき火・焼却火 3 (2)	電気関係 3 (3)	たばこ 1 (1)	火遊び 1 (1)
7 月	7 (7)	3 (3)	- (-)	2 (2)	- (-)	- (-)	2 (2)	1 (1)	- (-)	電気関係 2 (2)	放火(疑含む) 1 (1)			
8 月	20 (18)	13 (12)	- (-)	4 (3)	- (-)	- (-)	3 (3)	- (-)	4 (4)	電気関係 4 (4)	放火(疑含む) 2 (2)	たき火・焼却火 2 (2)	たばこ 2 (2)	こんろ 2 (2)
9 月	7 (7)	3 (3)	- (-)	3 (3)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	1 (1)	たき火・焼却火 1 (1)	火遊び 1 (1)			
10月	10 (9)	7 (6)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	2 (2)	- (-)	2 (2)	たき火・焼却火 2 (2)	たばこ 2 (1)	電気関係 1 (1)	こんろ 1 (1)	-
11月	10 (9)	7 (6)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	2 (2)	- (-)	1 (-)	火遊び 2 (2)	放火(疑含む) 1 (1)	たき火・焼却火 1 (1)	電気関係 1 (1)	たばこ 1 (1)
12月	22 (20)	13 (11)	2 (2)	1 (1)	- (-)	- (-)	6 (6)	3 (2)	9 (9)	放火(疑含む) 4 (4)	たき火・焼却火 4 (4)	電気関係 3 (2)	たばこ 3 (3)	ストーブ 3 (3)
合計	197 (175)	101 (88)	13 (12)	20 (17)	1 (1)	- (-)	62 (57)	8 (5)	38 (34)	たき火・焼却火 31 (24)	放火(疑含む) 27 (26)	電気関係 22 (19)	たばこ 21 (19)	こんろ 11 (11)

(注) ()内は姫路市の数値

※ 主な出火原因からは、「不明」「その他」は除いています。

6 四季別火災状況

季 節	令 和 2 年			令 和 元 年		
	火災件数	割 合 (%)	損害額 (千円)	火災件数	割 合 (%)	損害額 (千円)
春 季 (3月～5月)	62 (55)	31.5 (31.4)	77,660 (73,705)	55 (47)	31.3 (31.3)	41,600 (41,371)
夏 季 (6月～8月)	43 (39)	21.8 (22.3)	48,240 (44,814)	45 (35)	25.6 (23.3)	31,194 (14,748)
秋 季 (9月～11月)	27 (25)	13.7 (14.3)	34,733 (27,138)	39 (36)	22.2 (24.0)	49,399 (39,132)
冬 季 (12月～2月)	65 (56)	33.0 (32.0)	332,874 (305,098)	37 (32)	21.0 (21.3)	19,957 (19,481)

(注) ()内は姫路市の数値

7 建物用途別火災状況

防火対象物の用途別でみると、一般住宅が41件で、全体の40.6%を占めています。

防火対象物の区分 (令別表)		令 和 2 年			令和元年 件 数	増減数
		件数	構成比 (%)	損害額 (千円)		
	一 般 住 宅	41 (31)	40.6 (35.2)	110,758 (81,422)	38 (34)	3 (▲3)
(五)	ロ 共 同 住 宅	13 (12)	12.9 (13.6)	26,983 (17,682)	12 (12)	1 (-)
	併 用 住 宅	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(一)	イ 劇 場 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 公 会 堂 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(二)	イ キ ャ バ レ ー 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 遊 技 場 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ニ カラオケボックス等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(三)	イ 料 理 店 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 飲 食 店	2 (2)	2.0 (2.3)	1,278 (1,278)	2 (2)	- (-)
(四)	物 品 販 売 店 舗	1 (1)	1.0 (1.1)	4,013 (4,013)	- (-)	1 (1)
(五)	イ 旅 館 ・ ホ テ ル 等	- (-)	- (-)	- (-)	3 (2)	▲3 (▲2)
(六)	イ 病 院 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 老人短期入所施設等	1 (1)	1.0 (1.1)	1 (1)	- (-)	1 (1)
	ハ 老人デイサービスセンター・保育園	2 (2)	2.0 (2.3)	90 (90)	- (-)	2 (2)
	ニ 幼稚園・特別支援学校	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(七)	学 校	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(八)	図 書 館 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(九)	イ 特 殊 浴 場	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 公 衆 浴 場	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十)	停 車 場 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十一)	神 社 ・ 寺 院 等	1 (1)	1.0 (1.1)	48,759 (48,759)	- (-)	1 (1)
(十二)	イ 工 場 ・ 作 業 場	7 (7)	6.9 (8.0)	265,856 (265,856)	15 (11)	▲8 (▲4)
	ロ ス タ ジ オ	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十三)	イ 駐 車 場	1 (1)	1.0 (1.1)	1 (1)	1 (1)	- (-)
	ロ 航 空 機 格 納 庫	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十四)	倉 庫	8 (6)	7.9 (6.8)	6,101 (3,714)	10 (8)	▲2 (▲2)
(十五)	事 務 所 等	3 (3)	3.0 (3.4)	2,704 (2,704)	1 (1)	2 (2)
(十六)	イ 特 定 複 合 用 途	8 (8)	7.9 (9.1)	1,945 (1,945)	7 (7)	1 (1)
	ロ 非 特 定 複 合 用 途	1 (1)	1.0 (1.1)	21 (21)	1 (1)	- (-)
(十七)	文 化 財	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	そ の 他	12 (12)	11.9 (13.6)	9,316 (9,316)	6 (6)	6 (6)
合 計		101 (88)	100 (100)	477,826 (436,802)	96 (85)	5 (3)

(注) ()内は姫路市の数値

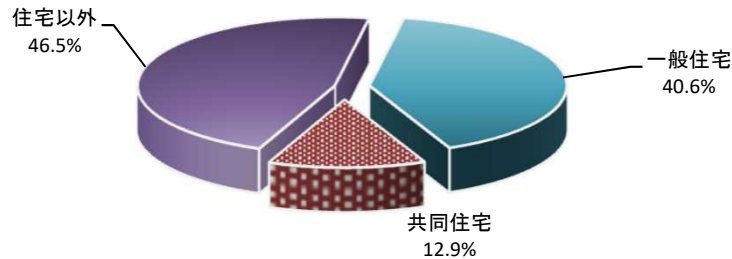
※ 端数処理の関係上、表中の計算が合わない場合があります。

8 建物火災に占める住宅火災の割合

建物火災101件のうち、住宅火災は54件発生し、建物火災全体の53.5%を占めています。

建物火災	住宅火災				住宅以外
	合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	
101 (88)	54 (43)	41 (31)	13 (12)	- (-)	47 (45)

(注) ()内は姫路市の数値



※ 端数処理の関係上、グラフ中の計算が合わない場合があります。

9 火災の覚知方法

消防機関が火災をどのような方法で覚知しているかをみると、119専用電話が最も多く136件（69.0%）となっています。

種別		平成28年		平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		
										火災件数	構成比(%)	
119 専用電話	固定電話	97	38 (33)	137	39 (38)	125	41 (36)	123	42 (31)	136	36 (32)	18.3 (18.3)
	携帯電話	(85)	59 (52)	(124)	98 (86)	(106)	84 (70)	(104)	81 (73)	(119)	100 (87)	50.8 (49.7)
加入電話	固定電話	2	1 (1)	7	5 (3)	3	1 (1)	3	1 (1)	8	4 (4)	2.0 (2.3)
	携帯電話	(2)	1 (1)	(5)	2 (2)	(2)	2 (1)	(2)	2 (1)	(7)	4 (3)	2.0 (1.7)
駆け付け通報		-		-		-		-		-		- (-)
警察電話		8 (8)		5 (5)		6 (5)		2 (2)		4 (4)		2.0 (2.3)
その他		3 (3)		8 (6)		10 (10)		5 (4)		9 (8)		4.6 (4.6)
事後聞知		28 (23)		30 (28)		36 (31)		43 (38)		40 (37)		20.3 (21.1)
合計		138 (121)		187 (168)		180 (154)		176 (150)		197 (175)		100 (100)

(注) ()内は姫路市の数値

※ 端数処理の関係上、表中の計算が合わない場合があります。

10 初期消火実施状況

初期消火は、全火災件数197件のうち125件（63.5%）に対して実施され、その中で77件（61.6%）が成功しています。

区 分			合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	その他
初期消火あり	成功	簡易消火用具	1 (1)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	1 (1)
		消 火 器	22 (21)	12 (11)	－ (－)	4 (4)	－ (－)	6 (6)
		固定消火設備	1 (1)	1 (1)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)
		そ の 他	53 (50)	29 (28)	2 (2)	5 (5)	－ (－)	17 (15)
		小 計	77 (73)	42 (40)	2 (2)	9 (9)	－ (－)	24 (22)
	失敗	簡易消火用具	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)
		消 火 器	9 (5)	4 (3)	－ (－)	4 (1)	－ (－)	1 (1)
		固定消火設備	1 (1)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	1 (1)
		そ の 他	38 (31)	12 (8)	4 (3)	2 (2)	－ (－)	20 (18)
		小 計	48 (37)	16 (11)	4 (3)	6 (3)	－ (－)	22 (20)
	合 計 (初期消火割合)		125 (110) 63.5% (62.9%)	58 (51) 57.4% (58.0%)	6 (5) 46.2% (41.7%)	15 (12) 75.0% (70.6%)	－ (－)	46 (42) 74.2% (73.7%)
初 期 消 火 な し		72 (65)	43 (37)	7 (7)	5 (5)	1 (1)	16 (15)	
火 災 件 数		197 (175)	101 (88)	13 (12)	20 (17)	1 (1)	62 (57)	

(注) ()内は姫路市の数値

※ 端数処理の関係上、表中の計算が合わない場合があります。

11 初期消火失敗の理由

初期消火失敗の理由としては、「初期消火の限界を超えていた」が最も多く、35件（72.9%）となっています。

合 計	初期消火の限界を超えていた	消火困難な場所	消火器具の数量不足	消火技術が悪かった	濃煙のため消火困難	その他
48 (37)	35 (27)	2 (2)	4 (3)	1 (-)	- (-)	6 (5)

(注) ()内は姫路市の数値

12 主な火災一覧

主な火災（火災損害額1,000万円以上又は焼損面積500㎡以上）は、7件(対前年増減数3件)発生しています。

月	出 火 場 所	火災種別	区 分
3月	香寺町広瀬	建 物	作業場
4月	書写	建 物	一般住宅
5月	飾東町清住	林 野	雑木林
6月	神河町高朝田	建 物	倉庫
8月	書写	建 物	一般住宅
12月	西脇	建 物	一般住宅
12月	御国野町深志野	建 物	工場

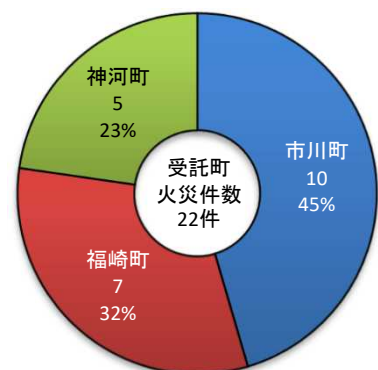
13 小学校区別火災状況

区 分 校 区	火災 件数	火 災 種 別					焼 損 面 積	
		建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	建物 (㎡)	林野 (a)
姫 路 東 消 防 署	白鷺	8	5	-	-	3	-	-
	野里	3	3	-	-	-	-	-
	城東	-	-	-	-	-	-	-
	東	2	1	-	-	1	-	-
	花田	5	2	-	2	1	0.9	-
	城北	3	2	-	-	1	4.0	-
	広峰	2	1	-	-	1	0.3	-
	水上	4	3	-	1	-	49.0	-
	砥堀	2	-	-	-	2	-	-
	城乾	-	-	-	-	-	-	-
	増位	1	-	-	-	1	-	-
	四郷	-	-	-	-	-	-	-
	御国野	1	1	-	-	-	2,394.0	-
	別所	6	-	2	1	3	-	1.5
	谷外	3	-	-	1	2	-	-
姫 路 西 消 防 署	谷内	4	2	1	-	1	-	3,420.0
	豊富	4	2	-	1	1	45.1	-
	山田	1	-	-	-	1	-	-
	船津	6	1	-	-	5	-	-
	小 計	55	23	3	6	-	2,493.3	3,421.5
	城陽	3	-	-	2	1	-	-
	手柄	3	2	-	1	-	138.0	-
	船場	1	-	-	1	-	-	-
	荒川	2	2	-	-	-	209.0	-
	高岡	1	1	-	-	-	0.5	-
	安室	1	1	-	-	-	137.0	-
	城西	2	2	-	-	-	207.1	-
	安室東	3	3	-	-	-	4.0	-
	高岡西	1	-	-	-	1	-	-
	曾左	1	1	-	-	-	197.0	-
	白鳥	5	3	-	-	2	18.0	-
	太市	2	2	-	-	-	391.2	-
	林田	5	4	-	-	1	424.0	-
	伊勢	2	1	-	-	1	6.0	-
	峰相	3	1	-	1	1	-	-
	青山	3	2	-	1	-	2.0	-
	安富南	4	2	-	1	1	58.0	-
	安富北	-	-	-	-	-	-	-
	小 計	42	27	-	7	-	1,791.8	-

区 分 校 区	火災 件数	火 災 種 別					焼 損 面 積	
		建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	建物 (㎡)	林野 (a)
飾 磨 消 防 署	飾磨	7	3	-	1	-	3	-
	津田	2	1	-	-	-	1	10.0
	英賀保	7	5	-	-	-	2	62.5
	高浜	2	1	-	-	-	1	-
	妻鹿	2	1	-	-	-	1	137.0
	広畑	3	2	-	-	-	1	-
	広畑第2	2	1	-	-	-	1	-
	八幡	2	1	-	-	-	1	1.0
	白浜	7	4	2	-	-	1	16.0
	八木	-	-	-	-	-	-	-
	糸引	4	2	1	-	-	1	0.1
	的形	3	-	1	-	-	2	2.0
	大塩	3	-	1	1	-	1	2.0
	家島	2	-	-	-	-	2	-
	坊勢	2	-	-	-	1	1	-
	小 計	48	21	5	2	1	19	226.6
網 干 消 防 署	勝原	2	1	-	-	-	1	-
	旭陽	2	1	-	1	-	-	240.0
	網干	4	3	-	-	-	1	-
	大津	-	-	-	-	-	-	-
	南大津	3	3	-	-	-	-	27.0
	大津茂	-	-	-	-	-	-	-
	網干西	1	1	-	-	-	-	70.0
	余部	-	-	-	-	-	-	-
	小 計	12	9	-	1	-	2	337.0
中 播 消 防 署	置塩	1	-	1	-	-	-	0.2
	古知	1	-	-	-	-	1	-
	前之庄	7	3	2	1	-	1	1.0
	筋野	-	-	-	-	-	-	-
	上菅	-	-	-	-	-	-	-
	菅生	2	1	-	-	-	1	41.0
	中寺	3	2	1	-	-	-	0.1
	香呂	3	1	-	-	-	2	338.0
	香呂南	1	1	-	-	-	-	4.0
	小 計	18	8	4	1	-	5	384.0
	受託町域 小計	22	13	1	3	-	5	1,547.2
	合 計	197	101	13	20	1	62	6,779.9
								3,443.2

14 事務受託町の火災状況

区 分 町 名	火災 件数	火 災 種 別					焼 損 面 積	
		建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	建物 (㎡)	林野 (a)
市川町	10	4	-	2	-	4	250.0	4.0
福崎町	7	5	1	1	-	-	254.4	0.7
神河町	5	4	-	-	-	1	1,042.8	-
合 計	22	13	1	3	-	5	1,547.2	4.7



15 出火原因の推移

出火原因第1位は、「たき火・焼却火」で、31件発生しています。

年 次	主 な 出 火 原 因					火災件数
	1位	2位	3位	4位	5位	
平成22年	放火(疑含む)	たき火・焼却火	たばこ	こんろ	火遊び	281 (255)
	74(69) 26.3%	35(26) 12.5%	31(29) 11.0%	26(25) 9.3%	9(9) 3.2%	
平成23年	放火(疑含む)	たばこ	たき火・焼却火	こんろ	火遊び	302 (279)
	84(81) 27.8%	34(32) 11.2%	34(27) 11.2%	29(28) 9.6%	24(23) 7.9%	
平成24年	放火(疑含む)	たき火・焼却火	たばこ	電気関係	こんろ	259 (230)
	72(70) 27.8%	28(23) 10.8%	23(20) 8.9%	22(18) 8.5%	21(21) 8.1%	
平成25年	たき火・焼却火	放火(疑含む)	たばこ	電気関係	こんろ	235 (208)
	43(32) 18.3%	42(40) 17.8%	20(20) 8.5%	14(12) 6.0%	12(10) 5.1%	
平成26年	たき火・焼却火	たばこ	放火(疑含む)	電気関係	こんろ	196 (173)
	31(24) 15.8%	25(25) 12.8%	24(21) 12.2%	24(23) 12.2%	13(11) 6.6%	
平成27年	放火(疑含む)	たき火・焼却火	たばこ	電気関係	こんろ	193 (175)
	37(34) 19.2%	29(23) 15.0%	19(16) 9.8%	16(15) 8.3%	13(11) 6.7%	
平成28年	たばこ	たき火・焼却火	－	電気関係	放火(疑含む)	138 (121)
	20(19) 14.5%	20(16) 14.5%	－	18(15) 13.0%	16(16) 11.6%	
平成29年	たき火・焼却火	たばこ	放火(疑含む)	こんろ	ストーブ	187 (168)
	47(36) 25.1%	29(29) 15.5%	21(18) 11.2%	10(10) 5.3%	9(8) 4.8%	
平成30年	たき火・焼却火	放火(疑含む)	電気関係	たばこ	こんろ	180 (154)
	39(32) 21.7%	28(27) 15.6%	19(16) 10.6%	17(15) 9.4%	7(7) 3.9%	
令和元年	たき火・焼却火	放火(疑含む)	たばこ	電気関係	こんろ	176 (150)
	42(30) 23.9%	27(27) 15.3%	18(18) 10.2%	18(17) 10.2%	10(10) 5.7%	
令和2年	たき火・焼却火	放火(疑含む)	電気関係	たばこ	こんろ	197 (175)
	31(24) 15.7%	27(26) 13.7%	22(19) 11.2%	21(19) 10.7%	11(11) 5.6%	

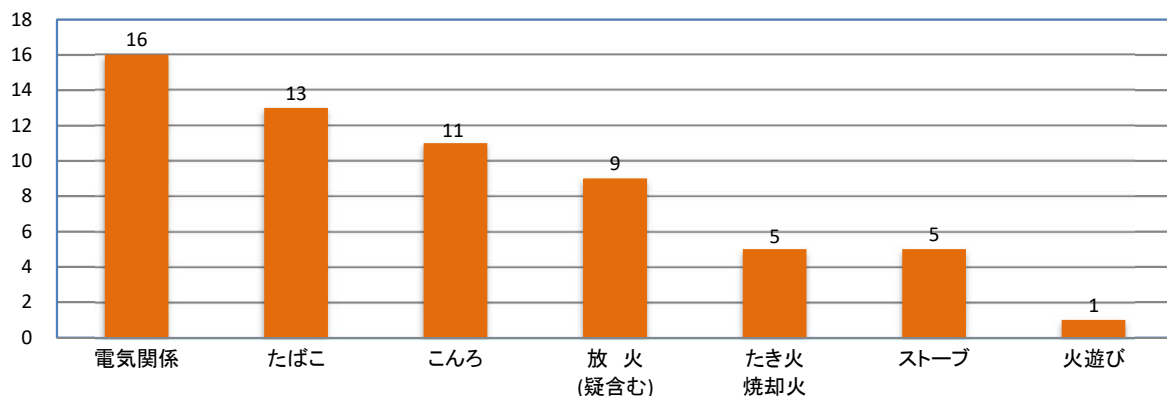
(注) ()内は姫路市の数値

16 建物用途別出火原因

出火原因は、「電気関係」が最も多く16件、続いて「たばこ」が13件、「こんろ」が11件となっています。

出火原因 防火対象物の 区分（令別表）		合 計	電 気 関 係	た ば こ	こ ん ろ	放 火 （ 疑 含 む ）	た き 火 焼 却 火	ス ト ー ブ	火 遊 び	そ の 他	不 明
	一 般 住 宅	41 (31)	9 (6)	7 (5)	4 (4)	2 (2)	- (-)	3 (3)	- (-)	8 (6)	8 (5)
(五)	ロ 共 同 住 宅	13 (12)	- (-)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	- (-)	2 (1)	1 (1)	1 (1)	3 (3)
	併 用 住 宅	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(一)	イ 劇 場 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 公 会 堂 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(二)	イ キャバレー 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 遊 技 場 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ニ カラオケボックス等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(三)	イ 料 理 店 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 飲 食 店	2 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (2)	- (-)
(四)	物 品 販 売 店 舗	1 (1)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(五)	イ 旅 館 ・ ホ テ ル 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(六)	イ 病 院 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 老人短期入所施設等	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)
	ハ 老人デイサービスセンター・保育園	2 (2)	- (-)	- (-)	1 (1)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ニ 幼稚園・特別支援学校	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(七)	学 校	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(八)	図 書 館 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(九)	イ 特 殊 浴 場	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 公 衆 浴 場	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十)	停 車 場 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十一)	神 社 ・ 寺 院 等	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)
(十二)	イ 工 場 ・ 作 業 場	7 (7)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	5 (5)	1 (1)
	ロ ス タ ジ オ	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十三)	イ 駐 車 場	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 航 空 機 格 納 庫	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十四)	倉 庫	8 (6)	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (1)	2 (1)	- (-)	- (-)	3 (2)	1 (1)
(十五)	事 務 所 等	3 (3)	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)
(十六)	イ 特 定 複 合 用 途	8 (8)	- (-)	2 (2)	4 (4)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	1 (1)
	ロ 非 特 定 複 合 用 途	1 (1)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十七)	文 化 財	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	そ の 他	12 (12)	3 (3)	1 (1)	- (-)	2 (2)	2 (2)	- (-)	- (-)	3 (3)	1 (1)
合 計		101 (88)	16 (13)	13 (11)	11 (11)	9 (9)	5 (4)	5 (4)	1 (1)	25 (22)	16 (13)

(注) ()内は姫路市の数値



17 主な出火原因の状況

(1) たき火・焼却火

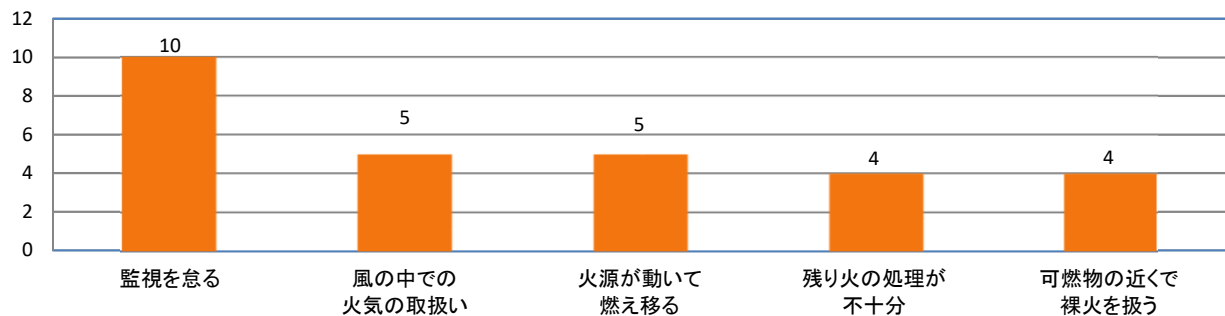
たき火・焼却火による火災は、全火災の15.7%を占めています。
火災に至った経過は、「監視を怠る」が最も多くなっています。

区 分		年 次	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
火災種別	合 計		20 (16)	47 (36)	39 (32)	42 (30)	31 (24)
	建 物		3 (3)	5 (5)	4 (4)	7 (5)	5 (4)
	林 野		1 (1)	6 (5)	9 (6)	7 (3)	5 (4)
	車 両	(件)	- (-)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	- (-)
	船 舶		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	そ の 他		16 (12)	35 (25)	24 (20)	27 (21)	21 (16)
建物焼損床面積		(㎡)	128.0 (128.0)	35.3 (35.3)	7.0 (7.0)	147.6 (71.6)	634.0 (10.0)
林野焼損面積		(a)	5.7 (5.7)	108.2 (102.9)	42.4 (40.4)	41.9 (35.7)	3,422.3 (3421.6)
損 害 額		(千円)	1,721 (1,721)	685 (597)	400 (399)	11,025 (1,196)	1,989 (169)

(注) ()内は姫路市の数値

主 な 発 生 経 過

件数



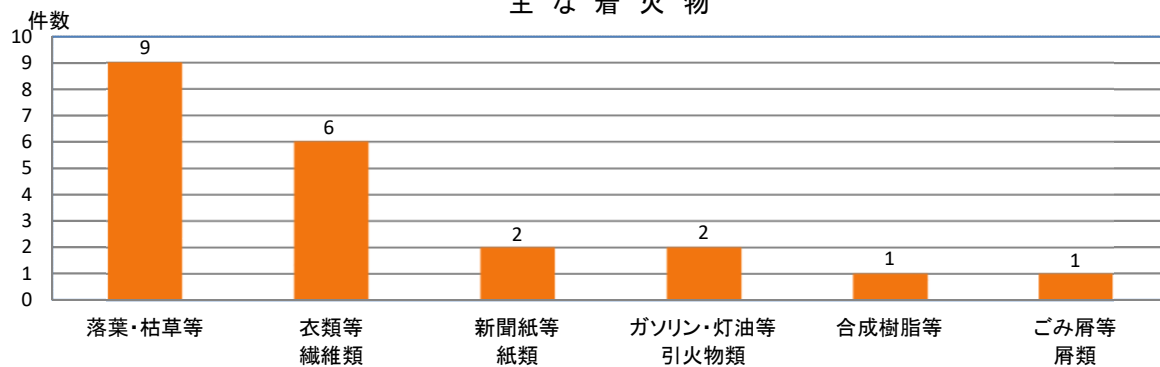
(2) 放火（疑いを含む）

放火（疑いを含む）による火災は、全火災の13.7%を占めています。

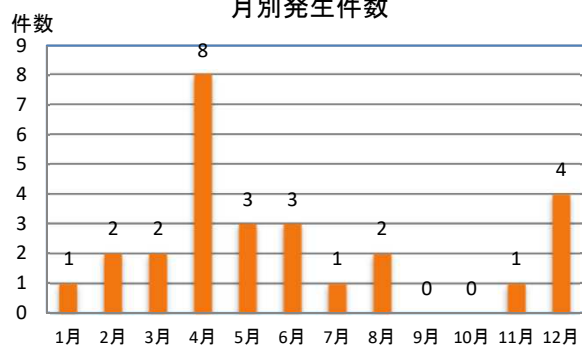
年次		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
区分	合計	16 (16)	21 (18)	28 (27)	27 (27)	27 (26)
火災種別	建物	2 (2)	7 (6)	14 (13)	17 (17)	9 (9)
	林野	- (-)	1 (1)	1 (1)	- (-)	6 (6)
	車両	1 (1)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	1 (-)
	船舶	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	その他	13 (13)	12 (10)	11 (11)	9 (9)	11 (11)
建物焼損床面積 (㎡)		7.0 (7.0)	31.0 (6.0)	427.2 (396.2)	426.8 (426.8)	365.0 (365.0)
林野焼損面積 (a)		- (-)	71.0 (71.0)	- (-)	- (-)	13.4 (13.4)
損害額 (千円)		989 (989)	1,325 (1,242)	16,257 (14,593)	15,099 (15,099)	23,285 (23,275)

(注) ()内は姫路市の数値

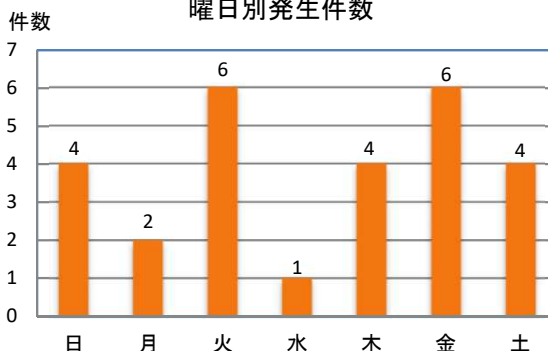
主な着火物



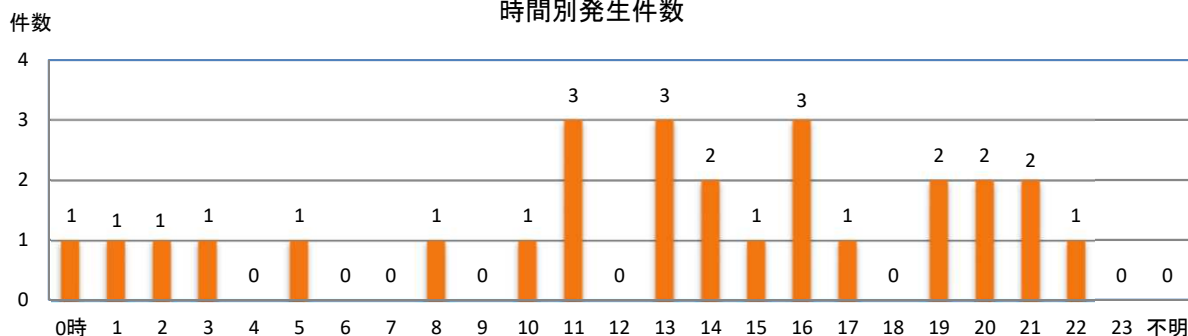
月別発生件数



曜日別発生件数



時間別発生件数

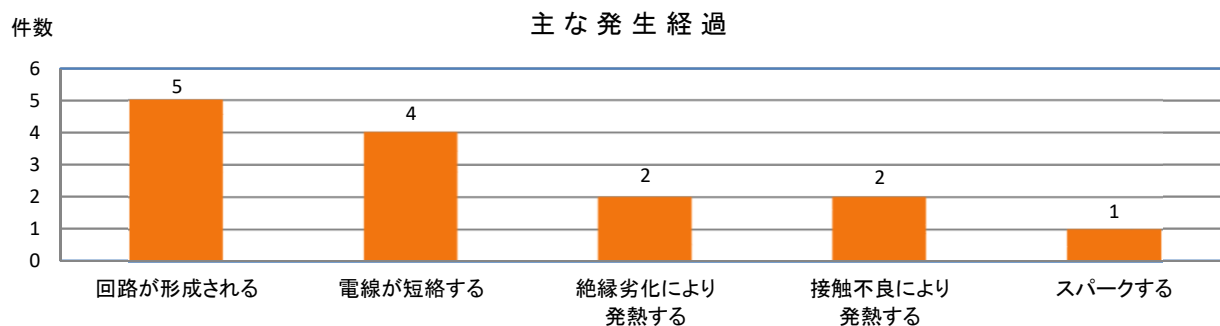
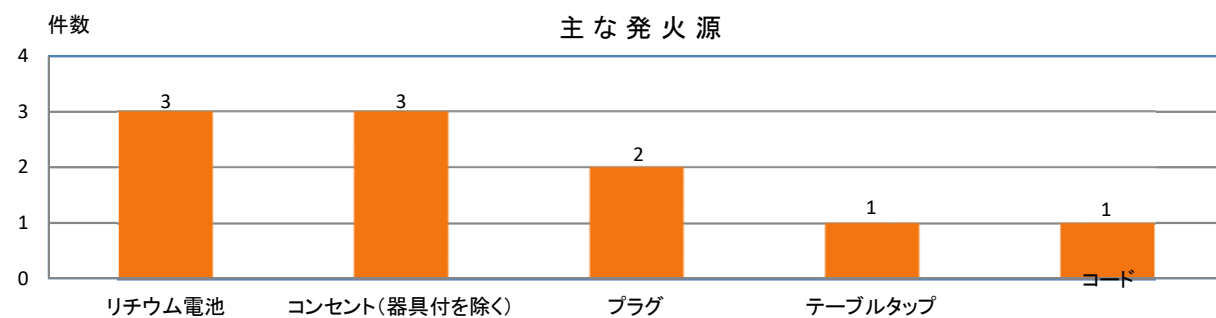


(3) 電気関係

電気関係による火災は、全火災の11.2%を占めています。
発火源は、「リチウム電池」と「コンセント」が多くなっています。

年次			平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
区 分	合 計		18 (15)	9 (9)	19 (16)	18 (17)	22 (19)
火災種別	建 物	(件)	15 (12)	7 (7)	14 (12)	12 (11)	16 (13)
	林 野		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	車 両		2 (2)	1 (1)	3 (3)	3 (3)	4 (4)
	船 舶		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)
	そ の 他		1 (1)	1 (1)	2 (1)	3 (3)	1 (1)
建物焼損床面積		(㎡)	3.1 (3.0)	255.0 (255.0)	224.0 (224.0)	159.6 (147.6)	2,735.6 (2572.2)
林野焼損面積		(a)	- (-)	- (-)	0.2 (-)	- (-)	- (-)
損 害 額		(千円)	3,865 (3,829)	35,704 (35,704)	104,986 (95,774)	17,046 (15,400)	238,879 (234,382)

(注) ()内は姫路市の数値



(4) たばこ

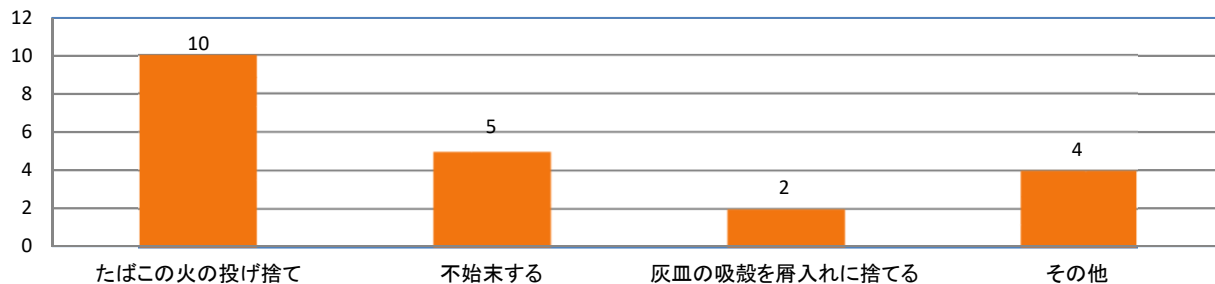
たばこによる火災は、全火災の10.7%を占めています。
発生経過をみると、「たばこの火の投げ捨て」が最も多くなっています。

年次			平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
区 分	合 計		20 (19)	29 (29)	17 (15)	18 (18)	21 (19)
火災種別	建 物	(件)	13 (13)	10 (10)	7 (6)	10 (10)	13 (11)
	林 野		1 (1)	- (-)	- (-)	2 (2)	- (-)
	車 両		- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)
	船 舶		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	そ の 他		6 (5)	18 (18)	10 (9)	6 (6)	8 (8)
建物焼損床面積		(㎡)	316.4 (316.4)	73.3 (73.3)	31.2 (31.2)	57.9 (57.9)	132.1 (27.1)
林野焼損面積		(a)	5.0 (5.0)	- (-)	- (-)	1.4 (1.4)	- (-)
損 害 額		(千円)	33,944 (33,944)	7,154 (7,154)	896 (880)	8,540 (8,540)	5,285 (781)

(注) ()内は姫路市の数値

件数

主 な 発 生 経 過



(5) こんろ

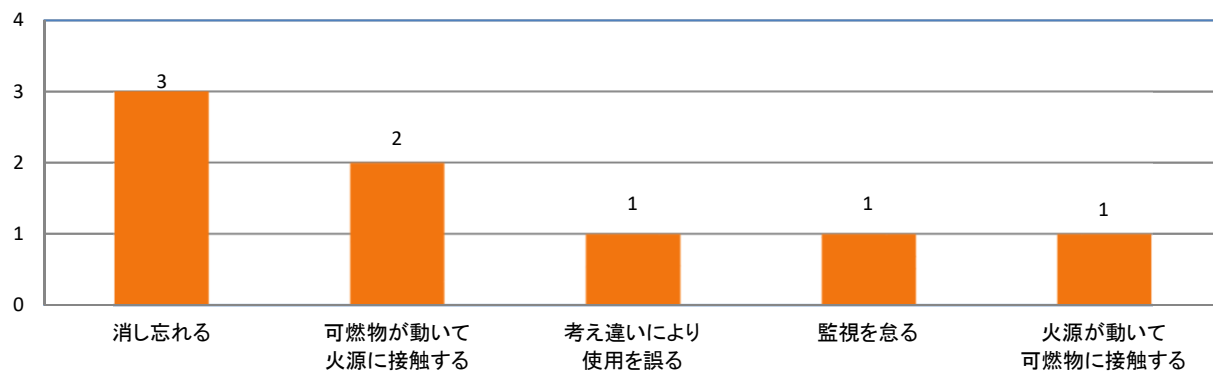
こんろによる火災は、全火災の5.6%を占めています。
火災に至った経過は、「消し忘れる」が最も多くなっています。

年次			平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
区 分	合 計		10 (10)	10 (10)	7 (7)	10 (10)	11 (11)
火災種別	建 物	(件)	10 (10)	10 (10)	7 (7)	10 (10)	11 (11)
	林 野		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	車 両		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	船 舶		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	そ の 他		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
建 物 焼 損 床 面 積	(㎡)		222.8 (222.8)	67.0 (67.0)	6.0 (6.0)	34.6 (34.6)	88.9 (88.9)
林 野 焼 損 面 積	(a)		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
損 害 額	(千円)		15,766 (15,766)	889 (889)	421 (421)	786 (786)	2,545 (2,545)

(注) ()内は姫路市の数値

件数

主な発生経過



18 火災による死者の推移

年 次 年齢区分	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
5 歳 以下	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
6 ～ 10歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
11 ～ 15歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
16 ～ 20歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
21 ～ 25歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
26 ～ 30歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
31 ～ 35歳	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)
36 ～ 40歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
41 ～ 45歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)
46 ～ 50歳	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)
51 ～ 55歳	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (1)
56 ～ 60歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
61 ～ 64歳	- (-)	1 (1)	1 (1)	- (-)	- (-)
65 歳 以上	3 (2)	1 (1)	7 (5)	5 (4)	6 (3)
合 計	3 (2)	3 (3)	10 (8)	5 (4)	8 (5)

(注) ()内は姫路市の数値

19 火災による死者の発生状況

No.	年齢区分	性 別	死 因	火災種別	発生場所
1	65歳以上	男	火傷	建物	共同住宅
2	41～45歳	男	CO中毒・窒息	建物	一般住宅
3	65歳以上	男	CO中毒・窒息	建物	一般住宅
4	65歳以上	男	自殺	車両	他の屋外
5	65歳以上	不明	火傷	建物	一般住宅
6	65歳以上	女	CO中毒・窒息	建物	一般住宅
7	51～55歳	男	CO中毒・窒息	建物	一般住宅
8	65歳以上	女	CO中毒・窒息	建物	共同住宅

20 火災による負傷者の推移

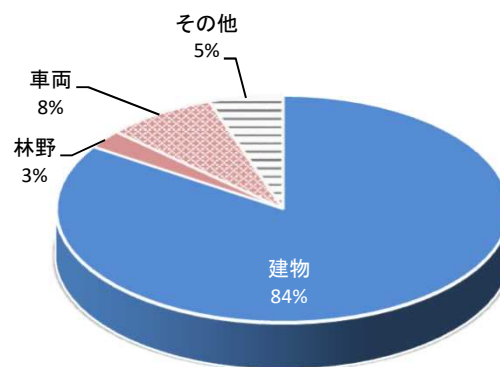
年 次 年齢区分	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
5 歳 以下	- (-)	2 (2)	- (-)	1 (1)	- (-)
6 ～ 10歳	1 (1)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)
11 ～ 15歳	3 (3)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
16 ～ 20歳	- (-)	1 (1)	4 (4)	- (-)	1 (1)
21 ～ 25歳	- (-)	- (-)	- (-)	2 (2)	2 (2)
26 ～ 30歳	1 (1)	2 (2)	1 (1)	- (-)	1 (1)
31 ～ 35歳	- (-)	- (-)	4 (4)	1 (1)	3 (2)
36 ～ 40歳	1 (-)	1 (1)	2 (1)	4 (4)	- (-)
41 ～ 45歳	1 (1)	3 (2)	3 (3)	- (-)	7 (7)
46 ～ 50歳	- (-)	- (-)	5 (4)	1 (1)	1 (1)
51 ～ 55歳	- (-)	1 (1)	- (-)	3 (2)	- (-)
56 ～ 60歳	1 (1)	3 (3)	3 (2)	3 (3)	2 (1)
61 ～ 64歳	2 (2)	2 (1)	1 (1)	2 (2)	3 (3)
65 歳 以上	8 (8)	9 (7)	7 (6)	12 (10)	18 (16)
合 計	18 (17)	24 (20)	31 (27)	29 (26)	38 (34)

(注) ()内は姫路市の数値

(1) 火災種別による負傷者

建 物 火 災	32	(28)
林 野 火 災	1	(1)
車 両 火 災	3	(3)
船 舶 火 災	-	(-)
そ の 他 の 火 災	2	(2)
合 計	38	(34)

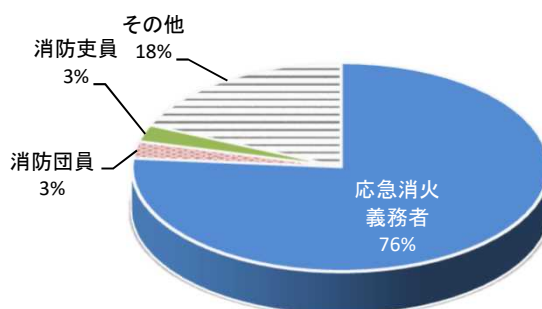
(注) ()内は姫路市の数値



(2) 負傷者の区分

応 急 消 火 義 務 者	29	(25)
消 防 団 員	1	(1)
消 防 吏 員	1	(1)
そ の 他	7	(7)
合 計	38	(34)

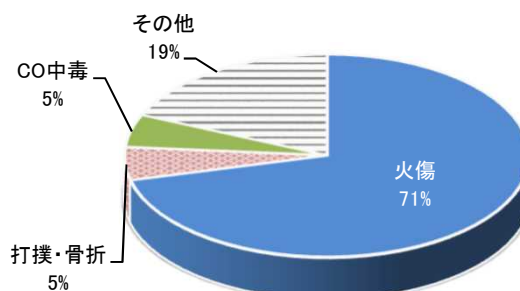
(注) ()内は姫路市の数値



(3) 負傷原因

火 傷	27	(25)
打 撲 ・ 骨 折	2	(2)
C O 中 毒	2	(-)
そ の 他	7	(7)
合 計	38	(34)

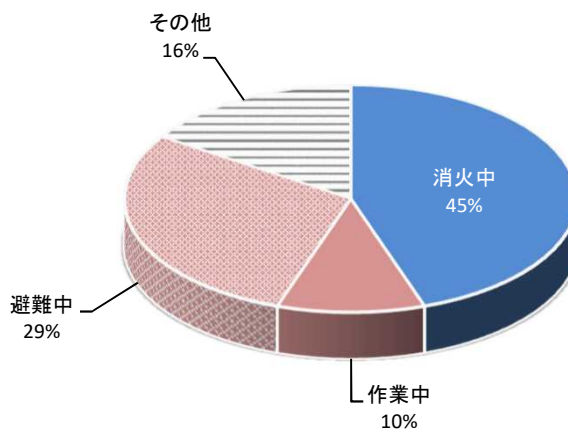
(注) ()内は姫路市の数値



(4) 負傷経過

消 火 中	17	(16)
作 業 中	4	(4)
避 難 中	11	(8)
就 寝 中	-	(-)
そ の 他	6	(6)
合 計	38	(34)

(注) ()内は姫路市の数値



21 出動区分別活動状況

火災1件当りの平均出動台数は7.0台、車両1台当たりの平均人員は3.6人となっています。

区 分	出動件数	車 種	出動台数	放水台数	出動人員
第 1 出 動	122	指 揮 隊 車	106	-	344
		指 揮 車	2	-	5
		タ ン ク 車	275	121	1, 187
		S T 車	271	125	845
		救 助 工 作 車	92	-	334
		水 難 救 助 車	-	-	-
		救 急 車	115	-	346
		梯 子 車	13	-	65
		化 学 車	5	1	24
		大型化学高所放水車	1	-	2
		屈折梯子付ポンプ車	1	-	3
		泡 原 液 搬 送 車	2	-	6
		水 槽 車	-	-	-
		無 線 中 継 車	-	-	-
		消 防 艇	-	-	-
		救 急 艇	-	-	-
		資 材 搬 送 車	-	-	-
第 2 出 動	33	B C 災 害 対 応 車	4	-	8
		人 員 搬 送 車	-	-	-
		多 目 的 車	-	-	-
		指 揮 隊 車	36	-	115
		指 揮 車	2	-	4
		タ ン ク 車	44	11	189
		S T 車	34	10	106
		救 助 工 作 車	-	-	-
		水 難 救 助 車	-	-	-
		救 急 車	-	-	-
		梯 子 車	-	-	-
		化 学 車	-	-	-
		大型化学高所放水車	-	-	-
		屈折梯子付ポンプ車	-	-	-
		泡 原 液 搬 送 車	-	-	-
		水 槽 車	1	-	3
		無 線 中 継 車	-	-	-
第 3 出 動	2	消 防 艇	-	-	-
		救 急 艇	-	-	-
		資 材 搬 送 車	-	-	-
		B C 災 害 対 応 車	-	-	-
		人 員 搬 送 車	-	-	-
		多 目 的 車	-	-	-
		指 揮 隊 車	-	-	-
		指 揮 車	-	-	-
		タ ン ク 車	2	1	7
		S T 車	2	1	6
		救 助 工 作 車	-	-	-
		水 難 救 助 車	-	-	-
		救 急 車	-	-	-
		梯 子 車	-	-	-
		化 学 車	-	-	-
		大型化学高所放水車	-	-	-
		屈折梯子付ポンプ車	-	-	-
		泡 原 液 搬 送 車	-	-	-
		水 槽 車	-	-	-
		無 線 中 継 車	-	-	-
		消 防 艇	-	-	-
		救 急 艇	-	-	-
		資 材 搬 送 車	-	-	-
		B C 災 害 対 応 車	-	-	-
		人 員 搬 送 車	-	-	-
		多 目 的 車	-	-	-

区 分	出動件数	車 種	出動台数	放水台数	出動人員
特 命 出 動	(26)	指揮隊車	10	-	34
		指揮車	2	-	4
		タンク車	11	4	44
		ST車	19	9	63
		救助工作車	4	-	11
		水難救助車	-	-	-
		救急車	28	-	85
		梯子車	-	-	-
		化学車	2	-	10
		大型化学高所放水車	-	-	-
		屈折梯子付ポンプ車	-	-	-
		泡原液搬送車	-	-	-
		水槽車	1	-	2
		無線中継車	-	-	-
		消防艇	-	-	-
		救急艇	-	-	-
		資材搬送車	3	-	7
合 計	157	BC災害対応車	-	-	-
		人員搬送車	2	-	12
		多目的車	1	-	1
		指揮隊車	152	-	493
		指揮車	6	-	13
		タンク車	332	137	1,427
		ST車	326	145	1,020
		救助工作車	96	-	345
		水難救助車	-	-	-
		救急車	143	-	431
		梯子車	13	-	65
		化学車	7	1	34
		大型化学高所放水車	1	-	2
		屈折梯子付ポンプ車	1	-	3
		泡原液搬送車	2	-	6
		水槽車	2	-	5
		無線中継車	-	-	-
		消防艇	-	-	-
		救急艇	-	-	-
		資材搬送車	3	-	7
		BC災害対応車	4	-	8
		人員搬送車	2	-	12
		多目的車	1	-	1
		合 計	1,091	283	3,872

※ 覚知方法が「事後聞知」の火災は除いています。

※ 出動件数の合計は、「特命出動」を除いています。（「第1出動」、「第2出動」及び「第3出動」の件数と重複するため）

※ ST車とは、水槽容量800ℓ～1,300ℓの消防自動車をいいます。

※ 救急車は、軽救急車も含みます。

22 出火場所と最寄り消防機関の距離

出火場所と最寄り消防機関の距離をみると、3.0km以下で158件発生しており、全体の80.2%を占めています。

最寄り消防機関 からの直線距離	火災件数	火 災 種 別				
		建 物	林 野	車 両	船 舶	その他
0.5km 以 下	16 (16)	10 (10)	1 (1)	1 (1)	- (-)	4 (4)
0.6 ～ 1.0km	36 (35)	12 (11)	2 (2)	6 (6)	- (-)	16 (16)
1.1 ～ 1.5km	46 (42)	30 (26)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	13 (13)
1.6 ～ 2.0km	26 (23)	19 (16)	1 (1)	4 (4)	- (-)	2 (2)
2.1 ～ 2.5km	23 (21)	9 (9)	3 (3)	3 (2)	- (-)	8 (7)
2.6 ～ 3.0km	11 (10)	6 (6)	1 (1)	- (-)	- (-)	4 (3)
3.1 ～ 3.5km	14 (14)	4 (4)	1 (1)	1 (1)	- (-)	8 (8)
3.6 ～ 4.0km	7 (6)	4 (3)	1 (1)	- (-)	- (-)	2 (2)
4.1 ～ 4.5km	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)
4.6 ～ 5.0km	5 (2)	2 (1)	1 (-)	2 (1)	- (-)	- (-)
5.1 ～ 5.5km	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)
5.6 ～ 6.0km	4 (1)	1 (-)	- (-)	2 (1)	- (-)	1 (-)
6.1 ～ 6.5km	1 (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
6.6 ～ 7.0km	2 (2)	1 (1)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)
7.1km 以 上	4 (2)	2 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (1)
合 計	197 (175)	101 (88)	13 (12)	20 (17)	1 (1)	62 (57)

(注) ()内は姫路市の数値

23 車両別火災出動状況

車両別の火災出動回数は、姫路東消防署のタンク車が最も多く、62回となっています。

署所及び車両			出動状況	出動回数	放　　水		ホース 使用本数	人員（人）		走行距離（km）	
					回数	量(㎡)		延べ	平均	延べ	平均
消防局	警防課 救急課 (本部直轄隊)	指　　揮　　車	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		S　　T　　車	4	2	15.0	12	14	3.5	13.6	3.4	
		救　助　工　作　車	35	-	-	-	140	4.0	486.3	13.9	
		資　材　搬　送　車	-	-	-	-	-	-	-	-	
		B　C　災　害　対　応　車	4	-	-	-	8	2.0	81.8	20.5	
		水　難　救　助　車	-	-	-	-	-	-	-	-	
	(予備車)	救　急　車	5	-	-	-	15	3.0	48.2	9.6	
		タ　ン　ク　車	2	-	-	-	9	4.5	16.7	8.4	
		救　急　車	4	-	-	-	12	3.0	33.3	8.3	
		救　急　車	-	-	-	-	-	-	-	-	
	予　防　課 情報指令課	指　　揮　　車	-	-	-	-	-	-	-	-	
		無　線　中　継　車	-	-	-	-	-	-	-	-	
小　　計			54	2	15.0	12	198	1.5	679.9	4.9	
姫路東消防署	本　　署	指　　揮　　車	58	-	-	-	195	3.4	1,400.5	24.1	
		タ　ン　ク　車	62	20	492.7	157	319	5.1	863.2	13.9	
		S　　T　　車	2	2	3.5	13	10	5.0	35.0	17.5	
		梯　子　車	4	-	-	-	18	4.5	44.5	11.1	
		化　学　車	3	-	-	-	15	5.0	51.4	17.1	
		資　材　搬　送　車	1	-	-	-	3	3.0	20.0	20.0	
		人　員　搬　送　車	2	-	-	-	12	6.0	32.0	16.0	
		救　急　車	11	-	-	-	33	3.0	48.1	4.4	
	御国野出張所	S　　T　　車	45	18	200.4	-	135	3.0	506.9	11.3	
		救　急　車	8	-	-	-	24	3.0	54.9	6.9	
	豊富出張所	S　　T　　車	41	16	377.3	95	123	3.0	883.3	21.5	
		救　急　車	13	-	-	-	39	3.0	168.8	13.0	
	飾東出張所	S　　T　　車	32	12	345.0	54	96	3.0	819.3	25.6	
		S　　T　　車	40	12	399.8	66	120	3.0	544.6	13.6	
	増位出張所	救　急　車	1	-	-	-	3	3.0	2.8	2.8	
小　　計			322	80	1,818.7	385	1,142	3.8	5,472.5	15.4	
姫路西消防署	本　　署	指　　揮　　車	60	-	-	-	191	3.2	1,523.3	25.4	
		タ　ン　ク　車	61	30	378.1	165	302	5.0	900.4	14.8	
		S　　T　　車	6	4	48.7	19	21	3.5	78.7	13.1	
		梯　子　車	4	-	-	-	21	5.3	36.0	9.0	
		救　助　工　作　車	29	-	-	-	104	3.6	419.7	14.5	
		化　学　車	2	-	-	-	10	5.0	45.9	23.0	
		資　材　搬　送　車	2	-	-	-	4	2.0	43.0	21.5	
		救　急　車	10	-	-	-	30	3.0	89.1	8.9	
	飾西出張所	S　　T　　車	43	15	214.3	66	133	3.1	667.6	15.5	
		救　急　車	13	-	-	-	39	3.0	219.5	16.9	
	林田出張所	S　　T　　車	18	10	138.1	40	56	3.1	314.0	17.4	
		救　急　車	11	-	-	-	33	3.0	151.4	13.8	
	小　　計			259	59	779.2	290	944	3.6	4,488.6	16.2

出動状況 署所及び車両			出動回数	放 水		ホース 使用本数	人員（人）		走行距離（km）	
				回数	量(m³)		延べ	平均	延べ	平均
飾磨消防署	本 署	指 揮 隊 車	35	-	-	-	110	3.1	373.5	10.7
		タ ン ク 車	57	26	257.5	155	275	4.8	598.2	10.5
		S T 車	2	-	-	-	6	3.0	18.5	9.3
		梯 子 車	1	-	-	-	6	6.0	18.4	18.4
		大型化学高所放水車	1	-	-	-	6	6.0	18.4	18.4
		資 材 搬 送 車	-	-	-	-	-	-	-	-
		消 防 艇	-	-	-	-	-	-	-	-
		水 槽 車	2	-	-	-	5	2.5	92.2	46.1
		救 急 車	9	-	-	-	28	3.1	68.0	7.6
	白 浜 分 署	タ ン ク 車	42	11	150.5	48	133	3.2	429.0	10.2
		泡原液搬送車	2	-	-	-	6	3.0	31.8	15.9
		救 急 車	11	-	-	-	33	3.0	44.5	4.0
	広 畑 分 署	タ ン ク 車	42	16	70.0	69	135	3.2	442.2	10.5
		屈折梯子付ポンプ車	1	-	-	-	3	3.0	18.6	18.6
		水 槽 車	-	-	-	-	-	-	-	-
		救 急 車	6	-	-	-	18	3.0	37.2	6.2
	大の出張所	S T 車	24	14	377.0	97	72	3.0	264.8	11.0
		救 急 艇	-	-	-	-	-	-	-	-
	家島出張所	多 目 的 車	-	-	-	-	-	-	-	-
		軽 救 急 車	2	-	-	-	6	3.0	9.8	4.9
坊勢出張所	多 目 的 車	1	-	-	-	1	1.0	3.0	3.0	
	軽 救 急 車	2	-	-	-	6	3.0	6.0	3.0	
小 計			240	67	855.0	369	849	2.6	2,474.1	9.5
網干消防署	本 署	指 揮 隊 車	4	-	-	-	9	2.3	18.2	4.6
		タ ン ク 車	22	8	166.8	41	120	5.5	238.6	10.8
		S T 車	1	-	-	-	3	3.0	4.2	4.2
		梯 子 車	3	-	-	-	16	5.3	29.8	9.9
		化 学 車	1	-	-	-	5	5.0	23.8	23.8
		大型化学高所放水車	-	-	-	-	-	-	-	-
		資 材 搬 送 車	-	-	-	-	-	-	-	-
		救 急 車	10	-	-	-	31	3.1	112.0	11.2
	勝原出張所	タ ン ク 車	29	7	130.8	-	90	3.1	424.8	14.6
小 計			70	15	297.6	41	274	3.0	851.4	8.8
中播消防署	本 署	指 揮 隊 車	2	-	-	-	4	2.0	54.0	27.0
		タ ン ク 車	22	11	188.0	52	100	4.5	411.2	18.7
		S T 車	15	5	47.7	33	66	4.4	412.5	27.5
		梯 子 車	1	-	-	52	4	4.0	411.6	411.6
		化 学 車	1	1	3.0	3	4	4.0	15.3	15.3
		救 助 工 作 車	32	-	-	-	101	3.2	700.0	21.9
		資 材 搬 送 車	-	-	-	-	-	-	-	-
		救 急 車	13	-	-	-	39	3.0	385.1	29.6
	香寺出張所	S T 車	41	18	155.1	70	123	3.0	900.1	22.0
		救 急 車	10	-	-	-	30	3.0	123.2	12.3
	夢前出張所	S T 車	31	17	86.6	62	93	3.0	670.0	21.6
		救 急 車	6	-	-	-	18	3.0	108.8	18.1
	北部出張所	S T 車	15	8	102.7	55	51	3.4	302.1	20.1
救 急 車		3	-	-	-	9	3.0	74.0	24.7	
小 計			192	60	583.1	327	642	3.1	4,567.9	47.9
合 計			1,137	283	4,348.6	1,424	4,049	2.9	18,534.4	17.1

- ※ 御国野出張所のタンク車は車両更新に伴い、令和2年4月1日にST車へ変更しました。
- ※ 中播消防署のST車は車両更新に伴い、令和2年4月1日にタンク車へ変更しました。
- ※ 飾磨消防署の大型化学高所放水塔車は、令和2年10月1日に網干消防署へ配置換えになりました。
- ※ 飾磨消防署の水槽車は、令和2年10月1日に広畑分署へ配置換えになりました。
- ※ 網干消防署の化学車は、令和2年10月1日に姫路西消防署へ配置換えになりました。
- ※ 広畑分署の屈折梯子付ポンプ車は、令和2年10月1日に廃止となりました。

24 先着隊の平均所要時間

区 分		平 均 所 要 時 間
出 動	現場到着（建物火災限定）	5分02秒
現場到着	放水開始（全火災）	3分36秒
現場到着	鎮 火（全火災）	84分43秒

25 火災・救助以外の消防隊の緊急出動状況

区 分	出 動 件 数	出 動 台 数	出 動 人 員
石油コンビナート災害	4 (4)	22 (22)	88 (88)
救急支援・PA出動等	1,071 (987)	1,077 (989)	4,181 (3,808)
警 戒 出 動	253 (224)	280 (243)	1,025 (895)
誤 報 ・ 偽 報	326 (306)	723 (663)	2,734 (2,515)
風 水 害 等 出 動	1 (1)	1 (1)	3 (3)
合 計	1,655 (1,522)	2,103 (1,918)	8,031 (7,309)

(注) ()内は姫路市の数値

※ 石油コンビナート災害とは、石油コンビナート等災害防止法に規定されている異常現象のうち「火災」に該当するものを除いたものを示します。

※ 警戒出動とは、石油コンビナート災害を除く危険防除活動、現場警戒等を示します。

26 自動火災報知設備の誤作動による出動状況

	平成30年	令和元年	令和2年
出 動 件 数	177 (170)	184 (178)	204 (192)
出 動 台 数	576 (519)	646 (624)	664 (595)
出 動 人 員	2,197 (2,007)	2,365 (2,292)	2,453 (2,212)

(注) ()内は姫路市の数値

・自動火災報知設備の主な誤作動原因

区 分	出 動 件 数	出 動 台 数	出 動 人 員
いたずらによるもの	14 (14)	22 (22)	95 (95)
誤 操 作 によるもの	9 (9)	47 (47)	168 (168)
調理による熱または煙	19 (17)	90 (65)	331 (243)
機 能 不 良 (劣 化)	3 (3)	3 (3)	12 (12)

27 兵庫県消防防災航空隊災害出動状況

兵庫県消防防災航空隊は、平成16年4月から兵庫県保有1機、神戸市保有2機の一体的運用により、県下一円の災害に対応できるよう常時2機の稼働体制を確保しています。

医師等が搭乗する医療スタッフ同乗型救急ヘリコプターについては、兵庫県災害医療センター、神戸大学附属病院と連携し実施しています。

神戸空港を起点に兵庫県全土を対象に活動しています。

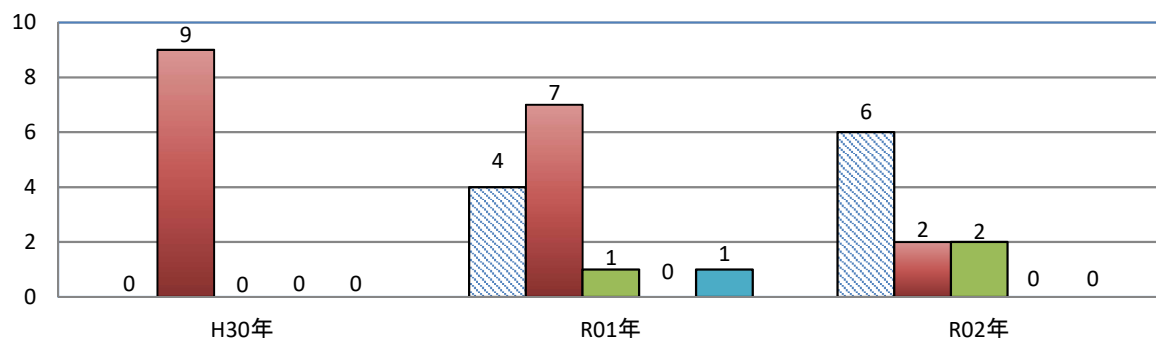
平成30年	火 災	救 助	救 急	応援業務	その他
姫路市(3件)	－	3	－	－	－
市川町(－件)	－	－	－	－	－
福崎町(2件)	－	2	－	－	－
神河町(4件)	－	4	－	－	－
合計（9件）	－	9	－	－	－
航空隊出動 総数(149件)	20	58	68	3	－

令和元年	火 災	救 助	救 急	応援業務	その他
姫路市(9件)	2	5	1	－	1
市川町(3件)	1	2	－	－	－
福崎町(1件)	1	－	－	－	－
神河町(－件)	－	－	－	－	－
合計（13件）	4	7	1	－	1
航空隊出動 総数(166件)	22	56	82	6	－

令和2年	火 災	救 助	救 急	応援業務	その他
姫路市(7件)	6	1	－	－	－
市川町(2件)	－	1	1	－	－
福崎町(1件)	－	－	1	－	－
神河町(－件)	－	－	－	－	－
合計（10件）	6	2	2	－	－
航空隊出動 総数(142件)	26	32	81	3	－

件数

□火災 ■救助 ▨救急 ▩応援業務 ■その他



28 自治体消防発足以後の火災概要

は最高記録

●は原因別第1位

年次	火災件数		死傷者		り災		焼損面積		損害額 (百万円)	主な出火原因				
	建物		死者	負傷者	世帯	人員	建物㎡	林野a		たき火 焼却火	たばこ	こんろ	火遊び	放火 (疑含む)
昭和24	95	91	1	11	0	0	8,263	158	72	● 9	3	2	6	5
25	95	79	1	6	0	0	5,118	49	21	● 9	8	● 9	4	6
26	106	73	1	7	0	0	4,778	850	36	11	● 14	2	3	4
27	139	92	3	28	0	0	5,091	273	37	● 9	8	6	7	6
28	151	108	0	7	0	0	3,125	198	27	7	● 17	8	8	5
29	133	94	1	15	0	0	6,138	225	68	10	● 14	8	6	7
30	159	112	1	18	0	0	4,656	838	47	● 18	15	9	5	13
31	192	143	3	28	0	0	3,963	1,090	55	● 18	15	16	12	9
32	205	137	4	28	0	0	4,959	1,119	47	12	● 35	7	12	16
33	188	130	1	12	0	0	7,658	4,273	73	18	● 25	19	9	17
34	179	130	3	22	0	0	4,040	265	58	● 19	18	10	7	13
35	224	157	3	32	0	0	13,823	3,314	293	● 31	28	12	9	13
36	254	162	6	31	126	536	7,919	2,595	125	● 35	24	9	14	12
37	291	202	2	35	143	716	7,954	6,602	96	22	● 37	5	22	9
38	299	202	3	34	137	629	12,375	3,644	327	36	● 44	22	9	6
39	312	207	0	17	157	728	5,743	1,553	171	26	● 39	16	32	16
40	292	190	5	22	160	673	11,141	1,703	364	24	● 59	11	21	14
41	263	181	4	30	169	566	10,537	1,503	181	24	● 39	17	19	15
42	292	167	4	38	140	571	5,688	3,809	117	36	● 41	11	19	7
43	293	202	8	35	146	535	8,486	2,296	299	22	● 45	18	26	8
44	289	194	7	40	200	728	11,541	1,257	279	27	● 45	22	36	11
45	345	217	5	51	200	713	16,651	3,406	416	43	● 51	22	35	25
46	360	226	12	37	192	659	19,743	6,238	593	34	53	21	● 62	14
47	316	220	6	30	183	596	8,004	5,341	401	27	● 55	27	45	17
48	393	221	1	35	192	728	11,546	4,551	341	56	48	37	● 65	16
49	320	177	13	34	162	713	6,069	4,645	369	41	● 61	23	41	14
50	343	217	8	31	184	665	12,096	2,050	825	48	● 63	32	38	16
51	273	191	5	103	174	640	9,863	3,150	817	27	● 49	26	20	19
52	227	150	6	27	120	444	6,677	578	547	14	● 46	23	23	16
53	279	168	2	36	114	397	6,524	1,708	501	36	● 55	20	38	21
54	278	194	10	31	191	680	6,228	1,277	377	29	● 50	31	43	29
55	261	171	8	44	173	550	6,865	1,722	625	33	● 44	31	42	23
56	281	204	6	32	198	641	8,975	408	652	23	● 55	41	39	26
57	272	186	5	28	164	568	12,447	543	1,101	26	● 50	32	46	38
58	328	219	6	33	158	526	10,022	812	907	38	37	36	35	● 56
59	293	159	15	23	143	484	4,287	1,485	279	● 56	45	25	33	41
60	357	211	7	38	183	630	7,852	296	475	49	57	45	38	● 76
61	328	204	10	36	184	602	7,199	3,265	658	37	51	49	28	● 64
62	293	193	11	38	172	576	9,222	2,343	791	29	45	40	45	● 64
63	299	194	23	31	159	483	5,573	958	474	32	49	44	28	● 60

年次	火災件数		死傷者		り災		焼損面積		損害額 (百万円)	主な出火原因				
	建物		死者	負傷者	世帯	人員	建物㎡	林野a		たき火 焼却火	たばこ	こんろ	火遊び	放火 (疑含む)
平成元	255	164	7	30	114	388	5,124	311	447	28	33	38	24	● 51
2	301	183	5	46	201	632	6,261	328	688	37	37	56	14	● 58
3	336	210	6	42	188	539	4,706	4,290	519	31	52	49	29	● 69
4	282	173	8	24	139	441	3,963	72	417	30	46	38	27	● 52
5	268	168	10	28	158	495	6,722	103	649	21	34	33	25	● 53
6	352	176	14	23	154	510	9,733	136	2,699	66	56	35	28	● 77
7	296	170	7	31	164	512	5,156	1,576	571	40	43	35	20	● 73
8	309	163	14	33	154	424	7,983	4,823	688	46	48	28	25	● 69
9	285	164	3	31	142	420	11,700	2,618	965	38	35	21	23	● 101
10	261	154	8	34	137	404	4,681	41	546	17	29	36	17	● 89
11	261	160	14	28	131	373	6,301	75	808	16	33	43	20	● 62
12	334	171	3	55	125	369	5,192	5,410	742	27	38	33	25	● 83
13	302	156	8	37	132	362	4,560	129	329	29	34	26	12	● 90
14	366	183	8	36	189	494	9,102	135	799	38	50	27	13	● 128
15	317	173	4	42	104	264	6,787	27	475	17	31	27	16	● 128
16	294	150	7	22	100	295	4,496	312	511	22	27	23	16	● 83
17	293	147	10	52	133	379	7,018	61	538	29	41	35	13	● 89
18	261	169	15	48	157	417	6,255	739	731	14	29	32	13	● 66
19	290	159	12	47	133	328	5,835	999	637	33	42	26	14	● 67
20	254	133	12	26	91	211	6,876	88	631	27	30	16	21	● 48
21	297	146	6	33	124	274	6,886	59	616	37	39	18	14	● 101
22	281	159	9	41	127	351	4,462	66	1,060	35	31	26	9	● 74
23	302	150	2	25	97	233	4,662	6,361	313	34	34	29	24	● 84
24	259	143	16	72	124	295	9,108	14	941	28	23	21	9	● 72
25	235	103	10	21	63	161	5,996	873	343	● 43	20	12	8	42
26	196	94	8	38	78	200	6,066	15	607	● 31	25	13	6	24
27	193	95	7	25	70	186	4,697	381	315	29	19	13	12	● 37
28	138	83	3	18	77	155	4,116	16	305	● 20	● 20	10	5	16
29	187	83	3	24	53	123	2,330	249	294	● 47	29	10	3	21
30	180	86	10	31	62	119	2,810	46	308	● 39	17	7	3	28
令和元	176	96	5	29	57	138	2,548	43	142	● 42	18	10	4	27
2	197	101	8	38	111	195	6,779	3,443	493	● 31	21	11	4	27

【救 急】

1 救急出場件数

(令和2年中)

区 分	姫路市消防局				全国 構成比	姫路市		
	出場 件数	前 年 件 数	前 年 比	構 成 比		出場 件数	前 年 件 数	前 年 比
火 災	256	222	34	1.0	0.4	224	206	18
自然災害	5	2	3	0.0	0.0	5	2	3
水 難	15	15	0	0.1	0.1	15	14	1
交通事故	2,037	2,438	▲ 401	7.7	6.5	1,917	2,288	▲ 371
労働災害	281	328	▲ 47	1.1	0.9	262	308	▲ 46
運動競技	113	159	▲ 46	0.4	0.6	104	140	▲ 36
一般負傷	4,177	4,324	▲ 147	15.8	15.3	3,900	4,023	▲ 123
加 害	129	119	10	0.5	0.5	127	114	13
自損行為	232	259	▲ 27	0.9	0.8	220	244	▲ 24
急 病	16,531	18,199	▲ 1,668	62.4	65.3	15,471	16,952	▲ 1,481
転院搬送	2,620	2,848	▲ 228	9.9	8.3	2,441	2,637	▲ 196
その他	80	74	6	0.3	1.4	75	71	4
合 計	26,476	28,987	▲ 2,511	100.0	100	24,761	26,999	▲ 2,238

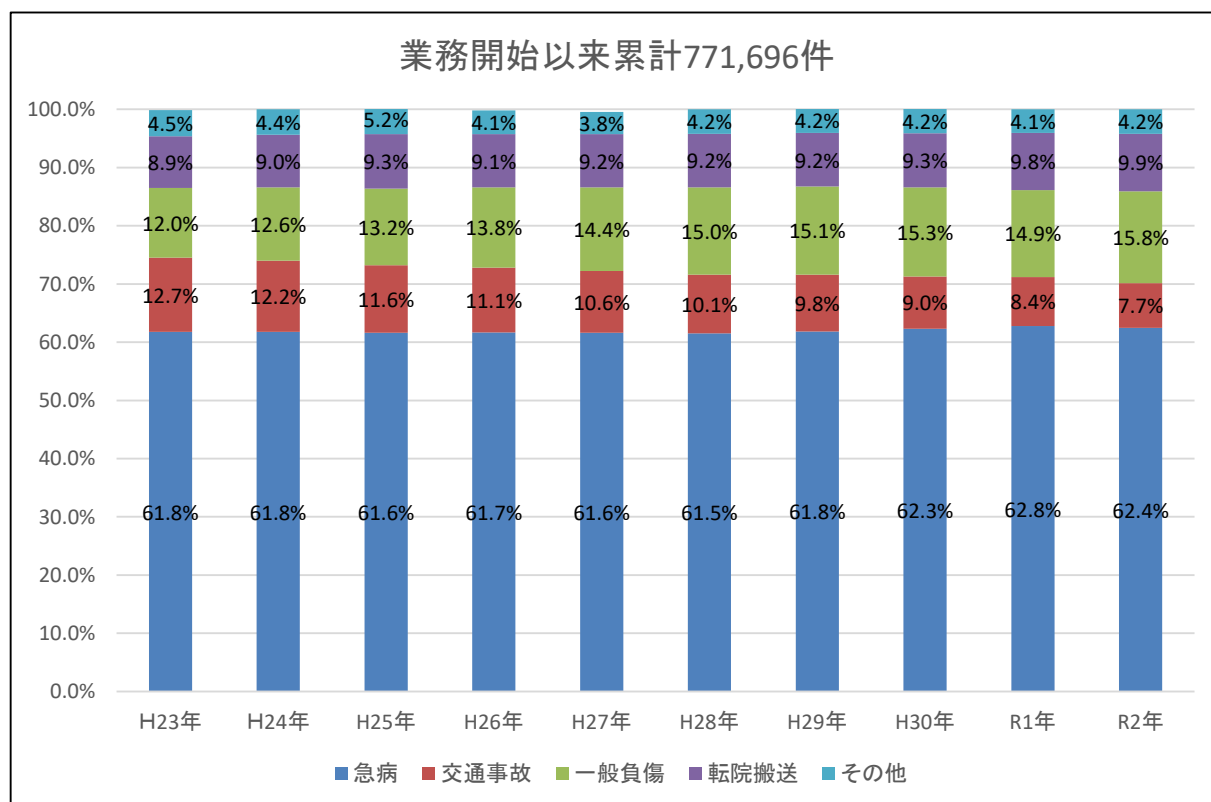
※全国構成比は、令和2年版消防白書（令和元年中統計）に基づいています。

区 分 (受託町等)	市川町			福崎町			神河町			管轄外		
	出場 件数	昨 年 件 数	前 年 比	出場 件数	前 年 件 数	前 年 比	出場 件数	前 年 件 数	前 年 比	出場 件数	前 年 件 数	前 年 比
火 災	15	5	10	10	3	7	6	8	▲ 2	1	—	1
自然災害	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—
水 難	—	—	—	—	—	—	—	1	▲ 1	—	—	—
交通事故	28	33	▲ 5	65	86	▲ 21	22	24	▲ 2	5	7	▲ 2
労働災害	7	4	3	8	12	▲ 4	4	4	0	—	—	—
運動競技	3	6	▲ 3	4	7	▲ 3	2	6	▲ 4	—	—	—
一般負傷	92	101	▲ 9	104	125	▲ 21	80	74	6	1	1	0
加 害	1	1	0	1	4	▲ 3	—	—	0	—	—	—
自損行為	7	2	5	3	10	▲ 7	2	3	▲ 1	—	—	—
急 病	325	373	▲ 48	462	544	▲ 82	272	328	▲ 56	1	2	▲ 1
転院搬送	12	14	▲ 2	95	129	▲ 34	72	68	4	—	—	—
その他	—	—	—	5	—	5	—	3	▲ 3	—	—	—
合 計	490	539	▲ 49	757	920	▲ 163	460	519	▲ 59	8	10	▲ 2

2 救急出場件数の推移

年次	件数	年次	件数	年次	件数	年次	件数
昭和32年	32	48年	6,412	平成元年	9,660	17年	19,671
33年	81	49年	6,021	2年	9,779	18年	19,340
34年	91	50年	6,415	3年	10,006	19年	22,679
35年	257	51年	6,407	4年	10,010	20年	21,993
36年	494	52年	6,317	5年	10,492	21年	22,827
37年	698	53年	6,638	6年	10,761	22年	24,291
38年	1114	54年	6,765	7年	12,063	23年	26,046
39年	1,817	55年	7,280	8年	12,321	24年	26,892
40年	2,214	56年	7,404	9年	12,813	25年	27,177
41年	2,837	57年	7,869	10年	13,331	26年	27,117
42年	3,062	58年	8,312	11年	14,144	27年	27,142
43年	3,181	59年	8,492	12年	15,428	28年	27,144
44年	3,972	60年	8,659	13年	16,195	29年	28,512
45年	4,918	61年	8,445	14年	16,955	30年	29,137
46年	5,499	62年	8,495	15年	17,739	令和元年	28,987
47年	6,172	63年	9,049	16年	18,802	2年	26,476
法制化				事務受託開始			

3 事故種別救急出場件数構成比の推移

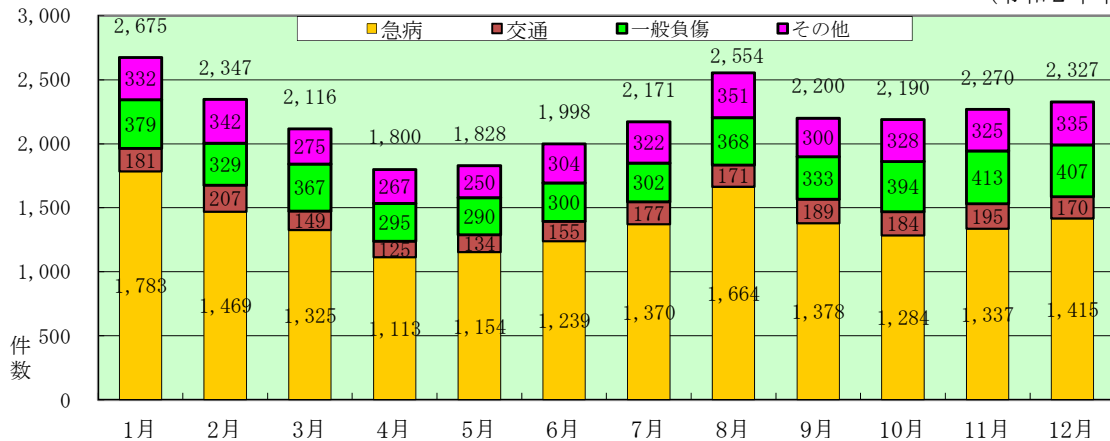


小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

4 月別出場件数

1 月が2,675件で最も多く、次いで8月、12月の順となっています。

(令和2年中)



5 曜日別出場件数

1 日平均では、特に月曜日が多くなっています。

(令和2年中)

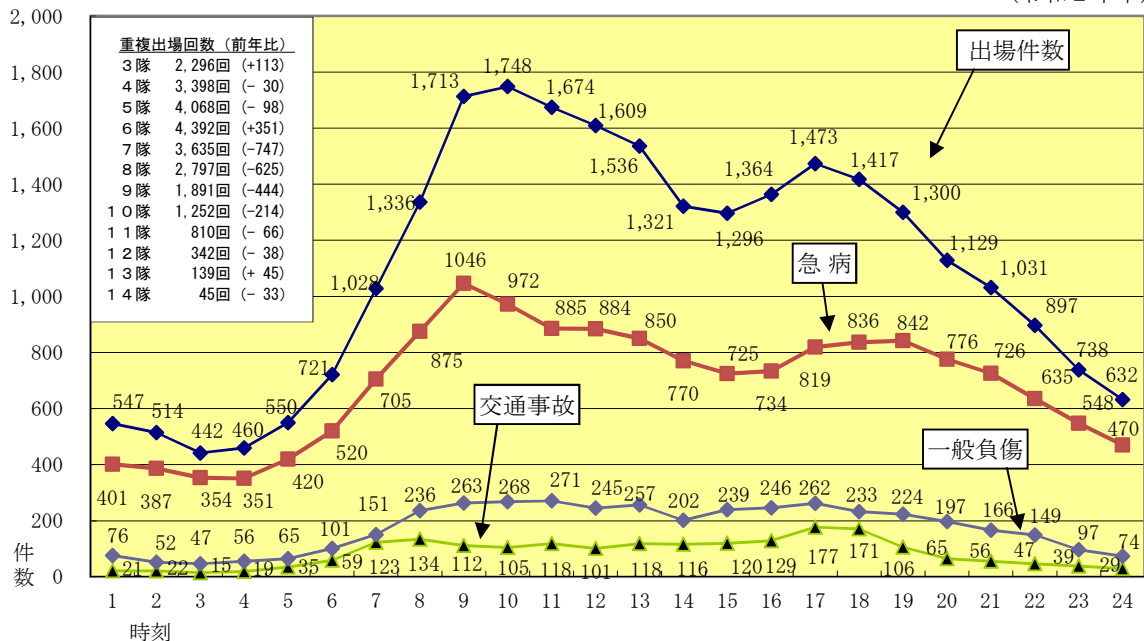
曜 日	合 計	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
件 数	26,476 (24,761)	3,738 (3,496)	3,957 (3,718)	3,789 (3,552)	3,782 (3,537)	3,757 (3,522)	3,749 (3,484)	3,704 (3,452)
1 日平均	72.3 (67.7)	71.9 (67.2)	76.1 (71.5)	72.9 (68.3)	71.4 (66.7)	70.9 (66.5)	72.1 (67.0)	71.2 (66.4)
比 率 (%)	100.0	14.1	14.9	14.3	14.3	14.2	14.2	14.0
日 数	366	52	52	52	53	53	52	52

(参考) 1 日最高は、8月18日(火)に117件を記録しています。
過去最多出場は、126件です。
()内は姫路市の数値です。

6 時間別出場件数

時間別出場件数のピークは10時台、次は、9時台となっています。

(令和2年中)



7 小学校区別出場状況

(令和2年中)

校区	区分	令和2年	令和元年	増減数
合 計		26,476	28,987	▲2,511
姫路東消防署	小 計	7,010	7,774	▲764
	白 鷺	1,322	1,534	▲212
	野 里	364	428	▲64
	城 東	406	391	15
	東	480	531	▲51
	花 田	481	530	▲49
	城 北	339	341	▲2
	広 峰	381	415	▲34
	水 上	349	399	▲50
	砥 堀	423	449	▲26
	城 乾	176	213	▲37
	増 位	327	373	▲46
	四 郷	370	378	▲8
	御 国 野	365	393	▲28
	別 所	297	383	▲86
	谷 外	218	244	▲26
	谷 内	110	108	2
	豊 富	341	389	▲48
	山 田	100	89	11
	船 津	161	186	▲25
姫路西消防署	小 計	7,192	7,689	▲497
	城 陽	810	907	▲97
	手 柄	662	745	▲83
	船 場	596	559	37
	荒 川	790	818	▲28
	高 岡	848	978	▲130
	安 室	359	383	▲24
	城 西	368	327	41
	安 室 東	365	453	▲88
	高 岡 西	517	500	17
	曾 左	449	512	▲63
	白 鳥	404	447	▲43
	太 市	82	99	▲17
	林 田	158	157	1
	伊 勢	52	43	9
	峰 相	169	153	16
	青 山	385	387	▲2
	安 富 南	164	203	▲39
	安 富 北	14	18	▲4
飾磨消防署	小 計	6,283	6,872	▲589
	飾 磨	1,049	1,164	▲115
	津 田	508	475	33
	英 賀 保	744	749	▲5
	高 浜	578	684	▲106
	妻 鹿	179	211	▲32
	広 畑	396	413	▲17
	広畑第二	392	455	▲63
八幡	八 幡	574	667	▲93

校区	区分	令和2年	令和元年	増減数
飾磨消防署	白 浜	641	696	▲55
	八 木	91	125	▲34
	糸 引	310	326	▲16
	的 形	206	240	▲34
	大 塩	279	318	▲39
	家 島	235	253	▲18
網干消防署	坊 勢	101	96	5
	小 計	2,757	3,031	▲274
網干消防署	大 津	463	528	▲65
	大 津 茂	158	163	▲5
	南 大 津	298	288	10
	網 干	428	522	▲94
	旭 陽	456	446	10
	勝 原	518	612	▲94
	余 部	171	180	▲9
	網 干 西	265	292	▲27
中播磨消防署	小 計	3,226	3,611	▲385
	置 塩	145	193	▲48
	古 知	81	91	▲10
	前 之 庄	267	290	▲23
	勘 野	54	59	▲5
	上 菅	92	79	13
	菅 生	155	150	5
	香 呂	397	375	22
	香 呂 南	92	105	▲13
	中 寺	236	291	▲55
	福 崎	339	408	▲69
	高 岡	48	48	-
	田 原	291	342	▲51
	八 千 種	79	122	▲43
	川 辺	162	176	▲14
	甘 地	103	113	▲10
管 外 ※	瀬 加	75	93	▲18
	鶴 居	150	157	▲7
	神 崎	308	333	▲25
	寺 前	121	160	▲39
	長 谷	31	26	5
管 外 ※		8	10	▲2

※管外とは、近隣市町への出場です。

※越知谷小学校は、令和2年3月31日をもって廃校となり、神崎校区となったため、神崎校区に計上しています。

8 隊別活動状況

区 分			署・隊別		令和2年	令和元年	前年比	消防局 本部 直轄	姫路東消防署				姫路西消防署				飾磨消防署				網干署			中 播 消 防 署			
									姫路東	御国野	豊富	増位	姫路西	飾西	林田	飾磨	白浜	広畑	家島	坊勢	網干	中播	香寺	夢前	北部		
出場状況	出 場 件 数	(件)	26,476	28,987	▲2,511	2,500	2,727	1,809	955	1,693	2,823	1,910	498	2,039	1,534	2,280	233	103	2,142	1,043	985	556	646				
	比 率	(%)	100.0	—	—	9.4	10.3	6.8	3.6	6.4	10.7	7.2	1.9	7.7	5.8	8.6	0.9	0.4	8.1	3.9	3.7	2.1	2.4				
	前年出場件数	(件)	28,987	—	—	2,896	3,034	2,038	973	1,920	2,669	2,079	590	2,270	1,690	2,492	254	95	2,349	1,212	1,074	642	710				
	前 年 比	(件)	▲2,511	—	—	▲396	▲307	▲229	▲18	▲227	154	▲169	▲92	▲231	▲156	▲212	▲21	8	▲207	▲169	▲89	▲86	▲64				
搬 送	人 員	(人)	22,561	25,108	▲2,547	2,049	2,154	1,569	837	1,397	2,434	1,640	442	1,767	1,271	2,010	208	80	1,852	941	829	492	589				
不 搬 送	件 数	(件)	4,031	4,031	—	465	579	245	120	301	392	280	60	285	267	283	27	23	298	116	163	67	60				
1 日 平 均	(件)		72.3	79.4	▲ 7.1	6.8	7.5	4.9	2.6	4.6	7.7	5.2	1.4	5.6	4.2	6.2	0.6	0.3	5.9	2.9	2.7	1.5	1.8				
1 日 最 高	(件)		117	126	▲ 9	13	15	11	8	10	16	11	5	13	11	13	3	2	11	7	8	6	6				
急 病 の 割 合	(%)		62.4	62.8	▲0.3	60.9	63.3	65.2	59.8	68.2	53.7	63.1	61.5	60.1	65.3	63.8	54.1	67.0	65.0	63.1	65.6	64.9	64.2				
交 通 事 故 の 割 合	(%)		7.7	8.4	▲0.7	9.0	8.1	7.5	6.0	7.0	7.0	7.2	5.8	9.8	7.9	9.3	0.9	1.9	7.9	7.5	6.9	6.3	4.6				
一 般 負 傷 の 割 合	(%)		15.8	14.9	0.9	15.5	16.9	15.0	17.2	15.4	13.8	17.5	18.9	15.5	14.9	15.2	10.3	10.7	17.5	15.0	14.9	16.9	17.8				
転 院 搬 送 の 割 合	(%)		9.9	9.8	0.1	10.9	7.9	7.9	12.9	6.9	21.9	8.5	7.6	8.6	7.0	7.5	32.2	7.8	5.2	9.4	7.9	7.4	10.5				
常置場所以外からの出場件数	(件)		2,143	2,670	▲527	139	244	118	204	150	164	163	49	186	88	202	9	3	183	60	109	42	30				
連 続 出 場	(件)		1,491	1,935	▲444	126	206	79	74	124	137	108	26	136	77	130	2	—	167	28	32	19	20				
ド ク タ ー カ ー 一 連 携	(件)		254	157	97	23	39	26	19	19	17	18	6	15	18	14	—	—	7	8	16	5	4				
ド ク タ ー へ リ 連 携	(件)		89	97	▲8	1	2	2	1	—	3	—	7	—	1	1	7	2	—	17	9	19	17				
1 件 当たりの所要時間	受付～指令		1'44"	1'36"	0'08"	1'48"	1'45"	1'40"	1'43"	1'45"	1'50"	1'42"	1'32"	1'50"	1'44"	1'41"	1'38"	1'37"	1'41"	1'42"	1'35"	1'37"	1'34"				
	指令～現場		7'09"	6'50"	0'19"	7'09"	6'55"	6'57"	7'42"	6'08"	6'17"	7'11"	9'07"	6'56"	7'03"	7'01"	5'46"	8'16"	6'50"	8'55"	7'46"	8'54"	10'12"				
	現 場		20'03"	18'27"	1'36"	21'01"	20'05"	19'51"	23'44"	20'12"	18'50"	20'13"	19'39"	20'50"	19'36"	20'36"	12'35"	20'36"	20'47"	17'42"	19'08"	19'48"	18'21"				
	現場～病院		11'12"	11'02"	0'10"	10'05"	9'45"	10'40"	14'40"	10'44"	9'24"	10'14"	17'45"	8'41"	11'40"	7'51"	5'06"	7'33"	9'47"	18'35"	15'50"	20'04"	22'29"				
	病 院		12'49"	11'39"	1'10"	13'19"	14'05"	11'49"	13'45"	12'58"	12'34"	12'32"	13'37"	13'03"	13'10"	13'04"	8'43"	8'08"	11'37"	11'42"	13'38"	12'50"	12'47"				
	現着～病着		31'14"	29'29"	1'45"	31'06"	29'50"	30'31"	38'24"	30'56"	28'14"	30'27"	37'24"	29'30"	31'16"	28'27"	17'42"	28'09"	30'34"	36'17"	34'58"	39'52"	40'50"				
1 件 当たりの走行距離(km)	指令～帰署		62'49"	60'04"	2'45"	60'24"	58'52"	62'02"	77'24"	62'39"	57'04"	60'09"	80'17"	59'59"	62'34"	56'55"	38'01"	56'12"	61'07"	77'20"	70'15"	81'40"	84'42"				
	出場～現場		3.3	3.3	—	2.8	2.8	3.1	4.1	2.8	2.8	3.8	6.7	3.1	3.4	2.9	1.0	1.4	2.9	4.7	3.8	5.7	6.2				
	現場～病院		8.2	8.1	0.1	6.7	6.3	7.5	10.7	7.0	6.6	7.2	14.7	5.8	8.7	5.2	1.4	2.7	6.3	17.3	13.5	16.9	22.3				
出 場 ～ 帰 署		19.8	19.4	0.4	16.8	15.5	18.0	25.4	17.1	15.9	15.9	17.5	36.8	14.9	21.4	13.1	3.5	7.0	16.4	38.7	31.5	39.7	49.0				
全 所	要 時 間 (時間)		27,722	29,015	▲1,293	2,517	2,676	1,870	1,232	1,768	2,685	1,915	666	2,039	1,600	2,163	148	96	2,182	1,344	1,153	757	912				

9 当市が行った応援出場状況

(令和2年中)

市 町	事故別	件 数	火災	交通事故	一般負傷	急病	その他
高 砂 市		3	1	2	—	—	—
た つ の 市		1	—	—	—	1	—
太 子 町		1	—	1	—	—	—
加 古 川 市		2	—	2	—	—	—
加 西 市		1	—	—	1	—	—
合 計		8	1	5	1	1	—

※ 「消防業務の相互応援に関する協定」に基づき、近隣市町へ出場しています。

10 当市が受けた応援の状況

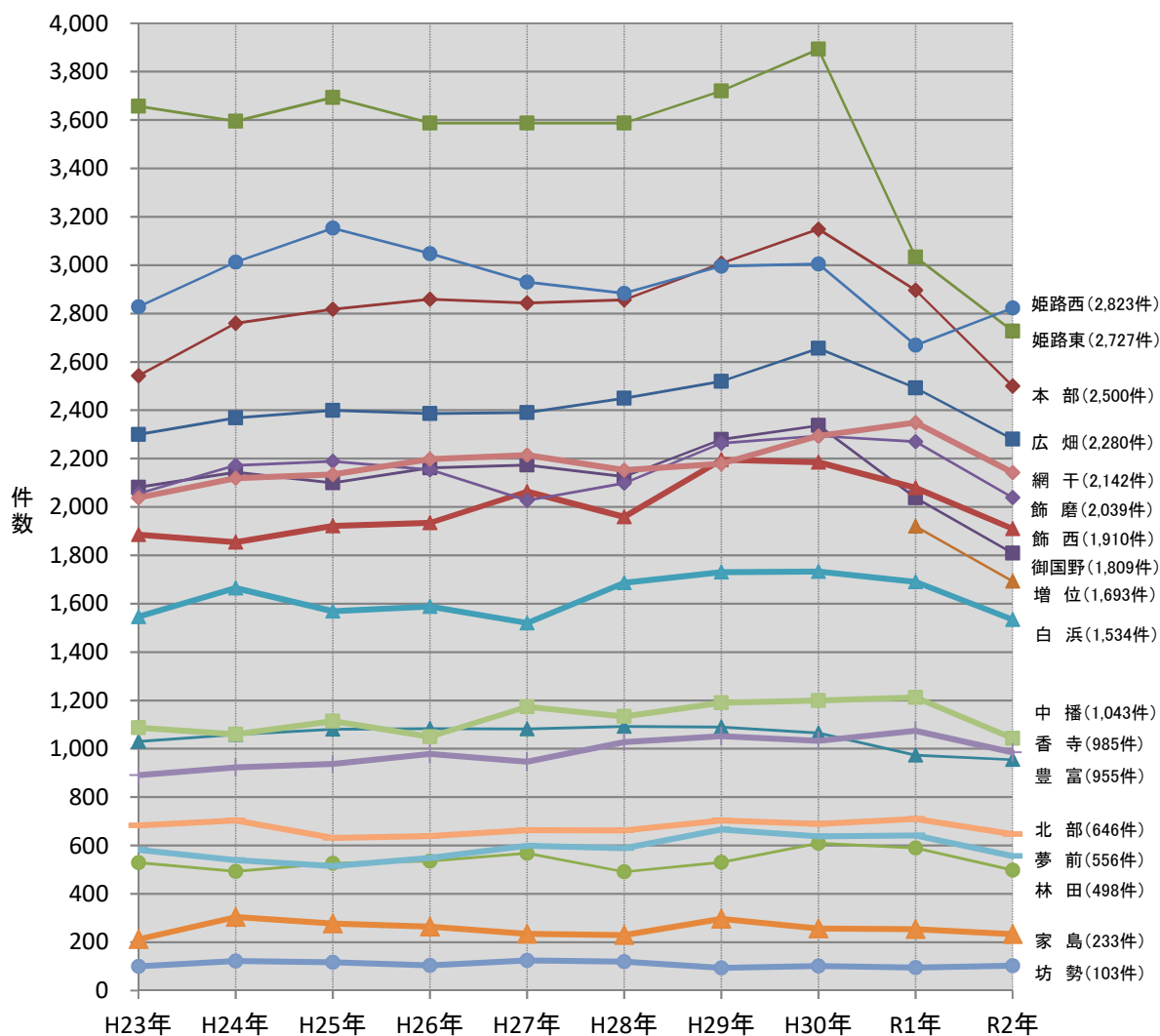
(令和2年中)

消防本部	事故別	件 数	急 病	交 通	一般負傷	水難
高 砂 市		4	3	1	—	—
加 古 川 市		—	—	—	—	—
西 は り ま		3	—	—	3	—
合 計		7	3	1	3	—

11 隊別救急出場の推移

姫路西救急隊が最も多く出場し、年間出場件数2,823件で、1日平均7.7件となっています。

年次		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
区 分	本 部 直 轄	2,543	2,759	2,818	2,859	2,844	2,857	3,007	3,149	2,896	2,500
	姫 路 東	3,657	3,595	3,693	3,587	3,587	3,587	3,721	3,893	3,034	2,727
姫 路 東	御 国 野	2,082	2,143	2,100	2,161	2,173	2,126	2,279	2,337	2,038	1,809
	豊 富	1,030	1,058	1,081	1,083	1,082	1,092	1,090	1,065	973	955
	増 位	—	—	—	—	—	—	—	—	1,920	1,693
	姫 路 西	2,828	3,013	3,153	3,047	2,930	2,884	2,996	3,005	2,669	2,823
姫 路 西	飾 西	1,885	1,854	1,922	1,934	2,064	1,959	2,195	2,185	2,079	1,910
	林 田	529	493	527	535	568	491	531	609	590	498
	飾 磨	2,054	2,172	2,189	2,154	2,027	2,098	2,264	2,294	2,270	2,039
飾 磨	白 浜	1,545	1,665	1,569	1,588	1,520	1,686	1,730	1,733	1,690	1,534
	広 畑	2,300	2,368	2,399	2,387	2,390	2,449	2,519	2,656	2,492	2,280
	家 島	212	304	277	264	235	230	296	257	254	233
	坊 勢	100	122	117	104	125	120	94	102	95	103
網 干		2,038	2,119	2,135	2,198	2,215	2,153	2,178	2,293	2,349	2,142
中 播	中 播	1,087	1,060	1,114	1,050	1,174	1,134	1,191	1,199	1,212	1,043
	香 寺	891	923	937	979	946	1,028	1,052	1,033	1,074	985
	夢 前	582	540	515	548	599	588	666	638	642	556
	北 部	683	704	631	639	663	662	703	689	710	646
合 計		26,046	26,892	27,177	27,117	27,142	27,144	28,512	29,137	28,987	26,476



12 事故別・傷病程度別搬送人員

傷病者の搬送人員は概ね横ばいで、軽症者が減少した一方、中等症者が増加しています。

(令和2年中)

		合 計		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他		前 年 人 数	前 年 比
														転 院 搬 送	そ の 他		
		合 計		22,561 (100.0)	35 (0.2)	5 (0.0)	10 (0.0)	1,808 (8.0)	272 (1.2)	109 (0.5)	3,639 (16.1)	88 (0.4)	137 (0.6)	13,853 (61.4)	2,605 (11.5)	- (-)	25,108
姫路市消防局	死 亡	22,561 (100.0)	317	-	-	1	4	1	-	18	1	21	268	3	-	303	14
	重 篤		264	-	-	2	6	1	-	31	-	8	207	9	-	294	▲30
	重 症		816	5	1	1	62	19	-	98	2	10	446	172	-	746	70
	中等症		11,260	18	2	3	383	118	32	1,465	15	61	6,846	2,317	-	11,978	▲718
	軽 症		9,904	12	2	3	1,353	133	77	2,027	70	37	6,086	104	-	11,787	▲1,883
姫路市	死 亡	21,021 (93.2)	288	-	-	1	4	1	-	16	1	20	243	2	-	276	12
	重 篤		241	-	-	2	5	1	-	28	-	7	190	8	-	269	▲28
	重 症		748	4	1	1	55	18	-	85	2	9	410	163	-	672	76
	中等症		10,519	17	2	3	363	105	29	1,355	14	57	6,417	2,157	-	11,086	▲567
	軽 症		9,225	10	2	3	1,261	129	70	1,891	69	34	5,660	96	-	10,998	▲1,773
	小 計		21,021	31	5	10	1,688	254	99	3,375	86	127	12,920	2,426	-	23,301	▲2,280
市川町	死 亡	438 (1.9)	8	-	-	-	-	-	-	1	-	-	7	-	-	11	▲3
	重 篤		6	-	-	-	-	-	-	2	-	-	4	-	-	11	▲5
	重 症		19	-	-	-	2	-	-	4	-	-	13	-	-	26	▲7
	中等症		205	1	-	-	3	5	-	39	1	3	143	10	-	240	▲35
	軽 症		200	-	-	-	27	1	3	43	-	2	122	2	-	212	▲12
	小 計		438	1	-	-	32	6	3	89	1	5	289	12	-	500	▲62
福崎町	死 亡	680 (3.0)	11	-	-	-	-	-	-	1	-	-	9	1	-	7	4
	重 篤		9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	5	4
	重 症		26	1	-	-	2	1	-	2	-	1	17	2	-	22	4
	中等症		296	-	-	-	10	4	1	30	-	1	164	86	-	392	▲96
	軽 症		338	2	-	-	51	3	3	65	1	1	206	6	-	409	▲71
	小 計		680	3	-	-	63	8	4	98	1	3	405	95	-	835	▲155
神河町	死 亡	417 (1.8)	10	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	9	1
	重 篤		8	-	-	-	1	-	-	1	-	1	4	1	-	9	▲1
	重 症		21	-	-	-	1	-	-	7	-	-	6	7	-	26	▲5
	中等症		238	-	-	-	6	4	2	40	-	-	122	64	-	260	▲22
	軽 症		140	-	-	-	14	-	1	28	-	-	97	-	-	162	▲22
	小 計		417	-	-	-	22	4	3	76	-	2	238	72	-	466	▲49
管外	死 亡	5 (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	重 篤		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	重 症		2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	中等症		2	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2
	軽 症		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	6	▲5
	小 計		5	-	-	-	3	-	-	1	-	-	1	-	-	6	▲1

()内の数値は構成比 (%)

重篤：生命の危険が切迫しているもの。
重症：3週間以上の入院加療を要するもの。

中等症：3週間未満の入院加療を要するもの。
軽症：入院加療を必要としないもの。

13 年齢別・事故別搬送人員

年齢別搬送人員は、高齢者が過半数を占めています。

(令和2年中)

年齢 事故別	合計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
急病	13,853 (61.4)	13 (0.1)	492 (2.2)	350 (1.6)	4,047 (17.9)	8,951 (39.7)
交通	1,808 (8.0)	- (-)	33 (0.1)	166 (0.7)	1,050 (4.7)	559 (2.5)
一般	3,639 (16.1)	1 (0.0)	323 (1.4)	140 (0.6)	644 (2.9)	2,531 (11.2)
その他	3,261 (14.5)	11 (0.0)	42 (0.2)	103 (0.5)	1,150 (5.1)	1,955 (8.7)
合計	22,561 (100.0)	25 (0.1)	890 (3.9)	759 (3.4)	6,891 (30.5)	13,996 (62.0)

[年齢区分]

()内の数値は構成比(%)

新生児:生後28日未満の者 乳幼児:生後28日以上満7歳 少年:満7歳以上満18歳未満の者

成人:満18歳以上満65歳未満の 高齢者:満65歳以上の者

14 年齢別・傷病程度別搬送人員

(令和2年中)

年齢 程度別	合計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
死亡	317 (1.4)	- (-)	1 (0.0)	1 (0.0)	42 (0.2)	273 (1.2)
重篤	264 (1.2)	- (-)	3 (0.0)	2 (0.0)	48 (0.2)	211 (0.9)
重症	816 (3.6)	1 (0.0)	9 (0.0)	9 (0.0)	211 (0.9)	586 (2.6)
中等症	11,260 (49.9)	19 (0.1)	160 (0.7)	169 (0.7)	2,612 (11.6)	8,300 (36.8)
軽症	9,904 (43.9)	5 (0.0)	717 (3.2)	578 (2.6)	3,978 (17.6)	4,626 (20.5)
合計	22,561 (100.0)	25 (0.1)	890 (3.9)	759 (3.4)	6,891 (30.5)	13,996 (62.0)

[年齢区分]

()内の数値は構成比(%)

新生児:生後28日未満の者 乳幼児:生後28日以上満7歳 少年:満7歳以上満18歳未満の者

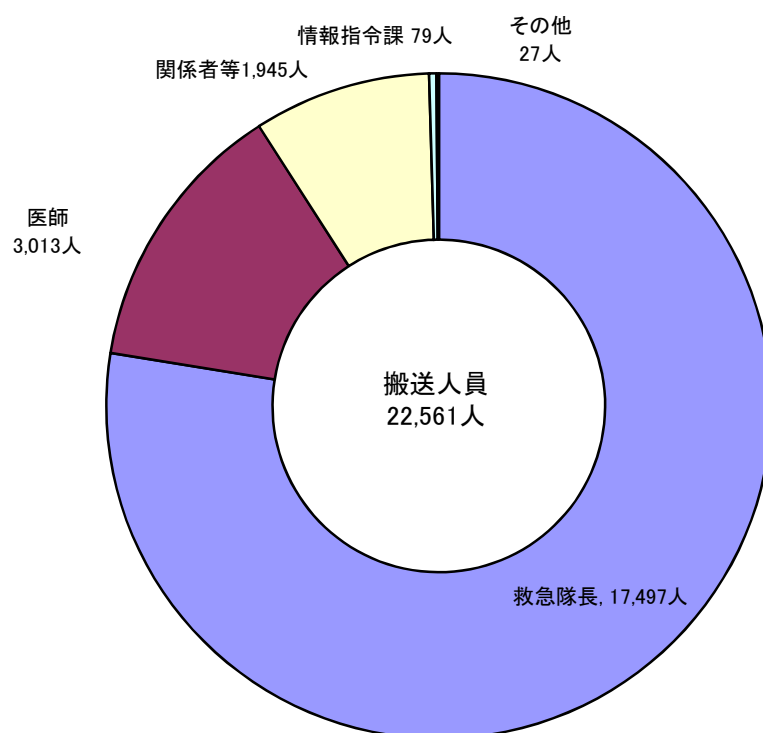
成人:満18歳以上満65歳未満の 高齢者:満65歳以上の者

15 医療機関の選定状況

・医療機関の選定は、救急隊長の選定が最も多く、次いで医師、関係者等の順となっています。

・情報指令課及び救急隊長選定は、最寄りの適合医療機関へ搬送することを原則に県救急医療情報、県個別搬送要請システム、輪番群、休日夜間急病センター、二次病院などの医療情報を参考にして病院搬送を行っています。

・救急隊長選定の中には、車両端末において他隊の受け入れ状況及び収容時間等を考慮した情報指令課との連携も含んでいます。



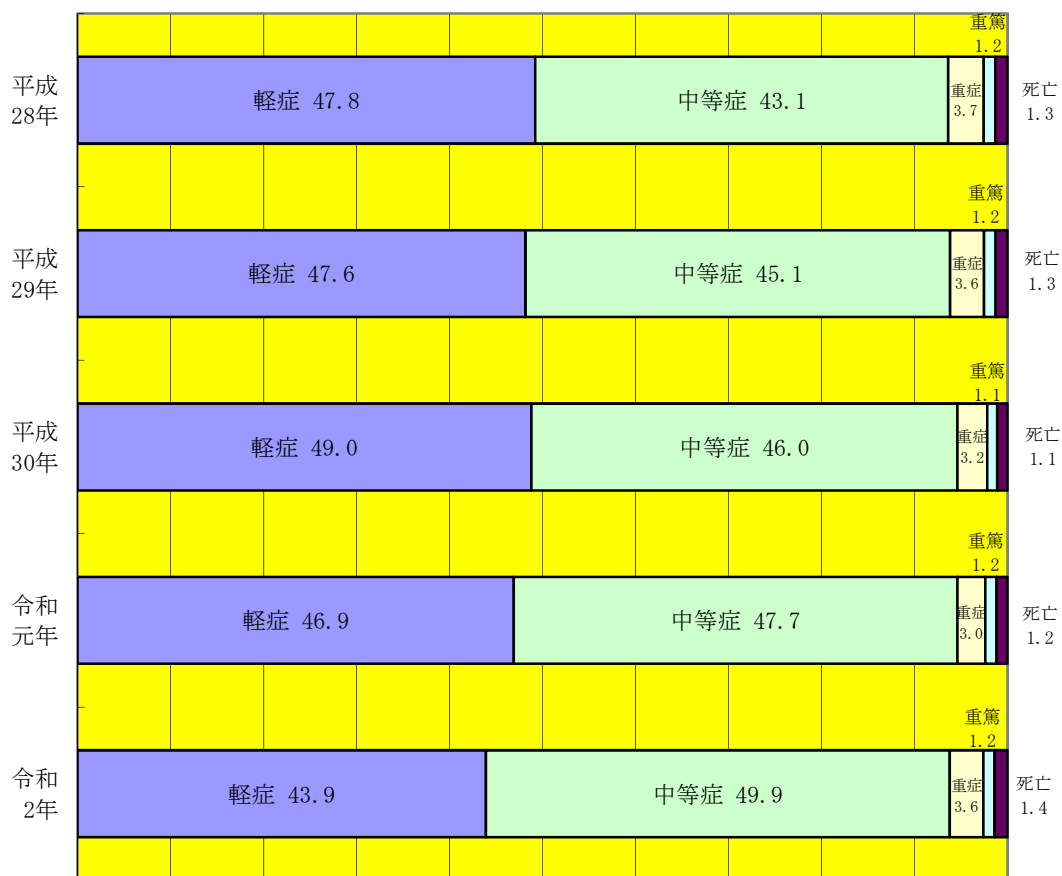
16 管轄外への救急搬送

	令和元年	令和2年
加西市	407 (43)	276 (42)
高砂市	422 (22)	537 (19)
加古川市	320 (81)	284 (103)
たつの市	233 (11)	318 (20)
宍粟市	73 (16)	70 (21)
神戸市	66 (36)	71 (42)
明石市	19 (3)	26 (3)
相生市	9 (6)	11 (4)
赤穂市	13 (4)	11 (5)
太子町	28 (1)	14 (2)
県外	12 (9)	8 (5)
その他の他	67 (21)	81 (35)
合 計	1,669 (253)	1,707 (301)

()内:転院搬送の搬送者数

17 傷病程度構成比の推移

中等症以下が9割以上を占めています。



18 急病件数の推移

事故別で最も多い急病は、全件数の62.4%を占めています。

区 分	年 次	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
急 病 件 数		16,701 (1,113)	17,624 (1,187)	18,155 (1,214)	18,199 (1,245)	16,531 (1,059)
全 件 数		27,144 (1,790)	28,512 (1,911)	29,137 (1,900)	28,987 (1,978)	26,476 (1,707)
全件数に占める割合(%)		61.5 (62.2)	61.8 (62.1)	62.3 (63.9)	62.8 (62.9)	62.4 (62.0)
搬 送 人 員		14,326 (1,011)	15,015 (1,051)	15,363 (1,094)	15,561 (1,127)	13,853 (932)

※ ()内の数値は受託町

19 科目別傷病程度と傷病名(急病)

診療科目別搬送人員は、脳血管障害以外の循環器科、呼吸器科、消化器系の疾患が多くなっています。

科目別	区分	令和2年	令和元年	前年比	傷 病 程 度					傷 病 名		
					死亡	重篤	重症	中等症	軽症	1 位	2 位	3 位
合 計		13,853	15,561	▲1,708	268	207	446	6,846	6,086	発熱	意識障害・意識消失	腹痛
構成比		100%	-	-	1.9%	1.5%	3.2%	49.4%	43.9%	1,253	997	862
消化器科		2,537	2,799	▲262	3	3	38	1,238	1,255	腹痛 862	悪心・嘔気・嘔吐 412	吐・下血 316
循環器科		1,293	1,446	▲153	1	10	163	827	292	脳卒中 329	脳梗塞 234	頭痛 194
		4,243	4,722	▲479	258	178	147	1,946	1,714	意識障害・意識消失 997	疲労・脱力感 583	眩暈(めまい) 551
呼吸器科		2,978	3,413	▲435	6	15	67	1,753	1,137	発熱 1,253	呼吸困難 508	肺炎 319
精神科		363	425	▲62	-	-	1	116	246	急性アルコール中毒・アルコール精神病 145	癲癇(てんかん) 142	他の精神疾患 26
神経科		1,274	1,485	▲211	-	-	8	494	772	腰痛症 280	眩暈(めまい) 247	神経痛 192
泌尿器科		464	479	▲15	-	1	4	174	285	尿管結石・尿路結石 201	尿閉 75	他の泌尿器疾患 51
産婦人科		119	145	▲26	-	-	2	66	51	月経痛 21	性器不正出血 18	産婦人科の急性腹症 12
感覚器科		121	144	▲23	-	-	-	12	109	鼻出血 79	他の眼疾患 11	メニエル氏病 11
内分泌科		159	164	▲5	-	-	8	88	63	低血糖症 102	糖尿病 30	痛風 14
皮膚科		69	95	▲26	-	-	-	33	36	蜂窩織炎 22	蕁麻疹(じんま疹) 16	他の皮膚疾患 15
感染症		55	89	▲34	-	-	5	34	16	指定感染症 23	敗血症 14	インフルエンザ 13
その他		178	155	23	-	-	3	65	110	熱中症 178	-	-

(注) 循環器科の上段は脳血管、下段は脳血管以外です。

20 受傷部位・傷病程度と傷病名(外傷)

受傷部位は、頭部・顔面が2,173人(35.5%)、次いで下肢が1,518人(24.8%)で多くなっています。

また、傷病程度は、軽症が3,594人(58.8%)と半数以上を占めています。

科目別	区分	令和2年	令和元年	前年比	傷 病 程 度					傷 病 名		
					死亡	重篤	重症	中等症	軽症	1 位	2 位	3 位
合 計		6,116	6,706	▲590	35	40	219	2,228	3,594	頭部外傷	大腿骨 骨折(非開放性)	頭部 挫創・裂創等
構成比		100%	-	-	0.6%	0.7%	3.6%	36.4%	58.8%	1,023	651	449
頭 部 顔 面		2,173 35.5%	2,492	▲319	-	3	41	427	1,702	頭部外傷 1,023	頭部 挫創・裂創等 449	顔面・耳 挫創・裂創等 390
下 肢		1,518 24.8%	1,674	▲156	-	1	81	914	522	大腿骨 骨折(非開放性) 651	下肢 打撲・圧迫 425	下肢 挫創・裂創等 138
頸 部		217 3.5%	288	▲71	-	-	2	20	195	頸椎捻挫 170	頸部 打撲・圧迫 37	頭部 挫創・裂創等 8
上 肢		839 13.7%	892	▲53	-	-	9	293	537	上肢 打撲・圧迫 223	上肢 挫創・裂創等 213	前腕骨 骨折(非開放性) 90
胸 部		322 5.3%	355	▲33	1	2	16	104	199	胸部 打撲・圧迫 233	鎖骨 骨折(非開放性) 81	胸部外傷 3
腰 部 臀 部		153 2.5%	155	▲2	-	-	1	62	90	臀部 打撲・圧迫 128	腰椎捻挫 19	臀部 挫創・裂創等 4
背 部		269 4.4%	252	17	-	-	2	118	149	背部 打撲・圧迫 267	背部 挫創・裂創等 1	背部 動物咬傷 1
全 身		86 1.4%	75	11	1	1	8	35	41	全身打撲骨折 84	全身中等症 熱傷 1	全身重症 熱傷 1
腹 部		64 1.0%	70	▲6	1	-	3	20	40	腹部 打撲・圧迫 51	腹部外傷 5	腹部 挫創・裂創等 3
体 幹 部		215 3.5%	198	17	-	1	30	172	12	体幹部 骨折(非開放性) 185	神経脊椎損傷 29	体幹部 骨折(開放性) 1
そ の 他		260 4.3%	255	5	32	32	26	63	107	咽・喉頭 異物 52	気管支・肺の異物 30	頭・顔・頭部軽症 熱傷 16

21 発生場所別傷病程度(交通事故)

事故の発生場所別搬送人員は、一般道路上が圧倒的に多く、全体の約8割を占めています。

(令和2年中)

発生場所 区分	合 計	前 年 数	前 年 比	国 道 2 号	国 道 250 号	国 道 312 号	姫 路 バ イ パ ス	播 但 連 絡 道	山 陽 自 動 車 道	中 国 自 動 車 道	国 道 29 号	国 道 372 号	一 般 道 路	そ の 他 の 場 所
搬 送 人 員	1,808	2,186	▲ 378	81	56	61	21	11	3	2	14	14	1,434	111
前 年 数	2,186	-	-	87	76	62	39	8	17	0	12	27	1,724	134
前 年 比	▲ 378	-	-	▲ 6	▲ 20	▲ 1	▲ 18	3	▲ 14	2	2	▲ 13	▲ 290	▲ 23
死 亡	4	12	▲ 8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1
重 篤	6	13	▲ 7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1
重 症	62	54	8	3	2	1	1	1	-	-	4	-	46	4
中 等 症	383	400	▲ 17	17	11	12	2	2	2	1	2	7	291	36
軽 症	1,353	1,707	▲ 354	61	43	48	18	8	1	1	8	7	1089	69

22 発生場所別傷病程度(一般負傷)

一般負傷での出場は、一般住宅が最も多く、次いで道路上となっています。

(令和2年中)

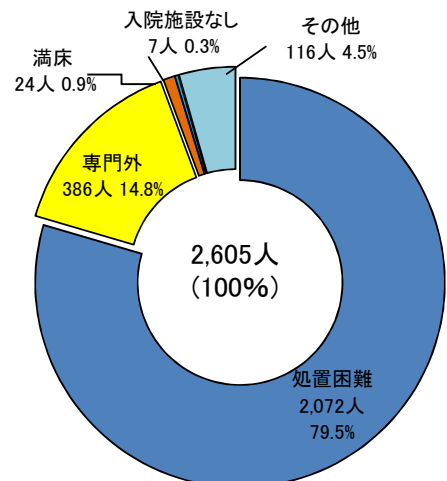
発生場所 区分	合 計	前 年 数	前 年 比	一 般 住 宅	共 同 住 宅	道 路 上	店 舗 ホ テ ル	福 祉 施 設	学 校	駅 停 留 所 等	仕 事 場	病 院	屋 内 ・ 他 屋 外	そ の 他
搬 送 人 員	3,639	3,774	▲ 135	1,761	441	486	225	280	50	21	25	12	294	44
前 年 数	3,774	-	-	1,702	433	499	287	286	68	39	37	21	355	47
前 年 比	▲ 135	-	-	59	8	▲ 13	▲ 62	▲ 6	▲ 18	▲ 18	▲ 12	▲ 9	▲ 61	▲ 3
死 亡	18	15	3	9	1	-	1	6	-	-	-	-	1	-
重 篤	31	23	8	13	1	-	3	12	-	-	-	-	-	2
重 症	98	81	17	54	12	5	2	10	-	-	-	-	12	3
中 等 症	1,465	1,480	▲ 15	815	186	143	44	168	9	3	7	6	70	14
軽 症	2,027	2,175	▲ 148	870	241	338	175	84	41	18	18	6	211	25

23 転院搬送人員の推移



24 転院搬送の理由

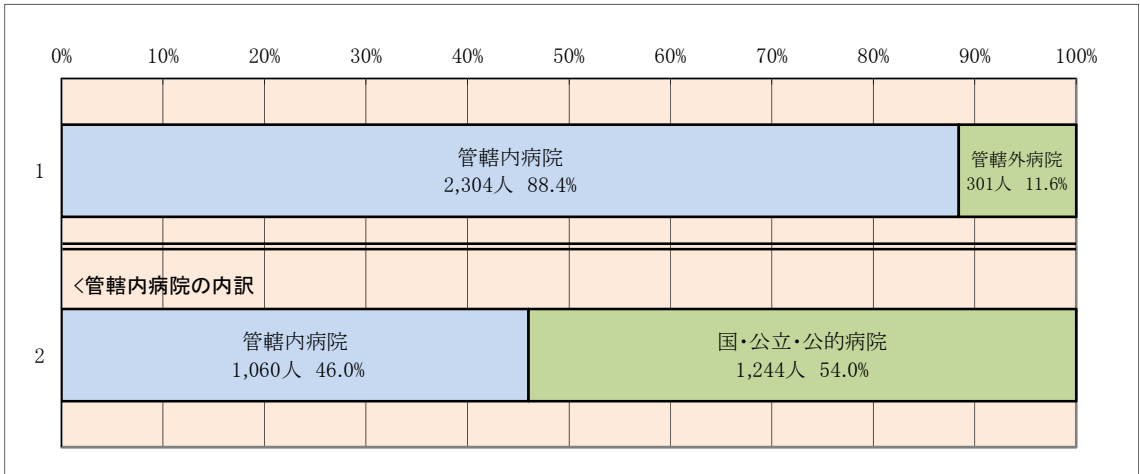
(令和2年中)



25 転院医療機関

転院先の約 9 割が管轄内病院となっています。（転院人員2,605人）

（令和 2 年中）



26 隊員の行った応急処置の状況

救急隊員は、全搬送人員22,561人中の約99.5%にあたる22,452人に対し、応急処置を実施しています。

（令和 2 年中）

事 故 種 別	合 計	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他
応 急 処 置 割 合	99.5%	99.6%	99.6%	98.9%	99.7%
搬 送 人 員	22,561	13,853	1,808	3,639	3,261
対 象 人 員	22,452	13,801	1,801	3,599	3,251

27 応急処置実施状況

(令和2年中)

区 分		合 計	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他
止 血		713	94	122	416	81
固 定		898	23	475	270	130
人 工 呼 吸		153	133	3	8	9
胸 骨 圧 迫		24	20	0	2	2
心 肺 蘇 生		550	457	7	50	36
酸 素 吸 入		3,880	2,703	105	198	874
気 道 確 保		857	716	12	70	59
保 温		1,601	977	74	160	390
被 覆		1,822	93	471	1,071	187
在 宅 療 法		117	103	3	11	0
除 細 動		40	37	—	1	2
そ の 他		31,151	20,329	2,261	4,736	3,825
特定 行為	気 道 確 保	423	360	5	38	20
	薬 剤 投 与	186	152	2	22	10
	輸 液	405	342	10	36	17
	(うち心肺停止前輸液)	(85)	(75)	(6)	0	(4)
	血 糖 測 定	212	203	2	—	7
	ブドウ糖 投 与	44	9	—	—	35
合 計		43,076	26,751	3,552	7,089	5,684

※ 実施数(特定行為を除く)は、現場及び車内処置の合計です。
特定行為については、実施対象者数です。

28 救急救命士の特定行為等実施状況の推移

(令和2年中)

区分 年次	特定行為の 指示を受けた 患者	気道確保	輸液	除細動	心肺停止前 輸液	血糖測定	ブドウ糖 投与
平成28年	486	422(41)	365(177)	49	75	221	30
平成29年	519	441(41)	427(200)	58	75	330	46
平成30年	511	416(32)	410(176)	58	107	327	42
令和元年	511	420(22)	396(161)	53	92	254	26
令和2年	530	423(18)	405(186)	40	85	212	44

※気道確保の()内は気管挿管実施数、輸液の()内は薬剤投与実施数です。

※平成28年より救急救命士による心肺停止前輸液、血糖測定、ブドウ糖投与の運用を開始しました。

29 救命率

救急隊が搬送した心肺停止患者548人中、生存者は43人で、うち15人が社会復帰されています。

(令和2年中)

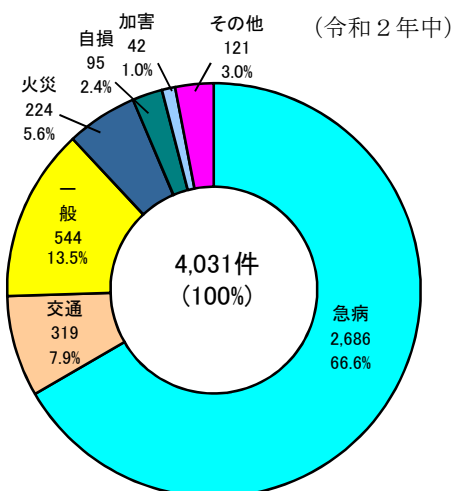
区 分	合計	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院
救急隊による心肺停止患者搬送者数	548	—	—	3	7	2	—	50	1	24	454	7
上記のうち市民による心肺蘇生法実施者数	228	—	—	—	—	—	—	22	—	16	187	3
1日以上7日未満生存	29	—	—	—	—	—	—	5	—	—	24	—
7日以上30日未満生存	31	—	—	—	—	—	—	5	—	—	25	1
30日以上生存	43	—	—	—	1	1	—	4	—	—	35	2
(30日以上生存の内、社会復帰)	(15)	—	—	—	—	—	—	(1)	—	—	(13)	(1)
発 生 場 所	個人住宅	299	—	—	—	—	—	23	—	15	261	—
	共同住宅	70	—	—	—	—	—	2	1	5	62	—
	福祉施設等	105	—	—	—	—	—	18	—	2	85	—
	一般道・高速道	18	—	—	—	6	—	—	—	—	12	—
	その他の屋外・屋内	7	—	—	—	1	—	1	—	—	5	—
	ホテル・デパート等	15	—	—	—	—	—	4	—	—	11	—
	工場・作業場等	7	—	—	—	2	—	—	—	—	5	—
	病院・診療所等	8	—	—	—	—	—	—	—	—	1	7
	JR姫路駅・構内	3	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—
	デパート	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	広場・遊園地・空地等	3	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—
	山・川・池・海等	5	—	—	3	—	—	—	—	1	1	—
	その他	8	—	—	—	—	—	2	—	—	6	—
年 齢	3歳未満	4	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—
	4～6歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7～15歳	2	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—
	16～19歳	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	20～29歳	5	—	—	—	—	—	—	1	1	2	1
	30～39歳	4	—	—	—	—	—	—	—	2	2	—
	40～49歳	27	—	—	1	2	1	2	—	3	18	—
	50～59歳	31	—	—	—	—	—	—	—	1	29	1
	60～69歳	51	—	—	—	1	1	2	—	3	42	2
	70～79歳	155	—	—	1	1	—	16	—	8	128	1
	80～89歳	182	—	—	1	3	—	20	—	5	151	2
	90歳以上	86	—	—	—	—	—	9	—	—	77	—

※市民処置は、傷病者の側にいた人が心肺蘇生法、または胸骨圧迫を実施した数です。

※生存者は、30日以上生存されている方です。

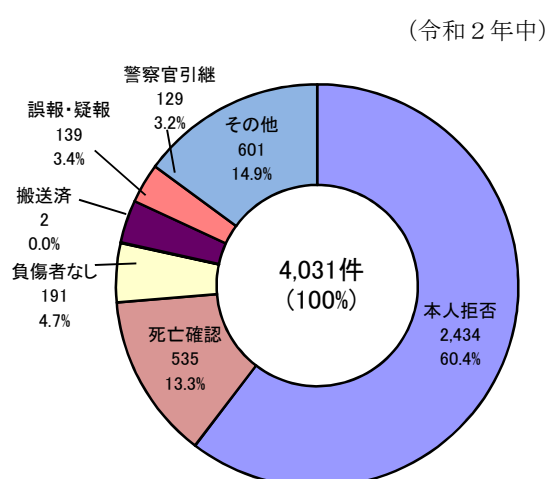
30 不搬送状況

出場件数26,476件に対する不搬送件数は4,031件(15.2%)です。



31 不搬送理由

不搬送理由のうち本人拒否については、慎重な観察を行う必要があります。



32 市民処置状況

(令和2年中)

※救命率向上のためには、救急隊が現場到着するまでの間に付近の人が行う応急手当が最も重要です。

実施者区分 応急処置区分	合 計	本人 ・ 家族	医療 従事 者	知人 ・ 同僚	職員 ・ 団員	教職員	警察官	実施 者 不明	その他	加害者
C P R	25	6	9	1	—	—	—	—	9	—
胸 骨 圧 迫	266	129	36	18	1	4	2	4	72	—
人 工 呼 吸	13	6	4	1	—	—	—	—	2	—
気 道 確 保	13	6	3	2	—	—	—	—	2	—
創傷・緊縛処置	95	67	3	6	—	5	—	—	14	—
移動体位管理	58	36	2	7	—	—	—	—	12	1
除 細 動	6	—	2	1	—	—	—	1	2	—
固 定 処 置	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
保 温	3	2	—	—	—	—	1	—	—	—
そ の 他	40	22	5	4	—	—	—	1	8	—
合 計	520	274	64	40	2	9	3	6	121	1

【救 助】

1 救助出動・活動状況

令和2年中における姫路市消防局の救助出動件数は、512件で前年より19件減少となり、活動件数は292件で5件減少となっています。

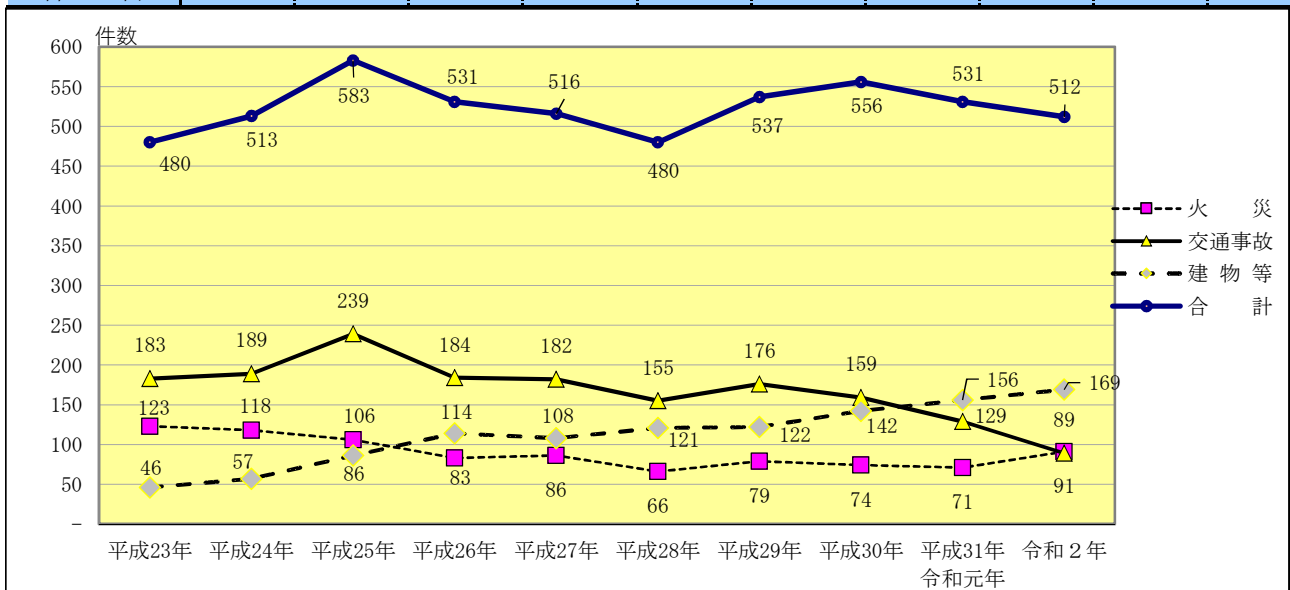
区 分		合 計	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
総 数	出動件数	512	91	89	18	－	7	169	2	136
	前年出動件数	531	71	129	13	1	5	156	1	155
	前年比	▲19	20	▲40	5	▲1	2	13	1	▲19
	構 成 比 (%)	100.0	17.8	17.4	3.5	－	1.4	33.0	0.4	26.5
	活動件数	292	18	54	17	－	6	160	1	36
	前年活動件数	297	11	71	10	1	4	143	1	56
	前年比	▲5	7	▲17	7	▲1	2	17	－	▲20
	活 動 率 (%)	57.0	19.8	60.7	94.4	－	85.7	94.7	50.0	26.5
	救助人員	229	11	63	19	－	8	94	1	33
	前年救助人員	246	14	70	9	－	4	94	－	55
	前年比	▲17	▲3	▲7	10	－	4	－	1	▲22
	1件当たりの人員	1	1	1	1	－	1	1	1	1
	活動人員	3,029	143	526	244	－	74	1521	14	507
	前年活動人員	3,036	75	674	190	10	36	1361	4	686
	前年比	▲7	68	▲148	54	▲10	38	160	10	▲179
	1件当たりの人員	10	8	10	14	－	12	10	14	14
姫 路 市	出動件数	466	76	79	17	－	7	162	2	123
	前年比	▲5	3	▲67	▲6	▲1	3	51	－	12
	構 成 比 (%)	100.0	16.3	17.0	3.6	－	1.5	34.8	.4	26.4
	活動件数	270	15	49	16	－	6	153	1	30
	前年比	53	3	▲9	1	－	3	65	－	▲10
	活 動 率 (%)	57.9	19.7	62.0	94.1	－	85.7	94.4	50.0	24.4
	救助人員	208	7	56	18	－	8	91	1	27
	前年比	15	▲5	▲7	6	－	5	27	1	▲12
市 川 町	1件当たりの人員	1		1	1	－	1	1	1	1
	出動件数	16	6	3	－	－	－	3	－	4
	前年比	▲2	－	▲6	－	－	－	3	－	1
	活動件数	7	1	2	－	－	－	3	－	1
	前年比	－	－	▲1	－	－	－	3	－	▲2
	救助人員	5	1	2	－	－	－	1	－	1
福 崎 町	前年比	▲1	1	▲1	－	－	－	1	－	▲2
	出動件数	16	4	4	1	－	－	2	－	5
	前年比	6	3	▲2	1	－	－	1	－	3
	活動件数	7	2	－	1	－	－	2	－	2
	前年比	4	2	▲1	1	－	－	1	－	1
	救助人員	7	3	1	1	－	－	1	－	1
神 河 町	前年比	4	3	－	1	－	－	－	－	－
	出動件数	12	4	2	－	－	－	2	－	4
	前年比	▲1	2	▲4	－	－	－	－	▲2	3
	活動件数	7	－	2	－	－	－	2	－	3
	前年比	－	▲1	▲1	－	－	－	－	▲1	3
	救助人員	8	－	3	－	－	－	1	－	4
管 轄 外	前年比	2	▲1	－	－	－	－	▲1	－	4
	出動件数	2	1	1	－	－	－	－	－	－
	前年比	▲17	－	▲16	－	－	－	－	－	▲1
	活動件数	1	－	1	－	－	－	－	－	－
	前年比	▲3	－	▲3	－	－	－	－	－	－
	救助人員	1	－	1	－	－	－	－	－	－
	前年比	▲3	－	▲3	－	－	－	－	－	－

※「活動率」： 救助活動件数÷救助出動件数×100

2 救助出動件数及び出動種別の推移

この10年間の救助出動件数の推移をみると、平成25年をピークに減少傾向にある中、平成29年、平成30年は増加傾向に転じておりましたが、平成31年・令和元年、令和2年は減少しました。出動種別でみると、概ねどの種別も減少していますが、「建物等による事故」が増加しており、居住者と連絡が取れず、住居が施錠されており安否が分からないという事案が増えていきます。

事故種別	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
火 災	123	118	106	83	86	66	79	74	71	91
交通事故	183	189	239	184	182	155	176	159	129	89
水難事故	10	17	16	23	22	15	9	15	13	18
風水害等	6	2	-	1	-	-	2	-	1	-
機械事故	7	9	7	4	15	8	5	6	5	7
建 物 等	46	57	86	114	108	121	122	142	156	169
ガス・酸欠	2	8	7	4	3	4	6	3	1	2
そ の 他	103	113	122	118	100	111	138	157	155	136
合 計	480	513	583	531	516	480	537	556	531	512



3 署別救助事故発生状況及び活動状況

救助事故の署別発生状況をみると、全体的に減少していますが、姫路西消防署、受託町については増加しています。

(令和2年中)

事故種別	合 計	対前年 増減数	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
署 別										
姫路東消防署	143	▲1	18	21	1	-	2	66	-	35
	85	2	4	10	1	-	2	62	-	6
姫路西消防署	141	19	25	25			2	46	1	42
	77	10	5	16			1	45	1	9
飾磨消防署	116	▲27	19	22	15	-	3	32	1	24
	76	▲1	5	16	14	-	3	30	-	8
網干消防署	39	▲2	7	6	1	-	-	12	-	13
	19	▲6	-	4	1	-	-	11	-	3
中播消防署	71	▲6	21	14	1	-	-	13	-	22
	34	▲9	4	7	1	-	-	12	-	10
受託町	44	7	14	9	1	-	-	7	-	13
	21	4	3	4	1	-	-	7	-	6
管 轄 外	2	▲2	1	1	-	-	-	-	-	-
	1	▲1	-	1	-	-	-	-	-	-
合 計	512	▲19	91	89	18	-	7	169	2	136
	292	▲5	18	54	17	-	6	160	1	36

※ 上段は出動件数、下段は活動件数

4 署所別救助事故発生状況

署別では姫路東消防署が最も多く、署所別では姫路西消防署本署で最も多く発生しています。

(令和2年中)

事故種別		合 計	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
署 別										
姫路東消防署	本 署	49	6	3	1	-	-	26	-	13
	御国野	30	3	7	-	-	1	15	-	4
	豊 富	17	5	4	-	-	-	4	-	4
	飾 東	18	2	7	-	-	-	2	-	7
	増 位	29	2	-	-	-	1	19	-	7
	小 計	143	18	21	1	-	2	66	-	35
姫路西消防署	本 署	94	12	18	-	-	-	38	1	25
	飾 西	24	6	2	-	-	1	6	-	9
	林 田	23	7	5	-	-	1	2	-	8
	小 計	141	25	25	-	-	2	46	1	42
飾磨消防署	本 署	58	10	13	6	-	2	18	-	9
	白 浜	26	4	3	4	-	1	7	1	6
	広 畑	21	4	6	2	-	-	5	-	4
	大 的	10	1	-	2	-	-	2	-	5
	家 島	1	-	-	1	-	-	-	-	-
	坊 勢	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小 計	116	19	22	15	-	3	32	1	24
網干消防署	本 署	31	7	6	1	-	-	7	-	10
	勝 原	8	-	-	-	-	-	5	-	3
	小 計	39	7	6	1	-	-	12	-	13
中播消防署	本 署	28	8	6	1	-	-	4	-	9
	香 寺	13	4	3	-	-	-	4	-	2
	夢 前	14	3	2	-	-	-	2	-	7
	北 部	16	6	3	-	-	-	3	-	4
	小 計	71	21	14	1	-	-	13	-	22
管轄外	高砂市	2	1	1	-	-	-	-	-	-
	たつの市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	加古川市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	加西市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	宍粟市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	太子町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小 計	2	1	1	-	-	-	-	-	-
合 計		512	91	89	18	-	7	169	2	136

5 発生場所別救助事故状況

発生場所は「住居」が 240件と最も多く、主に「建物等による事故」と「火災」によるものです。「一般道」の83件は、ほとんどが「交通事故」によるものです。

(令和2年中)

事故種別		合 計	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
発生場所										
屋 内	住 居	240 (222)	40 (32)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	164 (157)	- (-)	35 (32)
	他 屋 内	86 (81)	27 (26)	- (-)	- (-)	- (-)	3 (3)	3 (3)	2 (2)	51 (47)
道 路	高 速 道	9 (8)	2 (1)	6 (6)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)
	一 般 道	83 (73)	4 (3)	74 (65)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	5 (5)
水 面	内 水 面	17 (14)	- (-)	2 (1)	11 (10)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	4 (3)
	外 水 面	9 (9)	- (-)	- (-)	7 (7)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (2)
山 岳		10 (6)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	10 (6)
そ の 他 屋 外		49 (44)	18 (14)	7 (7)	- (-)	- (-)	3 (3)	2 (2)	- (-)	19 (18)
地 下		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
そ の 他		9 (9)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	9 (9)
合 計		512 (466)	91 (76)	89 (79)	18 (17)	- (-)	7 (7)	169 (162)	2 (2)	136 (123)

※ () 内は姫路市の数値

6 水難救助事故の状況

水難事故は、河川、池、海岸部で発生しています。水難事故18件のうち、2件で潜水活動を実施しています。

(令和2年中)

事故形態 発生場所	総 件数	転 落		自 損		交通事故で転落		遊 泳 中		原因不明等		要救 助者 総数	水難 隊 出動	潜水 活動
		件数	負傷者数	件数	負傷者数	件数	負傷者数	件数	負傷者数	件数	負傷者数			
飾磨区 船場川岸壁	2			1	40歳代 中							1	-	
						1	40歳代 篤					1	-	○
広畑区 夢前川	2			1	40歳代 中							1	-	
										1	50歳代 不	1	-	
その他	14	1	80歳代 篤									1	-	
		1	70歳代 死									1	-	
				1	30歳代 不							1	-	
				1	70歳代 中							1	-	
						1	50歳代 中					1	-	○
								1	10歳代 軽			1	-	
								1	40歳代 不 30歳代 不			2	-	
										1	不明	1	-	
										1	不明	1	-	
										1	60歳代 不	1	-	
										1	70歳代 不	1	-	
										1	60歳代 軽	1	-	
										1	70歳代 篤	1	-	
										1	40歳代 不	1	-	
合 計	18	2	死1・篤1	4	中3・不1	2	篤1・中1	2	軽1・不2	8	篤1・軽1 不6	19		2

※ 死：死亡、篤：重篤、重：重症、中：中等症、軽：軽症、無：無症、不：不明

7 山岳救助事故の状況

山岳事故は、中高年層の登山人口増加とともに増えています。山岳事故10件のうち、5件は道迷いによるものです。また、要救助者がヘリコプターで搬送された事故が1件発生しています。

(令和2年中)

事故形態 発生場所	総 件数	転落・滑落		転 倒		急 病		道迷い		その他		要救 助者 総数	山岳 隊 招集	ヘリ 搬送
		件数	負傷者数	件数	負傷者数	件数	負傷者数	件数	負傷者数	件数	負傷者数			
雪彦山	1	1	20歳代 重									1		○
明神山	-											-		
ゆめさきの森公園	-											-		
七種山	1							1	40歳代 不			1		
笠形山	2			1	60歳代 軽							1		
						1	30歳代 軽					1		
その他山岳	6					1	30歳代 軽					1		
								1	10歳代 不 50歳代 中			2		
								1	70歳代 軽			1		
								1	70歳代 不			1		
								1	60歳代 不 60歳代 不			2		
										1	20歳代 中	1		
合 計	10	1	重1	1	軽1	2	軽2	5	中1・軽1 不5	1	中1	12		1

※ 死：死亡、篤：重篤、重：重症、中：中等症、軽：軽症、無：無症、不：不明

8 救助出動隊員数及び活動隊員数

(令和2年中)

事故種別 区 分	合 計	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
専任救助隊	1,009	220	217	50	－	12	158	2	350
	323	36	73	22	－	10	114	1	67
兼任救助隊	2,196	658	273	109	－	22	435	14	685
	660	26	115	64	－	15	331	5	104
消防隊員	5,026	1,790	476	150	－	44	807	30	1,729
	1,299	67	190	119	－	31	651	5	236
救急隊員	1,888	344	370	51	－	24	517	6	576
	735	9	148	39	－	18	425	3	93
消防団員	2,052	1,756	－	－	－	－	－	－	296
	12	5	－	－	－	－	－	－	7
合 計	12,171	4,768	1,336	360	－	102	1,917	52	3,636
	3,029	143	526	244	－	74	1,521	14	507

※ 上段は出動隊員数、下段は活動隊員数

9 救助出動車両台数及び活動車両台数

(令和2年中)

事故種別 区 分	合 計	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
救助工作車	425	93	87	20	－	6	74	2	143
	137	13	29	10	－	4	53	1	27
タンク車	1295	461	93	32	－	8	263	6	432
S T 車	367	20	50	26	－	6	213	1	51
梯子車	43	14	－	－	－	－	1	1	27
	2	－	－	－	－	－	－	－	2
化学車	17	10	－	－	－	－	－	－	7
	2	－	－	－	－	－	－	－	2
指揮隊車	379	131	87	18	－	6	7	2	128
指揮車	74	2	23	14	－	5	4	1	25
救急車	622	114	121	17	－	8	169	2	191
	241	3	48	13	－	6	139	1	31
消防団車両	305	232	－	－	－	－	－	2	71
	1	－	－	－	－	－	－	－	1
その他	60	24	－	16	－	－	1	3	16
	13	－	－	7	－	－	－	－	6
合 計	3,146	1,079	388	103	－	28	515	18	1,015
	837	38	150	70	－	21	409	4	145

※ 上段は出動車両台数、下段は活動車両台数

10 救助事故別傷病程度

救助された人員の傷病程度を搬送先の医療診断により分類しています。

(令和2年中)

事故種別 区 分	合 計	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
死 亡	5	－	1	1	－	1	2	－	－
重 篤	8	－	－	3	－	3	2	－	－
重 症	28	1	13	－	－	1	7	1	5
中等症	65	3	19	4	－	－	35	－	4
軽 症	58	4	26	2	－	1	15	－	10
不 明	65	3	4	9	－	2	33	－	14
合 計	229	11	63	19	－	8	94	1	33

「不明」：本人拒否等により医療診断を受けなかった人数

11 救助資機材使用状況

(令和2年中)

事故種別 区 分		合 計	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等 による 事故	ガス及び 酸欠事故	その他
一般 救助器具	かぎ付はしご	22	8	3	4	-	-	5	-	2
	三連はしご(二連)	86	25	1	7	-	-	48	-	5
	カラビナ	47	1	-	25	-	-	15	2	4
	担架・縛帯	29	-	2	7	-	1	11	1	7
	その他の	76	3	2	35	-	-	22	2	12
	小 計	260	37	8	78	-	1	101	5	30
重量物 排除器具	油圧スプレッダー	10	-	10	-	-	-	-	-	-
	車両ウィンチ	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	マットジャッキ	2	-	1	-	-	1	-	-	-
	その他の	7	-	4	3	-	-	-	-	-
	小 計	19	-	15	3	-	1	-	-	-
切断用 器具	油圧切断機	3	-	3	-	-	-	-	-	-
	エンジンカッター	10	9	-	-	-	-	-	-	1
	鉄線カッター	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	グラブソー	2	-	1	-	-	-	1	-	-
	その他の	14	2	6	-	-	1	4	-	1
	小 計	30	12	10	-	-	1	5	-	2
破壊用 器具	万能斧	43	7	2	-	-	-	32	-	2
	その他の	29	7	8	-	-	-	8	-	6
	小 計	72	14	10	-	-	-	40	-	8
測 定 器具	測定器具	171	58	-	-	-	-	86	2	25
	呼吸器	752	563	-	-	-	-	36	8	145
	送排風機	4	2	-	-	-	-	-	-	2
呼吸保護 用器具	その他の	4	3	1	-	-	-	-	-	-
	小 計	760	568	1	-	-	-	36	8	147
隊員保護 用器具	防護衣	584	51	149	10	-	1	288	6	79
	その他の	40	6	10	-	-	3	3	-	18
	小 計	624	57	159	10	-	4	291	6	97
水 難 救助器具	潜水器具一式	7	-	-	7	-	-	-	-	-
	救命胴衣	241	-	-	216	-	-	-	-	25
	その他の	14	-	-	9	-	-	-	-	5
	小 計	262	-	-	232	-	-	-	-	30
山 岳 用 救助器具	カラビナ	2	-	-	-	-	-	-	-	2
	テーブル	8	1	-	-	-	-	-	1	6
	その他の	40	-	-	-	-	-	-	2	38
	小 計	50	1	-	-	-	-	-	3	46
その他 救助器具	携帯拡声器	406	203	66	28	-	9	12	3	85
	携帯・可搬無線機	13,102	4,239	1,772	358	-	139	2,474	81	4,039
	強力ライト	639	253	113	18	-	-	77	-	178
	応急処置用セット	3	1	1	-	-	-	1	-	-
	感染防護具	3,354	344	830	139	-	64	1,386	19	572
	その他の	2,612	1,501	463	75	-	55	258	4	256
	小 計	20,116	6,541	3,245	618	-	267	4,208	107	5,130
合 計		22,364	7,288	3,448	941	-	274	4,767	131	5,515

12 救助訓練実施状況

下記訓練とは別に、水難救助訓練（68回、延べ521人）及び山岳救助訓練（48回、延べ340人）を実施しています。

(令和2年中)

区 分	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
体力練成 及び訓練	173	112	106	140	171	168	140	133	184	153	157	187
	654	459	398	665	699	586	497	521	702	639	598	660
	176:00	127:30	112:30	143:00	217:25	174:00	157:00	136:30	183:30	158:30	153:30	193:00
ロープ 基本 応用訓練	50	27	19	50	68	60	44	68	49	59	67	63
	200	98	69	243	239	203	156	303	200	234	262	232
	48:00	36:45	12:00	46:00	51:00	49:20	41:15	76:35	46:30	57:00	59:00	55:30
検索救助 訓練	90	80	58	82	95	97	88	105	116	90	75	71
	447	314	278	381	462	360	386	501	483	408	313	280
	158:30	121:25	94:20	119:35	144:00	117:15	131:05	161:05	182:30	125:40	99:25	111:10
救助器具 取扱訓練	60	44	38	67	66	62	48	53	61	77	74	58
	265	497	158	288	199	190	197	225	244	306	282	204
	60:15	43:15	45:00	90:20	54:50	62:15	75:00	68:20	67:20	73:25	76:00	56:15
救助事象 想定訓練	66	57	41	71	62	101	64	59	82	81	75	72
	279	314	199	361	297	432	285	291	387	365	349	334
	108:45	106:15	77:00	129:30	110:30	170:10	124:15	124:50	137:20	130:35	127:10	137:15
その他の 訓 練	33	49	36	44	98	37	61	40	54	74	46	24
	165	233	152	235	434	248	379	244	302	362	252	136
	52:20	70:00	48:15	58:55	460:15	57:20	89:25	53:20	75:00	99:40	75:35	28:00

※ 上段：実施回数、中段：実施延べ人員、下段：実施延べ時間

このページは空白です。

資 料

令和2年度救急車適正利用啓発ポスター入賞作品

金賞（1点）



姫路市立御国野小学校6年
成田 壮佑さん

銀賞（2点）



姫市立八幡小学校6年
細尾 春歌 さん

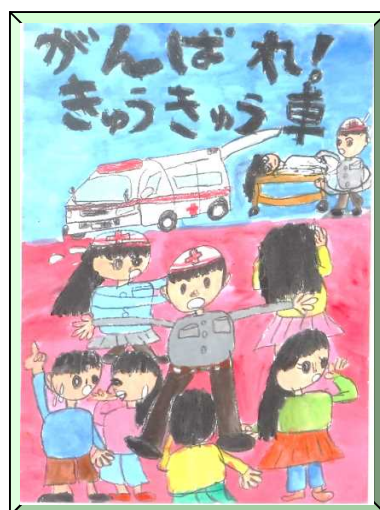


姫路市立城東小学校1年
大谷 明梨 さん

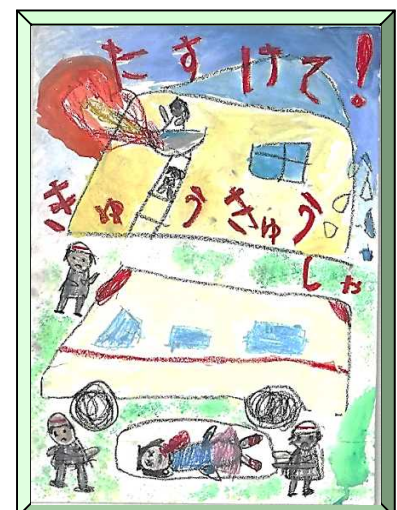
銅賞（3点）



姫路市立安室東小学校6年
竹元 琉莉 さん



姫路市立英賀保小学校3年
濱田 成美 さん



姫路市立安室小学校1年
佐藤 友紀 さん

令和2年度防火ポスター—最優秀賞・金賞作品



最優秀賞

令和2年秋季火災予防運動ポスター

姫路市立増位小学校 5年生

田中 真愛 さんの作品

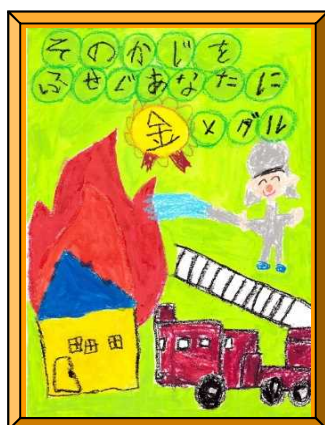


最優秀賞

令和3年春季火災予防運動ポスター

福崎町立田原小学校 6年生

浅井 陸人 さんの作品



金賞

姫路市立白浜小学校 1年生

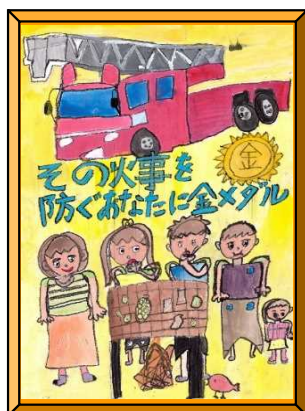
藤原 陽琉 さんの作品



金賞

姫路市立豊富小学校 2年生

桂 海翔 さんの作品



金賞

姫路市立城西小学校 3年生

中島 妃奈乃 さんの作品



金賞

福崎町立田原小学校 4年生

浅井 優良 さんの作品

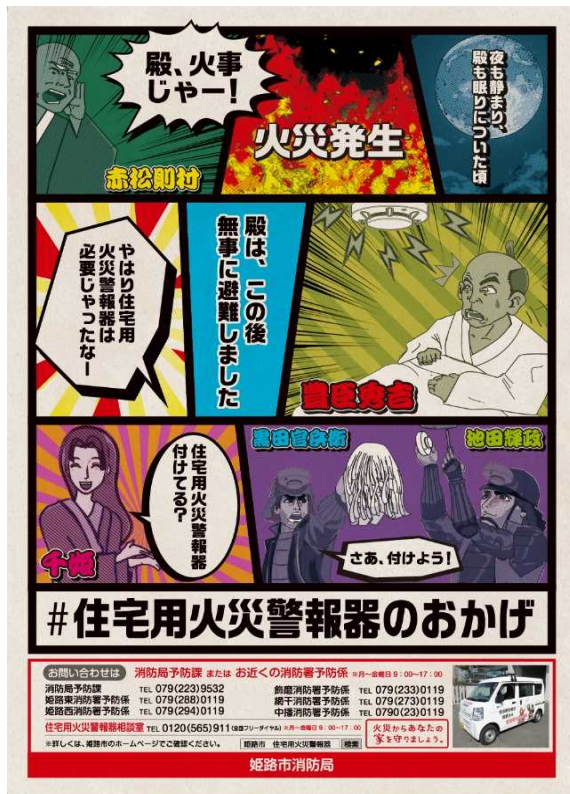


金賞

福崎町立福崎小学校 4年生

川崎 未羽 さんの作品

火災予防啓発用ポスター



住宅用火災警報器設置促進カーラッピング



このページは空白です。

